

設計図書一覧

『06 国補都構 常陸太田市新総合体育館新築工事』の設計図書は、下記のとおりとする。

1. 設計図書

設計図書

- 1) 工事起工概要書
- 2) 工事内訳書
- 3) 特記仕様書
- 4) 図面一式

[illegible]

番号	名 称	品質・規格	数量	単位	単価	金額	備 考
	(工事費内訳)						
①	直接工事費		1.0	式			
②	共通費		1.0	式			
	合 計						
	工事価格		1.0	式			
	消費税相当額		1.0	式			
	請負に付する額		1.0	式			
①	直接工事費						
A	建築工事	元請工事	1.0	式			
B	電気設備工事	工事対象	1.0	式			
	工事費						
	下請負人経費						
C	機械衛生設備工事	工事対象	1.0	式			
	工事費						
	下請負人経費						
D	昇降設備工事	工事対象	1.0	式			
	工事費						
	下請負人経費						
	① 計						

番号	名 称	品質・規格	数量	単位	単価	金額	備 考
②	共通費						
(一)	共通仮設費		1.0	式			
(二)	現場管理費		1.0	式			
(三)	一般管理費		1.0	式			
(四)	契約保証費		1.0	式			
(五)	瑕疵担保資力確保費	「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」	1.0	式			
	② 計						
	(共通費内訳)						
(一)	共通仮設費						
1	共通仮設費		1.0	式			
	準備費 仮設建物費						
	工事施設費 環境安全費						
	動力用水光熱費 屋外整理清掃費						
	機械器具費 その他						
	(一) 1. 計						
2	共通仮設費（積上分）		1.0	式			
	(一) 2. 計						
	(一) . 計	1 + 2					

番号	名 称	品質・規格	数量	単位	単価	金額	備 考
(二)	現場管理費		1.0	式			
	労務管理費 租税公課						
	保険料 従業員給料手当						
	法定福利費 福利厚生費						
	事務用品費 通信交通費						
	補償費 原価性経費配賦額						
	その他						
	(二) 計						
(三)	一般管理費		1.0	式			
	役員報酬 従業員給料手当						
	退職金 法的福利費						
	福利厚生費 維持修繕費						
	事務用品費 通信交通費						
	動力用水光熱費 調査研究費						
	広告宣伝費 交際費						
	寄付金 地代家賃						
	減価償却費 試験研究償却費						
	開発償却費 租税公課						
	保険料 契約保証費						
	雑費						
	(三) 計						

様式第6号(建築工事用)

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	06国補都構 常陸太田市新総合体育館新築工事						
	直接工事費						
A	建築工事		1.0	式			
B	電気設備工事		1.0	式			
C	空調設備工事		1.0	式			
D	給排水設備工事		1.0	式			
	計						

名 称		内 容	单位	数 量	单 价	金 额	備 考
A	建 築 工 事						
I	本 体 建 築 工 事		式	1.0			
	A - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
I	本 体 建 築 工 事						
1	直 接 仮 設 工 事		式	1.0			
2	土 工 事		式	1.0			
3	地 業 工 事		式	1.0			
4	鉄 筋 工 事		式	1.0			
5	コンクリート工 事		式	1.0			
6	型 枠 工 事		式	1.0			
7	鉄 骨 工 事		式	1.0			
8	既製コンクリート工事		式	1.0			
9	防 水 工 事		式	1.0			
10	タ イ ル 工 事		式	1.0			
11	木 工 事		式	1.0			
12	屋 根 及 び とい 工 事		式	1.0			
13	金 属 工 事		式	1.0			
14	左 官 工 事		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
15	木 製 建 具 工 事		式	1.0			
16	金 属 製 建 具 工 事		式	1.0			
17	ガ ラ ス 工 事		式	1.0			
18	塗 装 工 事		式	1.0			
19	内 外 装 工 事		式	1.0			
20	ユニット及びその他工事		式	1.0			
21	外 構 工 事		式	1.0			
22	撤 去 工 事		式	1.0			
	I - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	遣方		式	1.0			
	墨出し		式	1.0			
	養生		式	1.0			
	整理清掃後片付け		式	1.0			
	地足場		式	1.0			
	外部足場		式	1.0			
	内部躯体足場		式	1.0			
	内部仕上足場		式	1.0			
	災害防止		式	1.0			
	仮設材運搬		式	1.0			
	1 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2	土工事						
	根切り	総掘り	m3	3,470.0			
	根切り	つぼ布	m3	4,211.0			
	埋戻し	B種	m3	2,175.0			
	盛土	B種	m3	1,817.0			
	床付け	つぼ布	m2	3,021.0			
	敷き均し		m3	1,857.0			
	杭間ざらい		か所	122.0			
	土工機械運搬		式	1.0			
	建設発生土運搬	構内仮置場へ小運搬	式	1.0			
	2 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3	地業工事						
	砂利地業	再生クラッシュラン	m3	446.0			
	捨てコンクリート地業	Fc=18N/mm2 S=15cm 材工共	m3	163.0			
	床下防湿層敷	ポリエチレンフィルム 厚0.15mm	m2	3,923.0			
	土間下 土間下断熱材敷	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA 厚40mm	m2	2,148.0			
	立下り 土間下断熱材敷	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA 厚40mm	m2	185.0			
	(既製コンクリート杭)						
	<本体>						
	P80 既製コンクリート杭	φ 800 L=30.0m 上杭 φ 800	本	18.0			
		CPRC杭(Ⅲ種Fc105) L=5.0m +中杭 φ 800					
		PHC杭(B種Fc105) L=12.0m +下杭 φ 800					
		PHC杭(A種Fc105) L=13.0m					
	P90 既製コンクリート杭	φ 900 L=30.0m 上杭 φ 900	本	27.0			
		CPRC杭(Ⅲ種Fc105) L=5.0m +中杭 φ 900					
		PHC杭(B種Fc105) L=12.0m +下杭 φ 900					
		PHC杭(A種Fc105) L=13.0m					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	P100 既製コンクリート杭	φ 1000 L=30.0m 上杭 φ 1000	本	43.0			
		CPRC杭(Ⅲ種Fc105) L=5.0m +中杭 φ 1000					
		PHC杭(B種Fc105) L=12.0m +下杭 φ 1000					
		PHC杭(A種Fc105) L=13.0m					
	P90A 既製コンクリート杭	φ 900 L=23.0m 上杭 φ 900	本	3.0			
		SC杭(t12 SKK490) (Fc105) L=8.0m +中杭 φ 900					
		PHC杭(C種Fc105) L=7.0m +下杭 φ 900					
		PHC杭(B種Fc105) L=8.0m					
	P80B 既製コンクリート杭	φ 800 L=27.0m 上杭 φ 800	本	3.0			
		SC杭(t12 SKK490) (Fc105) L=8.0m +中杭 φ 800					
		PHC杭(C種Fc105) L=7.0m +下杭 φ 800					
		PHC杭(B種Fc105) L=12.0m					
	P90B 既製コンクリート杭	φ 900 L=27.0m 上杭 φ 900	本	2.0			
		SC杭(t12 SKK490) (Fc105) L=8.0m +中杭 φ 900					
		PHC杭(C種Fc85) L=7.0m +下杭 φ 900					
		PHC杭(B種Fc105) L=12.0m					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	P80C 既製コンクリート杭	φ 800 L=27.0m 上杭 φ 800	本	2.0			
		SC杭(t12 SKK490) (Fc105) L=8.0m +中杭 φ 800					
		PHC杭(C種Fc105) L=7.0m +下杭 φ 800					
		PHC杭(B種Fc105)L=12.0m					
	P90D 既製コンクリート杭	φ 900 L=20.0m 上杭 φ 900	本	2.0			
		SC杭(t12 SKK490) (Fc105) L=8.0m +下杭 φ 900					
		PHC杭(C種Fc105) L=12.0m					
	杭施工費	プレボ-リンク根固め工法(階段含む)	式	1.0			
	杭頭補強	NCPアンカー工法 φ 800 SD345 16-D25 L=640	か所	18.0			
	杭頭補強	NCPアンカー工法 φ 900 SD345 16-D25 L=640	か所	27.0			
	杭頭補強	NCPアンカー工法 φ 1000 SD345 16-D25 L=640	か所	43.0			
	P80B、C 杭頭補強	クラウンパイルアンカー工法 φ 800 SD390 8-D38 L=728	か所	5.0			
	P90A、B、D 杭頭補強	クラウンパイルアンカー工法 φ 900 SD390 8-D38 L=728	か所	7.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	〈屋外階段1〉						
	P30 既製コンクリート杭	φ 300 L=30.0m 上杭 φ 300	本	7.0			
		PRC杭(Ⅰ種Fc105) L=5.0m +中杭 φ 300					
		PHC杭(A種Fc105) L=9+9m +下杭 φ 300					
		節付PHC杭(A種Fc105) L=7.0m					
	杭頭補強	NCPアンカー工法 φ 300 SD345 6-D25 L=640	か所	7.0			
	〈屋外階段2〉						
	P35 既製コンクリート杭	φ 350 L=31.0m 上杭 φ 350	本	15.0			
		PRC杭(Ⅰ種Fc105) L=5.0m +中杭 φ 350					
		ST杭+PHC杭(B種Fc105) L=9+9m +下杭 φ 350					
		節付PHC杭(A種Fc105) L=8.0m					
	杭頭補強	NCPアンカー工法 φ 350 SD345 7-D25 L=640	か所	15.0			
	3 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4	鉄筋工事						
	(躯体)						
	異形棒鋼	SD295 D10	t	95.1			
	異形棒鋼	SD295 D13	t	313.0			
	異形棒鋼	SD295 D16	t	168.0			
	異形棒鋼	SD345 D19	t	34.8			
	異形棒鋼	SD345 D22	t	59.4			
	異形棒鋼	SD345 D25	t	43.3			
	異形棒鋼	SD390 D29	t	164.0			
	異形棒鋼	SD390 D32	t	154.0			
	鉄筋スクラップ控除		式	1.0			
	鉄筋加工組立	SRCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	993.0			
	ガス圧接	D19-D19	か所	1,417.0			
	ガス圧接	D22-D22	か所	1,763.0			
	ガス圧接	D25-D25	か所	881.0			
	ガス圧接	D29-D29	か所	3,816.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ガス圧接	D32-D32	か所	2,253.0			
	ガス圧接	D19-D25	か所	7.0			
	ガス圧接	D22-D25	か所	131.0			
	鉄筋運搬費	10t車	t	993.0			
	梁貫通孔補強		式	1.0			
	(外部仕上)						
	溶接金網敷	φ 5-100×100	m2	263.0			
	溶接金網敷	φ 6-100×100	m2	2,110.0			
	(内部仕上)						
	溶接金網敷	φ 6-100×100	m2	16.1			
	4 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5	コンクリート工事						
	(躯体)						
	普通コンクリート	Fc=30N/mm2 S=15cm	m3	5,263.0			
	普通コンクリート	Fc=30N/mm2 S=18cm	m3	2,545.0			
	普通コンクリート	膨張材共 Fc=30N/mm2 S=15cm	m3	98.7			
	普通コンクリート	膨張材共 Fc=30N/mm2 S=18cm	m3	37.2			
	構造体強度補正		式	1.0			
	コンクリート打設手間		式	1.0			
	コンクリートポンプ圧送		式	1.0			
	(外部仕上)						
	普通コンクリート	Fc=18N/mm2 S=15cm	m3	170.0			
	コンクリート打設手間		式	1.0			
	コンクリートポンプ圧送		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(内部仕上)						
	PS1 PCa段床版	強度:50 N/mm2 スランプ [°] :12±2.5 (cm) 2765×1060×430	か所	48.0			
	PS1a PCa段床版	強度:50 N/mm2 スランプ [°] :12±2.5 (cm) 3292/1920×1060×430	か所	4.0			
	PS1b PCa段床版	強度:50 N/mm2 スランプ [°] :12±2.5 (cm) 2453/1319×1060×430	か所	4.0			
	PS2 PCa段床版	強度:50 N/mm2 スランプ [°] :12±2.5 (cm) 2765×1060×430	か所	48.0			
	PS2a PCa段床版	強度:50 N/mm2 スランプ [°] :12±2.5 (cm) 2174/678×1060×430	か所	4.0			
	PS2b PCa段床版	強度:50 N/mm2 スランプ [°] :12±2.5 (cm) 1526/283×1060×430	か所	4.0			
	踏み石	強度:30 N/mm2以上 800×570×300 ノンスリップ目地共	か所	60.0			
	5 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6	型枠工事						
	(躯体)						
	普通合板型枠	基礎部	m2	13,860.0			
	普通合板型枠	地上軸部	m2	9,350.0			
	曲面型枠	地上軸部	m2	173.0			
	打放型枠	基礎部 B種	m2	568.0			
	打放型枠	地上軸部 A種	m2	2,015.0			
	打放型枠	地上軸部 B種	m2	2,236.0			
	型枠運搬費	10t車	m2	28,202.0			
	フラットデッキ	厚1.2 H75 Z12	m2	140.0			
	耐震スリット	壁厚180 耐火型 防水 スリット厚25 垂直 全貫通型	m	234.0			
	耐震スリット	壁厚180 耐火型 防水 スリット厚25 水平 全貫通型	m	342.0			
	誘発目地型枠	20×20	m	194.0			
	打継ぎ目地型枠	20×20	m	563.0			
	止水板	非加熱ブチルゴム W200	m	537.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(外部仕上)						
	排水溝 仕上雑型枠		m2	179.0			
	型枠運搬費	10t車	m2	179.0			
	打放し面補修	A種	m2	2,015.0			
	打放し面補修	B種	m2	499.0			
	(内部仕上)						
	打放し面補修	B種	m2	2,305.0			
	人通口	φ 600 L350	か所	4.0			
	人通口	φ 600 L800	か所	56.0			
	通気管	硬質塩ビ管 φ 100 L350	か所	12.0			
	通気管	硬質塩ビ管 φ 100 L800	か所	106.0			
	通水管	硬質塩ビ管 φ 100/2 L350	か所	12.0			
	通水管	硬質塩ビ管 φ 100/2 L800	か所	106.0			
	6 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
7	鉄骨工事						
	(システムトラス)	<メインアリーナ>					
	システムトラス製作費	パイプ 76.3～318.5 φ グローブ 110～300 φ	m2	4,137.0			
	施工用仮設工事費	治具工具損料、養生	m2	4,137.0			
	副資材	ツメボルト・パイプカバー	式	1.0			
	施工費	トラス組立一式・法定福利費含む	m2	4,137.0			
	現場塗装	グローブ ウレタン塗装	m2	4,137.0			
	梱包運搬費		式	1.0			
	(母屋・軒下・柱)	<メインアリーナ>					
	屋根母屋鉄骨	鋼材・原寸・型板・工場加工 錆止め(JISK5674)・副資材	t	125.0			
		現場加工・消耗品					
	全上 運搬費		式	1.0			
	全上 現場塗装	SOP塗装 タッチアップ含む	t	125.0			
	軒下下地鉄骨	鋼材・原寸・型板・工場加工 錆止め(JISK5674)・副資材	t	17.2			
		現場加工・消耗品					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	全上 運搬費		式	1.0			
	全上 現場塗装	SOP塗装 タッチアップ含む	t	17.2			
	柱鉄骨	鋼材・原寸・型板・工場加工 錆止め(JISK5674)・副資材	本	20.0			
		現場加工・建て方・消耗品					
	全上 運搬費		式	1.0			
	全上 現場塗装	SOP塗装 タッチアップ含む	本	20.0			
	柱底均しモルタル	A種	か所	20.0			
	超音波探傷試験		式	1.0			
	(システムトラス)	〈サブアリーナ〉					
	システムトラス製作費	パイプ 48.6～190.7 φ クローブ 110～260 φ	m2	1,550.0			
	施工用仮設工事費	治具工具損料、養生	m2	1,550.0			
	副資材	ツメボルト・パイプカバー	式	1.0			
	施工費	トラス組立一式・法定福利費含む	m2	1,550.0			
	現場塗装	クローブ ウレタン塗装	m2	1,550.0			
	梱包運搬費		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(母屋・軒下・柱)	〈サブアーリーナ〉					
	屋根母屋鉄骨	鋼材・原寸・型板・工場加工 錆止め(JISK5674)・副資材	t	47.0			
		現場加工・消耗品					
	全上 運搬費		式	1.0			
	全上 現場塗装	SOP塗装 タッチアップ含む	t	47.0			
	軒下下地鉄骨	鋼材・原寸・型板・工場加工 錆止め(JISK5674)・副資材	t	13.7			
		現場加工・消耗品					
	全上 運搬費		式	1.0			
	全上 現場塗装	SOP塗装 タッチアップ含む	t	13.7			
	柱鉄骨	鋼材・原寸・型板・工場加工 錆止め(JISK5674)・副資材	t	90.0			
		現場加工・建て方・消耗品					
	全上 運搬費		式	1.0			
	全上 現場塗装	SOP塗装 タッチアップ含む	t	90.0			
	柱底均しモルタル	A種	か所	16.0			
	超音波探傷試験		式	1.0			

名	称	内	容	单位	数	量	单	価	金	額	備	考
	(屋外階段1)											
	H形鋼	SN400B H-194×150×6×9	t	0.3								
	H形鋼	SN400B H-400×200×8×13	t	3.9								
	H形鋼	SN400A H-194×150×6×9	t	0.8								
	H形鋼	SN400A H-200×100×5.5×8	t	0.1								
	H形鋼	SN400A H-250×125×6×9	t	0.1								
	H形鋼	SN400A H-350×175×7×11	t	1.2								
	H形鋼	SN400A H-400×200×8×13	t	0.3								
	山形鋼	SN400A L-65×65×6	t	0.1								
	山形鋼	SN400A L-100×100×10	t	0.1								
	平鋼	SS400 FB-6×50	t	0.6								
	鋼板	SN400B PL-6	t	0.01								
	鋼板	SN400B PL-9	t	0.5								
	鋼板	SN400B PL-16	t	0.8								
	鋼板	SN490C PL-19	t	0.1								

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	鋼板	SN490C PL-22	t	0.1			
	鋼板	SN490C PL-25	t	0.1			
	鋼板	SN490C PL-28	t	0.3			
	鋼板	SN490C PL-32	t	0.1			
	鋼板	SN400A PL-4.5	t	0.1			
	鋼板	SN400A PL-6	t	3.4			
	鋼板	SN400A PL-9	t	0.03			
	鋼板	SN400A PL-12	t	0.1			
	鋼板	SN400A PL-16	t	1.4			
	鋼板	SN400A PL-19	t	0.4			
	鋼板	SN400C PL-22	t	0.1			
	鋼板	SN490B PL-12	t	0.02			
	構造用鋼管	STKN490B φ 318.5×10.3	t	1.6			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M16 L=40	t	0.01			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M16 L=45	t	0.02			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M16 L=60	t	0.03			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=45	t	0.02			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=50	t	0.01			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=55	t	0.01			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=60	t	0.03			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=65	t	0.1			
	中ボルト	M12 L=50	t	0.01			
	中ボルト	M12 L=55	t	0.01			
	鉄骨スクラップ控除		式	1.0			
	鉄骨工場加工組立	溶接手間及び溶接材料費共 94.3m/t	t	16.0			
	溶融亜鉛めっき	HDZT77	t	16.0			
	鉄骨運搬費		t	16.0			
	鉄骨現場建方費		t	16.0			
	JIS型高力ボルト締付け		本	564.0			
	普通ボルト締付け		本	52.00			
	ブレース	SN400A M20 L=2000	本	32.0			
	アンカーボルト	ABR490 M27 L=1080 材工共	本	36.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	スタットシベル	JIS B 11 φ 16 L=100 材工共	本	44.0			
	スタットシベル	JIS B 11 φ 19 L=100 材工共	本	230.0			
	柱底均しモルタル	A種 50×600×600	か所	5.0			
	柱底均しモルタル	A種 50×700×400	か所	2.0			
	超音波探傷試験		式	1.0			
	(屋外階段2、3)						
	H形鋼	SN400B H-400×200×8×13	t	1.6			
	H形鋼	SN400A H-200×100×5.5×8	t	1.0			
	H形鋼	SN400A H-244×175×7×11	t	2.1			
	H形鋼	SN400A H-300×150×6.5×9	t	0.1			
	H形鋼	SN400A H-350×175×7×11	t	0.6			
	H形鋼	SN400A H-500×200×10×16	t	2.1			
	外法一定H形鋼	SN400B H-600×250×12×22	t	10.9			
	外法一定H形鋼	SN400B H-900×300×19×28	t	5.8			
	溝形鋼	SS400 C-150×75×6.5×10	t	0.10			

名 称		内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
	山形鋼	SN400A L-65×65×6	t	0.1			
	山形鋼	SN400A L-100×100×10	t	0.05			
	鋼板	SS400 PL-9	t	0.01			
	鋼板	SN400B PL-9	t	0.5			
	鋼板	SN400B PL-12	t	0.1			
	鋼板	SN400B PL-16	t	2.2			
	鋼板	SN400B PL-22	t	0.3			
	鋼板	SN400B PL-25	t	0.8			
	鋼板	SN490C PL-28	t	1.1			
	鋼板	SN490C PL-32	t	0.1			
	鋼板	SN490C PL-36	t	0.4			
	鋼板	SN400A PL-4.5	t	0.1			
	鋼板	SN400A PL-6	t	5.8			
	鋼板	SN400A PL-9	t	0.1			
	鋼板	SN400A PL-12	t	0.1			
	鋼板	SN400A PL-16	t	2.8			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	鋼板	SN400A PL-19	t	0.3			
	鋼板	SN490B PL-12	t	0.03			
	鋼板	SN490B PL-16	t	0.05			
	鋼板	SN400C PL-28	t	0.4			
	構造用鋼管	STKN490B φ 318.5×10.3	t	1.3			
	構造用鋼管	STKN490B φ 355.6×16	t	2.4			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M16 L=40	t	0.03			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M16 L=60	t	0.02			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=50	t	0.02			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=55	t	0.1			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=60	t	0.02			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=65	t	0.1			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M22 L=70	t	0.1			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M22 L=90	t	0.01			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M22 L=95	t	0.3			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M22 L=115	t	0.2			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	中ボルト	M12 L=50	t	0.01			
	中ボルト	M12 L=55	t	0.01			
	鉄骨スクラップ控除		式	1.0			
	鉄骨工場加工組立	溶接手間及び溶接材料費共 43.4m/t	t	41.7			
	溶融亜鉛めっき	HDZT77	t	41.7			
	鉄骨運搬費		t	41.7			
	鉄骨現場建方費		t	41.7			
	JIS型高力ボルト締付け		本	1,480.0			
	普通ボルト締付け		本	64.0			
	ブレース	M24 L=1000	本	2.0			
	ブレース	M24 L=2000	本	8.0			
	ブレース	M24 L=4000	本	10.0			
	アンカーボルト	ABR490 M27 L=1080 材工共	本	96.0			
	スタットシベル	JIS B 11 φ 16 L=100 材工共	本	182.0			
	スタットシベル	JIS B 11 φ 19 L=100 材工共	本	1,380.0			
	柱底均しモルタル	A種 50×600×600	か所	4.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	柱底均しモルタル	A種 50×650×650	か所	4.0			
	柱底均しモルタル	A種 50×900×450	か所	4.0			
	超音波探傷試験		式	1.0			
	(屋内階段1)	<メインアリーナ>					
	H形鋼	SN400B H-244×175×7×11	t	0.1			
	平鋼	SS400 FB-6×50	t	0.1			
	鋼板	SN400B PL-6	t	0.6			
	鋼板	SN400B PL-9	t	0.01			
	鋼板	SN400B PL-16	t	0.7			
	鋼板	SN400B PL-22	t	0.1			
	鋼板	SN490C PL-19	t	0.1			
	構造用角形鋼管	STKN400B □-200×200×12	t	0.4			
	トルシア型高力ボルト	S10T M20 L=60	t	0.01			
	トルシア型高力ボルト	S10T M24 L=65	t	0.01			
	鉄骨スクラップ控除		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	鉄骨工場加工組立	溶接手間及び溶接材料費共 102.4m/t	t	2.0			
	錆止め塗料塗り	鉄鋼面 工程B種 塗料A種 工場1回目 素地C種	m2	47.8			
	鉄骨運搬費		t	2.0			
	鉄骨現場建方費		t	2.0			
	トルシア型高力ボルト締付け		本	16.0			
	アンカーボルト	SNR400A M20 L=800 材工共	本	8.0			
	アンカーボルト	SNR400A M22 L=880 材工共	本	16.0			
	柱底均しモルタル	A種 30×350×350	か所	2.0			
	柱底均しモルタル	A種 50×300×450	か所	2.0			
	柱底均しモルタル	A種 50×450×160	か所	2.0			
	超音波探傷試験		式	1.0			
	(EV関連鉄骨)	〈メインアリーナ〉					
	H形鋼	SN490B H-150×150×7×10	t	0.3			
	H形鋼	SN490B H-200×200×8×12	t	0.7			
	H形鋼	SN490B H-450×200×9×14	t	0.2			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	山形鋼	SN490B L-75×75×6	t	0.1			
	鋼板	SN490B PL-6	t	0.02			
	鋼板	SN490B PL-9	t	0.01			
	鋼板	SN490B PL-12	t	0.04			
	構造用角型鋼管	BCR295 □-200×200×9	t	1.3			
	鉄骨スクラップ控除		式	1.0			
	鉄骨工場加工組立	溶接手間及び溶接材料費共 25m/t	t	2.5			
	鉄骨運搬費		t	2.5			
	鉄骨現場建方費		t	2.5			
	超音波探傷試験		式	1.0			
	(その他雑鉄骨)						
	H形鋼	SS400 H-125×125×6.5×9	t	0.1			
	H形鋼	SS400 H-200×100×5.5×8	t	0.03			
	H形鋼	SS400 H-250×125×6×9	t	0.2			
	H形鋼	SN400A H-148×100×6×9	t	0.9			

名 称		内 容	单位	数 量	单 价	金 额	備 考
	H形鋼	SN400A H-200×200×8×12	t	6.2			
	H形鋼	SN400B H-200×100×5.5×8	t	0.6			
	H形鋼	SN490B H-194×150×6×9	t	8.8			
	H形鋼	SN400B H-244×175×7×11	t	5.8			
	溝形鋼	SS400 C-100×50×5×7.5	t	0.04			
	溝形鋼	SS400 C-125×60×6×8	t	3.2			
	溝形鋼	SS400 C-150×75×6.5×10	t	1.1			
	溝形鋼	SN400A C-200×90×8×13.5	t	0.4			
	山形鋼	SS400 L-65×65×6	t	0.5			
	山形鋼	SN400A L-65×65×6	t	0.1			
	平鋼	SS400 FB-4.5×50	t	0.01			
	鋼板	SS400 PL-6	t	0.1			
	鋼板	SS400 PL-9	t	0.04			
	鋼板	SS400 PL-12	t	0.1			
	鋼板	SS400 PL-19	t	0.02			
	鋼板	SN400A PL-6	t	0.01			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	鋼板	SN400A PL-9	t	0.5			
	鋼板	SN400A PL-12	t	0.01			
	鋼板	SN400A PL-16	t	0.1			
	鋼板	SN490B PL-6	t	0.7			
	鋼板	SN490B PL-9	t	0.2			
	鋼板	SN490B PL-12	t	0.8			
	縞鋼板	SS400 CHPL-4.5	t	0.3			
	構造用角形鋼管	SS400 □-100×100×2.3	t	0.2			
	トルシア型高力ボルト	S10T M16 L=35	t	0.1			
	トルシア型高力ボルト	S10T M16 L=40	t	0.04			
	トルシア型高力ボルト	S10T M20 L=45	t	0.04			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M16 L=45	t	0.03			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=45	t	0.1			
	JIS型めっき高力ボルト	F8T M20 L=50	t	0.3			
	鉄骨スクラップ控除		式	1.0			
	鉄骨工場加工組立	溶接手間及び溶接材料費共	t	29.5			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	錆止め塗料塗り	鉄鋼面 工程B種 塗料A種 工場1回目 素地C種	m2	718.0			
	溶融亜鉛めっき	HDZT77	t	25.0			
	鉄骨運搬費		t	29.5			
	鉄骨現場建方費		t	29.5			
	トルシア型高力ボルト締付け		本	1,085.0			
	JIS型高力ボルト締付け		本	1,004.0			
	ブレース	SS400 M12 L=1000	本	78.0			
	ブレース	SNR400B M14 L=1000	本	8.0			
	ブレース	SS400 M20 L=1000	本	38.0			
	ブレース	SS400 M20 L=2000	本	28.0			
	アンカーボルト	SS400 M20 L=400 材工共	本	32.0			
	アンカーボルト	ABR400 M16 L=640 材工共	本	20.0			
	アンカーボルト	SNR400B M20 L=800 材工共	本	208.0			
	アンカーボルト	ABR490 M20 L=480 材工共	本	4.0			
	アンカーボルト	ABR490 M20 L=800 材工共	本	4.0			
	柱底均しモルタル	A種 30×200×90	か所	10.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	柱底均しモルタル	A種 30×250×350	か所	8.0			
	柱底均しモルタル	A種 30×300×150	か所	2.0			
	柱底均しモルタル	A種 30×300×300	か所	44.0			
	柱底均しモルタル	A種 30×350×150	か所	2.0			
	柱底均しモルタル	A種 30×450×350	か所	52.0			
	超音波探傷試験		式	1.0			
	(耐火被覆)						
	〈メインアリーナ本体鉄骨〉						
	耐火被覆	半乾式吹付ロックウール 厚25 1時間耐火 柱	m2	532.0			
	耐火被覆	半乾式吹付ロックウール 厚25 1時間耐火 梁	m2	1,565.0			
	〈メインアリーナ屋根鉄骨〉						
	耐火塗装	柱	m2	126.0			
	耐火塗装	ブレース	m2	258.0			
	〈サブアリーナ本体鉄骨〉						
	耐火被覆	半乾式吹付ロックウール 厚25 1時間耐火 柱	m2	12.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	耐火被覆	半乾式吹付ロックウール 厚25 1時間耐火 梁	m2	203.0			
	耐火塗装	柱	m2	74.0			
	〈EV関連鉄骨〉						
	耐火塗装	柱 1時間耐火	m2	18.9			
	耐火塗装	梁 1時間耐火	m2	34.6			
	7 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
8	既製コンクリート工事						
	(外部)						
	〈メインアリーナ〉						
	外壁 押出成形セメント板張り	フラットパネル厚60 A種	m2	1,064.0			
	取付金物	溶融亜鉛メッキ	式	1.0			
	開口補強金物		式	1.0			
	〈サブアリーナ〉						
	外壁 押出成形セメント板張り	フラットパネル厚60 A種	m2	1,034.0			
	取付金物	溶融亜鉛メッキ	式	1.0			
	開口補強金物		式	1.0			
	(内部)						
	床 ALC板張り	厚100 F種	m2	344.0			
	取付金物		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
9	防水工事						
	(外部)						
	陸屋根デッキ アスファルト防水	A-2 平場	m2	1,795.0			
	陸屋根デッキ アスファルト防水	A-2 立上り	m2	416.0			
	防水入隅処理		m	802.0			
	防水押え金物		m	802.0			
	伸縮目地	W25×H80	m	981.0			
	立上り 防水保護板	直線部 押出成形セメント板厚15 H200 水切共	m	25.0			
	立上り 防水保護板	直線部 押出成形セメント板厚15 H350 水切共	m	85.8			
	立上り 防水保護板	直線部 押出成形セメント板厚15 H400 水切共	m	98.0			
	立上り 防水保護板	直線部 押出成形セメント板厚15 H445 水切共	m	293.0			
	立上り 防水保護板	コーナー部 押出成形セメント板厚15 H200	か所	8.0			
	立上り 防水保護板	コーナー部 押出成形セメント板厚15 H350	か所	116.0			
	立上り 防水保護板	コーナー部 押出成形セメント板厚15 H400	か所	80.0			
	立上り 防水保護板	コーナー部 押出成形セメント板厚15 H445	か所	16.0			
	ハト小屋・基礎 ウレタン塗膜防水	X-2 平場	m2	120.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ハト小屋・基礎 ウレタン塗膜防水	X-2 立上り	m2	82.9			
	側溝 ウレタン塗膜防水	保護材仕上げ ポリマーセメント系 平場	m2	83.3			
	側溝 ウレタン塗膜防水	保護材仕上げ ポリマーセメント系 立上り	m2	179.0			
	シーリング	誘発目地 PU-2 20×10	m	194.0			
	シーリング	打継目地 PU-2 20×10	m	563.0			
	シーリング	外壁押出成形セメント板取合い PU-2 10×10	m	705.0			
	シーリング	防水保護板水切り MS-2 10×10	m	502.0			
	シーリング	ハト小屋配管取出し口パネル取合い MS-2 10×10	m	21.5			
	シーリング	手摺足元取合い MS-2 10×10	m	168.0			
	シーリング	ポード-屋根取合い MS-2 10×10	m	210.0			
	シーリング	建具廻り MS-2 15×10	m	572.0			
	2重シーリング	外壁押出成形セメント板塞ぎ板 MS-2 10×20	m	62.9			
	(内部)						
	ELVピット床 塗布防水	ケイ酸質系浸透性	m2	8.4			
	ELVピット壁 塗布防水	ケイ酸質系浸透性	m2	21.5			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	水槽床 塗膜防水	自閉性樹脂防水編成 エチレン酢ビ系樹脂モルタル	m2	92.4			
	水槽壁 塗膜防水	自閉性樹脂防水編成 エチレン酢ビ系樹脂モルタル	m2	260.0			
	水槽天井 塗膜防水	自閉性樹脂防水編成 エチレン酢ビ系樹脂モルタル	m2	92.4			
	雑排水槽床 塗布型ライニング工法	D1種 エポキシ樹脂2プライ積層	m2	56.7			
	雑排水槽壁 塗布型ライニング工法	D1種 エポキシ樹脂2プライ積層	m2	137.0			
	雑排水槽天井 塗布型ライニング工法	D1種 エポキシ樹脂2プライ積層	m2	56.7			
	喫茶コーナー1 ウレタン塗膜防水	X-1 平場	m2	13.3			
	喫茶コーナー1 ウレタン塗膜防水	X-1 立上り	m2	2.8			
	シーリング	ボード-天井取合い MS-2 10×10	m	331.0			
	シーリング	ライニング甲板取合い MS-2 10×10	m	107.0			
	シーリング	Pca段床板取合い MS-2 15×20	m	510.0			
	9 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
10	タイル工事						
	(外部)						
	風除室3床 磁器質タイル張り	300×300	m2	7.9			
	(内部)						
	床 磁器質タイル張り	300×300	m2	351.0			
	壁 磁器質タイル張り	50×50	m2	23.8			
	10 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
11	木工事						
	(内部)						
	床 構造用合板張り	厚15+15 張物下地	m2	122.0			
	階段 構造用合板張り	厚15+15 張物下地	m2	27.0			
	巾木	スプルス厚10 H100	m	184.0			
	壁 合板張り	厚12	m2	19.3			
	壁 天然木化粧合板張り	茨城県産材 厚3.0	m2	16.9			
	天井 天然木化粧合板張り	茨城県産材 厚3.0	m2	243.0			
	廻縁	木製30×30	m	61.0			
	観客席(東西面) 手摺壁笠木	集成材 米松 25×310	m	131.0			
	観客席(南北面) 手摺壁笠木	集成材 米松 25×280	m	59.4			
	多目的観客席 手摺壁笠木	集成材 米松 25×346	m	5.5			
	小観覧席 手摺壁笠木	集成材 米松 25×270	m	78.9			
	放送室・放送ブース 袖壁笠木	集成材 米松 25×170	m	3.8			
	壁下端 見切枠	集成材 米松 25×75	m	110.0			
	DS木製格子 見切枠	集成材 米松 25×90	m	53.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	屋内階段1 飾棚	集成材 タモ厚25 651×623+91 斜辺897	か所	2.0			
	屋内階段1 壁付手摺笠木	集成材 タモ φ 40 2段	m	45.5			
	屋内階段1 自立手摺笠木	集成材 タモ φ 40 2段	m	2.2			
	屋内階段2・3 壁付手摺笠木	集成材 タモ φ 40	m	16.4			
	放送室・放送ブース 壁付手摺笠木	集成材 タモ φ 40	m	0.9			
	機械設備用 折上天井見切	木製30×30	m	8.6			
	11 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
12	屋根及びとい工事						
	(外部)						
	<メインアリーナ>	ドーム形状 球R=66.76m					
	パーフェクトルーフ 粘接着工法	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 非加硫特殊フチルコムt=1.0裏打	m2	4,530.2			
	専用シート	t=1.0 プライマー共	m2	4,530.2			
	断熱材 台型カット	ポリイソシアヌレートフォーム t=50 (IDボード)	m2	4,530.2			
	下地 まげのじくん	硬質木片セメント板 ｱ25	m2	4,530.2			
	軒先唐草	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 非加硫特殊フチルコムt=1.0裏打	m	223.0			
	太陽光パネル取付金具	特注 D-SWAT(ロング) 直足Kタイプ(強化足タイプ)	カ所	336.0			
	同補強板	GL鋼板 ｱ1.2	カ所	269.0			
	メンテパイプ脚取合水切	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 非加硫特殊フチルコムt=1.0裏打	カ所	199.0			
	<サブアリーナ>	楕円ドーム形状					
	パーフェクトルーフ 粘接着工法	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 非加硫特殊フチルコムt=1.0裏打	m2	2,451.6			
	専用シート	t=1.0 プライマー共	m2	2,451.6			
	断熱材 台型カット	ポリイソシアヌレートフォーム t=50 (IDボード)	m2	2,451.6			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	下地 まげのじくん	硬質木片セメント板 ｱ25	m2	2,451.6			
	軒先唐草	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 非加硫特殊ﾌﾞﾁﾙｺﾞﾑt=1.0裏打	m	138.0			
	太陽光パネル取付金具	特注 D-SWAT(ロング) 直足Kﾀｲﾌﾟ(強化足ﾀｲﾌﾟ)	ヵ所	112.0			
	同補強板	GL鋼板 ｱ1.2	ヵ所	90.0			
	メンテパイプ脚取合水切	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 非加硫特殊ﾌﾞﾁﾙｺﾞﾑt=1.0裏打	ヵ所	128.0			
	〈樋工事〉	メインアリーナ					
	シート防水		m	223.0			
	下地	硬質木片セメント板 ｱ25	m	223.0			
	落し口	φ 150	ヵ所	10.0			
	〈樋工事〉	サブアリーナ					
	シート防水		m	138.0			
	下地	硬質木片セメント板 ｱ25	m	138.0			
	落し口	φ 100	ヵ所	8.0			
	端末処理		m	722.0			

名	称	内	容	単位	数	量	単	価	金	額	備	考
	〈外壁・軒天板金工事〉											
	金属サイディング	カラーガルバリウム鋼板t=0.6 取合水切りとも		m		373.0						
	照明BOX 100*100	カラーガルバリウム鋼板t=0.6		カ所		143.0						
	〈竖樋〉											
	竖樋	カラーVP φ 100		m		82.2						
	竖樋	カラーVP φ 150		m		55.2						
	竖樋	カラーVP φ 200		m		105.0						
	〈ドレイン〉											
	ルーフドレイン	鋳鉄製 縦引 φ 200		カ所		26.0						
	屋外機置場 ルーフドレイン	鋳鉄製 横引 φ 150		カ所		2.0						
	12 - 計											

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
13	金属工事						
	(外部)						
	〈メインアリーナ〉						
	屋根 メンテナンスパイプ	ステンレスφ90	m	73.8			
	屋根 雪止め付メンテナンスパイプ	雪止め金具:ステンレスL-75×75×6 ステンレスφ90	m	220.0			
	メンテナンスパイプ貫通部 カバー	ステンレス厚3 φ139	か所	163.0			
	パラペット メンテナンス梯子用パイプ	ステンレスφ90 W900	か所	1.0			
	谷樋水上 オーバーフロー管	ステンレス厚2 溶接加工品 φ60.5 H200	か所	9.0			
	軒樋 アルミ笠木	W225 BB-2種 シルバー	m	228.0			
	軒樋幕板 金属板張り	カラーガルバリウム鋼板厚0.6 H583	m	228.0			
	軒樋幕板下端 取合水切	カラーガルバリウム鋼板厚0.6	m	228.0			
	〈サブアリーナ〉						
	屋根 メンテナンスパイプ	ステンレスφ90	m	54.8			
	屋根 雪止め付メンテナンスパイプ	雪止め金具:ステンレスL-75×75×6 ステンレスφ90	m	138.0			
	メンテナンスパイプ貫通部 カバー	ステンレス厚3 φ139	か所	107.0			
	パラペット メンテナンス梯子用パイプ	ステンレスφ90 W900	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	軒樋 アルミ笠木	W225 BB-2種 シルバー	m	142.0			
	軒樋幕板 金属板張り	カラーガルバリウム鋼板厚0.6 H583	m	142.0			
	軒樋幕板下端 取合水切	カラーガルバリウム鋼板厚0.6	m	142.0			
	階段立体デッキ外壁 金属板張り	カラーガルバリウム鋼板厚0.6	m2	78.4			
	階段立体デッキ外壁下端 取合水切	カラーガルバリウム鋼板厚0.35	m	168.0			
	軒天 照明ボックス	カラーガルバリウム鋼板厚0.6 100×100	m	143.0			
	階段立体デッキ外壁下地 胴縁	横胴縁:C-100×50×20×2.3@1800 目地部:2C-100×50×2.3	m2	78.4			
	デッキキュービクル廻り 自立手摺	スチール溶融亜鉛メッキ H1320 水平 手摺:FB-12×50、中棧:FB-9×38	m	38.3			
		下棧:FB-9×44、支柱:FB-12×44@900					
	デッキキュービクル廻り 自立手摺	スチール溶融亜鉛メッキ H1320 傾斜 手摺:FB-12×50、中棧:FB-9×38	m	3.0			
		下棧:FB-9×44、支柱:FB-12×44@900					
	階段両側 自立手摺	スチール溶融亜鉛メッキ H1110 水平 笠木:FB-12×50 曲げ加工	m	25.0			
		手摺子:FB-12×44@100 2段手摺:PL厚3.2 曲げ加工 φ50					
		上段手摺内部LED照明設置 取付金物:FB-9×25 L30@≒800					
	階段両側 自立手摺	スチール溶融亜鉛メッキ H1110 傾斜 笠木:FB-12×50 曲げ加工	m	61.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
		手摺子:FB-12×44@100 2段手摺:PL厚3.2 曲げ加工 φ50					
		上段手摺内部LED照明設置 取付金物:FB-9×25 L30@≒800					
	階段デッキ 自立手摺	スチール溶融亜鉛メッキ H1110 水平 笠木:FB-12×50 多角@900	m	81.7			
		手摺子:FB-12×44@100					
	階段中央 自立手摺	スチール溶融亜鉛メッキ H750 傾斜 2段手摺:PL厚3.2 曲げ加工 φ50	m	30.5			
		手摺子:FB-12×44@900					
	デッキ柱廻り 防護柵	スチールW2000×H500 笠木:FB-120×50 手摺子:FB-12×44@100	か所	15.0			
	デッキ柱廻り 防護柵	スチールW1000×H500 笠木:FB-120×50 手摺子:FB-12×44@100	か所	30.0			
	階段下 侵入防止柵	スチールW2700×H600 笠木:FB-120×50 手摺子:FB-12×44@900	か所	4.0			
	階段下 侵入防止柵	スチールW3600×H600 笠木:FB-120×50 手摺子:FB-12×44@900	か所	2.0			
	階段下 侵入防止柵	スチールW2720×H1200 笠木:FB-120×50 手摺子:FB-12×44@900	か所	1.0			
	階段下 侵入防止柵	スチールW4920×H1200 笠木:FB-120×50 手摺子:FB-12×44@900	か所	1.0			
	階段下 侵入防止柵	スチールW2900×H1400 笠木:FB-120×50 手摺子:FB-12×44@900	か所	1.0			
	デッキ 点検歩廊	エキスパントメタルXG21 500×3600×H675 周囲柵:L-65×65×6	か所	1.0			
		架台:RC-75×45×2.3@450 ベース:PL-3.2 150×15共					
	デッキ 点検歩廊	エキスパントメタルXG21 500×2500×H675 周囲柵:L-65×65×6	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
		架台:RC-75×45×2.3@450 ベース:PL-3.2 150×15共					
	デッキ 点検歩廊	エキスパンドメタルXG21 500×5500×H675 周囲枠:L-65×65×6	か所	1.0			
		架台:RC-75×45×2.3@450 ベース:PL-3.2 150×15共					
	デッキキュービクル廻り 軽量グレーチング	厚40	m2	34.5			
	デッキキュービクル廻り階段 軽量グレーチング	厚40 L1000×D250	か所	4.0			
	外壁フクロ内 頂部取合い金物	□-60×60×3.2、受材:L-65×65×6 L-65×65×6 L100@606	m	210.0			
		LGSランナー50形 52×30共					
	外壁フクロ内 鉄骨梁受金物	□-60×60×3.2 □-25×25 L100×2@900	m	210.0			
		L-65×50×6 L200@900 LGSランナー50形 52×30共					
	外壁フクロ内 鉄骨梁受金物	L65×65×6 L200@900 L-65×65×6 L100×2@900	m	210.0			
	外壁フクロ内 頂部取合い金物	□-100×100×2.3、PL-6×65×100 L-65×65×6 L200@900	m	142.0			
		LGSランナー50形 52×30共					
	ECP貫通部 塞ぎ板	スチール厚1.6 W71.75×282 2枚 300×50 下地L-30×30×3共	か所	52.0			
	ECP貫通部 塞ぎ板	スチール厚1.6 W96×278 2枚 294×50 下地L-30×30×3共	か所	10.0			
	ハト小屋 配管取出し口	ステンレス厚1.5 W1820×H700	か所	1.0			
	ハト小屋 配管取出し口	ステンレス厚1.5 W1730×H700	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ハト小屋 配管取出口	ステンレス厚1.5 W1580×H700	か所	1.0			
	ハト小屋 配管取出口	ステンレス厚1.5 W900×H900	か所	1.0			
	ハト小屋 配管取出口	ステンレス厚1.5 W1800×H900	か所	1.0			
	風除室3 巾木	ステンレスFB6 HL H60	m	7.0			
	軒天 防鳥ネット	ステンレスワイヤータイプ 20×20マス目 ワイヤー:SUS316 1×7	m2	86.4			
		被膜:ナイロンコーティング(紫外線防止剤入) 外径:φ0.75、SUSステイH100@1500					
		アンカー共					
	軒天 防鳥ネットカーテンレール	L27.0m	か所	1.0			
	トイレ外壁 アルミパネル張り	厚3 900×900 焼付塗装 断熱材裏打ち	か所	9.0			
	アルミ庇	W6500+2680×D1500 L型	か所	1.0			
	デッキ 自立手摺	BB-1 BL等級6 アルミ既製品多角 H1200	m	230.0			
	デッキ 自立手摺	笠木W115 アルミ多角 支柱@800 H1200	m	25.0			
	デッキ アルミ目隠し格子ルーバー	BB-2 H2100 ルーバー@120 ストリンガー(横桟)@2100	m	65.3			
		ストリンガー固定@1000					
	デッキ アルミ目隠し格子ルーバー扉	W1800×H2700 門、丁番、小口フタ(水抜き穴付)共	か所	5.0			
	屋外機置場 メッシュフェンス	H1800	か所	70.3			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	屋外機置場 メッシュフェンス門扉	W1860×H1800	か所	8.0			
	風除室3 メッシュフェンス門扉	W2180×H1800 電気錠+テンキー錠(防滴)	か所	1.0			
	デッキ軒天 耐震天井下地	一般天井下地 25型 @300 風圧力1.15無し	m2	1,667.0			
	風除室3軒天 耐震天井下地	一般天井下地 25型 @360 風圧力1.15無し	m2	7.9			
	デッキ 雨水側溝グレーチング	スチール溶融亜鉛メッキ W200	m	331.0			
	エキスパンションジョイント金物	ステンレスCL100 床-床 外部歩行用	m	33.8			
	風除室3 靴拭きマット	ステンレス W1000×D1000 枠共	か所	1.0			
	マンホール	φ 600 鋳鉄製 防水・防臭型	か所	4.0			
	(内部)						
	喫茶コーナー1 鋼製床下地	H200 根太:30×35×65×1.2@300	m2	13.5			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルト φ 12.7固定共					
	観覧席 鋼製床下地	H900 根太:30×35×65×1.2@300	m2	76.9			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルト φ 12.7固定共					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	観覧席 鋼製床下地	H1350 根太:30×35×65×1.2@300	m2	17.6			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席 鋼製床下地	H1800 根太:30×35×65×1.2@300	m2	14.5			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席8階段 鋼製床下地	W700×L865×H0~180(1段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席5・6・10・11階段 鋼製床下地	W600×L860×H0~360(1~2段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	5.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席10階段 鋼製床下地	W600×L860×H0~360(1~2段)端欠け 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	観覧席5・6階段 鋼製床下地	W700×L860×H0～360(1～2段)端欠け 根太:30×35×65×1.2@300	か所	2.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席12階段 鋼製床下地	W700×L860×H0～360(1～2段)端欠け 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席9・12階段 鋼製床下地	W700×L860×H0～360(1～2段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	2.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席13階段 鋼製床下地	W1000×L1260×H0～360(1～2段)端欠け 根太:30×35×65×1.2@300	か所	2.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席7階段 鋼製床下地	W800×L1040×H0～900(5段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	観覧席8階段 鋼製床下地	W725×L780×H180～900(1～5段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席8階段 鋼製床下地	W725×L780×H180～900(1～5段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席5・6・9・10・11・12階段 鋼製床下地	W600×L520×H360～900(2～5段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	11.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席13階段 鋼製床下地	W1000×L520×H360～900(2～5段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	2.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観覧席13階段 鋼製床下地	W800×L520×H900～1350(5～8段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	2.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	観覧席13階段 鋼製床下地	W800×L520×H1350～1800(8～11段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	2.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	放送室・放送ブース階段 鋼製床下地	W1010×L300×H0～300(2段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	サブアリーナキャットウォーク階段 鋼製床下地	W1010×L300×H0～280(2段) 根太:30×35×65×1.2@300	か所	1.0			
		大引:□-50×50×1.6 束サポートパイプ φ 34×2.3@900					
		アンカーボルトφ 12.7固定 ブレースC-38×12×1.2共					
	観客席 自立手摺	スチールH520+260(傾斜) BL等級6 笠木:FB-50×12、横桟:FB-44×9	m	210.0			
		支柱:FB-50×12@900共					
	観客席背面 自立手摺	スチールH1200 BL等級6 笠木:FB-50×12	m	94.2			
		支柱:FB-44×12@1200共					
	多目的観覧席 自立手摺	スチールH450 BL等級6 笠木:FB-50×12	m	5.5			
		支柱:FB-44×12@900共					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	キャットウォーク 自立手摺	スチールH1300 笠木:FB-12×50	m	36.5			
		横桟:FB-12×38 3段 支柱:FB-12×44@1000					
	屋内階段1 側付自立手摺	(木製手摺笠木)H766.67 傾斜 FB-×38、支柱@400	m	2.2			
	屋内階段4・5・6 側付自立手摺	スチールH1000 水平 FB-12×38、支柱@780	m	7.6			
	屋内階段4・5・6 側付自立手摺	スチールH1000 傾斜 FB-12×38、支柱@780	m	3.9			
	屋内階段1(RC部) 段鼻	スチールFB-9×50	m	47.6			
	屋内階段1(S部) 段鼻	スチールFB-9×50 L-30×30×3 L50 @300共	m	13.9			
	屋内階段2～6 段鼻	ハンスリップ [®] ステンレス製 ゴム入り	m	69.5			
	AW 査摺	スチール 形状:07	m	18.2			
	AD-1 査摺	スチール 着色陽極酸化塗装 C-2	m	3.7			
	リポビジョン廻り 壁天端笠木	スチールFB-9 W145	m	90.0			
	ライニング壁 軽量鉄骨壁下地	C-90×45@450	m2	109.0			
	ライニング壁 器具取付下地補強	C-75×40×15×2.3	m	4.8			
	ライニング壁 器具取付プレート	厚4.5	か所	4.0			
	L型手摺取付壁 手摺取付下地補強	C-60×30×2.3	m	128.0			
	L型手摺取付壁 手摺取付プレート	スチールプレート厚6 溶接固定 W250×H340	か所	21.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	多目的観覧席腰壁 軽量鉄骨壁下地	C-100×50×20×3.2	m2	4.1			
	壁 軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	m2	2,463.0			
	壁 軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りあり @450 C-100×50×20×3.2@900	m2	2,123.0			
	壁 軽量鉄骨壁受下地	□-100×100×2.3@900	m2	1,091.0			
	壁 軽量鉄骨壁受下地	□-60×60×3.2	m	180.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 600×2100mm程度	か所	3.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 650×2100mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 800×2100mm程度	か所	2.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2100mm程度	か所	9.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 950×2560mm程度	か所	2.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1030×2100mm程度	か所	18.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1030×2560mm程度	か所	2.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1085×2560mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1170×2100mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1185×2100mm程度	か所	2.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2100mm程度	か所	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2560mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1500×2960mm程度	か所	2.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2100mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2500mm程度	か所	4.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 2500×2500mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1050×1300mm程度	か所	18.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 300×300mm程度	か所	57.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 350×350mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 400×400mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 800×800mm程度	か所	3.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 1200×1200mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 1200×800mm程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 1150×1200mm程度	か所	2.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 2600×1200mm程度	か所	4.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 φ 200程度	か所	15.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 タ'外等四方補強 φ 250程度	か所	27.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞ外等四方補強 φ 300程度	か所	20.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞ外等四方補強 φ 350程度	か所	3.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞ外等四方補強 φ 500程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞ外等四方補強 φ 700程度	か所	1.0			
	軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ﾀﾞ外等四方補強 φ 900程度	か所	1.0			
	天井 軽量鉄骨壁下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート含む	m2	291.0			
	天井 軽量鉄骨壁下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225 インサート含む	m2	79.9			
	天井 軽量鉄骨壁下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	m2	1,200.0			
	天井 軽量鉄骨壁下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りあり @360 インサート含む	m2	59.4			
	天井 振止め補強加算	ふところ高1.5～3.0m 下地張りあり @360 インサート含む	m2	139.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 350×350mm程度 ボｰﾄ等切込み共	か所	346.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 400×400mm程度 ボｰﾄ等切込み共	か所	16.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450×450mm程度 ボｰﾄ等切込み共	か所	312.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600×600mm程度 ボｰﾄ等切込み共	か所	4.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 910×910mm程度 ボｰﾄ等切込み共	か所	52.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1200×200mm程度 ボｰﾄ等切込み共	か所	43.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1250×130mm程度 ボート等切込み共	か所	19.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 220×620mm程度 ボート等切込み共	か所	2.0			
	軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) φ100程度 ボート等切込み共	か所	487.0			
	AW-1-1・2 額縁	スチール厚1.6 W291 ボックスW160×H105/135 糸幅516	m	19.7			
	AW-1-3・4、2 額縁	スチール厚1.6 W291 下り壁H260 糸幅551	m	23.5			
	AW-1-1・2・3・4、2 額縁	スチール厚1.6 W291×25	m	32.4			
	AW-3 額縁	スチール厚1.6 W298 幕板H160 糸幅643	m	22.4			
	AW-3 額縁	スチール厚1.6 W170×25	m	6.5			
	AW-4、5-1・2・3、10 額縁	スチール厚1.6 W358 ボックスW160×H160 糸幅688	m	47.5			
	AW-4、5-1・2・3、10 額縁	スチール厚1.6 W317×25	m	46.5			
	AW-6 額縁	スチール厚1.6 W363 ボックスW160×H120 糸幅613	m	36.4			
	AW-7・8 額縁	スチール厚1.6 W363×25	m	31.6			
	AW-8 額縁	スチール厚1.6 W363 ボックスW160×H160 糸幅718	m	11.6			
	鉄骨柱 鋼板巻き	スチール厚1.6 370×327	m	128.0			
	B-3a 総合案内サイン下地	リン酸亜鉛処理 スチールプレート厚3 W2500×H3000	か所	1.0			
	WD-3 面格子下地金物	スチールFB-5×38	m	11.6			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	WD-3 腰壁下地プレート	スチール厚0.8	m2	12.9			
	WD-2・4 ルーバー天端固定金物	スチールL-70×100×5 M8ボルト Lナット溶接	m	67.4			
	WD-2・4 ルーバー下端固定金物	スチールL-50×100×5 M8ボルト Lナット溶接	m	67.4			
	WD-6・8 ルーバー受金物(縦)	スチール□-75×75 L-50×50×5共	m	114.0			
	WD-6・8 ルーバー受金物(横)	スチールL-30×70×5 M8ボルト Lナット溶接	m	140.0			
	LSD-15 レール受下地金物	スチールC-100×50×20×2.3	m	3.2			
	SLW レール受下地金物	ふところH1340 スチールC-60×30×10×1.6	m	15.7			
		振れ止めL-50×50×4@1800 吊り子C-100×50×20×2.3@900					
	電気設備用 折上天井見切	スチールFB-6×60	m	61.2			
	電気設備用 折上天井見切	スチールFB-6×100 L-25×25×4供	m	61.2			
	プロジェクター天吊金物	PL厚6 350×350 吊材:L-50×50×6、振れ止め1-M16共	か所	2.0			
	壁ガコ内 頂部ランナー受金物	L-65×65×6 L-65×65×6 L100@606	m	212.0			
	壁ガコ内 頂部ランナー受金物	L-50×50×4、□-100×100×3.2 L-65×65×6 L100@900	m	119.0			
	天井裏 メンテナンス用タラップ	スチール W400×H2648 L-50×50×6 タラップ: 丸鋼φ22 9段共	か所	4.0			
	DS内 メンテナンス用タラップ	スチール W400×H5348 L-50×50×6 タラップ: 丸鋼φ22 18段共	か所	2.0			
	床見切	ステンレスFB-6×12	m	11.8			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	エントランス 床見切	ステンレスFB3 曲げ加工	m	61.2			
	巾木	ステンレスFB6 HL H60	m	495.0			
	屋内階段1 壁付手摺取付金物	ステンレスHL FB-9×20 L60 @800 2段 カパープレートPL厚2.0 90×30共	m	45.5			
	屋内階段2、3 壁付手摺取付金物	ステンレスHL FB-9×20 L60 @800 カパープレートPL厚2.0 90×30共	m	16.4			
	放送室・放送ブース 壁付手摺取付金物	ステンレスHL FB-9×20 L60 @800 カパープレートPL厚2.0 90×30共	m	0.9			
	けんか用フック	ステンレスフック 丸鋼φ16 シーリングプレートφ50 厚1共	か所	3.0			
	観覧席 ガラス手摺枠	アルミ H1000 BL6等級 笠木:W67、支柱:30×60	m	69.8			
	多目的ユニットシャワー 額縁	アルミ厚2.5 B-1 W998×H1918 枠幅100×25	か所	2.0			
	更衣室ユニットシャワー 額縁	アルミ厚2.5 B-1 W760×H2030 枠幅100×25	か所	12.0			
	TV吊金物	アタッチメントH456 吊下げパイプφ48.6共	か所	1.0			
	観覧席空調吹出口 グレーチング	ステンレスH290	m	260.0			
	風除室1 靴拭きマット	ステンレス W2200×D3000 枠共	か所	1.0			
	風除室2 靴拭きマット	ステンレス W2000×D1000 枠共	か所	1.0			
	風除室4 靴拭きマット	ステンレス W2000×D1500 枠共	か所	1.0			
	タラップ	ステンレス W400 φ22	か所	138.0			
	手掛け	ステンレス W400 φ22	か所	106.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	マンホール	φ 600 鋳鉄製 防水・防臭型	か所	20.0			
	床下点検口	600×600 化粧蓋付 防水・防臭型	か所	4.0			
	ライニング壁点検口	W300×H300 アルミ枠目地タイプ°	か所	51.0			
	PS壁点検口	W300×H300 硬質塩ビ樹脂製	か所	6.0			
	天井点検口	450×450 アルミ枠目地タイプ°	か所	93.0			
	EV改め口・天井裏メンテナンス用 天井点検口	600×600 アルミ枠目地タイプ°	か所	4.0			
	カーテンボックス	アルミ製 W120×H150	m	80.6			
	ロールスクリーンボックス	アルミ製 W150×H150	m	59.6			
	カーテンレール	アルミ 伸縮吊棒	m	15.0			
	天井見切兼額用吊レール	アルミ既製品 耐荷重30kgタイプ° 移動フック @1000 展示用ステンレスワイヤーL1.5m	m	94.4			
	13 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
14	左官工事						
	(外部)						
	デッキ床 コンクリート金鰻	防水下地	m2	1,795.0			
	ハト小屋・基礎天端 コンクリート金鰻	防水下地	m2	120.0			
	デッキ床 コンクリート金鰻	塗床下地	m2	1,620.0			
	階段・踊場 コンクリート金鰻	塗床下地	m2	398.0			
	犬走り床 コンクリート金鰻	素地仕上	m2	376.0			
	腰壁天端 コンクリート金鰻	W110 吹付下地	m	260.0			
	庇立上り天端 コンクリート金鰻	W150 吹付下地	m	38.5			
	笠木天端 コンクリート金鰻	W175 吹付下地	m	282.0			
	風除室3床 モルタル塗り	タイル下地	m2	7.9			
	側溝 モルタル塗り	防水下地	m2	262.0			
	屋外機置場床 モルタル塗り	素地仕上	m2	137.0			
	靴拭きマット下 モルタル塗り	素地仕上	m2	1.0			
	建具周囲防水モルタル充填		m	572.0			
	外壁 防水型複層塗材E	耐候形1種 弱溶剤系 フッ素樹脂塗装(艶有) 下地調整共	m2	1,526.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	笠木 防水型複層塗材E	耐候形1種 弱溶剤系 フッ素樹脂塗装(艶有) 下地調整共	m2	83.8			
	軒天・梁型 防水型複層塗材E	耐候形1種 弱溶剤系 フッ素樹脂塗装(艶有) 下地調整共	m2	490.0			
	(内部)						
	喫茶コーナー1床 コンクリート金鰻	防水下地	m2	13.3			
	EVピット・水槽床 コンクリート金鰻	防水下地	m2	158.0			
	床 コンクリート金鰻	薄張物下地	m2	2,038.0			
	床 コンクリート金鰻	防塵塗装下地	m2	876.0			
	床 コンクリート金鰻	OAフロア下地	m2	91.0			
	PS・EPS床 コンクリート金鰻	素地仕上	m2	161.0			
	ピット床 コンクリート金鰻	素地仕上	m2	258.0			
	笠木 コンクリート金鰻	防塵塗装下地 W170	m	36.5			
	床 モルタル塗り	タイル下地	m2	351.0			
	床 モルタル塗り	張物下地	m2	14.9			
	階段・踊場 モルタル塗り	張物下地	m2	41.0			
	階段・踊場 モルタル塗り	塗床下地	m2	22.5			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	階段・踊場 モルタル塗り	素地仕上	m2	11.5			
	靴拭きマット下 モルタル塗り	素地仕上	m2	11.6			
	喫茶コーナー1巾木 モルタル塗り	H100 張物下地	m	2.0			
	屋内階段4～6ササ モルタル塗り	素地仕上	m2	2.9			
	壁 内装薄塗材E	不燃 漆喰塗り(漆黒調) ポート面	m2	205.0			
	壁 内装薄塗材E	不燃 漆喰塗り(漆黒調) RC面	m2	51.8			
	建具周囲モルタル充填		m	593.0			
	14 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
15	木製建具工事						
	WD-1 縁甲板木パネル張り	茨城県産杉上小節材 厚12 下地:シナ合板厚5.5+ラワン合板厚5.5	か所	1.0			
		W6304×H2490、W484×H2490 W540×H2490、W2270×H2490					
		W5300×H2490、W530×H2490 W1460×H2490					
	WD-2 縁甲板木パネル+ルーバー	〈縁甲板〉 茨城県産杉上小節材 厚12	か所	1.0			
		下地:シナ合板厚5.5+ラワン合板厚5.5 W44640×H1315					
		〈ルーバー〉 茨城県産杉上小節材					
		35×55@35 ボルト固定タイプ° W5845×H1225、W10605×H1225					
		W16135×H1225、W3045×H1225					
	WD-3 縁甲板木パネル張り	茨城県産杉上小節材 下地:シナ合板厚5.5+ラワン合板厚5.5	か所	1.0			
		W7130×H2490、W1700×H2490 W710×H2490、W675×H2490					
		W675×H2490、W1400×H2490 W3350×H2490、W2560×H2490					
	WD-4 縁甲板木パネル+ルーバー	〈縁甲板〉 茨城県産杉上小節材 厚12	か所	1.0			
		下地:シナ合板厚5.5+ラワン合板厚5.5 W44640×H1315					
		〈ルーバー〉 茨城県産杉上小節材					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
		35×55@35 ボルト固定タイプ W3045×H1225×2、W9625×H1225					
		W16065×H1225					
	WD-5 縁甲板木パネル張り	茨城県産杉上小節材 下地:シナ合板厚5.5+ラワン合板厚5.5	か所	1.0			
		W22816×H3390					
	WD-6 木製ルーバー	茨城県産杉上小節材 35×55@35	か所	1.0			
		W36225×H3455 輻射パネル部:ボルト固定タイプ					
		柱前・壁面・SD上部:ビス固定タイプ					
	WD-7 縁甲板木パネル張り	茨城県産杉上小節材 下地:シナ合板厚5.5+ラワン合板厚5.5	か所	1.0			
		W22806×H3390					
	WD-8 木製ルーバー	茨城県産杉上小節材 35×55@35	か所	1.0			
		W36155×H3455 輻射パネル部:ボルト固定タイプ					
		柱前・壁面・SD上部:ビス固定タイプ					
	WD-1 木製格子	茨城県産杉上小節材 W1155×H2490 35×50@105	か所	5.0			
	WD-3 木製格子	茨城県産杉上小節材 W2415×H2490 35×50@105	か所	1.0			
	WD-3 木製格子	茨城県産杉上小節材 W3325×H2490 35×50@105	か所	1.0			
	WD-3 木製格子	茨城県産杉上小節材 W3780×H2490 35×50@105	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	WD-3 木製格子	茨城県産杉上小節材 W1015×H2490 35×50@105	か所	2.0			
	OSD-4 木製格子	茨城県産杉上小節材 W2500×H2500 100×30@100	か所	1.0			
	WD-1 木製見切	茨城県産杉上小節材 75×35	m	31.7			
	WD-2・4 木製見切	茨城県産杉上小節材 25×90	m	98.0			
	WD-2・4 木製見切	茨城県産杉上小節材 25×280	m	98.0			
	WD-7・8 木製見切	茨城県産杉上小節材 33×40	m	18.5			
	WD-6～8 木製見切	茨城県産杉上小節材 33×15	m	19.1			
	WD-5～8 ベンチ 三方枠	茨城県産杉上小節材 25×750	m	37.6			
	15 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
16	金属製建具工事						
	(アルミ製建具)						
	AW-1-1 突出排煙ランマ窓、 ガバリ付ハメ殺窓	W9830×H3235 枠見込100 多角形状 アルミガバリH300、チャンバーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 付属金物一式					
	AW-1-2 突出排煙ランマ窓、 ガバリ付ハメ殺窓	W9830×H3235 枠見込100 多角形状 アルミガバリH300、チャンバーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 付属金物一式					
	AW-1-3 ガバリ付ハメ殺窓	W6230×H3235 枠見込100 多角形状 アルミガバリH300、チャンバーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 付属金物一式					
	AW-1-4 ガバリ、片開きドア、 両開きドア付ハメ殺窓	W9830×H3235 枠見込100 多角形状 アルミガバリH300、チャンバーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 付属金物一式					
	AW-2 ガバリ付ハメ殺窓	W7480×H3235 枠見込100 アルミガバリH300、チャンバーボックス受金物	か所	1.0			
		付属金物一式					
	AW-3 ガバリ、片開きドア付 ハメ殺窓	W22435×H3235 枠見込100 アルミガバリH300、チャンバーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 付属金物一式					
	AW-4 ガバリ、突出排煙ランマ窓 片開きドア付ハメ殺窓	W6914×H3235 枠見込100 アルミガバリH300、チャンバーボックス受金物	か所	1.0			
		付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	AW-5-1 ガリ、突出排煙 ランマ窓付両開きドア	W9630×H3160 枠見込100 多角形状 アルミガリH460、チャンパーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 付属金物一式					
	AW-5-2 ガリ付ハメ殺ランマ窓	W9630×H1460 枠見込100 多角形状 アルミガリH460、チャンパーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 付属金物一式					
	AW-5-3 ガリ付ハメ殺ランマ窓	W9630×H1460 枠見込100 多角形状 アルミガリH460、チャンパーボックス受金物	か所	1.0			
		一部タテ外塞ぎアルミ樹脂複合板厚3 オペレーター付、付属金物一式					
	AW-6 片開きドア、両開きドア、 引分自動ドア付ハメ殺窓	W36393×H2975 枠見込100 多角形状 方立、下框本締錠、付属金物一式	か所	1.0			
	AW-7 突出排煙ランマ窓	W9830×H900 枠見込100 多角形状 アルミパネル厚25、付属金物一式	か所	4.0			
	AW-8-1 両開きドア付ハメ殺窓	W11630×H2100 枠見込100 多角形状 水圧解錠装置、付属金物一式	か所	2.0			
	AW-8-2 両開きドア、 片開きドア付ハメ殺窓	W11630×H2100 枠見込100 多角形状 付属金物一式	か所	1.0			
	AW-8-3 両開きドア、 片開きドア付ハメ殺窓	W12530×H2100 枠見込100 多角形状 付属金物一式	か所	1.0			
	AW-9 ハメ殺窓	φ 500 付属金物一式	か所	9.0			
	AW-10 ハメ殺窓	W1135×H2655 枠見込100 付属金物一式	か所	1.0			
	AW-11 アルミ折戸+片開きドア	W12350×H2655 付属金物一式	か所	1.0			
	AD-1 引分自動ドア付ハメ殺窓	W3670×H2975 枠見込100 屋内C-2 下框本締錠、付属金物一式	か所	1.0			
	AD-2 両開きドア	W1730×H2100 枠見込100 付属金物一式	か所	4.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	AG-1-1 ガラリ	W1200×H400 枠見込100 チャンパーボックス受金物、付属金物一式	か所	1.0			
	AG-1-2 ガラリ	W1200×H500 枠見込100 チャンパーボックス受金物、付属金物一式	か所	2.0			
	AG-1-3 ガラリ	W900×H400 枠見込100 チャンパーボックス受金物、付属金物一式	か所	3.0			
	AG-1-4 ガラリ	W2000×H800 枠見込100 チャンパーボックス受金物、付属金物一式	か所	1.0			
	AG-2-1 ガラリ	W1710×H1200 枠見込100 多角形状 チャンパーボックス受金物、付属金物一式	か所	8.0			
	AG-2-2 ガラリ	W2600×H1200 枠見込100 多角形状 チャンパーボックス受金物、付属金物一式	か所	4.0			
	AG-2-3 ガラリ	W400×H400 枠見込100 多角形状 チャンパーボックス受金物、付属金物一式	か所	1.0			
	(鋼製建具)						
	OSD-1 両開きドア	W1800×H2100 枠見込D2 沓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			
		水圧解錠装置、付属金物一式					
	OSD-2 両開きドア	W2700×H3000 枠見込D2 沓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			
		水圧解錠装置、付属金物一式					
	OSD-3 両開きドア	W1800×H2500 枠見込D4 沓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			
		水圧解錠装置、付属金物一式					
	OSD-4 両開きドア	W2500×H2500 枠見込D4 沓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
		水圧解錠装置、付属金物一式					
	FSD-5-1 両開きドア	W1600×H2500 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	2.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-5-2 両開きドア	W1800×H2500 枠見込D4 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	3.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-6 両開きドア	W1400×H2100 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	6.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-7 両開きドア	W2500×H2500 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	5.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-8 両開きドア	W1800×H2500 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-9 両開きドア	W3550×H2500 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-10 両開きドア	W2000×H2500 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	2.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-11 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
		付属金物一式					
	FSD-12 片開きドア	W900×H2100 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	2.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-13 両開きドア	W1500×H2955 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	2.0			
		耐熱結晶化ガラス厚8+特殊樹脂厚0.6 +耐熱結晶化ガラス厚8					
		付属金物一式					
	FSD-14 両開きドア	W2500×H2500 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	4.0			
		常時閉鎖型不燃扉 付属金物一式					
	FSD-15(WC3・4) 片開きドア	W950×H2560 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状f	か所	4.0			
		煙感連動閉鎖装置 常時閉鎖型特定防火設備					
		付属金物一式					
	FSD-15(HWC前室) 片開きドア	W1200×H2560 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状f	か所	1.0			
		煙感連動閉鎖装置 常時閉鎖型特定防火設備					
		付属金物一式					
	FSD-16 2連片引きハンガードア	W1085×H2100 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	FSD-17 片開きドア	W1775×H2100 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状f	か所	1.0			
		煙感連動閉鎖装置 常時開放型不燃扉					
		付属金物一式					
	FSD-18 片開きドア	W2000×H2100 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状f	か所	1.0			
		煙感連動閉鎖装置 常時開放型不燃扉					
		付属金物一式					
	FSD-19 両開きドア	W1600×H1250 枠見込D3 杓摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSD-20 片開きドア	W600×H600 枠見込D2 枠:形状j	か所	3.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	SD-1 両開きドア	W2500×H2500 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	2.0			
		水圧解錠装置、付属金物一式					
	SD-2 両開きドア	W2000×H2400 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			
		アルミガラリH300、チャンバーボックス受金物 付属金物一式					
	SD-3 両開きドア	W2000×H2100 枠見込D2 杓摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			
		付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	SD-4 両開きドア	W2000×H2400 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			
		アルミガラリH300、チャンパーボックス受金物 付属金物一式					
	SD-5 両開きドア	W2500×H3200 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	2.0			
		アルミガラリH700、チャンパーボックス受金物 付属金物一式					
	SD-6 親子開きドア	W1400×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状a	か所	1.0			
		付属金物一式					
	SD-8 両開きドア	W1600×H2100 枠見込D2 T3、PAT 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		付属金物一式					
	SD-11 片開きドア	W800×H2100 枠見込D2 T3、PAT 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	1.0			
		付属金物一式					
	SD-12 片開きドア	W600×H2100 枠見込D2 T3、PAT 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状a	か所	1.0			
		付属金物一式					
	SD-13 片引きドア	W1030×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状j	か所	1.0			
		付属金物一式					
	SD-14 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状07、枠:形状i	か所	1.0			
		付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	SD-15 両開きドア	W1600×H2560 枠見込D2 T2、AT 査摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	2.0			
		付属金物一式					
	SD-16 片開きドア	W600×H600 枠見込D2 枠:形状i 付属金物一式	か所	2.0			
	SD-17 両開きドア	W900×H1200 枠見込D4 枠:形状i 付属金物一式	か所	12.0			
	SD-18 ハメ殺窓	φ 500 枠見込D2 付属金物一式	か所	1.0			
	SD-19 ハメ殺窓	φ 700 枠見込D2 付属金物一式	か所	1.0			
	SD-20 ハメ殺窓	φ 900 枠見込D2 付属金物一式	か所	1.0			
	SD-21 両引きドア	W13612×H2455 査摺:ステンレスHL 形状02 付属金物一式	か所	1.0			
	FSW-1 ハメ殺窓	W2280×H1200 枠見込D2 耐熱結晶化ガラス厚8	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSW-2 ハメ殺窓	W3090×H1200 枠見込D2 T3、SAT 耐熱結晶化ガラス厚8	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSW-3 ハメ殺窓	W5000×H1200 枠見込D2 T3、SAT 耐熱結晶化ガラス厚8	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSW-4 ハメ殺窓	W1150×H1200 枠見込D2 耐熱結晶化ガラス厚8	か所	2.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	FSW-5 ハメ殺窓	W3000×H2090 枠見込D2 多角形状 耐熱結晶化ガラス厚8	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSW-6 ハメ殺窓	W14292×H2090 枠見込D2 耐熱結晶化ガラス厚8	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	SW-1 片開きドア付ハメ殺窓	W3300×H2100 枠見込D2 T3,SAT 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		付属金物一式					
	SW-2 ハメ殺窓	W2064×H1200 枠見込D2 T3,SAT 付属金物一式	か所	1.0			
	SW-4 ハメ殺窓	W800×H2600 枠見込D2 付属金物一式	か所	1.0			
	<SF-1>						
	風除室1 三方枠	W1680×H1200 枠見込D2 枠形状h スチール厚1.6曲加工	か所	1.0			
	自販機置場2 三方枠	W800×H2100 枠見込D2 枠形状h スチール厚1.6曲加工	か所	1.0			
	WC1(女) 三方枠	W975×H2100 枠見込D2 枠形状h スチール厚1.6曲加工	か所	1.0			
	WC1(男) 三方枠	W900×H2100 枠見込D2 枠形状h スチール厚1.6曲加工	か所	1.0			
	器具庫1シャッター前 三方枠	W6640×H2500 枠見込D2 枠形状h スチール厚1.6曲加工	か所	1.0			
	一方枠	H2600 枠見込D2 枠形状h スチール厚1.6曲加工	か所	42.0			
	一方枠	H3000 枠見込D2 枠形状h スチール厚1.6曲加工	か所	3.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-1 親子開きドア	W1200×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		付属金物一式					
	LSD-2 親子開きドア	W1200×H2100 枠見込D2 PAT 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		額150×1800、付属金物一式					
	LSD-3 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 PAT 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		額150×1800、付属金物一式					
	LSD-4 片開きドア	W800×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	2.0			
		額150×950、ガラリ150×800 付属金物一式					
	LSD-5 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		付属金物一式					
	LSD-6 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	2.0			
		付属金物一式					
	LSD-7 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	LSD-8 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	1.0			
		付属金物一式					
	LSD-9 片開きドア	W900×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状i	か所	2.0			
		付属金物一式					
	LSD-10 片引きドア	W650×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	1.0			
		額75×75、付属金物一式					
	LSD-11 片引きドア	W1030×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	9.0			
		額150×950、ガラリ150×800 付属金物一式					
	LSD-11(書庫) 片引きドア	W1170×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	1.0			
		額150×950、ガラリ150×800 付属金物一式					
	LSD-11(選手更衣室1・2) 片引きドア	W1185×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	2.0			
		額150×950、ガラリ150×800 付属金物一式					
	LSD-12 片引きドア	W1030×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	5.0			
		額100×100、ガラリ150×800 付属金物一式					
	LSD-13 片引きドア	W1030×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	4.0			
		額150×950、ガラリ150×800 付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	LSD-14 片引きドア	W800×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	1.0			
		額150×950、ガラリ150×800 付属金物一式					
	LSD-15 3連片引きドア	W2290×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	1.0			
		額150×950、ガラリ150×800 付属金物一式					
	LSD-16 2連片引きドア	W1030×H2560 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	2.0			
		付属金物一式					
	LSD-17 4枚折戸	W1800×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	1.0			
		付属金物一式					
	LSD-18 片開きドア	W600×H2100 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状02、枠:形状j	か所	3.0			
		付属金物一式					
	LSD-19 両開きドア	W1200×H1200 枠見込D2 杢摺:ステンレスHL 形状05、枠:形状j	か所	1.0			
		付属金物一式					
	(ステンレス製建具)						
	SSD-1 ガラリ付、片開きドア、 引分け自動ドア付ハメ殺窓	W6700×H3235 枠見込D2 杢摺:形状03、下框本締錠	か所	1.0			
		アルミガラリH300、チャンパーボックス受金物 一部ダクト塞ぎアルミ樹脂複合板厚3					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
		付属金物一式					
	SSD-2 片開きドア、 引分け自動ドア付ハメ殺窓	W6700×H3000 枠見込D2 杓摺:形状03、下框本締錠	か所	1.0			
		付属金物一式					
	SSD-3 引分自動ドア、突出 排煙ランマ窓付ハメ殺窓	W3777×H3000 下框本締錠、付属金物一式	か所	1.0			
	SSD-6 片引自動ドア付ハメ殺窓	W2030×H2560 枠見込D2 下框本締錠、付属金物一式	か所	1.0			
	SSD-7 ハメ殺窓	W400×H1660 枠見込D2 付属金物一式	か所	2.0			
	(シャッター)						
	FSS-1 重量スチール電動シャッター	W6240×H2500 枠見込D2 障害物感知器、開閉器(バッテリー内蔵)	か所	1.0			
		常時閉鎖型特定防火設備 付属金物一式					
	FSS-2 重量スチール電動シャッター	W3390×H2990 枠見込D2 障害物感知器、開閉器(バッテリー内蔵)	か所	1.0			
		煙感連動閉鎖装置付 常時閉鎖型特定防火設備					
		付属金物一式					
	SS-1 軽量スチール電動シャッター	W3200×H1800 障害物感知器、開閉器(バッテリー内蔵)	か所	1.0			
		付属金物一式					

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(自動開閉装置)						
	AW-6 自動開閉装置	安全光線装置	か所	1.0			
	AD-1 自動開閉装置	安全光線装置	か所	1.0			
	SSD-1 自動開閉装置	安全光線装置	か所	1.0			
	SSD-2 自動開閉装置	安全光線装置	か所	1.0			
	SSD-3 自動開閉装置	安全光線装置	か所	1.0			
	SSD-6 自動開閉装置	安全光線装置	か所	1.0			
	16 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
17	ガラス工事						
	LoW-E複層ガラス	Low-E(LQ)FL6+A12+FL5 2.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	257.0			
	LoW-E複層ガラス	Low-E(LQ)FL6+A12+FL5 4.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	9.7			
	LoW-E複層ガラス	Low-E(LQ)TP5+A12+TP5 2.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	28.6			
	LoW-E複層ガラス	Low-E(LQ)TP5+A12+TP5 4.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	6.3			
	LoW-E複層ガラス	Low-E(LQ)TP5+A12+TP6 2.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	43.1			
	フロート板ガラス	FL6 2.18m2以下 シーリング・清掃共	m2	14.8			
	フロート板ガラス	FL6 4.45m2以下 シーリング・清掃共	m2	4.7			
	強化ガラス	TP5 2.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	2.1			
	強化ガラス	TP8 2.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	47.7			
	強化ガラス	TP8 4.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	2.1			
	(ガラス手摺)						
	強化合せガラス	TP5+5 2.00m2以下 シーリング・清掃共	m2	107.0			
	17 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
18	塗装工事						
	(外部)						
	外壁 DP塗り	押出成型セメント板面 素地ごしらえ共	m2	1,782.0			
	塞ぎ金物 DP塗り	鉄鋼面	m2	2.9			
	軒天 NAD塗り	B種 ケイカル板面 素地ごしらえ共	m2	1,667.0			
	軒天 EP塗り	B種 ケイカル板面 素地ごしらえ共	m2	7.9			
	軒天・梁型 NAD塗り	B種 ケイカル板面 素地ごしらえ共	m2	163.0			
	防護柵 SOP塗り	B種 鉄部 錆止め共	m2	28.2			
	(内部)						
	<巾木>						
	OSUC塗り(細幅物)	B種 木部 素地ごしらえ共	m	184.0			
	<壁>						
	壁 EP-G塗り	準不燃 B種 ボード面 素地ごしらえ共	m2	22.0			
	壁 EP-G塗り	不燃 B種 ボード面 素地ごしらえ共	m2	3,994.0			
	壁 EP-G塗り	不燃 B種 コンクリート面 素地ごしらえ共	m2	1,039.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	壁 EP-G塗り	B種 グラスウールボード面 素地ごしらえ共	m2	44.2			
	壁 EP-G塗り	B種 合板面 素地ごしらえ共	m2	17.9			
	〈天井〉						
	天井 EP-G塗り	不燃 B種 断熱材面 素地ごしらえ共	m2	174.0			
	天井 EP-G塗り	不燃 B種 木毛セメント板面 素地ごしらえ共	m2	73.8			
	天井 CL塗り	B種 木部 素地ごしらえ共	m2	243.0			
	廻縁 CL塗り(細幅物)	B種 木部 素地ごしらえ共	m	61.0			
	〈その他〉						
	パーテーション SOP塗り	B種 鉄部 錆止め共	m2	53.2			
	手摺・階段・鋼板巻 SOP塗り	B種 鉄部 錆止め共	m2	172.0			
	段鼻 SOP塗り(細幅物)	B種 鉄部 錆止め共	m	61.5			
	額縁・一方枠 SOP塗り(細幅物)	B種 鉄部 錆止め共	m	389.0			
	電気折上天井見切 SOP塗り(細幅物)	B種 鉄部 錆止め共	m	122.0			
	ビジョン笠木 SOP塗り(細幅物)	B種 鉄部 錆止め共	m	90.0			
	機械折上天井見切 CL塗り(細幅物)	B種 木部 素地ごしらえ共	m	8.6			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
19	内外装工事						
	(外部)						
	外壁フコ内 けい酸カルシウム板張り	厚8+8 突付	m2	234.0			
	外壁フコ内 けい酸カルシウム板張り	厚6 突付	m2	39.2			
	フコ内ボード-屋根取合い エキスパングム	厚2.0	m	210.0			
	軒天 けい酸カルシウム板張り	厚6 目透し	m2	1,667.0			
	軒天 けい酸カルシウム板張り	厚6 目透し 下張GB-R厚12.5共	m2	7.9			
	軒天・梁型 複合板張り	ケイカル板厚6+PF板厚50	m2	163.0			
	天井 廻縁	塩ビ	m	9.1			
	デッキ床 弾性系塗床		m2	1,620.0			
	階段・踊場 弾性系塗床		m2	398.0			
	排水溝 弾性系塗床	100×30	m	75.2			
	(内部)						
	〈床〉						
	床 ビニル床シート張り	厚2.0 マーブル	m2	1,402.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	階段 ビニル床シート張り	厚2.0 マーブル	m2	67.0			
	便所・更衣室床 ビニル床シート張り	厚2.0 ハンワックス	m2	344.0			
	シャワー室他床 ビニル床シート張り	厚2.0 防滑性	m2	64.5			
	多目的室・トレーニング室床 高弾性衝撃吸収シート張り	厚6.5	m2	328.0			
	備品庫倉庫床 複層ビニル床タイル張り	厚2.0	m2	18.8			
	床 タイルカーペット張り	厚6.5	m2	108.0			
	階段 タイルカーペット張り	厚6.5	m2	1.0			
	床 厚膜型塗床材	弾性ウレタン樹脂系塗床 防滑仕上げ	m2	347.0			
	床 防塵塗装	アクリル樹脂塗床 平滑仕上げ	m2	834.0			
	床 OAフロア	1.0G 5000N H100 鋼製支持脚分離型	m2	66.0			
	床 OAフロア	1.0G 5000N H300 鋼製支持脚分離型	m2	24.9			
	OAフロア用ボーター加工	H100	m	34.7			
	OAフロア用ボーター加工	H300	m	30.9			
	〈巾木〉						
	ビニル巾木	H60	m	848.0			
	床 ビニル床シート立上り	厚2.0 マーブル H100	m	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	〈壁〉						
	壁 石膏ボード張り	厚12.5 突付	m2	39.8			
	壁 石膏ボード張り	厚12.5 継目処理	m2	3.3			
	壁 石膏ボード張り	厚9.5 下張GB-R厚12.5共 突付	m2	611.0			
	壁 石膏ボード張り	厚9.5 下張GB-R厚12.5共 継目処理	m2	205.0			
	壁 石膏ボード張り	厚12.5 下張GB-R厚12.5共 継目処理	m2	1,028.0			
	壁 耐水石膏ボード張り	厚12.5 突付	m2	41.7			
	壁 耐水石膏ボード張り	厚12.5 継目処理	m2	1.4			
	壁 耐水石膏ボード張り	厚9.5 不燃 下張GB-R厚12.5共 突付	m2	9.4			
	壁 耐水石膏ボード張り	厚9.5 下張GB-R厚12.5共 継目処理	m2	1,975.0			
	壁 耐水石膏ボード張り	厚9.5 不燃 下張GB-R厚12.5共 継目処理	m2	566.0			
	壁 耐水石膏ボード張り	厚12.5 下張GB-NC厚9.5共 突付	m2	14.2			
	壁 耐水石膏ボード張り	厚12.5 下張GB-NC厚9.5共 継目処理	m2	12.5			
	ライニング壁 耐水石膏ボード張り	厚12.5 下張耐水合板厚12共 継目処理	m2	3.1			
	壁 けい酸カルシウム板張り	厚6 下張GB-S厚12.5共 突付	m2	24.4			
	壁 化粧けい酸カルシウム板張り	不燃 厚6 下張GB-S厚12.5共	m2	130.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	壁 メラン化粧板張り(下地のみ)	厚3 下張GB-S厚12.5+GB-NC厚9.5共	m2	851.0			
	ライニング壁 メラン化粧板張り	厚3 下張GB-S厚12.5+耐水合板厚12共	m2	81.5			
	壁 グラスウールボード張り	厚50 32kg/m3 ガラスクロス張り	m2	1,054.0			
	壁 グラスウール充填	厚50 24kg/m3	m2	181.0			
	壁 ミラーガラス張り	厚6 変性シリコン接着剤併用 下張ワゴン合板厚12共	m2	67.5			
	LW-2A 耐火間仕切壁	GB-H厚9.5+GB-F厚12.5 両面張り LGS厚65	m2	83.1			
	LW-2A 耐火間仕切壁	GB-H厚9.5+GB-F厚12.5 両面張り LGS厚65 曲面加工	m2	47.3			
	LW-2B 耐火間仕切壁	GB-F厚21+21 片面張り LGS厚65	m2	243.0			
	LW-2C 耐火間仕切壁	ケイカル厚6+GB-H厚9.5+GB-F厚12.5 両面張り LGS厚65	m2	129.0			
	LW-3 遮音壁A	GB-H厚9.5+GB-F厚12.5 両面張り LGS厚65 GW厚50 24kg/m3	m2	101.0			
	耐火・遮音間仕切壁 周囲処理		m	531.0			
	耐火・遮音間仕切壁 継目処理	テーパージェット	m2	462.0			
	フロア内ボード・天井取合い エキスパンゴム	厚2.0	m	331.0			
	<天井>						
	天井 化粧石膏ボード張り	厚9.5 トラバーチン	m2	371.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	天井 化粧石膏ボード張り	厚9.5 トラバーチン 不燃 下張GB-R厚12.5共	m2	79.5			
	天井 ロックウール化粧吸音板張り	厚12 フラットタイプ 下張GB-R厚12.5共	m2	809.0			
	天井 けい酸カルシウム板張り	厚12 突付 下張GB-R厚12.5共	m2	243.0			
	天井 アルミ樹脂複合板張り	厚3 木目調 下張GB-R厚12.5共	m2	54.6			
	天井 木毛セメント板張り	厚13 下張GB-NC厚9.5共	m2	73.8			
	天井 グラスウールボード張り	厚50 32kg/m3 ガラスクロス張り	m2	176.0			
	メインアリーナ天井 グラスウールボード張り	アルミTバー 厚50 32kg/m3 ガラスクロス張り	m2	1,078.0			
	天井 廻縁	塩ビ	m	1,175.0			
	〈断熱材〉						
	壁 硬質ウレタンフォーム吹付け	現場発泡厚30	m2	288.0			
	壁 硬質ウレタンフォーム吹付け	現場発泡厚50	m2	3,296.0			
	天井 硬質ウレタンフォーム吹付け	現場発泡厚50	m2	1,991.0			
	天井 ポリスチレンフォーム板打込み	厚40	m2	1,839.0			
	19 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
20	ユニット及びその他工事						
	(外部)						
	人工木デッキ	次世代再生木材 ランダムリブ25×145 鋼製床下地 H140	m2	7.0			
	人工木デッキ	次世代再生木材 ランダムリブ25×145 鋼製床下地 H280	m2	73.8			
	人工木デッキ幕板	次世代再生木材	m	23.2			
	人工木デッキスロープ	次世代再生木材 ランダムリブ25×145 鋼製床下地 L3850×D1200×H300	か所	2.0			
	人工木デッキスロープ端部	コンクリート製 溶接金網 φ5-100×100 L600×D1200×H65	か所	2.0			
	段鼻 スリット目地	W3×H3 3本	m	394.0			
	定礎パネル	文字:エッチング色差し ステンレスHL厚3 W400×H300	か所	1.0			
	A-1 名称サインA	W11000×H1000 ステンレス ボックス切り文字加工+	か所	1.0			
		正面アクリル+カッティングシート張り加工 LED照明発光チャンネル文字					
	A-2 名称サインB	W5500×H500 ステンレス ボックス切り文字加工+	か所	1.0			
		正面アクリル+カッティングシート張り加工 LED照明発光チャンネル文字					
	B-1 体育館入口記名サインA	W≒875×5×H600 インクジェット出力シート張り	か所	3.0			
	B-2 体育館入口記名サインB	W430×H50、W200×H20 カッティングシート切文字張り	か所	6.0			
	B-5 衝突防止 (A)	サッカー H30 インクジェットプリント(透明白色インク40%)	か所	112.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	B-5 衝突防止 (B)	ハスケ H30 インクジェットプリント(透明白色インク40%)	か所	112.0			
	B-5 衝突防止 (C)	ハトミント H30 インクジェットプリント(透明白色インク40%)	か所	112.0			
	B-5 衝突防止 (D)	ハレー H30 インクジェットプリント(透明白色インク40%)	か所	112.0			
	E-2 突出室名サイン	φ 300 ステンレスパイプ加工 塗装仕上 カッティングシート切文字	か所	1.0			
	E-2 室名記名サイン	カッティングシート切文字 H165	か所	1.0			
	E-3 カッティングシート	カッティングシート切文字 ピクト:H150、文字:H40	か所	1.0			
	E-8 利用案内	φ 600 床用インクジェット出力直張り	か所	1.0			
	H-1 搬入口記名サイン	カッティングシート切文字 H70、30	か所	2.0			
	H-2 関係者様室名サイン	カッティングシート切文字 H30	か所	24.0			
	H-3 施設関連室名サイン	カッティングシート切文字 H25	か所	17.0			
	仮設用看板	アルミ複合板厚3 外部用塩ビシート張り W1000×H2000	か所	1.0			
	軒天 防鳥ネット	15mmマス目 W27000×H2500	か所	1.0			
	注意喚起用床材	300×300 (1-01-7)	か所	268.0			
	郵便ポスト		か所	1.0			
	消火器ボックス	置型 10型消火器用	か所	7.0			
	消火器ボックス	置型 20型消火器用	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	地流し	複層塗材RE 900×850 グレーチング(細目)T-2共	か所	1.0			
	地流し	複層塗材RE 2100×650 グレーチング(細目)T-2共	か所	1.0			
	雨水桧	PC 500×500×H550 グレーチング蓋 T-2	か所	17.0			
	(内部)						
	〈メインアリーナ〉						
	アリーナ床 弾性長尺シート張り	屋内スポーツ用厚2.1 国際認定品 捨張りラワン構造用合板厚15	m2	1,863.0			
		捨張針葉樹構造用合板厚15 デッキプレート、保護装置付緩衝材					
		大引:□-100×100×3.2@1200 端部材:□-60×60×2.3 2段					
		束:サポートパイプ φ 48.6×2.3 @1200×1200、アンカーボルト φ 12.7固定共					
	アリーナ床 開口補強部材	Lアングル2.3mm	m	35.5			
	アリーナ床 開口補強部材	□-60×60×2.3 2段	m	244.0			
	アリーナ床 エキスパンゴム	18×20	m	184.0			
	アリーナ床 換気口	ステンレスグレーチング Tバー フォーミング材 200×1000	か所	22.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	アリーナ床 床下点検口	アルミ枠 鍵付 600×600	か所	4.0			
	メインバスケットボールコート	28000×15000 実線ライン幅50	面	1.0			
	サブバスケットボールコート	28000×15000 実線ライン幅50	面	2.0			
	メインバレーボールコート	6人制 18000×9000 実線ライン幅50	面	1.0			
	サブバレーボールコート	6人制 18000×9000 実線ライン幅50	面	3.0			
	バドミントンコート	13400×6100 実線ライン幅40	面	10.0			
	剣道コート	11000×11000 実線ライン幅50	面	6.0			
	バレーボールコート	9人制 21000×10500 実線ライン幅50	面	2.0			
	バレーボール用金具	コンクリート充填共	か所	14.0			
	床金具開閉用		か所	8.0			
	多目的室1 ダンスバー	L2400	か所	1.0			
	多目的室2 ダンスバー	L5640	か所	1.0			
	中央分割ネット	電動取外し式 ポリエチレン110mm目 W38000×H8400	か所	1.0			
	Y通り観客席前ネット	取外し式 ポリエチレン110mm目 W47000×H6000	か所	2.0			
	照明ハットン(1)	電動昇降ワイヤ巻取り式 L12700	か所	1.0			
	照明ハットン(2)	電動昇降ワイヤ巻取り式 L12700	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	美術バトン	電動昇降ワイヤ巻取り式 L12700	か所	1.0			
	観覧席	高密度ポリエチレン フロー成形品 W380/440 固定席 脚:アルミ合金タイヤキャスト	か所	1,169.0			
	観覧席	高密度ポリエチレン フロー成形品 W380/440 仮固定席 脚:アルミ合金タイヤキャスト	か所	8.0			
	観覧席	高密度ポリエチレン フロー成形品 W380/440 支援席 脚:アルミ合金タイヤキャスト	か所	2.0			
	観覧席	高耐久性立体メッシュ生地 W445 前板:メラミン化粧板張り	か所	101.0			
	〈サブアリーナ〉						
	アリーナ床 弾性長尺シート張り	屋内スポーツ用厚2.1 国際認定品 捨張りアワン構造用合板厚15	m2	845.0			
		捨張針葉樹構造用合板厚15 デッキプレート、保護装置付緩衝材					
		大引:□-100×100×3.2@1200 端部材:□-60×60×2.3 2段					
		束:サポートパイプ φ 48.6×2.3 @1200×1200、アンカーボルト φ 12.7固定共					
	アリーナ床 開口補強部材	Lアングル2.3mm	m	17.2			
	アリーナ床 開口補強部材	□-60×60×2.3 2段	m	137.0			
	アリーナ床 エキスパンゴム	18×20	m	126.0			
	アリーナ床 換気口	ステンレスグレーチング Tバー フォーミング材 200×1000	か所	8.0			
	アリーナ床 床下点検口	アルミ枠 鍵付 600×600	か所	4.0			
	バスケットボールコート	28000×15000 実線ライン幅50	面	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	バレーボールコート	6人制 18000×9000 実線ライン幅50	面	1.0			
	バレーボールコート	9人制 21000×10500 実線ライン幅50	面	1.0			
	バドミントンコート	13400×6100 実線ライン幅40	面	4.0			
	バレーボール用金具	コンクリート充填共	か所	8.0			
	床金具開閉用		か所	3.0			
	バスケットゴール	壁面固定無線電動折畳式	対	1.0			
	〈その他〉						
	〈01〉 1階受付カウンター	W(3300+900)×D850/1000×H950 天板:メラミン化粧板張り	か所	1.0			
		立上りR部:県産材ヒノキ突板シート アオリ戸W800×H660共					
	〈04〉 1階ショーケース	W4020×D800×H3000 県産材ヒノキ突板シート	か所	1.0			
		扉:強化透明ガラス厚12 可動棚板D392/600:透明ガラス厚10					
		下部収納共					
	〈05-a〉 1階下足入れ(長靴)	W2540×D400×H1015 メラミン化粧板張り、内部:ポリ合板	か所	1.0			
	〈05-b〉 1階下足入れ(長靴)	W3700×D400×H1015 メラミン化粧板張り、内部:ポリ合板	か所	1.0			
	〈06〉 1階下足入れ	W2380×D420×H1600 メラミン化粧板張り、内部:ポリ合板	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	<08> 2階キッチンカウンター	W4518×D350/500×H1110 天板:メラミン化粧板、腰:木製リブ付	か所	1.0			
		アオリ戸:県産材ヒノキ突板シート W800×H1040共					
	<09-a> ベンチA	W6631.7×D751.9×H631.6 座板:ホワイトアッシュ無垢材	か所	1.0			
		本体:国産メジロカハ杉芯合板					
	<09-b> ベンチB	W6052.8×D751.9×H631.6 座板:ホワイトアッシュ無垢材	か所	1.0			
		本体:国産メジロカハ杉芯合板					
	<09-c> ベンチC	W4060.3×D751.9×H631.6 座板:ホワイトアッシュ無垢材	か所	2.0			
		本体:国産メジロカハ杉芯合板					
	<10> 選手更衣室ロッカー	W4500×D650×H1900 ベンチ座面:ビニールレザー張	か所	4.0			
		引出し収納:キャスター式 正面メラミン化粧板張					
		ハンガーパイプ(φ32SUS巻きst芯)共					
	風除室1車椅子置場 収納棚	W1680×D1000 メラミン化粧板(ホリ合板)厚50	か所	1.0			
	1F更衣室 ロッカー	W600×D515×H1790 2人用 シリンダー錠	か所	8.0			
	1F更衣室 ロッカー	W900×D615×H1790 9人用 シリンダー錠	か所	14.0			
	流し台	W1000×D560×H890 吊戸棚D360×H500共	か所	4.0			
	流し台水切り	ステンレス製 奥行き55mm	m	4.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	喫茶コーナー1 吊戸棚	木工メラミン化粧板 W3350×D510×H500 幕板H700共	か所	1.0			
	喫茶コーナー1 冷凍冷蔵庫	W625×D800×H1910	か所	1.0			
	喫茶コーナー1 一槽シンク	W600×D750×H850	か所	1.0			
	喫茶コーナー1 戸棚付作業台	W1100×D750×H850	か所	1.0			
	喫茶コーナー1 IHクッキングヒーター	W304×D345×H54	か所	1.0			
	喫茶コーナー1 レジ台	W900×D750×H850	か所	1.0			
	喫茶コーナー1 ビールテーブル	W750×D750×H850	か所	1.0			
	多目的シャワーユニット	1825タイプ	か所	2.0			
	更衣室シャワーユニット		か所	12.0			
	更衣室(男) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W1710×D600×H800 ボールー一体型	か所	1.0			
	更衣室(女) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W2510×D600×H800 ボールー一体型	か所	1.0			
	選手更衣室1・2 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W1730×D600×H800 ボールー一体型	か所	2.0			
	キッズトイレ 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W880×D600×H800 ボールー一体型	か所	1.0			
	WC1(男) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W5220×D600×H800 ボールー一体型	か所	1.0			
	WC1(女) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W5145×D600×H800 ボールー一体型	か所	1.0			
	WC2(男) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W1900×D600×H800 ボールー一体型	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	WC2(女) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W2670×D600×H800 ボールー体型	か所	1.0			
	WC3(男) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W1800×D600×H800 ボールー体型	か所	1.0			
	WC3(女) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W3511×D600×H800 ボールー体型	か所	1.0			
	WC4(男) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W2640×D600×H800 ボールー体型	か所	1.0			
	WC4(女) 洗面カウンター	メラミンポストフォーム厚25 W2855×D600×H800 ボールー体型	か所	1.0			
	WC1(女)パウダーコーナー カウンター	メラミン化粧板カウンター W2050×D300 ブラケット:FB-30×4.5加工	か所	1.0			
		H150×D250@450共					
	WC4(女)パウダーコーナー カウンター	メラミン化粧板カウンター W1510×D300 ブラケット:FB-30×4.5加工	か所	1.0			
		H150×D250@450共					
	ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W150	m	3.3			
	ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W200	m	44.2			
	ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W250	m	49.6			
	WC3(男) ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W1800×D0～450	か所	1.0			
	WC3(男) ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W1000×D100～264	か所	1.0			
	WC4(男) ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W1001×D143～250	か所	1.0			
	WC3(女) ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W1089×D236～284	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	WC3(女) ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W1005×D250 柱欠き加工330×164	か所	1.0			
	WC3(女) ライニング甲板	メラミンポストフォーム厚20 W3511×D74～100	か所	1.0			
	鏡A	クリアミラー厚5 下地合板厚5 W450×H1000	か所	45.0			
		押え金物ステンレスHL 15×20×40					
	WC1(女) 鏡B	クリアミラー厚5 下地合板厚5 W2050×H1000	か所	1.0			
		押え金物ステンレスHL 15×20×40					
	姿見	クリアミラー厚5 下地合板厚5 W360×H1500	か所	20.0			
		押え金物ステンレスHL 15×20×40					
	L型手摺	樹脂被覆タイプφ34 W600×H700 取付プレート共	か所	49.0			
	跳ね上げ式手摺	樹脂被覆タイプφ34 W700 取付プレート共	か所	5.0			
	小便器用手摺	樹脂被覆タイプφ34 W600×D550 取付プレート共	か所	4.0			
	カウンター用手摺	樹脂被覆タイプφ34 W550×H750 壁床固定式 取付プレート共	か所	16.0			
	ベビーチェア		か所	37.0			
	ベビーシート		か所	13.0			
	1F授乳室1 ベビーベッド		か所	1.0			
	ユニバーサルシート		か所	4.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	フィッティングボード		か所	9.0			
	ジェットタオル		か所	10.0			
	タオル掛け	ステンレス 472×65×52	か所	14.0			
	座付帽子掛け	モップ掛け L600	か所	3.0			
	小物棚	ステンレス 535×234×121	か所	3.0			
	汚垂石	W300	m	1.1			
	汚垂石	W500	m	1.0			
	汚垂石	W600	m	19.8			
	TB-1 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W1740×D1720×H2600	か所	2.0			
	TB-2 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W3180×D1640×H2600	か所	1.0			
	TB-3 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W2280×D1640×H2600	か所	1.0			
	TB-4 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W2610×D1640×H2600	か所	1.0			
	TB-5 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W800×H1500	か所	4.0			
	TB-6 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W3858×D2350×H2600	か所	1.0			
	TB-7 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W1600×H2600	か所	2.0			
	TB-8 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W800×H1000	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	TB-9 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W8300×D1645×H2600	か所	1.0			
	TB-10 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W5710×D1180×H2600	か所	1.0			
	TB-11 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W3380×D1686×H2600	か所	1.0			
	TB-12 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W3190×D1591×H2600	か所	1.0			
	TB-13 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W1760×D1440×H2600	か所	1.0			
	TB-14 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W3080×D1190×H2600	か所	1.0			
	TB-15 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W2104×D1240×H2600	か所	1.0			
	TB-16 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W2053×D1399×H2600	か所	1.0			
	TB-17 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W3590×D1141×H2600	か所	1.0			
	TB-18 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W5170×D1400×H2600	か所	1.0			
	TB-19 トイレブース	メラミン化粧合板フラッシュ W1298×H2600	か所	1.0			
	SLW-1 スライディングウォール	W7605.5×H2800 スチール 付属金物一式	か所	1.0			
	SLW-2 スライディングウォール	W5770×H2800 スチール 付属金物一式	か所	1.0			
	SLW-3 スライディングウォール	W2334×H2800 スチール 付属金物一式	か所	1.0			
	SP-1 片開き付、両開き スチールパーテーション(片面)	W2400×H2400 付属金物一式	か所	2.0			
	SP-2 片開き付、両開き スチールパーテーション(片面)	W1860×H2400 付属金物一式	か所	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	トレーニング室 掲示板	掲示板リリウム厚6+ラワン合板厚9 W1800×H1000 アルミアングル9×9厚1共	か所	1.0			
	廊下3 掲示板	掲示板リリウム厚6+ラワン合板厚9 W1840×H2600 アルミアングル9×9厚1共	か所	1.0			
	廊下3 掲示板	掲示板リリウム厚6+ラワン合板厚9 W7800×H2600 アルミアングル9×9厚1共	か所	1.0			
	エントランス 掲示板	掲示板リリウム厚6+ラワン合板厚9 W2990×H3000 アルミアングル9×9厚1共	か所	1.0			
	エントランス 掲示板	掲示板リリウム厚6+ラワン合板厚9 W4700×H3000 アルミアングル9×9厚1共	か所	1.0			
	廊下2 掲示板	掲示板リリウム厚6+ラワン合板厚9 W5000×H3000 アルミアングル9×9厚1共	か所	1.0			
	1F事務室 ホワイトボード	W900×H1200	か所	2.0			
	大会役員室1・2 ホワイトボード	W1200×H900	か所	2.0			
	B-3a 総合案内サイン	φ 800上下×2 円型絞り加工+ 鏡面仕上、取付ベースSUS2B内箱式	か所	1.0			
	B-3b 注意事項表示	W800×H800 インクジェット出力シート張り	か所	1.0			
	B-4 受付記名サイン	φ 300 ABAメタクロム仕上、 カッティングシート張り	か所	1.0			
		アクリル切文字厚3 H30、H70					
	C-1 EVホール前案内サイン	W400×H3000 ペイントフィルム直張り	か所	2.0			
	C-3 上下誘導サイン	W1200×H3000 ペイントフィルム直張り	か所	1.0			
	C-5 階段階数サイン	W477×H700 ペイントフィルム直張り	か所	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	D-1 フロア誘導サイン	φ 300、250ABAメタクロム仕上、 カッティングシート張り	か所	4.0			
		アクリル切文字厚3 H65、H40					
	D-1-1 フロア誘導サイン	カッティングシート張り H50、30、φ 250	か所	8.0			
	D-2 フロア案内	φ 400×2 ABAメタクロム仕上 カッティングシート張り	か所	3.0			
	D-3-1 観覧席案内	φ 400 ABAメタクロム仕上 カッティングシート張り	か所	3.0			
	D-3-2 メインアリーナ座席案内	W800×H1200 ペイントフィルム直張り	か所	20.0			
	D-4 床面インクジェット	φ 300 床用インクジェット出力直張り	か所	22.0			
	D-5 メインアリーナ天吊サイン	φ 400 アクリルパイプカット加工 塗装仕上げ M6吊りボルト共	か所	2.0			
	D-6 トアサイン	カッティングシート切文字張り H20、30	か所	28.0			
	E-1 メインアリーナ	ステンレス厚5HL 切文字 H400 7文字	か所	2.0			
	E-2 突出室名サイン	φ 300 ステンレスパイプ加工 塗装仕上 カッティングシート切文字	か所	13.0			
	E-2 室名記名サイン	カッティングシート切文字 H165	か所	13.0			
	E-3 カッティングシート	カッティングシート切文字 ピクト:H150、文字:H40	か所	14.0			
	E-5 トイレ・コーナー記名サインB	φ 300 ステンレス曲げ加工 塗装仕上 カッティングシート切文字	か所	12.0			
	E-5-2 トイレ案内サイン	W300×H300 アクリル厚3 インクジェット出力張り	か所	8.0			
	E-6 身障者観覧席記名サイン	φ 300 床用インクジェット出力直張り	か所	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
E-9	寄付者芳名板	φ 150 ステンレス厚1.6 シボリ加工	か所	10.0			
G-1	避難経路図	φ 450 アクリル厚3 インクジェット出力張り	か所	11.0			
J-1	視覚障害者用点字シート	W115×H150 表示面: 透明ポリカーボネートシート、シルクスクリーン印刷	か所	8.0			
J-2	トイレ触知板	W300×H300 アクリル厚3 インクジェット出力張り	か所	1.0			
H-2	関係者様室名サイン	カッティングシート切文字 H30	か所	10.0			
H-3	施設関連室名サイン	カッティングシート切文字 H25	か所	6.0			
D-7	フロア誘導床サイン	800×800,600×600 床用インクジェット出力直張り	か所	1.0			
	視覚障害者点字鋇	ステンレス 点鋇タイプ 300×300	か所	63.0			
	視覚障害者点字鋇	ステンレス 線状タイプ 300×300	か所	24.0			
	風除室 防護柵	ステンレスHL W900×H1000 笠木:FB-9×50、強化ガラス厚8共	か所	10.0			
	電気設備用 折上天井	W750×H300 LGS+GB-R厚12.5+GB-H厚9.5+EP	m	61.2			
		台座:GB-R厚9.5 W250共					
	機械設備用 折上天井	W500×H200 LGS+GB-R厚9.5+EP	m	8.6			
	機械設備用 折上天井	W500×H200 LGS+GB-R厚9.5+EP ビニル見切縁共	m	45.9			
	ダウンライト廻り天井	W150 LGS+GB-R厚12.5+EP	m	56.4			
	廊下1-エントランスホール 防煙垂壁	H500	m	3.7			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	防垂-1 防煙垂れ壁	W3200×H500 可動式:垂直降下式(巻取型)	か所	1.0			
		不燃布(ガラス繊維塩ビコーティング) 開閉器(バッテリー内蔵)					
		SUSガイドレール、まぐさ、座板(可動式) 煙感連動閉鎖装置 手動開放装置					
		(埋込型)					
	多目的室1 スクリーンボックス	W220×H200 L5000 吊金物L-40×40×3.2、吊ボルトW3/8共	か所	1.0			
	多目的室1 スクリーン	W5000	か所	1.0			
	電動ロールスクリーン	アルミニウム合金 アルマイトクリアー仕上 W1800×H2210	か所	6.0			
	コーナーガード	ビニールカーソフトアングル20×20	m	298.0			
	消火器ボックス	W288×D191.1×H693 スチール製 埋込型	か所	27.0			
	キーボックス	既製品 80本用	か所	1.0			
	20 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
21	外構工事						
	舗装2 嵌合型舗装ブロック	(日本興業:フラットペイプ同等品) 厚60 透水タイプ	m2	240.0			
	舗装3 嵌合型舗装ブロック	(日本興業:フラットペイプ同等品) 厚60 透水タイプ 山砂厚30	m2	404.0			
		透水シート、再生クラッシュラン厚100					
	舗装3 現場フレート盛土		m3	3,855.0			
	舗装機械運搬		式	1.0			
	(歩道切下げ部)						
	境界ブロック	L10000 W200×H50	か所	1.0			
	21 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
22	撤去工事						
	アスファルト舗装撤去	厚50	m2	1,224.0			
	縁石(B)撤去	歩車道境界ブロック 150/170×200	m	870.0			
	縁石撤去	歩車道境界ブロックC	m	399.0			
	U字溝撤去	U-240 蓋共	m	419.0			
	車止め撤去	スチールW600×H1000 基礎共	か所	3.0			
	防球ネット撤去	H3750 基礎共	m	59.5			
	相撲場撤去	12000×12000×H2300 S造 屋根、野地板、基礎共	か所	1.0			
	相撲場土俵撤去	7000×7000×H400	か所	1.0			
	相撲場階段撤去	RC造 W1500×D1250×H1250	か所	8.0			
	相撲場周囲法面 敷き均し		m2	421.0			
	プレハブ物置撤去	5600×7000	か所	1.0			
	外灯撤去	H4500 基礎共	か所	4.0			
	屋外時計撤去	H4500 基礎共	か所	1.0			
	フラッグポール撤去	H8000×1、H7000×2 基礎共	か所	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	災害用トイレ用マンホール撤去		か所	7.0			
	仮囲いメッシュシート撤去	H1.0	m	447.0			
	1.汚水枥撤去	RC製 φ 600 H900 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	2.汚水枥撤去	RC製 φ 600 H1150 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	3.汚水枥撤去	RC製 φ 600 H1400 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	4.汚水枥撤去	RC製 φ 900 H1650 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	5.汚水枥撤去	RC製 φ 900 H1700 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	6.汚水枥撤去	RC製 φ 900 H1800 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	7.汚水枥撤去	RC製 φ 900 H2000 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	8.汚水枥撤去	RC製 φ 600 H600 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	9.汚水枥撤去	RC製 φ 600 H600 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	10.汚水枥撤去	RC製 φ 300 H450 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	11.汚水枥撤去	RC製 φ 300 H450 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	12.汚水枥撤去	RC製 φ 300 H450 鋳鉄製防護蓋共	か所	1.0			
	給水管撤去	VP φ 20	m	21.0			
	給水管撤去	VP φ 30	m	95.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	給水管撤去	VPφ40	m	340.0			
	給水管撤去	VPφ50	m	31.0			
	給水管撤去	VPφ75	m	97.0			
	排水管撤去	HPφ200	m	271.0			
	排水管閉塞		か所	2.0			
	給水・排水管廻り 根切		m3	1,194.0			
	給水・排水管廻り 埋戻し		m3	1,194.0			
	A-25 サツキツツジ 伐採・伐根	H0.7	m2	60.0			
	A-26 サクラ 伐採・伐根	H3.5 C0.21 W2.0	本	1.0			
	A-69 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C1.65 W7.0	本	1.0			
	A-72 サクラ 伐採・伐根	H5.5 C1.05 W6.0	本	1.0			
	A-97 トウカエデ 伐採・伐根	H6.0 C0.78 W5.0	本	1.0			
	A-98 モミジ 伐採・伐根	H6.0 C0.75 W7.0	本	1.0			
	A-99 サクラ 伐採・伐根	H9.0 C1.80 W10.0	本	1.0			
	A-100 ケヤキ 伐採・伐根	H6.0 C1.35 W8.0	本	1.0			
	A-101 ケヤキ 伐採・伐根	H6.0 C1.05 W8.0	本	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	A-102 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C0.84 W6.0	本	1.0			
	A-103 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C1.35 W8.0	本	1.0			
	A-104 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C3.0 W9.0	本	1.0			
	A-105 トウカエデ [*] 伐採・伐根	H6.0 C0.99 W7.0	本	1.0			
	A-106 トウカエデ [*] 伐採・伐根	H6.0 C0.9 W6.0	本	1.0			
	A-107 トウカエデ [*] 伐採・伐根	H6.0 C0.9 W6.0	本	1.0			
	A-108 ケヤキ 伐採・伐根	H9.0 C1.65 W9.0	本	1.0			
	A-109 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C0.9 W8.0	本	1.0			
	A-110 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C0.9 W4.0	本	1.0			
	A-111 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C1.2 W9.0	本	1.0			
	A-111 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C1.2 W9.0	本	1.0			
	A-112 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C1.92 W6.0	本	1.0			
	A-113 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C1.2 W8.0	本	1.0			
	A-118 オオムラサキツツジ [*] 伐採・伐根	H1.5	本	36.0			
	A-119 オオムラサキツツジ [*] 伐採・伐根	H1.5	本	51.0			
	A-126 ケヤキ 伐採・伐根	H7.0 C1.05 W5.0	本	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	A-128 モミジ 伐採・伐根	H5.0 C0.54 W8.0	本	1.0			
	A-129 モミジ 伐採・伐根	H5.0 C0.6 W8.0	本	1.0			
	A-130 サクラ 伐採・伐根	H5.0 C1.32 W7.0	本	1.0			
	A-131 サクラ 伐採・伐根	H5.0 C1.05 W7.0	本	1.0			
	A-132 サクラ 伐採・伐根	H6.0 C2.73 W10.0	本	1.0			
	A-133 サクラ 伐採・伐根	H2.5 C0.3 W4.0	本	1.0			
	A-136 ケヤキ 伐採・伐根	H10.0 C1.35 W8.0	本	1.0			
	A-137 サクラ 伐採・伐根	H7.0 C1.5 W7.0	本	1.0			
	A-138 ケヤキ 伐採・伐根	H10.0 C1.5 W8.0	本	1.0			
	A-139 モミジ 伐採・伐根	H5.0 C0.81 W5.0	本	1.0			
	A-140 ケヤキ 伐採・伐根	H10.0 C1.2 W10.0	本	1.0			
	A-141 サクラ 伐採・伐根	H5.0 C2.4 W5.0	本	1.0			
	A-142 ケヤキ 伐採・伐根	H11.0 C2.1 W11.0	本	1.0			
	A-143 トウカエデ [*] 伐採・伐根	H10.0 C0.9 W8.0	本	1.0			
	A-144 オオムラサキツツジ [*] 伐採・伐根	H1.3	本	81.0			
	A-145 トウカエデ [*] 伐採・伐根	H10.0 C0.9 W4.0	本	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	A-146 サクラ 伐採・伐根	H3.5 C0.36 W7.0	本	1.0			
	A-147 モミジ 伐採・伐根	H5.0 C0.6 W3.0	本	1.0			
	A-148 モミジ 伐採・伐根	H4.0 C1.11 W5.0	本	1.0			
	A-155 トウダンツツジ 伐採・伐根	H2.0 C0.18 W1.0	本	1.0			
	A-156 トウダンツツジ 伐採・伐根	H2.0 C0.6 W1.2	本	1.0			
	A-157 トウダンツツジ 伐採・伐根	H2.5 C0.6 W2.0	本	1.0			
	(歩道切下げ部)						
	境界ブロック撤去	W200×H200	m	10.0			
	(発生材積込み)						
	発生材積込み	無筋コンクリート	m3	79.4			
	発生材積込み	アスファルト	m3	61.2			
	発生材積込み	混合廃棄物	m3	2.4			
	発生材積込み	木くず	m3	1.7			
	発生材積込み	廃プラスチック	m3	0.4			
	発生材積込み	樹木くず	m3	108.0			
	(発生材運搬)						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	発生材運搬	無筋コンクリート	m3	79.4			
	発生材運搬	アスファルト	m3	61.2			
	発生材運搬	混合廃棄物	m3	2.4			
	発生材運搬	木くず	m3	1.7			
	発生材運搬	廃プラスチック	m3	0.4			
	発生材運搬	樹木くず	m3	108.0			
	(発生材処分)						
	発生材処分	無筋コンクリート	t	183.0			
	発生材処分	アスファルト	m3	61.2			
	発生材処分	混合廃棄物	m3	2.4			
	発生材処分	木くず	m3	1.7			
	発生材処分	廃プラスチック	m3	0.4			
	発生材処分	樹木くず	m3	108.0			
	有価物売却費	H2 鉄骨くず	t	0.03			
	有価物売却費	H4 金属くず	t	1.3			
	有価物売却費	アルミくず	t	0.1			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
Ⅱ	昇降機設備工事						
	昇降機設備	人荷共用兼車いす用 1200kg/18人乗 60m/min	式	1.0			
		停止階:2か所(正面:1階、背面:2階) かご:1400×2000×2300					
		出入口:W1800×H2100 乗合全自動方式					
		耐震クラスS14 三方枠:ステンレスヘアライン仕上					
		乗場戸:鋼板単色塗装仕上 敷居:ステンレス製					
		インジケータ:縦型デジタル表示 ホールボタン:抗菌凸文字ボタン(φ45)					
		床:ゴムタイルt6 管制運転(地震・火災・停電)					
		乗場戸遮煙性能付き仕様(2か所)					
	計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
B	電 気 設 備 工 事						
I	本体電気設備工事		式	1.0			
	B - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
I	本体電気設備工事						
1	電 灯 設 備	電灯幹線	式	1.0			
2	電 灯 設 備	電灯分岐(照明)	式	1.0			
3	電 灯 設 備	電灯分岐(非常照明・誘導灯)	式	1.0			
4	電 灯 設 備	電灯分岐(コンセント)	式	1.0			
5	電 灯 設 備	舞台照明	式	1.0			
6	動 力 設 備	動力幹線	式	1.0			
7	動 力 設 備	動力分岐	式	1.0			
8	雷 保 護 設 備		式	1.0			
9	受 変 電 設 備		式	1.0			
10	電 力 貯 蔵 設 備	直流電源装置	式	1.0			
11	発 電 設 備	発電機	式	1.0			
12	発 電 設 備	太陽光発電	式	1.0			
13	構内情報通信網設備		式	1.0			
14	構 内 交 換 設 備		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
15	電 気 時 計 設 備		式	1.0			
16	映 像 ・ 音 響 設 備	多目的室	式	1.0			
17	音 響 設 備	メインアリーナ	式	1.0			
18	大 型 映 像 表 示 設 備		式	1.0			
19	拡 声 設 備		式	1.0			
20	誘 導 支 援 設 備	インターホン	式	1.0			
21	誘 導 支 援 設 備	トイレ呼出表示	式	1.0			
22	テレビ共同受信設備		式	1.0			
23	監 視 カ メ ラ 設 備		式	1.0			
24	機 械 警 備 設 備		式	1.0			
25	入 退 室 管 理 設 備		式	1.0			
26	火 災 報 知 設 備	自動火災報知	式	1.0			
27	火 災 報 知 設 備	自動閉鎖	式	1.0			
28	構 内 配 電 線 路	電力引込み	式	1.0			
29	構 内 配 電 線 路	外灯	式	1.0			
30	構 内 通 信 線 路	通信引込み	式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備	電灯幹線					
	EM-IE8mm2	管内	m	80			
	EM-IE22mm2	管内	m	508			
	EM-IE60mm2	管内	m	626			
	導入線 1.2mm 樹脂	管内	m	74			
	EM-FP8-2C	管内	m	84			
	EM-FP8-2C	ラック	m	398			
	EM-FP8-2C	コロガシ	m	4			
	EM-FP8-3C	管内	m	16			
	EM-FP8-3C	ラック	m	50			
	EM-CE8-3C	管内	m	2			
	EM-CE8-3C	ラック	m	3			
	EM-CET22	管内	m	21			
	EM-CET22	ラック	m	7			
	EM-CET38	管内	m	7			
	EM-CET38	ラック	m	88			

名 称	内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
EM-CET38	コロガシ	m	1			
EM-CET60	管内	m	8			
EM-CET60	ラック	m	70			
EM-CET100	管内	m	54			
EM-CET100	ラック	m	622			
EM-CET100	コロガシ	m	1			
EM-CET150	管内	m	102			
EM-CET150	ラック	m	1,055			
EM-CET150	コロガシ	m	8			
EM-CET200	管内	m	14			
EM-CET200	ラック	m	69			
EM-CET250	管内	m	44			
EM-CET250	ラック	m	425			
ねじなし電線管(E管)	25mm 隠ぺい	m	14			
ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	65			
ねじなし電線管(E管)	51mm 隠ぺい	m	9			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ねじなし電線管(E管)	51mm 露出	m	15			
	ねじなし電線管(E管)	63mm 隠ぺい	m	1			
	ねじなし電線管(E管)	63mm 露出	m	3			
	ねじなし電線管(E管)	75mm 隠ぺい	m	5			
	ねじなし電線管(E管)	75mm 露出	m	1			
	厚鋼電線管(G管)	28mm 露出	m	18			
	厚鋼電線管(G管)	42mm 露出	m	18			
	厚鋼電線管(G管)	82mm 隠ぺい	m	25			
	厚鋼電線管(G管)	82mm 露出	m	26			
	厚鋼電線管(G管)	92mm 隠ぺい	m	14			
	厚鋼電線管(G管)	92mm 露出	m	87			
	厚鋼電線管(G管)	104mm 隠ぺい	m	21			
	厚鋼電線管(G管)	104mm 露出	m	111			
	防水鋳鉄管(片R)	100mm 900L	本	10			
	管路口防水装置(一般)	100mm	個	10			
	Z35-1000B	1段目	m	41			

名	称	内	容	単位	数	量	単	価	金	額	備	考
	Z35-1000B	2段目以降		m	38							
	Z35-1200B	1段目		m	49							
	Z35-1200B	1段目 セハ°付		m	1							
	Z35-1200B-WP	1段目		m	28							
	Z35-1200B-WP	2段目以降		m	28							
	ZM-1000A	1段目		m	52							
	ZM-1000A	2段目以降		m	45							
	ZM-1000B	1段目		m	20							
	ZM-1200B	1段目		m	91							
	ZM-1200B	1段目 セハ°付		m	9							
	ZM-1200B	2段目以降		m	120							
	ZM-1000A	2段目以降 セハ°付		m	7							
	ZM-500B	1段目		m	4							
	ZM-800A	1段目		m	7							
	ZM-800A	1段目 セハ°付		m	18							
	ZM-800B	1段目		m	25							

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ZM-800B	2段目以降	m	19			
	Z35-800B-WP	1段目	m	6			
	Z35-800B-WP	2段目以降	m	3			
	PB-SS	700 700 400	個	1			
	PB-SS-WP(SUS)	800 800 300	個	2			
	PB-SS-WP(SUS)	800 800 600	個	2			
	防火区画貫通処理_管	25mm	か所	2			
	防火区画貫通処理_管	51mm	か所	1			
	防火区画貫通処理_管	82mm	か所	1			
	防火区画貫通処理_管	92mm	か所	1			
	防火区画貫通処理_管	104mm	か所	5			
	ケーブル分岐材	CET100-22	個	3			
	ケーブル分岐材	CET100-38	個	1			
	ケーブル分岐材	CET150-22	個	1			
	ケーブル分岐材	CET150-CE8-3C	個	1			
	ケーブル分岐材	FP8-2C-8-2C	個	5			

名 称		内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
2	電灯設備	電灯分岐(照明)					
	LED照明器具	LDS1-LRS1-05LN	個	6			
	LED照明器具	LRS15-4-58LZ	個	30			
	LED照明器具	LRS15-6-58LN	個	5			
	LED照明器具	LRS3-2-30LN	個	2			
	LED照明器具	SP-1	個	10			
	LED照明器具	SP-10	個	2			
	LED照明器具	SP-11	個	4			
	LED照明器具	SP-12A	個	4			
	LED照明器具	SP-13	個	50			
	LED照明器具	SP-14	個	11			
	LED照明器具	SP-15	個	16			
	LED照明器具	SP-17	個	11			
	LED照明器具	SP-2	個	2			
	LED照明器具	SP-3A	個	17			

名 称		内 容	单位	数 量	单 价	金 额	備 考
	LED照明器具	SP-3B	個	15			
	LED照明器具	SP-3C	個	125			
	LED照明器具	SP-4	個	182			
	LED照明器具	SP-5	個	86			
	LED照明器具	SP-6	個	15			
	LED照明器具	SP-7B	個	184			
	LED照明器具	SP-8	個	48			
	LED照明器具	SP-9	個	176			
	LED照明器具	SP-S1	個	3			
	LED照明器具	LSS1-2-30LN(G)	個	6			
	LED照明器具	LSS1-4-30(G)	個	4			
	LED照明器具	LSS1-4-30LN	個	3			
	LED照明器具	LSS1-4-37LN	個	8			
	LED照明器具	LSS1-4-30LN(G)	個	18			
	LED照明器具	LSS1-4-37LN(G)	個	4			
	LED照明器具	LSS1-4-48LN	個	30			

名 称	内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
LED照明器具	LSS1-4-48LN(G)	個	19			
LED照明器具	LSS1-4-65LN	個	25			
LED照明器具	LSS1-4-65LN(G)	個	1			
LED照明器具	LSS10MP/RP-4-27LN	個	19			
LED照明器具	LSS1MP/RP-4-46LN	個	34			
LED照明器具	LSS9-4-48LN	個	9			
LED照明器具	LSS9-4-65LN	個	3			
電灯分電盤	1L-1	面	1			
電灯分電盤	1L-2	面	1			
電灯分電盤	1L-3	面	1			
電灯分電盤	1LP-4	面	1			
電灯分電盤	1L-5	面	1			
電灯分電盤	1L-6	面	1			
電灯分電盤	2LP-1	面	1			
電灯分電盤	2LP-2	面	1			
電灯分電盤	2LP-3	面	1			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	電灯分電盤	2LP-4	面	1			
	インターフェイス調光調色用		個	2			
	シーン選択子機		個	1			
	記憶式コントローラ6C		個	2			
	調光ボックス		個	1			
	埋込スイッチ	1P15Ax1	個	52			
	埋込スイッチ	1P15Ax1 ガート付	個	2			
	埋込スイッチ	1P15Ax1 防水型	個	5			
	埋込スイッチ	3W15Ax1	個	10			
	埋込スイッチ	3W15Ax1 ガート付	個	4			
	埋込スイッチ	4W15Ax1 ガート付	個	2			
	埋込リモコンスイッチ(フル2線)	6回路	個	1			
	埋込リモコンスイッチ(フル2線)	8回路	個	1			
	埋込リモコンセレクトスイッチ(フル2線)	56回路	個	1			
	埋込人感センサー切替スイッチ	1回路	個	26			
	埋込人感センサー切替スイッチ	2回路	個	1			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	人感センサー 親機		個	68			
	人感センサー 子機		個	26			
	人感センサー 子機	換気扇連動用	個	1			
	明るさセンサ		個	5			
	ブランクプレート		個	4			
	EM-EEF2.0-2C	管内	m	397			
	EM-EEF2.0-2C	PF管内	m	34			
	EM-EEF2.0-2C	コロガシ	m	137			
	EM-EEF2.0-3C	管内	m	2,136			
	EM-EEF2.0-3C	PF管内	m	568			
	EM-EEF2.0-3C	ラック	m	87			
	EM-EEF2.0-3C	コロガシ	m	3,149			
	EM-CE3.5-3C	管内	m	821			
	EM-CE3.5-3C	ラック	m	55			
	EM-CE3.5-3C	コロガシ	m	596			
	EM-CE5.5-3C	管内	m	137			

名	称	内	容	単位	数	量	単	価	金	額	備	考
	EM-CE5.5-3C	コロガシ		m	60							
	中継ケーブル	管内		m	156							
	DMX信号線	管内		m	112							
	DMX信号線	PF管内		m	211							
	DMX信号線	コロガシ		m	152							
	EM-FCPEE0.9-1P	PF管内		m	18							
	EM-FCPEE1.2-1P	管内		m	1,263							
	EM-FCPEE1.2-1P	PF管内		m	60							
	EM-FCPEE1.2-1P	コロガシ		m	660							
	配線ダクト	3m		個	1							
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出		m	1,365							
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出		m	1,820							
	ねじなし電線管(E管)	31mm 露出		m	43							
	ねじなし電線管(E管)	31mm 隠ぺい		m	904							
	ねじなし電線管(E管)	39mm 隠ぺい		m	3							
	厚鋼電線管(G管)	22mm 露出		m	177							

名 称		内 容			単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	厚鋼電線管(G管)	28mm 露出			m	13			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	16mm 隠ぺい			m	78			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	22mm 隠ぺい			m	809			
	FEP管	(30) 地中			m	3			
	レースウェイ	40mm 30mm			m	468			
	レースウェイ・ジャンクションBOX	1方出	40mm	30mm	個	22			
	レースウェイ・ジャンクションBOX	2方出	40mm	30mm	個	1			
	レースウェイ・ジャンクションBOX	直角2方出	40mm	30mm	個	19			
	レースウェイ・ジャンクションBOX	3方出	40mm	30mm	個	4			
	レースウェイ・ジャンクションBOX	4方出	40mm	30mm	個	14			
	PB-SS	200	200	200	個	19			
	PB-SS	400	400	300	個	1			
	PB-SS	500	500	300	個	2			
	PB-SS-WP(SUS)	200	200	100	個	3			
	PB-SS-WP(SUS)	200	200	200	個	4			
	PB-SS-WP(SUS)	400	400	200	個	2			

名 称		内 容		単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	アウトレットBOX-カバー付	中深	102 54	個	91			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅	102 44	個	4			
	スイッチBOX-カバー付	1個用		個	58			
	スイッチBOX-カバー付	2個用		個	1			
	スイッチBOX-カバー付	3個用		個	1			
	丸形露出BOX-EP	1方出	25mm	個	2			
	丸形露出BOX-EP	2方出	31mm	個	1			
	丸形露出BOX-EP	3方出	25mm	個	37			
	丸形露出BOX-EP	3方出	31mm	個	3			
	丸形露出BOX-EP	4方出	25mm	個	8			
	丸形露出BOX-GP	3方出	22mm	個	3			
	丸形露出BOX-GP	4方出	22mm	個	1			
	露出スイッチBOX-EP	1個用	1方出 25mm	個	25			
	露出スイッチBOX-EP	2個用	1方出 25mm	個	1			
	露出スイッチBOX-GP	1個用	1方出 22mm	個	3			
	防火区画貫通処理_管	19mm		か所	17			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	防火区画貫通処理_管	25mm	か所	37			
	2 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3	電灯設備	電灯分岐(非常照明・誘導灯)					
	非常用照明器具	XSa	個	12			
	非常用照明器具	XSd	個	14			
	非常用照明器具	YSa	個	48			
	非常用照明器具	ZSa	個	1			
	避難口誘導灯	イBL	個	3			
	避難口誘導灯	イBL G	個	6			
	避難口誘導灯	S1FV	個	13			
	避難口誘導灯	S1FV G	個	4			
	避難口誘導灯	S2FV	個	1			
	通路誘導灯	ニBL	個	1			
	通路誘導灯	ハBL	個	2			
	通路誘導灯	ヘBL	個	2			
	通路誘導灯	ホBL	個	1			
	通路誘導灯	ロBL	個	1			
	誘導灯信号装置	1回路用	個	5			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	蓄積型煙感知器		個	1			
	EM-EEF2.0-3C	管内	m	83			
	EM-EEF2.0-3C	PF管内	m	254			
	EM-EEF2.0-3C	コログシ	m	235			
	EM-FP2-3C	管内	m	381			
	EM-FP2-3C	PF管内	m	84			
	EM-FP2-3C	コログシ	m	388			
	EM-HP1.2-2C	コログシ	m	3			
	EM-HP1.2-4C	管内	m	29			
	EM-HP1.2-4C	PF管内	m	244			
	EM-HP1.2-4C	コログシ	m	118			
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	29			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	83			
	ねじなし電線管(E管)	31mm 露出	m	381			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい	m	244			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	22mm 隠ぺい	m	254			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	28mm 隠ぺい	m	84			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	5			
	丸形露出BOX-EP	3方出 31mm	個	8			
	PB-SS	200 200 200	個	1			
	防火区画貫通処理_管	19mm	か所	1			
	防火区画貫通処理_管	25mm	か所	13			
	防火区画貫通処理_管	31mm	か所	10			
	3 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4	電灯設備	電灯分岐(コンセント)					
	壁付コンセント2P15Ax2接地極付		個	111			
	壁付コンセント2P15Ax2接地極付	HUB用	個	9			
	壁付コンセント2P15Ax2接地極付	MDF用	個	1			
	壁付コンセント2P15Ax2接地極付	自動販売機用	個	3			
	壁付コンセント2P15Ax2接地極付	ドライヤー用	個	11			
	壁付コンセント2P15Ax2接地極付	200V	個	50			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	TV用	個	8			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	ウォシュレット用	個	54			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	ガード付	個	24			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	ポット用	個	5			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	ハンドドライヤー用	個	12			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	鍵付	個	22			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	防水形	個	14			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	防水形 鍵付	個	11			
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	冷蔵庫用	個	3			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	壁付コンセント2P15Ax2ETx1	洗面台自動水栓用	個	45			
	露出コンセント2P15Ax2接地極付	端子盤内	個	6			
	天井付コンセント2P15Ax2接地極付	引掛型	個	3			
	引掛コンセント	パナソニックWF2315相当	個	4			
	床付フロアコンセント2P15Ax1接地極付		個	15			
	床付フロアコンセント2P15Ax1接地極付	200V	個	4			
	埋込スイッチ1P15Ax1		個	8			
	ハーネスジョイントボックス2分岐		個	2			
	ハーネスジョイントボックス4分岐		個	2			
	ハーネスOAタップコンセント抜止	2P15AEx1 3m	個	1			
	ハーネスOAタップコンセント抜止	2P15AEx2 3mx2	個	1			
	ハーネスOAタップコンセント抜止	2P15AEx4 3mx4	個	2			
	EM-EEF2.0-3C	管内	m	1,186			
	EM-EEF2.0-3C	PF管内	m	3,281			
	EM-EEF2.0-3C	コロガシ	m	2,647			
	サンライトECO120LF-2.0-3C	PF管内	m	11			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	サンライトECO120LF-2.0-3C	コロガシ	m	10			
	EM-FCPEE1.2-1P	コロガシ	m	44			
	EM-UTP(カテゴリ-5e)0.5-4P	PF管内	m	4			
	EM-UTP(カテゴリ-5e)0.5-4P	コロガシ	m	2			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	1,036			
	厚鋼電線管(G管)	22mm 露出	m	127			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	22mm 隠ぺい	m	3,296			
	アウトレットBOX-カバー付	中深 102 54	個	32			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	407			
	スイッチBOX-カバー付	1個用	個	4			
	PB-SS-WP(SUS)	200 200 100	個	2			
	PB-SS-WP(SUS)	200 200 200	個	2			
	PB-SS-WP(SUS)	300 300 200	個	1			
	防火区画貫通処理_管	25mm	か所	65			
	4 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5	電灯設備	舞台照明					
	照明器具	LEDフルカラーポーターライト	個	2			
	照明器具	LEDフルカラー形FMスポットライト	個	2			
	LED調光制御盤		面	1			
	調光操作卓		個	1			
	簡易操作部		個	1			
	DMX/PWM信号変換器	(4系統)ボックス1用	個	2			
	DMX/PWM信号変換器	(4系統)ボックス2用	個	1			
	DMX/PWM信号変換器	(8系統)ボックス1用	個	1			
	DMX/PWM信号変換器	(8系統)ボックス2用	個	1			
	DMXケーブル	3m	本	16			
	DMXケーブル	5m	本	4			
	EM-KNP EE-SB0.5-2P	PF管内	m	1,268			
	EM-KNP EE-SB0.5-2P	ラック	m	28			
	ポーターケーブル 平型複合5.5-5C	+DMX2系統 15m	本	4			
	延長ケーブル 接地2P15A抜止x2	3m	個	10			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM-CE3.5-3C	PF管内	m	400			
	EM-CE3.5-3C	ラック	m	12			
	EM-CE5.5-2C	PF管内	m	287			
	EM-CE5.5-2C	ラック	m	4			
	EM-CE5.5-3C	PF管内	m	287			
	EM-CE5.5-3C	ラック	m	4			
	EM-FCPEE0.9-3P	PF管内	m	20			
	EM-FCPEE0.9-3P	ラック	m	4			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	14mm 隠ぺい	m	20			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	22mm 隠ぺい	m	694			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	28mm 隠ぺい	m	1,260			
	持込機器用ウォールコンセント		個	5			
	ケーブル受けカバー	コンセントボックス用	個	4			
	ジョイントボックス		個	4			
	客席コネクタボックス		個	4			
	照明ボタン用コンセントボックス		個	4			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	スイッチBOX-カバー付	5個用	個	1			
	機器運送費		式	1			
	機器取付工事費		式	1			
	現場試験調整費		式	1			
	消耗雑材費		式	1			
	5 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6	動力設備	動力幹線					
	EM-FP2.0-2C	管内	m	11			
	EM-FP8-2C	ラック	m	27			
	EM-FP8-3C	管内	m	8			
	EM-FP8-3C	ラック	m	25			
	EM-FPT14	管内	m	27			
	EM-FPT14	ラック	m	132			
	EM-FPT38	管内	m	21			
	EM-FPT38	ラック	m	119			
	EM-FPT100	管内	m	17			
	EM-FPT100	ラック	m	119			
	EM-FPT150	管内	m	17			
	EM-FPT150	ラック	m	40			
	EM-CE5.5-3C	管内	m	9			
	EM-CE5.5-3C	ラック	m	115			
	EM-CET14	管内	m	64			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM-CET14	ラック	m	375			
	EM-CET14	コロガシ	m	4			
	EM-CET22	管内	m	18			
	EM-CET22	ラック	m	161			
	EM-CET38	管内	m	24			
	EM-CET38	ラック	m	96			
	EM-CET60	管内	m	142			
	EM-CET60	ラック	m	1,228			
	EM-CET60	コロガシ	m	4			
	EM-CET100	管内	m	182			
	EM-CET100	ラック	m	1,133			
	EM-CET150	管内	m	195			
	EM-CET150	ラック	m	977			
	EM-CET250	管内	m	41			
	EM-CET250	ラック	m	152			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	8			

名	称	内	容	単位	数	量	単	価	金	額	備	考
	ねじなし電線管(E管)	39mm	隠ぺい	m		1						
	ねじなし電線管(E管)	39mm	露出	m		7						
	ねじなし電線管(E管)	51mm	隠ぺい	m		17						
	ねじなし電線管(E管)	51mm	露出	m		59						
	ねじなし電線管(E管)	63mm	隠ぺい	m		17						
	ねじなし電線管(E管)	63mm	露出	m		11						
	ねじなし電線管(E管)	75mm	隠ぺい	m		21						
	ねじなし電線管(E管)	75mm	露出	m		23						
	厚鋼電線管(G管)	28mm	露出	m		6						
	厚鋼電線管(G管)	42mm	露出	m		25						
	厚鋼電線管(G管)	54mm	露出	m		9						
	厚鋼電線管(G管)	70mm	露出	m		115						
	厚鋼電線管(G管)	82mm	隠ぺい	m		76						
	厚鋼電線管(G管)	82mm	露出	m		122						
	厚鋼電線管(G管)	92mm	隠ぺい	m		96						
	厚鋼電線管(G管)	92mm	露出	m		116						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	厚鋼電線管(G管)	104mm 隠ぺい	m	13			
	厚鋼電線管(G管)	104mm 露出	m	28			
	PB-SS-WP(SUS)	600 600 200	個	1			
	PB-SS-WP(SUS)	700 700 300	個	1			
	PB-SS-WP(SUS)	700 700 500	個	1			
	PB-SS-WP	800 800 300	個	2			
	防火区画貫通処理_管	51mm	か所	1			
	防火区画貫通処理_管	75mm	か所	6			
	防火区画貫通処理_管	82mm	か所	1			
	プルボックス用接地端子		個	5			
	6 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
7	動力設備	動力分岐					
	動力制御盤	1P-1	面	1			
	動力制御盤	2P-1	面	1			
	動力制御盤	1P-2	面	1			
	動力制御盤	2P-2	面	1			
	動力制御盤	1P-3	面	1			
	動力制御盤	1P-4	面	1			
	動力制御盤	1P-5	面	1			
	動力制御盤	1P-6	面	1			
	動力制御盤	1P-7	面	1			
	動力制御盤	1P-8	面	1			
	電動機結線費 7.5kW以下		か所	34			
	電動機結線費 11.0kW以上		か所	14			
	ﾌﾟﾘｶﾁｭｰﾌﾞ 30mm		m	22			
	ﾌﾟﾘｶﾁｭｰﾌﾞ 38mm		m	4			
	ﾋﾞﾆﾙﾌﾟﾘｶﾁｭｰﾌﾞ 30mm		m	14			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ビニルプリアチューブ 38mm		m	1			
	ビニルプリアチューブ 63mm		m	1			
	壁付コンセント 2P15Ax1接地極付		個	2			
	壁付コンセント 2P20Ax1接地極付	200V用	個	6			
	埋込スイッチ 1P15Ax1	確認表示灯付	個	40			
	埋込スイッチ 3W15Ax1	確認表示灯付	個	4			
	ON・OFFスイッチ		個	9			
	EM-IE1.6mm2	管内	m	13			
	EM-IE2.0mm2	管内	m	378			
	EM-IE5.5mm2	管内	m	36			
	EM-IE8mm2	管内	m	57			
	EM-IE14mm2	管内	m	10			
	EM-IE38mm2	管内	m	85			
	EM-EEF2.0-2C	管内	m	42			
	EM-EEF2.0-2C	PF管内	m	44			
	EM-EEF2.0-2C	コロガシ	m	85			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM-EEF2.0-3C	管内	m	406			
	EM-EEF2.0-3C	PF管内	m	26			
	EM-EEF2.0-3C	ラック	m	38			
	EM-EEF2.0-3C	コロガシ	m	833			
	EM-CE2-3C	管内	m	13			
	EM-CE3.5-3C	管内	m	227			
	EM-CE3.5-3C	コロガシ	m	140			
	EM-CE3.5-3C	ラック	m	11			
	EM-CE5.5-3C	管内	m	36			
	EM-CE5.5-4C	管内	m	66			
	EM-CE5.5-4C	コロガシ	m	122			
	EM-CET14	管内	m	36			
	EM-CET14	ラック	m	11			
	EM-CET22	管内	m	11			
	EM-CET38	管内	m	10			
	EM-CET150	管内	m	85			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM-CEE1.25-8C	管内	m	66			
	EM-CEE1.25-8C	コログシ	m	118			
	EM-CEE2-4C	管内	m	89			
	EM-CEE2-4C	コログシ	m	70			
	EM-ECTF0.75-50C	管内	m	27			
	EM-ECTF0.75-50C	ラック	m	8			
	EM-ECTF0.75-50C	コログシ	m	73			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 隠蔽	m	2			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	720			
	ねじなし電線管(E管)	31mm 隠蔽	m	119			
	ねじなし電線管(E管)	31mm 露出	m	148			
	ねじなし電線管(E管)	51mm 露出	m	27			
	厚鋼電線管(G管)	22mm 露出	m	3			
	厚鋼電線管(G管)	54mm 露出	m	10			
	厚鋼電線管(G管)	92mm 露出	m	85			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	22mm 隠ぺい	m	70			

名 称		内 容		単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	アウトレットBOX-カバー付	中深	102 54	個	131			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅	102 44	個	6			
	スイッチBOX-カバー付	1個用		個	39			
	丸形露出BOX-EP	1方出	25mm	個	8			
	丸形露出BOX-EP	1方出	31mm	個	5			
	丸形露出BOX-EP	2方出	25mm	個	8			
	丸形露出BOX-EP	3方出	25mm	個	3			
	露出スイッチBOX-EP	1個用	1方出 19mm	個	1			
	露出スイッチBOX-EP	1個用	1方出 25mm	個	7			
	露出スイッチBOX-EP	1個用	1方出 31mm	個	5			
	防火区画貫通処理_管	19mm		か所	2			
	7 - 計							

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
8	雷保護設備						
	鉄骨用接続端子	溶接:建築工事	個	10			
	鉄筋接続クランプ		個	60			
	伸縮端子	端子取付用金物:建築工事	個	35			
	接続端子	端子取付用金物:建築工事	個	20			
	分岐端子		個	16			
	銅線2.0x13	管内	m	23			
	銅線2.0x13	PF管内	m	27			
	アルミ線2.0x25		m	389			
	アルミ線取付金物_立馳	屋根用_水平@600	個	63			
	VE管	16mm 地中	m	83			
	VE管	16mm 露出	m	6			
	VE管	28mm 地中	m	17			
	VE管	28mm 露出	m	6			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	22mm 隠ぺい	m	27			
	PB-SS-WP(SUS)	250 250 100	個	10			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	接地棒 14φ1500x1本		本	4			
	測定用アース棒	C	本	4			
	測定用アース棒	P	本	4			
	接地端子用BOX(SUS)露出用	1端子 PC付	個	4			
	プルボックス用接地端子		個	10			
	接地極埋設標		個	8			
	埋設標識シート 2倍		m	97			
	雑材消耗品費		式	1			
	取付工事費		式	1			
	8 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
9	受変電設備						
	①高圧受電盤		面	1			
	②高圧コンデンサ盤		面	1			
	③低圧電灯盤NO.1		面	1			
	④低圧電灯盤NO.2		面	1			
	⑤低圧電灯盤NO.3		面	1			
	⑥低圧動力盤NO.1		面	1			
	⑦低圧動力盤NO.2		面	1			
	⑧非常保安動力電灯盤		面	1			
	⑨予備品		式	1			
	変圧器 100kVA	油入 50Hz 単相	台	3			
	変圧器 500kVA	油入 50Hz 三相	台	2			
	スコット変圧器 75kVA	油入 50Hz	台	1			
	高圧コンデンサ 100kvar	油入	台	2			
	直列リアクトル 6%	100kVar用 油入	台	2			
	接地端子盤		面	1			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	プルボックス用接地端子		個	5			
	EM-IE5.5	管内	m	72			
	EM-IE60	管内	m	72			
	EM-IE100	管内	m	36			
	EM-IE150	管内	m	36			
	6.6KV-EM-CET38(E)	管内	m	35			
	EM-CEE2-2C	管内	m	35			
	導入線1.2mm 樹脂	管内	m	35			
	防水鋳鉄管	75 φ	個	2			
	防水鋳鉄管	100 φ	個	2			
	管路口防水装置	75 φ 用	個	2			
	管路口防水装置	100 φ 用	個	2			
	ねじなし電線管(E管)	31mm 露出	m	23			
	ねじなし電線管(E管)	63mm 露出	m	15			
	厚鋼電線管(G管)	28mm 露出	m	12			
	厚鋼電線管(G管)	70mm 露出	m	13			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	厚鋼電線管(G管)	104mm 露出	m	70			
	PB-SS	800 800 600	個	2			
	PB-SS-WP(SUS)	800 800 600	個	3			
	防火区画貫通処理_管	31mm	か所	2			
	防火区画貫通処理_管	63mm	か所	2			
	防火区画貫通処理_管	104mm	か所	4			
	端末処理材6.6kV	EM-CET(EE)38 屋内	か所	1			
	搬入費		式	1			
	9 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
10	電力貯蔵設備	直流電源装置					
	整流装置	三相3線 200V10A	台	1			
	蓄電池 MSE 長寿命型	50Ah以上 54セル 108V	式	1			
	蓄電池収納BOX		台	1			
	蓄電池組込・試運転調整費		式	1			
	10 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
11	発電設備	発電機					
	非常用ディーゼル発電装置	三相3線 250kVA	式	1			
	接地極	ED	か所	1			
	インターホン子機		個	1			
	工事費		式	1			
	配管材・弁類他		式	1			
	11 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
12	発電設備	太陽光発電					
	太陽電池モジュール 410W/枚	単結晶シリコン	枚	102			
	パワーコンディショナー 10kW	三相3線、10kW	台	2			
	パワーコンディショナー 10kW	単相3線、10kW	台	2			
	表示装置_屋内壁掛型	43型液晶ディスプレイ	台	1			
	計測監視装置		台	1			
	手動切替盤		面	2			
	埋込コンセント2P15AEx1	通電ランプ付	個	4			
	太陽光電池延長ケーブル	管内	本	8			
	EM-IE5.5	管内	m	300			
	EM-CE5.5-2C	管内	m	6			
	EM-CE5.5-2C	ラック	m	54			
	EM-CET60	管内	m	15			
	EM-CET60	ラック	m	269			
	EM-CE22-2C	管内	m	174			
	EM-CE22-2C	ラック	m	8			

名 称	内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
EM-CE22-2C	コロガシ	m	9			
EM-CET38	管内	m	2			
EM-CET38	ラック	m	110			
EM-CEE-S2-2C	管内	m	59			
EM-CEE-S2-2C	ラック	m	1			
EM-FCPEE-S1.2-2P	管内	m	61			
EM-FCPEE-S1.2-2P	ラック	m	3			
EM-FCPEE-S1.2-2P	コロガシ	m	1			
EM-FCPEE-S1.2-5P	管内	m	235			
EM-UTP(カテゴリ-5e)0.5-4P	管内	m	19			
EM-UTP(カテゴリ-5e)0.5-4P	PP管内	m	2			
EM-UTP(カテゴリ-5e)0.5-4P	ラック	m	14			
EM-UTP(カテゴリ-5e)0.5-4P	コロガシ	m	1			
ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	15			
ねじなし電線管(E管)	51mm 隠ぺい	m	6			
ねじなし電線管(E管)	51mm 露出	m	19			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ねじなし電線管(E管)	63mm 露出	m	15			
	厚鋼電線管(G管)	16mm 露出	m	2			
	厚鋼電線管(G管)	22mm 露出	m	7			
	厚鋼電線管(G管)	28mm 露出	m	22			
	厚鋼電線管(G管)	42mm 露出	m	8			
	厚鋼電線管(G管)	70mm 露出	m	2			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	14mm 隠ぺい	m	2			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	5			
	PB-SS-WP	300 200 100	個	5			
	プルボックス用接地端子		個	5			
	機器据付工事費		式	1			
	試運転調整費		式	1			
	蓄電システム	リチウムイオン 10KWh	個	2			
	12 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
13	構内情報通信網設備						
	構内情報用壁付モジュラー用ボックス		個	7			
	構内情報用壁付モジュラー用ボックス	ガード付	個	4			
	床付OA構内情報設備モジュラー用ボックス	庁舎用	個	1			
	情報盤(1)内構内情報用モジュラー用ボックス		個	4			
	情報盤(2)内構内情報用モジュラー用ボックス		個	4			
	情報盤(3)内構内情報用モジュラー用ボックス		個	4			
	導入線 1.2mm 樹脂	管内	m	44			
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管	m	395			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	44			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	22mm 隠ぺい	m	395			
	防火区画貫通処理管	25mm	か所	5			
	13 ー 計						

名 称		内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
14	構内交換設備						
	電話交換器		台	1			
	本配線盤		面	1			
	端子盤	1T-1	面	1			
	端子盤	2T-1	面	1			
	端子盤	1T-2	面	1			
	端子盤	1T-3	面	1			
	端子盤	1T-4	面	1			
	端子盤	1T-5	面	1			
	総合盤		面	1			
	仮設電源・情報盤(1)		面	1			
	仮設電源・情報盤(2)		面	1			
	仮設電源・情報盤(3)		面	1			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	壁付電話用6極4芯モジュラージャック		個	11			
	床付OA電話用6極4芯モジュラージャック		個	3			
	情報盤(1)内電話用6極4芯モジュラージャック		個	4			
	情報盤(2)内電話用6極4芯モジュラージャック		個	4			
	情報盤(3)内電話用6極4芯モジュラージャック		個	4			
	EM-TKEE0.5-10P	管内	m	20			
	EM-TKEE0.5-10P	ラック	m	240			
	EM-TKEE0.5-30P	管内	m	1			
	EM-EBT0.5-2P	管内	m	53			
	EM-EBT0.5-2P	PF管内	m	133			
	EM-EBT0.5-2P	ラック	m	560			
	EM-EBT0.5-2P	コロガシ	m	343			
	導入線 1.2mm 樹脂	管内	m	15			
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管内	m	2			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	79			
	厚鋼電線管(G管)	54mm 露出	m	7			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	22mm 隠ぺい	m	135			
	防水鋳鉄管(片R)	75mm 900L	個	4			
	管路口防水装置(一般)	75mm	個	4			
	CR(ZM)直線1段70H	400mm	m	230			
	CR(Z35)直線1段70H	400mm	m	142			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	11			
	PB-SS-C	600 600 400	個	1			
	防火区画貫通処理CR床	400 200	m	3			
	案内装置		台	1			
	留守番装置		台	1			
	工事関連費	材料費・設計設定費・運用データ投入費 試験調整費・完成図書作成費	式	1			
	14 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
15	電気時計設備						
	親時計		台	1			
	子時計		個	3			
	子時計	ガード付	個	3			
	全埋込型子時計		個	1			
	長波アンテナ		個	1			
	EM-AE1.2-2C	管内	m	44			
	EM-AE1.2-2C	PF管内	m	33			
	EM-AE1.2-2C	ラック	m	4			
	EM-AE1.2-2C	コロガシ	m	152			
	EM-AE1.2-5C	ラック	m	158			
	EM-AE1.2-5C	コロガシ	m	4			
	EM-MEE-S0.5-4C	管内	m	2			
	EM-MEE-S0.5-4C	ラック	m	65			
	EM-MEE-S0.5-4C	コロガシ	m	1			
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	44			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	厚鋼電線管(G管)	22mm 露出	m	2			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	16mm 隠ぺい	m	33			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	m	6			
	丸形露出BOX-EP	2方出 19mm	m	1			
	防火区画貫通処理_管	19mm	か所	2			
	15 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
16	映像・音響設備	多目的室					
	AVワゴン	CD/メモリープレーヤー・デジタルマルチスイッチャー BDデッキ・出力ユニットスイッチ・パワーアンプ	台	1			
	プロジェクター天吊		台	1			
	100型電動スクリーン		台	1			
	ワゴン接続盤		台	1			
	チャージャー		個	1			
	シーリングスピーカー		個	8			
	ワイヤレスアンテナ 埋込型		個	4			
	スクリーンスイッチ		個	1			
	4S6-EM	PF管内	m	64			
	EM-ECTF0.75-10C	PF管内	m	42			
	EM-ECTF2.0-2C	PF管内	m	2			
	EM-CPEE0.9-3P	PF管内	m	4			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM同軸ケーブル5C-FB	PF管内	m	59			
	EM-UTP(カテゴリ6)0.5-4P	PF管内	m	9			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	16mm 隠ぺい	m	724			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	22mm 隠ぺい	m	356			
	アウトレットBOX-カバー付	中深 102 54	個	41			
	スイッチBOX-カバー付	1個用	個	6			
	雑材料・消耗品費		式	1			
	運送搬入費		式	1			
	機器取付結線工事費		式	1			
	試験調整費		式	1			
	磁界強度測定費		式	1			
	16 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
17	音響設備	メインアリーナ					
	音響操作ワゴン	デジタルミキサ・システムリモートパネル・SS/CDプレーヤ 外部入力パネル・電源制御部・卓本体	台	1			
	ネットワーク回線架	DanteLANスイッチx2・制御LANスイッチ・MC 光成端箱・端子盤・架本体	台	1			
	パワーアンプ架	パワーアンプA・パワーアンプB・デジタルシグナルプロセッサ 出力制御・パッチ盤・電源制御部・端子盤・架本体	台	1			
	入出力パッチ架	混合器・ワイヤレス受信機・システムリモートパネル メインステーション・入出力パッチ盤・システムI/F	台	1			
	音響調整卓	デジタルミキサ・モニタースピーカ・SS*CDプレーヤ リモコン・設定用ノートPC・電源部・ミキサ置台	台	1			
	放送卓	卓上マイク・モニタースピーカ フェーダーボックス・卓台	台	1			
	アリーナコンセント盤	A	面	1			
	アリーナコンセント盤	B	面	1			
	アリーナコンセント盤	C	面	1			
	アリーナコンセント盤	D	面	1			
	アリーナコンセント盤	E	面	1			
	放送ブースコンセント盤		面	1			
	エアモニターマイク		個	4			
	アリーナスピーカ		個	10			
	運営系スピーカ		個	1			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	観客席スピーカ		個	10			
	ワイヤレスアンテナ 壁付型		個	4			
	アッテネーター		個	1			
	インカムコンセント		個	2			
	光ファイバークーブル成端接続	10C以下	個	4			
	光ファイバークーブル成端接続	5C以下	個	6			
	光ファイバークーブル伝送損失測定	12C以下	個	2			
	光ファイバークーブル伝送損失測定	4C以下	個	3			
	EM-Cat6-STP 黒色	PF管内	m	8			
	EM-Cat6-STP 赤色	PF管内	m	8			
	EM-Cat6-STP 緑色	PF管内	m	8			
	4S14F-EM	PF管内	m	1,040			
	4S12F-EM	PF管内	m	321			
	L-4E4-16AT-WBS-EM	PF管内	m	8			
	L-4E4-2AT-WBS-EM	PF管内	m	300			
	L-4E4-8AT-WBS-EM	PF管内	m	287			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	L-4E6AT-WBS-EM	PF管内	m	287			
	L-5DFB-EM	PF管内	m	257			
	EM-EEF2.0-3C	PF管内	m	8			
	EM-AE1.2-3C	PF管内	m	23			
	GI50/125-4C	PF管内	m	161			
	GI50/125-8C	PF管内	m	127			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	16mm 隠ぺい	m	724			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	22mm 隠ぺい	m	356			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	28mm 隠ぺい	m	448			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	36mm 隠ぺい	m	1,335			
	アウトレットBOX-カバー付	中深 102 54	個	41			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	5			
	スイッチBOX-カバー付	1個用	個	6			
	スイッチBOX-カバー付	2個用	個	6			
	スイッチBOX-カバー付	3個用	個	1			
	PB-SS	700 700 500	個	2			

名 称		内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
	雑材料・消耗品費		式	1			
	運送搬入費		式	1			
	機器取付結線工事費		式	1			
	音響測定費		式	1			
	試験調整費		式	1			
	17 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
18	大型映像表示設備						
	機器収容架	光スプライスユニット・電源ユニット・SDI光コンバータ 主電源スイッチ・制御I/F・ビデオパッチ盤	台	1			
	放送卓	マルチビューモニタ・プレビューモニタ・メディアプレーヤー カメラコントローラ・ライブスイッチャー	台	1			
	ディスプレイ		台	2			
	大型ビジョン	サイズ: W7750xH4500 輝度: 5500cd/m ² ピッチ: 6.944mm 諧調: 256諧調 0-100可変	台	2			
	固定カメラ		台	4			
	固定カメラ接続盤 壁取付		面	3			
	固定カメラ接続盤 壁埋込	指定色塗装	面	1			
	持込カメラ接続盤		面	4			
	プロチーム持込機器接続盤	1F	面	1			
	プロチーム持込機器接続盤	2F	面	1			
	サブアリーナ映像接続盤		面	1			
	サブアリーナ映像接続設備	機器収容架内組込	面	4			
	壁面ビジョン用光端子盤		面	4			
	リボンビジョン用端子盤		面	2			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM同軸ケーブル5C-FB	管内	m	4			
	EM同軸ケーブル5C-FB	PF管内	m	7			
	EM同軸ケーブル5C-FB	コロガシ	m	20			
	SM-4C	管内	m	124			
	SM-4C	PF管内	m	6			
	SM-4C	ラック	m	616			
	SM-8C	管内	m	93			
	SM-8C	ラック	m	13			
	SM-8C	コロガシ	m	324			
	EM-UPT(カテゴリ-5e)0.5-4P	PF管内	m	44			
	EM-UPT(カテゴリ-5e)0.5-4P	コロガシ	m	89			
	EM-UPT(カテゴリ-6)0.5-4P	管内	m	4			
	EM-UPT(カテゴリ-6)0.5-4P	PF管内	m	7			
	EM-UPT(カテゴリ-6)0.5-4P	コロガシ	m	20			
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	4			
	厚鋼電線管(G管)	54mm 露出	m	137			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	16mm 隠ぺい	m	9			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	28mm 隠ぺい	m	5			
	PB-SS	200 200 200	個	6			
	PB-SS	500 500 500	個	3			
	PB-SS-WP	500 500 500	個	2			
	荷造り送料		式	1			
	LEDユニット取付工事	サブフレーム製作及び取付含む	式	1			
	LEDキャリブレーション		式	1			
	機器取付工事費		式	1			
	端末結線処理費		式	1			
	雑材及び消耗品費		式	1			
	搬入費		式	1			
	調整費		式	1			
	ドキュメント作成費		式	1			
	19 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
19	拡声設備						
	非常業務放送架		台	1			
	ホーンスピーカ 6W		個	6			
	ホーンスピーカ 10W	ガード付	個	10			
	重耐塩スピーカ 5W		個	7			
	天井埋込型スピーカ ATT付 1W		個	65			
	天井埋込型スピーカ ATT無 1W		個	9			
	天井露出型スピーカ 1W		個	3			
	壁掛型スピーカ ATT付 1W		個	35			
	防滴型天井スピーカ 1W		個	7			
	アッテネータ		個	10			
	電源遮断ユニット		個	7			
	EM-HP1.2-2C	管内	m	35			
	EM-HP1.2-2C	PF管内	m	11			
	EM-HP1.2-2C	コロガシ	m	133			
	EM-HP1.2-3C	管内	m	621			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM-HP1.2-3C	PF管内	m	128			
	EM-HP1.2-3C	コロガシ	m	1,366			
	EM-HP1.2-20P	管内	m	13			
	EM-HP1.2-20P	コロガシ	m	72			
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	656			
	ねじなし電線管(E管)	39mm 露出	m	13			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい	m	139			
	アウトレットBOX-カバー付	中深 102 54	個	22			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	22			
	スイッチBOX-カバー付	1個用	個	9			
	丸形露出BOX-EP	1方出 19mm	個	8			
	丸形露出BOX-EP	1方出 25mm	個	1			
	丸形露出BOX-EP	2方出 19mm	個	21			
	丸形露出BOX-EP	3方出 19mm	個	16			
	丸形露出BOX-EP	4方出 19mm	個	2			
	露出スイッチBOX-EP	1個用 1方出 19mm	個	1			

名 称		内 容			单位	数 量	单 価	金 額	備 考
	PB-SS	150	150	150	個	1			
	PB-SS	250	250	100	個	1			
	PB-SS	250	250	150	個	3			
	PB-SS	300	200	100	個	1			
	取付工事費				式	1			
	調整費				式	1			
	雑材費				式	1			
	20 ー 計								

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
20	誘導支援設備	インターホン					
	モニタ付インターホン親機		個	1			
	カメラ付ドアホン(子機)		個	2			
	EM-FCPEE0.9-5P	管内	m	5			
	EM-FCPEE0.9-5P	ラック	m	13			
	EM-FCPEE0.9-5P	コロガシ	m	5			
	EM-AE1.2-2C	PF管内	m	4			
	EM-AE1.2-2C	ラック	m	97			
	EM-AE1.2-2C	コロガシ	m	9			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	5			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい	m	4			
	スイッチBOX-カバー付	1個用	個	1			
	露出スイッチBOX-EP	1個用 1方出 19mm	個	1			
	21 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
21	誘導支援設備	トイレ呼出表示					
	トイレ等呼出表示器	10窓	個	1			
	表示灯		個	7			
	復旧ボタン		個	7			
	壁付押しボタン		個	12			
	EM-AE1.2-2C	PF管内	m	16			
	EM-AE1.2-2C	コロガシ	m	23			
	EM-AE1.2-3C	管内	m	1			
	EM-AE1.2-3C	PF管内	m	29			
	EM-AE1.2-3C	ラック	m	77			
	EM-AE1.2-3C	コロガシ	m	29			
	EM-AE1.2-4C	PF管内	m	1			
	EM-AE1.2-4C	コロガシ	m	6			
	EM-AE1.2-5C	PF管内	m	1			
	EM-AE1.2-5C	コロガシ	m	4			
	EM-AE1.2-6C	コロガシ	m	19			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	1			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい	m	47			
	スイッチBOX-カバー付	1個用	個	26			
	防火区画貫通処理_管	19mm	か所	2			
	22 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
22	テレビ共同受信設備						
	地上波デジタルアンテナ		組	1			
	BS110° CSアンテナ		組	1			
	アンテナマスト自立-SUS	ANT-3	基	1			
	アンテナマスト自立-SUS	4.0m	基	1			
	増幅器	SH・UF-1	個	5			
	混合器	SH-M	個	1			
	1分岐器	SH-C1	個	1			
	2分岐器	SH-C2	個	1			
	2分配器	SH-D2	個	2			
	4分配器	SH-D4	個	1			
	6分配器	SH-D6	個	1			
	壁付1端子形テレビ端子		個	5			
	壁付1端子形テレビ端子	ガード付	個	7			
	EM同軸ケーブルS-5C-FB	管内	個	71			
	EM同軸ケーブルS-5C-FB	PF管内	個	88			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM同軸ケーブルS-5C-FB	コログシ	個	152			
	EM同軸ケーブルS-7C-FB	管内	個	34			
	EM同軸ケーブルS-7C-FB	ラック	個	262			
	EM同軸ケーブルS-7C-FB	コログシ	個	4			
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	71			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	19			
	ねじなし電線管(E管)	31mm 露出	m	6			
	厚鋼電線管(G管)	22mm 露出	m	3			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい	m	88			
	スイッチBOX-カバー付	1個用	個	12			
	PB-SS-WP(SUS)	200 200 100	個	2			
	23 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
23	監視カメラ設備						
	ITV架	19型液晶モニター・タイムサーバー・スライドテーブル ネットワークビデオレコーダー・SWHUB・UPS	台	1			
	PoE SW(8ポート、BOX収納)		台	4			
	ドーム型ネットワークカメラ		台	13			
	ドーム型ネットワークカメラ	屋外用	台	6			
	ドーム型ネットワークカメラ	壁付	台	4			
	ドーム型ネットワークカメラ	壁付 ガード共同	台	2			
	EM-UPT(カテゴリ6)0.5-4P	管内	m	210			
	EM-UPT(カテゴリ6)0.5-4P	PF管内	m	29			
	EM-UPT(カテゴリ6)0.5-4P	ラック	m	390			
	EM-UPT(カテゴリ6)0.5-4P	コログシ	m	233			
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	161			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 隠ぺい	m	3			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	19			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい	m	29			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	6			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	丸形露出BOX-EP	1方出 19mm	個	5			
	PB-SS	200 200 150	個	3			
	防火区画貫通処理_管	19mm	か所	1			
	防火区画貫通処理_管	25mm	か所	4			
	取付工事費		式	1			
	調整費		式	1			
	雑材費		式	1			
	搬入費		式	1			
	NW設定費		式	1			
	24 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
24	機械警備設備						
	導入線 1.2mm 樹脂	管内	m	60			
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管内	m	562			
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出	m	60			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	22mm 隠ぺい	m	562			
	アウトレットBOX-カバー付	中深 102 54	個	58			
	防火区画貫通処理_管	25mm	個	2			
	PB-SS	200 200 150	個	2			
	PB-SS	300 200 200	個	1			
	25 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
25	入退室管理設備						
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管内	m	15			
	合成樹脂製可とう電線管 (PF管)	22mm 隠ぺい	m	15			
	アウトレットBOX-カバー付	中浅 102 44	個	3			
	26 - 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
26	火災報知設備	自動火災報知					
	複合GR型受信機壁掛型	510アトレス	面	1			
	中継器盤	R-1	面	1			
	中継器盤	R-2	面	1			
	定温式SP型感知器 1種	75℃ 防水型	個	8			
	定温式SP型感知器特種	65℃	個	1			
	光電アナログSP型感知器1・2種	自動試験・感度補正付 ガート付	個	4			
	光電アナログSP型感知器1種	自動試験・感度補正付 ガート付	個	62			
	光電アナログSP型感知器2・3種	自動試験・感度補正付	個	5			
	光電アナログSP型感知器2種	自動試験・感度補正付	個	1			
	光電アナログSP型感知器2種	点検ボックス・自動試験・感度補正付	個	1			
	光電式SP型感知器 2種	非蓄積型	個	8			
	差動式SP型感知器 2種		個	32			
	差動式SP型感知器 2種	アトレス・自動試験・ガート付	個	39			
	差動式SP型感知器 2種	アトレス・自動試験付	個	61			
	差動式SP型感知器 2種	アトレス・自動試験付 WP	個	15			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	差動式SP型感知器 2種	防水型	個	6			
	機器収容箱P型発信機が'ト'付収容		個	12			
	機器収容箱P型発信機収容		個	6			
	EM-HP1.2-2C	管内	m	642			
	EM-HP1.2-2C	PF管内	m	65			
	EM-HP1.2-2C	コロガシ	m	1,144			
	EM-HP1.2-3C	管内	m	33			
	EM-HP1.2-3C	PF管内	m	201			
	EM-HP1.2-3C	コロガシ	m	109			
	EM-HP1.2-4C	管内	m	19			
	EM-HP1.2-4C	コロガシ	m	61			
	EM-HP1.2-3P	管内	m	26			
	EM-HP1.2-5P	管内	m	66			
	EM-HP1.2-5P	PF管内	m	406			
	EM-HP1.2-5P	コロガシ	m	515			
	EM-HP1.2-10P	管内	m	17			

名	称	内	容	単位	数	量	単	価	金	額	備	考
	EM-HP1.2-10P	PF管内		m	20							
	EM-HP1.2-10P	コロガシ		m	28							
	EM-AE0.9-2C	管内		m	21							
	EM-AE0.9-2C	PF管内		m	109							
	EM-AE0.9-2C	コロガシ		m	217							
	EM-AE0.9-4C	管内		m	71							
	EM-AE0.9-4C	コロガシ		m	62							
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出		m	599							
	ねじなし電線管(E管)	25mm 露出		m	92							
	ねじなし電線管(E管)	31mm 露出		m	12							
	厚鋼電線管(G管)	16mm 露出		m	162							
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい		m	376							
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	22mm 隠ぺい		m	406							
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	28mm 隠ぺい		m	20							
	ジャンクションボックス	2方出 16mm		個	11							
	ジャンクションボックス	3方出 16mm		個	3							

名 称		内 容			単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	PB-SS	200	200	200	個	1			
	PB-SS	300	300	300	個	1			
	移報器	(消火栓始動器)			個	1			
	工事費				式	1			
	試験調整費				式	1			
	手続・立会試験費				式	1			
	システムデータ作成費				式	1			
	消耗品雑材料費				式	1			
	荷造運賃				式	1			
	27 ー 計								

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
27	火災報知設備	自動閉鎖					
	光電アナログSP型感知器3種	自動試験・感度補正付	個	6			
	自動閉鎖装置	防火戸用	個	8			
	EM-HP1.2-3C	管内	m	33			
	EM-HP1.2-3C	PF管内	m	201			
	EM-HP1.2-3C	コロガシ	m	109			
	ねじなし電線管(E管)	19mm 露出	m	33			
	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	16mm 隠ぺい	m	201			
	工事費		式	1			
	試験調整費		式	1			
	手続・立会試験費		式	1			
	消耗品雑材料費		式	1			
	荷造運賃		式	1			
	28 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
28	構内配電線路	電力引込み					
	PAS 7.2kV 300A	ZCT,VT,LA内蔵	台	1			
	ハントホール 1000x1000x1500	重耐蓋(セパ付)	基	6			
	電柱(CP12m-19cm-500kg)		本	1			
	厚鋼電線管(G管)	28mm 露出	m	12			
	厚鋼電線管(G管)	104mm 露出	m	24			
	VE管	16mm 地中	m	71			
	VE管	22mm 地中	m	37			
	VE管	28mm 地中	m	8			
	VE管	36mm 地中	m	13			
	VE管	70mm 地中	m	4			
	FEP管	30mm 地中	m	199			
	FEP管	100mm 地中	m	418			
	埋設標(地中線)	鉄製	個	4			
	埋設標識シート 2倍		m	255			
	EM-IE5.5mm2	管内	m	78			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	EM-IE60mm2	管内	m	44			
	EM-IE100mm2	管内	m	12			
	EM-IE150mm2	管内	m	16			
	導入線 1.2mm 樹脂	管内	m	12			
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管内	m	206			
	6.6KV-EM-CET38	管内	m	12			
	6.6KV-EM-CET38	PF管内	m	199			
	EM-CEE2-2C	管内	m	12			
	EM-CEE2-2C	PF管内	m	199			
	端末処理材(屋外)	6.6kv EM-CET(EF)38	か所	1			
	接地極	ED(ELCB)	か所	1			
	接地極	EA(LA)	か所	1			
	接地極	EAED	か所	2			
	接地極	EB	か所	1			
	接地極	EC	か所	1			
	接地極	ET	か所	2			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	根切り(機械)バックホウ0.45m ³	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	m ³	122			
	埋戻し(機械)バックホウ0.45m ³	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	m ³	107			
	砂利事業	切込み砂利	m ³	15			
	建設発生土処理	人力 場内敷きならし	m ³	15			
	29 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
29	構内配電線路	外灯					
	照明器具	SP-16	個	221			
	厚鋼電線管(G管)	28mm 露出	m	234			
	FEP管	100mm 地中	m	16			
	埋設標識シート 2倍		m	4			
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管内	m	4			
	中継ケーブル		m	204			
	EM-CE3.5-3C	管内	m	234			
	丸形露出BOX-GP	2方出 28mm	個	17			
	PB-SS-WP(SUS)	200 200 100	個	16			
	PB-SS-WP(SUS)	200 200 200	個	8			
	プルボックス用接地端子		個	24			
	外灯SP-1基礎		基	1			
	根切り(機械)バックホウ0.45m ³	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	m ³	8			
	埋戻し(機械)バックホウ0.45m ³	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	m ³	6			
	砂利事業	切込み砂利	m ³	2			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
30	構内通信線路	通信引込み					
	ハントホール(1000x1000x1500)	重耐蓋	基	5			
	ハントホール(1000x1000x1500)	重耐蓋(化粧蓋)	基	1			
	厚鋼電線管(G管)	54mm 露出	m	48			
	FEP管	50mm 地中	m	858			
	埋設標識シート 2倍		m	214			
	埋設標(地中線)	コンクリート製	個	2			
	埋設標(地中線)	鉄製	個	5			
	導入線 1.2mm 樹脂	管内	m	36			
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管内	m	643			
	根切り(機械)バックホウ0.45m ³	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	m ³	120			
	埋戻し(機械)バックホウ0.45m ³	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	m ³	104			
	砂利事業	切込み砂利	m ³	16			
	建設発生土処理	人力 場内敷きならし	m ³	16			
	31 ー 計						

名 称		内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
31	構内通信線路	通信					
	FEP管	100mm 地中	m	16			
	導入線 1.2mm 樹脂	PF管内	m	16			
	32 - 計						

名 称		内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
C	空 調 設 備 工 事						
I	空 気 調 和 設 備		式	1.0			
II	換 気 設 備		式	1.0			
III	自 動 制 御 設 備		式	1.0			
	計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
C	空 気 調 和 設 備						
1-1	機 器 設 備		式	1.0			
1-2	ダ ク ト 設 備		式	1.0			
1-3	配 管 設 備		式	1.0			
1-4	総 合 調 整		式	1.0			
	小 計						
2	換 気 設 備						
2-1	機 器 設 備		式	1.0			
2-2	ダ ク ト 設 備		式	1.0			
2-3	総 合 調 整		式	1.0			
	小 計						
3	自 動 制 御 設 備						
3-1	自 動 制 御 設 備		式	1.0			
	小 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	空気調和設備						
1-1	機器設備						
	AHP-1 高効率モジュールチラー	冷却能力 168kW, 加熱能力 176kW 圧縮機電動機 42.4kW, 防振架台	基	3.0			
	AHP-2 高効率モジュールチラー	冷却能力 168kW, 加熱能力 176kW 圧縮機電動機 42.4kW, 防振架台	基	3.0			
	AHP-3 高効率空冷ヒートポンプユニット	冷却能力 56kW, 加熱能力 70kW 圧縮機電動機 25.5kW, 防振架台	基	1.0			
	PHU-1 冷温水ポンプ	冷温循環ポンプ 200L/min×30m, 2.2kW	台	1.0			
	PD-1 トレンアップポンプ	タンク付トレン用ポンプ 80L/min×6m, 0.5kW	台	2.0			
	OHU-1-1 コンパ°外型空気調和機	風量 19,500m3/h 防振架台	台	1.0			
	OHU-1-2 コンパ°外型空気調和機	風量 19,500m3/h 防振架台	台	1.0			
	OHU-2-1 コンパ°外型空気調和機	風量 19,500m3/h 防振架台	台	1.0			
	OHU-2-2 コンパ°外型空気調和機	風量 19,500m3/h 防振架台	台	1.0			
	TEX-1 密閉型膨張タンク	SUS製 容量 30L	基	1.0			
	TEX-2 密閉型膨張タンク	SUS製 容量 30L	基	1.0			
	TEX-3 密閉型膨張タンク	SUS製 容量 20L	基	1.0			
	RP-1 輻射パネル	床置 冷房能力 2.6kW, 加熱能力 3.2kW	式	1.0			
	ACP-1-1 空冷HPマルチパッケージ°エアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 22.4kW, 暖房能力 25.0kW	台	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ACP-1-1-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	2.0			
	ACP-1-1-R2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	2.0			
	ACP-1-1-R3 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット2方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	4.0			
	ACP-1-2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 45.0kW, 暖房能力 50.0kW	台	1.0			
	ACP-1-2-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 4.5kW, 暖房能力 5.0kW	台	4.0			
	ACP-1-2-R2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 5.6kW, 暖房能力 6.3kW	台	4.0			
	ACP-1-3 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 40.0kW, 暖房能力 45.0kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R3 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R4 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R5 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R6 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット2方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	3.0			
	ACP-1-3-R7 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R8 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-3-R9 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ACP-1-3-R10 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-4 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 14.0kW, 暖房能力 16.0kW	台	1.0			
	ACP-1-4-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井隠ぺい 冷房能力 5.6kW, 暖房能力 6.3kW	台	2.0			
	ACP-1-4-R2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 壁掛 冷房能力 2.2kW, 暖房能力 2.5kW	台	1.0			
	ACP-1-5 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 22.4kW, 暖房能力 25.0kW	台	1.0			
	ACP-1-5-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井隠ぺい 冷房能力 5.6kW, 暖房能力 6.3kW	台	4.0			
	ACP-1-6 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 33.5kW, 暖房能力 37.5kW	台	1.0			
	ACP-1-6-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 4.5kW, 暖房能力 5.0kW	台	6.0			
	ACP-1-7 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 22.4kW, 暖房能力 25.0kW	台	1.0			
	ACP-1-7-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-7-R2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-7-R3 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット2方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	2.0			
	ACP-1-7-R4 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-7-R5 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-1-8 ルームエアコン	室外機 冷暖切替 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.6kW	台	1.0			
	ACP-1-8-R1 ルームエアコン	室内機 壁掛 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.6kW	台	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ACP-2-1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 11.2kW, 暖房能力 12.5kW	台	1.0			
	ACP-2-1-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 壁掛 冷房能力 2.2kW, 暖房能力 2.5kW	台	1.0			
	ACP-2-1-R2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 壁掛 冷房能力 2.2kW, 暖房能力 2.5kW	台	1.0			
	ACP-2-1-R3 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-2-1-R4 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-2-2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室外機 冷暖切替(高効率型) 冷房能力 11.2kW, 暖房能力 12.5kW	台	1.0			
	ACP-2-2-R1 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井隠ぺい 冷房能力 2.2kW, 暖房能力 2.5kW	台	1.0			
	ACP-2-2-R2 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井隠ぺい 冷房能力 4.5kW, 暖房能力 5.0kW	台	1.0			
	ACP-2-2-R3 空冷HPマルチパッケージエアコン	室内機 天井セット4方向吹出 冷房能力 2.8kW, 暖房能力 3.2kW	台	1.0			
	ACP-2-3 空冷HPパッケージエアコン	室外機 冷暖切替 ツイン 冷房能力 7.1kW, 暖房能力 8.0kW	台	1.0			
	ACP-2-3-R 空冷HPパッケージエアコン	室内機 壁掛 冷房能力 3.6kW, 暖房能力 4.0kW	台	2.0			
	集中コントローラー	運転/停止、運転モード切替、液晶タッチパネル方式 手元操作禁止/許可、火災一括OFFほか	式	1.0			
	予備フィルター(100%)		式	1.0			
	搬入・据付費		式	1.0			
	1-1 ー 計						

名 称		内 容		単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	空気調和設備							
1-2	ダクト設備							
	矩形ダクト	共板工法 亜鉛鉄板 0.5mm		m2	405.0			
	矩形ダクト	共板工法 亜鉛鉄板 0.6mm		m2	165.0			
	矩形ダクト	共板工法 亜鉛鉄板 0.8mm		m2	289.0			
	矩形ダクト	短管1.6t 鋼板製 1.6mm		m2	35.0			
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 200 φ		m	358.0			
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 250 φ		m	94.0			
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 300 φ		m	9.0			
	フレキシブルダクト	保温有 200 φ		本	4.0			
	フレキシブルダクト	保温有 250 φ		本	26.0			
	(制気口類)							
	吹出口	結露防止型 BLD 1500L		個	8.0			
	吹出口	結露防止型 VHS 300 300		個	2.0			
	吹出口	結露防止型 VHS 350 350		個	1.0			
	吹出口	VHS 300 300		個	4.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	吸込口	結露防止型 CL-2 1500L	個	8.0			
	吸込口	HS 300 300	個	6.0			
	吸込口	HS 350 350	個	1.0			
	吸込口	金網 700 300	個	4.0			
	吸込口	金網 200 φ	個	108.0			
	(ダンパー類)						
	風量調節ダンパー	VD 450 400	個	16.0			
	風量調節ダンパー	VD 900 600	個	4.0			
	風量調節ダンパー	VD 200 φ	個	108.0			
	モーターダンパー	MD 600 600	個	4.0			
	モーターダンパー	MD 650 650	個	4.0			
	モーターダンパー	MD 900 600	個	4.0			
	防火ダンパー	FD 450 400	個	16.0			
	防火ダンパー	FD 700 300	個	4.0			
	防火ダンパー	FD 750 750	個	4.0			
	防火ダンパー	FD 200 φ	個	108.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	風量測定口		個	192.0			
	たわみ継手	ダクト用	m	45.0			
	点検口	ダクト用 450 450	個	12.0			
	チャンバー類		式	1.0			
	制気口ボックス類		式	1.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	1-2 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	空気調和設備						
1-3	配管設備						
	(冷温水管)						
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(ねじ) 25A	m	134.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(ねじ) 32A	m	9.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(ねじ) 40A	m	15.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(ねじ) 50A	m	64.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(ねじ) 65A	m	153.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(溶接) 125A	m	77.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	機械室・便所 SGP(ねじ) 25A	m	23.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	機械室・便所 SGP(溶接) 100A	m	83.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	機械室・便所 SGP(溶接) 125A	m	26.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋外架空・暗渠 SGP(ねじ) 25A	m	6.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋外架空・暗渠 SGP(溶接) 100A	m	33.0			
	冷温水管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋外架空・暗渠 SGP(溶接) 125A	m	81.0			
	(膨張管)						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	膨張管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(ねじ) 25A	m	3.0			
	膨張管 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋外架空・暗渠 SGP(ねじ) 25A	m	7.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 25A	個	63.0			
	逆止弁	JIS 10K(鑄鉄製) 65A	個	1.0			
	Y形ストレーナー	JIS 10K(鑄鉄製) 65A	個	1.0			
	Y形ストレーナー	JIS 10K(鑄鉄製) 100A	個	6.0			
	バタフライ弁	JIS 10K(鑄鉄製) 65A	個	4.0			
	バタフライ弁	JIS 10K(鑄鉄製) 100A	個	20.0			
	フレキシブル継手	65A	個	4.0			
	フレキシブル継手	100A	個	20.0			
	伸縮管継手	EXP-D 40A	個	1.0			
	伸縮管継手	EXP-D 50A	個	2.0			
	伸縮管継手	EXP-D 65A	個	3.0			
	伸縮管継手	EXP-D 125A	個	2.0			
	二方弁装置	100A	組	4.0			
	二方弁装置	125A	組	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	逃し弁	25A	個	3.0			
	温度計	バイメタル	個	22.0			
	圧力計		個	26.0			
	瞬間流量計	65A	個	1.0			
	瞬間流量計	100A	個	10.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	架台類		式	1.0			
	形鋼振れ止め支持	配管工事費の3%	式	1.0			
	スリーブ	配管工事費の6%	式	1.0			
	(冷媒管)						
	冷媒管(液) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚10mm 6.4φ	m	254.0			
	冷媒管(液) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚10mm 9.5φ	m	485.0			
	冷媒管(液) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚10mm 12.7φ	m	70.0			
	冷媒管(液) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚10mm 15.9φ	m	17.0			
	冷媒管(ガス) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚20mm 9.5φ	m	28.0			
	冷媒管(ガス) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚20mm 12.7φ	m	226.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	冷媒管(ガス) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚20mm 15.9φ	m	349.0			
	冷媒管(ガス) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚20mm 19.1φ	m	118.0			
	冷媒管(ガス) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚20mm 22.2φ	m	18.0			
	冷媒管(ガス) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚20mm 25.4φ	m	70.0			
	冷媒管(ガス) 冷媒用被覆銅管	屋内一般,機械室・便所 保温厚20mm 28.6φ	m	17.0			
	防火区画貫通処理		式	1.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	架台類		式	1.0			
	スリーブ	配管工費の6%	式	1.0			
	(ドレン管)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 25A	m	204.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 30A	m	232.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 40A	m	37.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 50A	m	180.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 65A	m	23.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 25A	m	17.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 30A	m	30.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	m	1.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	m	27.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	m	26.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 25A	m	4.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 50A	m	33.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 100A	m	6.0			
	仕切弁	JIS 5K(青銅製) 25A	個	5.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 25A	個	10.0			
	乾式トラップ	25A	個	1.0			
	乾式トラップ	50A	個	18.0			
	空調トラップ	50A	個	4.0			
	間接排水口	50A 25A	個	1.0			
	間接排水口	100A 50A	個	22.0			
	防虫網	50A	個	5.0			
	保温・塗装		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	架台類		式	1.0			
	形鋼振れ止め支持	配管工事費の3%	式	1.0			
	スリーブ	配管工事費の6%	式	1.0			
	(加湿給水管)						
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	屋内一般 拡管 20Su	m	273.00			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	機械室・便所 拡管 20Su	m	46.00			
	仕切弁	JIS 10K(SUS製) 20A	個	1.0			
	逆止弁	JIS 10K(SUS製) 20A	個	1.0			
	フレキシブル継手	SUS製 20A	個	1.0			
	電磁弁装置	SUS製 20A	組	4.00			
	保温・塗装		式	1.0			
	スリーブ	配管工事費の6%	式	1.0			
	1-3 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	空気調和設備						
1-4	総合調整						
	矩形ダクト		m2	1,059.0			
	スパイラルダクト		m	869.0			
	配管		m	584.0			
	1-4 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2	換気設備						
2-1	機器設備						
	HEU-M1-1 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 500m3/h×130Pa	台	3.0			
	HEU-M1-2 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 400m3/h×130Pa	台	3.0			
	HEU-M1-3 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 150m3/h×150Pa	台	1.0			
	HEU-M1-4 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 200m3/h×150Pa	台	1.0			
	HEU-M1-5 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 100m3/h×160Pa	台	1.0			
	HEU-M1-6 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 200m3/h×150Pa	台	1.0			
	HEU-M1-7 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 250m3/h×140Pa	台	1.0			
	HEU-M1-8 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 250m3/h×140Pa	台	1.0			
	HEU-M1-9 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 450m3/h×150Pa	台	1.0			
	HEU-M1-10 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 550m3/h×260Pa	台	2.0			
	HEU-S1-1 全熱交換器	天井隠ぺい 静止型 750m3/h×150Pa	台	3.0			
	HEU-S1-2 全熱交換器	床置 静止型 防振架台 4,800m3/h×260Pa	台	1.0			
	集中コントローラー	運転/停止、運転モード切替、液晶タッチパネル方式 手元操作禁止/許可、火災一括OFFほか	式	1.0			
	予備フィルター(100%)		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	FE-M1-1 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 2,200m ³ /h×150Pa	台	2.0			
	FE-M1-2 排風機	消音ボックス付ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/4 700m ³ /h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-3 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 耐湿形 #1 200m ³ /h×130Pa	台	1.0			
	FE-M1-4 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 150m ³ /h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-5 排風機	消音ボックス付ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/4 700m ³ /h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-6 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 耐湿形 #1 200m ³ /h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-7 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 150m ³ /h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-8 排風機	天井扇 天吊 150φ 450m ³ /h×80Pa	台	1.0			
	FE-M1-9 排風機	天井扇 天吊 150φ 450m ³ /h×80Pa	台	1.0			
	FE-M1-10 排風機	天井扇 天吊 150φ 400m ³ /h×70Pa	台	1.0			
	FE-M1-11 排風機	天井扇 天吊 100φ 50m ³ /h×80Pa	台	1.0			
	FE-M1-12 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 850m ³ /h×200Pa	台	1.0			
	FE-M1-13 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 600m ³ /h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-14 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 700m ³ /h×200Pa	台	1.0			
	FE-M1-15 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 1,700m ³ /h×200Pa	台	1.0			
	FE-M1-16 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 1,900m ³ /h×150Pa	台	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	FE-M1-17 排風機	天井扇 天吊 100φ 150m3/h×130Pa	台	1.0			
	FE-M1-18 排風機	天井扇 天吊 (低騒音型) 100φ 100m3/h×110Pa	台	1.0			
	FE-M1-19 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 850m3/h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-20 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/4 900m3/h×160Pa	台	1.0			
	FE-M1-21 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/4 300m3/h×200Pa	台	1.0			
	FE-M1-22 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/4 500m3/h×190Pa	台	1.0			
	FE-M1-23 排風機	天井扇 天吊 150φ 450m3/h×90Pa	台	1.0			
	FE-M2-1 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 800m3/h×180Pa	台	1.0			
	FE-M2-2 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 1,100m3/h×180Pa	台	1.0			
	FE-M2-3 排風機	天井扇 天吊 150φ 150m3/h×70Pa	台	2.0			
	FE-M2-4 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 800m3/h×160Pa	台	1.0			
	FE-M2-5 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 #1 1/2 1,100m3/h×150Pa	台	1.0			
	FE-M2-6 排風機	天井扇 天吊 (低騒音型) 150φ 50m3/h×110Pa	台	2.0			
	FE-M2-7 排風機	天井扇 天吊 150φ 100m3/h×110Pa	台	1.0			
	FE-M2-8 排風機	消音ボックス付ストレートシロッコファン 天吊 耐湿形 #1 1/4 800m3/h×180Pa	台	1.0			
	FE-M2-9 排風機	消音ボックス付ストレートシロッコファン 天吊 耐湿形 #1 1/4 400m3/h×180Pa	台	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	FE-M2-10 排風機	消音ボックス付片吸込みシロッコファン 天吊 防振架台 #3 7,250m3/h×270Pa 防振架台	台	2.0			
	FE-M2-11 排風機	消音ボックス付片吸込みシロッコファン 天吊 防振架台 #3 7,250m3/h×270Pa 防振架台	台	2.0			
	FE-M2-12 排風機	消音ボックス付片吸込みシロッコファン 天吊 防振架台 #3 7,250m3/h×270Pa 防振架台	台	2.0			
	FE-M2-13 排風機	消音ボックス付片吸込みシロッコファン 天吊 防振架台 #3 7,250m3/h×270Pa 防振架台	台	2.0			
	FE-S1-1 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 防振架台 #1 1/2 950m3/h×140Pa	台	1.0			
	FE-S1-2 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 防振架台 #1 1/2 1,600m3/h×150Pa	台	1.0			
	FE-S1-3 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 防振架台 #1 1/2 350m3/h×180Pa	台	1.0			
	FE-S1-4 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 防振架台 #1 1/2 1,600m3/h×240Pa	台	1.0			
	FE-S1-5 排風機	消音ボックス付ストレートシロッコファン 天吊 防振架台 #1 1/4 400m3/h×210Pa	台	1.0			
	FE-S1-6 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 耐湿形 防振架台 #1 250m3/h×210Pa	台	1.0			
	FE-S1-7 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 防振架台 #1 1/2 1,400m3/h×200Pa	台	1.0			
	FE-S1-8 排風機	消音ボックス付ストレートシロッコファン 天吊 防振架台 #1 1/4 400m3/h×200Pa	台	1.0			
	FE-S1-9 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 耐湿形 防振架台 #1 250m3/h×200Pa	台	1.0			
	FE-S1-10 排風機	ストレートシロッコファン 天吊 耐湿形 防振架台 #1 200m3/h×200Pa	台	2.0			
	FE-S1-11 排風機	天井扇 天吊 防振架台 150φ 200m3/h×100Pa	台	1.0			
	FE-S1-12 排風機	天井扇 天吊 防振架台 150φ 250m3/h×110Pa	台	2.0			

名 称		内 容		単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2	換気設備							
2-2	ダクト設備							
	矩形ダクト	共板工法 亜鉛鉄板 0.5mm	m2	297.0				
	矩形ダクト	共板工法 亜鉛鉄板 0.6mm	m2	67.0				
	矩形ダクト	共板工法 亜鉛鉄板 0.8mm	m2	29.0				
	矩形ダクト	鋼板製 1.6mm	m2	169.0				
	矩形ダクト	短管1.6t 鋼板製 1.6mm	m2	8.0				
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 100 φ	m	11.0				
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 150 φ	m	223.0				
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 200 φ	m	394.0				
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 250 φ	m	416.0				
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板 300 φ	m	105.0				
	フレキシブルダクト	保温有 150 φ	本	25.0				
	フレキシブルダクト	保温有 200 φ	本	17.0				
	フレキシブルダクト	保温有 250 φ	本	23.0				
	フレキシブルダクト	保温有 300 φ	本	2.0				

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(制気口類)						
	吹出口	結露防止型 BLD 1500L	個	1.0			
	吹出口	結露防止型 BLD 2000L	個	1.0			
	吹出口	結露防止型 フィルター付 BLD 1500L	個	1.0			
	吹出口	結露防止型 フィルター付 BLD 2000L	個	1.0			
	吹出口	結露防止型 VHS 200 200	個	2.0			
	吹出口	結露防止型 フィルター付 VHS 250 250	個	1.0			
	吹出口	結露防止型 フィルター付 VHS 300 300	個	1.0			
	吹出口	結露防止型 フィルター付 VHS 350 350	個	3.0			
	吹出口	フィルター付 VHS 200 200	個	1.0			
	吹出口	フィルター付 VHS 250 250	個	1.0			
	吹出口	フィルター付 VHS 300 300	個	2.0			
	吹出口	フィルター付 VHS 350 350	個	3.0			
	吹出口	フィルター付 VHS 400 400	個	8.0			
	吹出口	フィルター付 VHS 450 450	個	5.0			
	吹出口	VHS 100 100	個	1.0			

名 称		内 容		単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	吹出口	VHS	150 150	個	1.0			
	吹出口	VHS	200 200	個	11.0			
	吹出口	VHS	250 250	個	7.0			
	吹出口	VHS	300 300	個	12.0			
	吹出口	VHS	350 350	個	10.0			
	吹出口	VHS	400 400	個	2.0			
	吹出口	VHS	450 450	個	1.0			
	吹出口	VHS	500 500	個	2.0			
	吸込口	結露防止型 CL-2	1500L	個	2.0			
	吸込口	フィルター付 HS	200 200	個	1.0			
	吸込口	フィルター付 HS	250 250	個	1.0			
	吸込口	フィルター付 HS	450 450	個	1.0			
	吸込口	HS	100 100	個	1.0			
	吸込口	HS	150 150	個	38.0			
	吸込口	HS	200 200	個	63.0			
	吸込口	HS	250 250	個	13.0			

名 称		内 容		単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	吸込口	HS	300 300	個	19.0			
	吸込口	HS	350 350	個	13.0			
	吸込口	HS	400 400	個	12.0			
	吸込口	HS	450 450	個	4.0			
	吸込口	HS	1500 1000	個	8.0			
	吸込口	金網	600 400	個	1.0			
	(ダンパー類)							
	風量調節ダンパー	VD	250 250	個	3.0			
	風量調節ダンパー	VD	300 250	個	2.0			
	風量調節ダンパー	VD	350 250	個	1.0			
	風量調節ダンパー	VD	350 300	個	1.0			
	風量調節ダンパー	VD	350 350	個	1.0			
	風量調節ダンパー	VD	400 250	個	1.0			
	風量調節ダンパー	VD	450 250	個	1.0			
	風量調節ダンパー	VD	450 300	個	2.0			
	風量調節ダンパー	VD	600 400	個	1.0			

名 称		内 容		単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	風量調節ダンパー	VD	600 500	個	8.0			
	風量調節ダンパー	VD	950 250	個	1.0			
	風量調節ダンパー	VD	150 φ	個	2.0			
	風量調節ダンパー	VD	200 φ	個	12.0			
	風量調節ダンパー	VD	250 φ	個	5.0			
	風量調節ダンパー	VD	300 φ	個	4.0			
	防火ダンパー	FD	300 300	個	1.0			
	防火ダンパー	FD	350 350	個	4.0			
	防火ダンパー	FD	600 500	個	8.0			
	防火ダンパー	FD	200 φ	個	1.0			
	防火ダンパー	FD	300 φ	個	1.0			
	逆流防止ダンパー	CD	250 250	個	3.0			
	逆流防止ダンパー	CD	300 250	個	1.0			
	逆流防止ダンパー	CD	350 250	個	1.0			
	逆流防止ダンパー	CD	350 300	個	1.0			
	逆流防止ダンパー	CD	400 250	個	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	逆流防止ダンパー	CD 600 500	個	8.0			
	逆流防止ダンパー	CD 950 250	個	2.0			
	逆流防止ダンパー	CD 100 φ	個	2.00			
	逆流防止ダンパー	CD 150 φ	個	3.00			
	逆流防止ダンパー	CD 200 φ	個	11.00			
	逆流防止ダンパー	CD 250 φ	個	5.00			
	逆流防止ダンパー	CD 300 φ	個	1.00			
	ベントキャップ	VC 200 φ	個	2.00			
	ベントキャップ	VC 250 φ	個	7.00			
	風量測定口		個	63.0			
	たわみ継手	ダクト用	m	106.0			
	点検口	ダクト用 450 450	個	42.0			
	チャンバー類		式	1.0			
	制気口ボックス類		式	1.0			
	保温・塗装		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2	換気設備						
2-3	総合調整						
	矩形ダクト		m2	569.0			
	スパイラルダクト		m	1,152.0			
	2-3 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3	自動制御設備						
3-1	自動制御設備						
	自動制御機器						
	熱源廻り制御(1)						
	配管用温度センサ	TY7830B	個	4.0			
	差圧発信機	JTD	個	2.0			
	電磁流量計	MGG11D/10C	個	2.0			
	盤表面型表示設定器	QJ-1101D	個	2.0			
	ポンプ・アクト・ハンスコントローラ	WJ-1102P	個	2.0			
	DC24V電源	RYY792D	個	2.0			
	アイソレータ	RYY792S	個	2.0			
	電動2方弁	VY5133J40A	個	2.0			
	熱源廻り制御(2)						
	配管用温度センサ	TY7830B	個	2.0			
	電磁流量計	MGG11D/10C	個	1.0			
	盤表面型表示設定器	QJ-1101D	個	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	デジタル式コントローラ	WJ-1111	個	1.0			
	外調機廻り制御						
	配管用温度センサ	TY7830B	個	4.0			
	ダクト用温度センサ	TY7803Z	個	8.0			
	ダクト用温度センサ	TY7803C	個	4.0			
	ダクト用温湿度センサ	HTY7803C	個	4.0			
	差圧スイッチ	PYY-604	個	4.0			
	盤表面型表示設定器	QY5000W	個	4.0			
	ディスプレイパネル	QY5000S	個	4.0			
	デジタル式コントローラ	WJ-1111W	個	4.0			
	絶縁トランス	ATY82Z	個	4.0			
	ダンパ°操作器	MY8040A	個	4.0			
	ダンパ°操作器	MY8050A	個	8.0			
	電動2方ボール弁	VY6300B20A	個	4.0			
	流量計制御機能付電動2方弁	FVY5160J65A	個	4.0			
	全熱交換器廻り制御						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	CO2濃度センサ	CY8100C	個	1.0			
	ダクト用温湿度センサ	HTY7805T1P	個	1.0			
	盤表面型表示設定器	QY5000W	個	1.0			
	ディスプレイパネル	QY5000S	個	1.0			
	デジタル式コントローラ	WJ-1111W	個	1.0			
	受水槽廻り制御						
	電磁弁(ダイヤフラム式)JWWA認証品	WS22N25A	個	2.0			
	雨水貯留槽廻り制御						
	感雨器	NO35	個	1.0			
	液面リレー/電極棒 5P	61F-G3N/5P	個	1.0			
	液面リレー/電極棒 4P	61F-G3N/4P	個	1.0			
	消火水槽監視						
	液面リレー/電極棒 3P	61F-LS/3P	個	1.0			
	計測系統						
	ダクト用耐環境温湿度センサ	HTY1010T	個	1.0			
	盤関係						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	集中管理装置	壁掛・自立盤組込み型	式	1.0			
		UPS×1台 集中管理盤×1面					
	自動制御盤	1MCP-1	面	1.0			
	自動制御盤	1MCP-2	面	1.0			
	自動制御盤	1MCP-3	面	1.0			
	自動制御盤	1MCP-4	面	1.0			
	自動制御盤	1SCP-1	面	1.0			
	自動制御盤	2SCP-1	面	1.0			
	エンジニアリング費						
	エンジニアリング費		式	1.0			
	調整費						
	調整費		式	1.0			
	計装工事						
	スイッチ配線工事						
	ケーブル	EM-CEES 1.25□x2C	m	314.0			
	ケーブル	EM-CEES 1.25□x2C	m	1,896.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	電線管	E25mm	本	19.0			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G22mm	本	14.0			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G28mm	本	6.0			
	合成樹脂可とう電線管	PF28mm	m	161.0			
	電線管付属品		式	1.0			
	樹脂管付属品		式	1.0			
	露出スイッチボックス 2個用		個	14.0			
	アウトレットボックス	1個用	個	28.0			
	スイッチボックス	2個用	個	37.0			
	スイッチボックス	3個用	個	2.0			
	プルボックス類		式	1.0			
	ブリカ&コネクター類		式	1.0			
	吊材料費及び支持具		式	1.0			
	雑材料・消耗品		式	1.0			
	防火区画貫通費		式	1.0			
	機器・材料揚重費		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	試運転立会費		式	1.0			
	機器取付費		式	1.0			
	結線費		式	1.00			
	労務費		式	1.00			
	雑工費		式	1.00			
	塗装費		式	1.00			
	交通費		式	1.00			
	材料運搬費		式	1.00			
	廃材処理費		式	1.00			
	計装工事						
	DP専用ケーブル		m	24.00			
	ケーブル	EM-CEE 1.25□x2C	m	509.00			
	ケーブル	EM-CEE 1.25□x3C	m	586.00			
	ケーブル	EM-CEE 1.25□x4C	m	21.0			
	ケーブル	EM-CEE 1.25□x5C	m	37.00			
	ケーブル	EM-CEE 1.25□x6C	m	26.00			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ケーブル	EM-CEE 2□x2C	m	665.0			
	ケーブル	EM-CEE 2□x3C	m	273.0			
	ケーブル	EM-CEE 2□x4C	m	109.0			
	ケーブル	EM-CEE 2□x5C	m	13.0			
	ケーブル	EM-CEES 1.25□x2C	m	225.0			
	ケーブル	EM-CEES 1.25□x3C	m	91.0			
	ケーブル	EM-CEES 1.25□x4C	m	45.0			
	ケーブル	EM-CEES 1.25□x6C	m	33.0			
	ケーブル	EM-CEES 1.25□x7C	m	11.0			
	ケーブル	600V_EM-CE3.5□x3C	m	176.0			
	ケーブル	EM-HP 1.2mmx3P	m	276.0			
	ケーブル	EM-LANケーブル	m	564.0			
	ケーブル	EM-MEES 0.5□x4C	m	92.0			
	ケーブル	EM-KPEES 0.75□x3P	m	1,580.0			
	ケーブル	EM-KPEES 0.75□x5P	m	187.0			
	ケーブル	EM-KPEES0.75□x10P	m	174.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ケーブル	EM-KPEES0.75φx20P	m	60.0			
	電線管	E19mm	本	25.0			
	電線管	E25mm	本	83.00			
	電線管	E31mm	本	6.00			
	電線管	E39mm	本	11.00			
	電線管	E51mm	本	3.0			
	電線管	E63mm	本	2.00			
	電線管	E75mm	本	1.00			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G16mm	本	19.00			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G22mm	本	110.00			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G28mm	本	30.00			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G36mm	本	22.0			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G54mm	本	18.00			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G70mm	本	9.00			
	溶融亜鉛メッキ電線管	G82mm	本	3.00			
	合成樹脂可とう電線管	PF16mm	m	3.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	合成樹脂可とう電線管	PF22mm	m	13.00			
	波付硬質合成樹脂管	FEP28mm	m	5.0			
	電線管付属品		式	1.0			
	樹脂管付属品		式	1.0			
	導圧管 片圧		組	2.0			
	導圧管 両圧		組	2.0			
	電極棒取付架台		台	3.0			
	降雨センサー架台		台	1.0			
	水槽用ボックス付 マンホール		個	2.0			
	電極棒防水カバー		個	1.0			
	百葉箱		個	1.0			
	スイッチボックス	2個用	個	2.00			
	丸型露出ボックス		個	16.0			
	プルボックス類		式	1.00			
	ブリカ&コネクター類		式	1.00			
	ケーブルラック	200mm	本	10.00			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	ケーブルラック	300mm	本	37.00			
	ケーブルラック	400mm	本	4.0			
	ケーブルラック	500mm	本	4.0			
	ケーブルラック	直線セパレータ	本	53.00			
	ケーブルラックカバー	200mm	本	9.0			
	ケーブルラックカバー	300mm	本	5.0			
	ケーブルラックカバー	400mm	本	1.0			
	ケーブルラックカバー	500mm	本	2.0			
	L形分岐ラック	200mm	個	2.0			
	L形分岐ラック	300mm	個	6.0			
	L形分岐ラック	400mm	個	5.0			
	L形分岐ラック	500mm	個	2.0			
	L形分岐ラックカバー	200mm	個	2.0			
	L形分岐ラックカバー	300mm	個	3.0			
	L形分岐ラックカバー	400mm	個	1.0			
	L形分岐ラックカバー	500mm	個	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	メッシュシート	200mm	m	26.0			
	メッシュシート	300mm	m	13.0			
	メッシュシート	400mm	m	2.0			
	メッシュシート	500mm	m	5.0			
	ラック付属品		式	1.0			
	吊材料費及び支持具		式	1.0			
	モジュラーコネクタ		個	12.0			
	三又配線ユニット		個	12.0			
	終端抵抗 ジェネラルコントローラ用		個	4.0			
	機器取付用スタンション		台	8.0			
	取付ブラケット		台	18.0			
	電線管取付セット		台	18.0			
	百葉箱用取付ブラケット		台	1.0			
	本体取付ブラケットセット		台	1.0			
	電動弁防雨ケース	アクティブ用	個	2.0			
	電磁弁防水カバー		個	2.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	小型弁防水カバー		個	2.0			
	DP取付ボックス		個	4.0			
	微差圧スイッチ用ボックス		個	4.0			
	耐震支持架台類		式	1.0			
	雑材料・消耗品		式	1.0			
	防火区画貫通費		式	1.0			
	機器・材料揚重費		式	1.0			
	試運転立会費		式	1.0			
	機器取付費		式	1.0			
	盤搬入費		式	1.0			
	盤据付費		式	1.0			
	結線費		式	1.0			
	労務費		式	1.0			
	雑工費		式	1.0			
	塗装費		式	1.0			
	交通費		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	材料運搬費		式	1.0			
	廃材処理費		式	1.0			
	専門工事費		式	1.0			
	3-1 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
I	給排水衛生設備工事						
1	給 水 設 備		式	1.0			
2	給 湯 設 備		式	1.0			
3	排 水 設 備		式	1.0			
4	衛 生 器 具 設 備		式	1.0			
5	消 火 設 備		式	1.0			
6	雨 水 ろ 過 設 備		式	1.0			
7	ガ ス 設 備		式	1.0			
	I - 計						

名 称		内 容	单位	数 量	单 価	金 額	備 考
Ⅱ	屋外給排水設備工事						
1	給 水 設 備		式	1.0			
	Ⅱ 一 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
I	給排水衛生設備工事						
1	給 水 設 備						
1-1	屋 内 給 水 設 備		式	1.0			
1-2	屋 外 給 水 設 備		式	1.0			
	小 計						
2	給 湯 設 備						
2-1	給 湯 設 備		式	1.0			
	小 計						
3	排 水 設 備						
3-1	屋 内 排 水 設 備		式	1.0			
3-2	屋 外 排 水 設 備		式	1.0			
	小 計						
4	衛 生 器 具 設 備						
4-1	衛 生 器 具 設 備		式	1.0			
	小 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5	消 火 設 備						
5-1	スプリンクラー 設 備		式	1.0			
5-2	屋 内 消 火 栓 設 備		式	1.0			
	小 計						
6	雨 水 ろ 過 設 備						
6-1	雨 水 ろ 過 設 備		式	1.0			
	小 計						
7	ガ ス 設 備						
7-1	ガ ス 設 備		式	1.0			
	小 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	給水設備						
1-1	屋内給水設備						
	(市水)						
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 20A	m	193.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 25A	m	88.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 32A	m	23.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 40A	m	11.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 50A	m	60.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 65A	m	30.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 80A	m	47.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VB 100A	m	42.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 20A	m	251.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 25A	m	50.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 32A	m	23.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 40A	m	19.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 50A	m	35.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 65A	m	1.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VB 100A	m	3.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 20A	m	8.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 25A	m	20.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 32A	m	6.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 20A	m	29.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 25A	m	18.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 32A	m	12.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 40A	m	12.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 20A	m	115.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 25A	m	17.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 32A	m	29.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 40A	m	8.0			
	(オーバーフロー)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 40A	m	2.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 20A	個	41.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 25A	個	6.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 32A	個	2.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 40A	個	4.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 50A	個	5.0			
	逆止弁	JIS 10K(管端防食) 20A	個	1.0			
	Y形ストレーナー	JIS 10K(管端防食) 20A	個	1.0			
	フレキシブル継手	20A	個	5.0			
	フレキシブル継手	25A	個	3.0			
	電磁弁装置	10K 25A	組	1.0			
	ボールタップ	20A	個	1.0			
	ボールタップ	25A	個	4.0			
	自動エア抜き弁	20A	個	5.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	形鋼振れ止め支持	配管工事費の3%	式	1.0			
	スリーブ	配管工事費の7%	式	1.0			
	(雑用水)						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VA 32A	m	7.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VA 40A	m	7.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VA 50A	m	44.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 20A	m	31.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 25A	m	11.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 32A	m	2.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VA 50A	m	3.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 20A	m	5.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 32A	m	8.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 40A	m	3.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 50A	m	2.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 20A	m	34.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 25A	m	20.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 32A	m	17.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 40A	m	2.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	機械室・便所 SGP-VD 50A	m	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 32A	個	2.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 40A	個	1.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 50A	個	1.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	形鋼振れ止め支持	配管工事費の3%	式	1.0			
	スリーブ	配管工事費の7%	式	1.0			
	1-1 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	給水設備						
1-2	屋外給水設備						
	TW-1 受水槽	ステンレス製複合板 パネル型 二槽式 有効16m3 4.0×2.5×2.0mH	基	1.0			
	PU-1 給水ポンプユニット(上水)	屋外型 並列自動交互運転 防振架台 2.2kW×2 420L/min×25m	組	1.0			
	PU-2 給水ポンプユニット(雑用水)	屋外型 単独自動交互運転 防振架台 3.7kW 200L/min×21m	組	1.0			
	PU-3 加湿用給水ポンプ	屋外型 加湿給水ポンプ(水槽100L付) 防振架台 0.8kW 20L/min×41m	台	1.0			
	水位・緊急遮断弁用制御盤	タッチパネル式複合盤	面	1.0			
	緊急遮断弁	パタフライバルブ式 50A	個	1.0			
	緊急遮断弁	パタフライバルブ式 100A	個	2.0			
	水位センサ		台	2.0			
	定位水位弁	ボールタップ付	台	2.0			
	定水位弁制御用電磁弁		台	2.0			
	搬入・据付費		式	1.0			
	(市水)						
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 20A	m	15.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 25A	m	10.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 40A	m	3.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 50A	m	26.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 100A	m	18.0			
	水道用 ポリエチレン管	地中 50A	m	4.0			
	(オーバーフロー)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 40A	m	2.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 75A	m	5.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 50A	個	1.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 20A	個	4.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 25A	個	1.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 40A	個	2.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 50A	個	3.0			
	仕切弁	JIS 10K(管端防食) 20A	個	2.0			
	仕切弁	JIS 10K(管端防食) 50A	個	4.0			
	逆止弁	JIS 10K(管端防食) 40A	個	2.0			
	バタフライ弁	JIS 10K(鋳鉄製) 100A	個	4.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	フレキシブル継手	20A	個	3.0			
	フレキシブル継手	25A	個	1.0			
	フレキシブル継手	50A	個	2.0			
	フレキシブル継手	100A	個	2.0			
	防振継手	合成ゴム製 40A	個	2.0			
	防振継手	合成ゴム製 100A	個	1.0			
	ボールタップ	20A	個	3.0			
	定水位弁	50A	個	2.0			
	量水器BOX	50A	個	1.0			
	量水器	隔測 50A	個	1.0			
	防虫網	40A	個	1.0			
	防虫網	80A	個	2.0			
	電磁弁装置	10K 20A	組	2.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	(雑用水)						
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VA 50A	m	9.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VA 65A	m	4.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 65A	m	9.0			
	仕切弁	JIS 5K(管端防食) 50A	個	2.0			
	逆止弁	JIS 10K(ライニング) 65A	個	2.0			
	バタフライ弁	JIS 10K(鋳鉄製) 65A	個	4.0			
	防振継手	合成ゴム製 50A	個	1.0			
	防振継手	合成ゴム製 65A	個	2.0			
	量水器	隔測 50A	個	1.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	土工事		式	1.0			
	1-2 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2	給湯設備						
2-1	給湯設備						
	PHW-1 給湯循環ポンプ	ステンレス製ラインポンプ 屋外型 0.2kW 20L/min×5m	台	1.0			
	WHP-1 ヒートポンプ給湯器	ヒートポンプユニット 加熱能力 30kW	台	1.0			
	TVW-1 貯湯ユニット	ステンレス製 密閉型 容量 4,000L	基	1.0			
	WHG-1 ガス湯沸器	屋外型 瞬間式 潜熱回収型 50号×2台	組	1.0			
	TEX-4 密閉型膨張タンク	SUS製 容量 150L	基	1.0			
	WHE-1 電気温水器	貯湯式 壁掛型 雑用 貯湯量 3L	台	1.0			
	WHE-2 電気温水器	貯湯式 床置型 雑用 貯湯量 25L	台	1.0			
	WHE-3 電気温水器	貯湯式 床置型 雑用 貯湯量 25L	台	1.0			
	WHE-4 電気温水器	貯湯式 床置型 雑用 貯湯量 25L	台	1.0			
	WHE-5 電気温水器	貯湯式 壁掛型 飲雑用 貯湯量 65L	台	1.0			
	WHE-6 電気温水器	貯湯式 床置型 雑用 貯湯量 25L	台	1.0			
	搬入・据付費		式	1.0			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	屋内一般 拡張管 20Su	m	211.0			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	屋内一般 拡張管 25Su	m	49.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	機械室・便所 拡管 20Su	m	80.0			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	機械室・便所 拡管 25Su	m	3.0			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	屋外架空・暗渠 拡管 25Su	m	10.0			
	(膨張管)						
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	屋内一般 拡管 20Su	m	7.0			
	仕切弁	JIS 10K(SUS製) 20A	個	20.0			
	仕切弁	JIS 10K(SUS製) 25A	個	1.0			
	逆止弁	JIS 10K(SUS製) 20A	個	2.0			
	フレキシブル継手	SUS製 20A	個	7.0			
	伸縮管継手	EXP-D 20A	個	2.0			
	伸縮管継手	EXP-D 25A	個	1.0			
	バキュームブレーカー	20A	個	1.0			
	逃し弁	20A	個	1.0			
	圧力計		個	1.0			
	保温・塗装		式	1.0			
	架台類		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3	排水設備						
3-1	屋内排水設備						
	(汚水)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 50A	m	12.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 75A	m	14.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 100A	m	78.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	m	24.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 75A	m	39.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	m	42.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 100A	m	7.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 50A	m	1.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 75A	m	1.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 100A	m	43.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 50A	m	40.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 75A	m	135.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 100A	m	49.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	(雑排水)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 40A	m	26.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 50A	m	96.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 65A	m	64.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 100A	m	27.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 200A	m	3.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	m	42.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	m	16.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 65A	m	48.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	m	3.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 50A	m	8.0			
	耐熱性 硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 HTVP 25A	m	2.0			
	耐熱性 硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 HTVP 50A	m	4.0			
	耐熱性 硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 HTVP 65A	m	50.0			
	耐熱性 硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 HTVP 25A	m	3.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 40A	m	12.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 50A	m	41.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 65A	m	5.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 40A	m	49.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 50A	m	38.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 65A	m	7.0			
	(通気)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 40A	m	35.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 50A	m	27.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 100A	m	5.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	m	30.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 50A	m	22.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 100A	m	2.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 40A	m	147.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 50A	m	140.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 65A	m	19.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 75A	m	14.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 40A	m	67.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 50A	m	61.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 65A	m	3.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	機械室・便所 VP 100A	m	2.0			
	(ドレン)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 50A	m	2.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 65A	m	2.0			
	(雨水)						
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	屋内一般 溶接 200Su	m	16.0			
	(臭突)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 100A	m	4.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 100A	m	6.0			
	硬質ポリ塩化ビニル 耐火二層管	屋内一般 VP 100A	m	18.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 50A	個	5.0			
	わんトラップ	50A	個	1.0			
	床上掃除口(非防水形)	COA 50A	個	7.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	床上掃除口(非防水形)	COA 65A	個	12.0			
	床上掃除口(非防水形)	COA 80A	個	1.0			
	床上掃除口(非防水形)	COA 100A	個	16.0			
	目皿	D金具 40A	個	1.0			
	目皿	D金具 50A	個	2.0			
	間接排水口	50A 25A	個	3.0			
	間接排水口	100A 50A	個	10.0			
	間接排水口	150A 50A	個	2.0			
	間接排水口	200A 100A	個	3.0			
	満水継手	50A	個	4.0			
	満水継手	65A	個	2.0			
	満水継手	100A	個	4.0			
	防虫網	25A	個	2.0			
	防虫網	50A	個	3.0			
	防虫網	100A	個	4.0			
	防虫網	200A	個	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	排水通気金物	埋込型 40A	個	3.0			
	排水通気金物	埋込型 50A	個	6.0			
	排水通気金物	埋込型 65A	個	2.0			
	排水通気金物	埋込型 80A	個	1.0			
	排水通気金物	埋込型 100A	個	1.0			
	形鋼振れ止め支持	配管工事費の3%	式	1.0			
	スリーブ	配管工事費の7%	式	1.0			
	3-1 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3	排水設備						
3-2	屋外排水設備						
	桷番号1 小口径塩ビ桷	90L 150 φ 600H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号2 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 630H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号3 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 690H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号4 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 720H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号5 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 1,000H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号6 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 1,030H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号7 切替桷	ESC-T 200 φ 1,070H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号8 インハート桷	SC-4 900 φ 1,450H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			
	桷番号9 インハート桷(最終桷)	SC-4 900 φ 1,500H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			
	桷番号10 小口径塩ビ桷	90L 150 φ 600H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号11 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 630H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号12 小口径塩ビ桷	45L 200 φ 670H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号13 小口径塩ビ桷	45L 200 φ 730H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号14 小口径塩ビ桷	45L 200 φ 780H 化粧蓋	組	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	桷番号15 小口径塩ビ桷	UTK 150 φ 600H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号16 小口径塩ビ桷	45L 200 φ 670H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号17 小口径塩ビ桷	90L 150 φ 700H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号18 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 730H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号19 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 760H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号20 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 790H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号21 小口径塩ビ桷	45L 200 φ 850H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号22 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 910H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号23 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 940H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号24 小口径塩ビ桷	45L 200 φ 970H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号25 小口径塩ビ桷	UTK 150 φ 600H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号26 小口径塩ビ桷	90Y 200 φ 1,000H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号27 小口径塩ビ桷	ST 200 φ 1,070H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号28 小口径塩ビ桷	ST 200 φ 1,140H 化粧蓋	組	1.0			
	桷番号29 インバート桷	SC-4 900 φ 1,210H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			
	桷番号30 インバート桷	SC-4 900 φ 1,250H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	桧番号31 インハート桧	SC-4 900 φ 1,280H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			
	桧番号32 インハート桧	SC-4 900 φ 1,310H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			
	桧番号33 インハート桧	SC-4 900 φ 1,370H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			
	桧番号34 小口径塩ビ桧	90L 150 φ 600H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号35 小口径塩ビ桧	90Y 200 φ 630H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号36 小口径塩ビ桧	45L 200 φ 690H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号37 小口径塩ビ桧	45L 200 φ 770H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号38 小口径塩ビ桧	90Y 200 φ 800H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号39 小口径塩ビ桧	90Y 200 φ 830H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号40 小口径塩ビ桧	90Y 200 φ 860H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号41 小口径塩ビ桧	90Y 200 φ 890H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号42 小口径塩ビ桧	90Y 200 φ 920H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号43 小口径塩ビ桧	UTK 150 φ 600H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号44 小口径塩ビ桧	45L 200 φ 960H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号45 小口径塩ビ桧	45L 200 φ 1,040H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号46 小口径塩ビ桧	90Y 200 φ 1,090H 化粧蓋	組	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	桧番号47 小口径塩ビ桧	90Y 200φ 1,120H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号48 小口径塩ビ桧	90Y 200φ 1,160H 化粧蓋	組	1.0			
	桧番号49 インバート桧(最終桧)	SC-4 900φ 1,500H 化粧蓋 MHA600	組	1.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	地中 VP 100A	m	3.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	地中 VP 200A	m	177.0			
	架台類		式	1.0			
	土工事		式	1.0			
	3-2 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4	衛生器具設備						
4-1	衛生器具設備						
	壁掛大便器 (上水仕様)	連続洗浄タンク式 温水洗浄便座 2連紙巻器 タッチスイッチ 発電式リモコン	組	32.0			
	壁掛大便器 (雑用水仕様)	連続洗浄タンク式 温水洗浄便座 2連紙巻器 タッチスイッチ 発電式リモコン	組	16.0			
	壁掛小便器 (上水仕様)	センサー一体型小便器	組	12.0			
	壁掛小便器 (雑用水仕様)	センサー一体型小便器	組	9.0			
	幼児用大便器 (ロータンク式)	暖房便座 紙巻器	組	1.0			
	幼児用小便器	小便器手動フラッシュバルブ	組	3.0			
	アンダーカウンター式洗面器	自動単水栓 オートソープ	組	29.0			
	アンダーカウンター式洗面器	自動混合水栓 オートソープ	組	9.0			
	ジェットタオル		台	11.0			
	洗面器(ベッセル式) (単水栓)	自動単水栓 オートソープ	組	2.0			
	洗面器(ベッセル式) (混合水栓)	自動混合水栓 オートソープ	組	2.0			
	壁掛手洗器		組	1.0			
	オストメイト対応多機能トイレパック (洗面器付)(上水仕様)	洗浄便座 オストメイト(電気温水器付)	組	2.0			
	多機能トイレパック (雑用水仕様)	洗浄便座	組	3.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	オストメイトイレパック (雑用水仕様)	電気温水器 側板付	組	3.0			
	掃除用流し	水栓 壁排水金具	組	4.0			
	台付自在水栓(水用)	レバー式 スパウト170mm	個	1.0			
	台付自在水栓(湯用)	レバー式 スパウト170mm	個	1.0			
	カップリング付横水栓		個	4.0			
	カップリング付散水栓		個	5.0			
	同上散水栓BOX	壁付SUS製BOX	個	5.0			
	据付費		式	1.0			
	4-1 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5	消火設備						
5-1	スプリンクラー設備						
	TF-1 消火用充水タンク	ステンレス製 単板 パネル一体型 有効 1.5m3 床置架台 1,000H	基	1.0			
	FP-2 スプリンクラー消火ポンプユニット	消防認定品ユニット 22kW 720L/m×60m	台	1.0			
	JP-1 補助加圧ポンプ	消防認定品ユニット 1.5kW 720L/m×60m	台	1.0			
	スプリンクラーヘッド	高感度閉鎖型下向	個	403.0			
	スプリンクラーヘッド	高感度閉鎖型下向	個	2.0			
	スプリンクラーヘッド	高感度閉鎖型上向	個	5.0			
	保護カバー		個	152.0			
	可とう性継手		本	405.0			
	可とう性継手用固定金具		組	405.0			
	双口送水口	埋込	台	1.0			
	流水検知装置	湿式 80A	台	3.0			
	末端試験弁装置	F-IV	組	3.0			
	末端試験装置箱		台	3.0			
	一次圧玉調整弁	10K 65A	台	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	安全レリーフ弁	16K 15A	台	1.0			
	仕 切 弁	外捻子 捻子込 10K 15A	台	1.0			
	仕 切 弁	外捻子 捻子込 10K 25A	台	2.0			
	仕 切 弁	外捻子 フランジ [※] 10K 50A	台	2.0			
	仕 切 弁	外捻子 フランジ [※] 10K 65A	台	1.0			
	仕 切 弁	外捻子 フランジ [※] 10K 100A	台	2.0			
	逆 止 弁	捻子込 10K 25A	台	1.0			
	逆 止 弁	フランジ [※] 10K 50A	台	2.0			
	逆 止 弁	フランジ [※] 10K 65A	台	1.0			
	逆 止 弁	フランジ [※] ラバー 10K 100A	台	1.0			
	玉型弁	捻子込 10K 10A	台	2.0			
	バタフライ弁	ギヤ [※] 式 10K	台	3.0			
	Y型ストレーナー	捻子込 10K 15A	台	1.0			
	Y型ストレーナー	フランジ [※] 10K 100A	台	1.0			
	フレキシブルチューブ [※]	10K 25AX500L F115-OB	本	1.0			
	フレキシブルチューブ [※]	10K 50AX500L F138-SA	本	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	フレキシブルチューブ	10K 65AX800L F130-OP	本	1.0			
	フレキシブルチューブ	10K 80AX800L F130-OP	本	1.0			
	フレキシブルチューブ	10K 100AX800L F130-OP	本	1.0			
	標識板及び取扱説明板		式	1.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 100A	m	54.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 80A	m	649.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 65A	m	207.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 50A	m	168.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 40A	m	580.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 32A	m	148.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 25A	m	1,295.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 15A	m	6.0			
	継手類		式	1.0			
	支持金具		式	1.0			
	消耗品雑材料費		式	1.0			

名	称	内	容	単位	数	量	単	価	金	額	備	考
	配管工事費			式		1.0						
	機器据付調整費			式		1.0						
	スリーブインサート工事費			式		1.0						
	はつり復旧費			式		1.0						
	塗装工事費			式		1.0						
	保温防露工事費			式		1.0						
	工具損料			式		1.0						
	官庁手続立会費			式		1.0						
	調整試験費			式		1.0						
	場内小運搬費			式		1.0						
	荷造運搬費			式		1.0						
	重量物搬入費			式		1.0						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
5	消火設備						
5-2	屋内消火栓設備						
	FP-1 易操作性1号消火栓 消火ポンプユニット	消防認定品ユニット 5.5kW 300L/m×60m	台	1.0			
	易操作性1号消火栓	消火器箱併設	台	12.0			
	易操作性1号消火栓	消火器箱火報ガード	台	6.0			
	一次圧玉調整弁	10K 40A	台	1.0			
	消火栓弁	40A×30A 易操作用	台	1.0			
	仕 切 弁	外捻子 フランジ 10K 25A	台	1.0			
	仕 切 弁	外捻子 フランジ 10K 50A	台	1.0			
	仕 切 弁	外捻子 フランジ 10K 65A	台	1.0			
	逆止弁	フランジ 10K 50A	台	1.0			
	玉型弁	捻子込 10K 10A	台	2.0			
	Y型ストレーナー	フランジ 10K 65A	台	1.0			
	フレキシブルチューブ	10K 32AX500L F138-SA	本	1.0			
	フレキシブルチューブ	10K 50AX500L F138-SA	本	2.0			
	フレキシブルチューブ	10K 65AX800L F130-OP	本	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	標識板及び取扱説明板		式	1.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 65A	m	241.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 50A	m	239.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 40A	m	28.0			
	配管用炭素鋼鋼管 白管	JIS-G-3452 32A	m	6.0			
	継手類		式	1.0			
	支持金具		式	1.0			
	消耗品雑材料費		式	1.0			
	配管工事費		式	1.0			
	機器据付調整費		式	1.0			
	スリーブインサート工事費		式	1.0			
	はつり復旧費		式	1.0			
	塗装工事費		式	1.0			
	保温防露工事費		式	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	工具損料		式	1.0			
	官庁手続立会費		式	1.0			
	調整試験費		式	1.0			
	場内小運搬費		式	1.0			
	荷造運搬費		式	1.0			
	重量物搬入費		式	1.0			
	5-2 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
6	雨水ろ過設備						
6-1	雨水ろ過設備						
	WF-1 ろ過装置	雨水処理用FRP製全自動積層ろ過機 処理能力 2.8m3/h	組	1.0			
		ろ過ポンプ 0.75kW 逆洗ポンプ 0.75kW 薬注ポンプ 薬液タンク 30L、二次側電気配線					
	(ろ過)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 25A	m	14.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 30A	m	2.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 25A	m	4.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 40A	m	1.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 25A	m	13.0			
	(逆洗吸込)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 30A	m	10.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 30A	m	4.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋外架空・暗渠 VP 30A	m	11.0			
	(逆洗排水)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 25A	m	7.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	硬質ポリ塩化ビニル管	機械室・便所 VP 25A	m	1.0			
	(給水)						
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外架空・暗渠 SGP-VB 25A	m	5.0			
	水道用 硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋内一般 SGP-VD 25A	m	13.0			
	(雑排水)						
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 16A	m	2.0			
	硬質ポリ塩化ビニル管	屋内一般 VP 40A	m	6.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 25A	個	2.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 32A	個	1.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 40A	個	1.0			
	逆止弁	JIS 10K(青銅製) 25A	個	2.0			
	フレキシブル継手	32A	個	1.0			
	防振継手	合成ゴム製 40A	個	1.0			
	量水器	隔測 25A	個	1.0			
	呼水口	32A	個	1.0			
	間接給水口	50A 25A	個	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
7	ガス設備						
7-1	ガス設備						
	プロパン 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋外架空・暗渠 SGP(ねじ) 32A	m	5.0			
	プロパン 配管用炭素鋼鋼管(白)	屋外架空・暗渠 SGP(ねじ) 40A	m	12.0			
	LPG集合装置	10本立	組	1.0			
	LPG集合装置据付	10本立	組	1.0			
	ガスコック	GC 32A	個	2.0			
	ガスコック	GC 40A	個	2.0			
	7-1 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1	給水設備						
1-1	給水設備						
	水道用 ポリエチレン管	地中 20A	m	19.0			
	水道用 ポリエチレン管	地中 40A	m	5.0			
	水道用 ポリエチレン管	地中 75A	m	250.0			
	埋設標識テープ	150幅	m	274.0			
	地中埋設標	鉄製	個	12.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 20A	個	2.0			
	仕切弁	JIS 10K(青銅製) 40A	個	1.0			
	弁BOX	20A	組	2.0			
	弁BOX	40A	組	1.0			
	既存接続	PE 40A	箇所	1.0			
	既存接続	PE 75A	箇所	1.0			
	土工事		式	1.0			
	1-1 ー 計						

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	積上げ共通仮設						
	仮囲い フラットパネル	修理費、運搬含む H3000 期間22ヶ月	m	707.0			
	パネルゲート	修理費、運搬含む W7200 期間22ヶ月	か所	1.0			
	ジャバラゲート	修理費、運搬含む W6000 期間22ヶ月	か所	1.0			
	敷き鉄板	修理費、運搬含む 1.5×6.0 期間18ヶ月	m2	4,354.0			
	看板用仮設足場	W1200 期間22ヶ月	m2	60.5			
	砂利敷		m2	196.0			
	地盤改良	セメント 100kg/㎡程度	m3	4,354.0			
	監督員事務所	期間22ヶ月	m2	35.0			
	ガードマンボックス	期間22ヶ月	か所	1.0			
	ラフタークレーン	25t	日	286.0			
	交通誘導員		人	484.0			
	化学物質濃度測定	5物質 パッシブ型	か所	24.0			
	家屋調査	木造 130㎡以上200㎡未満 施工前後	棟	2.0			
	家屋調査	木造 200㎡以上300㎡未満 施工前後	棟	1.0			

名 称		内 容	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	24条申請工事	申請手続・工事費共	式	1.0			
	クローラークレーン	90t (6ヵ月1台・4ヵ月1台)	月	10.0			
	全上 回送費		台	2.0			
	ラフタークレーン	70t	日	150.0			
	計						

特 記 仕 様 書 （建築工事）

I 工 事 概 要

1. 工 事 名 06 国補都構 常陸太田市新総合体育館新築工事
2. 工事場所 茨城県常陸太田市新宿町1番地
3. 敷地面積 97,418.50 m²
4. 建設工事その他概要（建物名称、構造、階数、建築面積、延べ面積、各階床面積、等）
 - (1) 工事範囲 ・「(2)建物概要」すべて ・「(2)建物概要」のうち一部

(2) 建物概要

(全体)

建物名称	新総合体育館		
構 造	SRC造 一部 S造	造 一部 造	造 一部 造
階 数	地上2階 地下0階	地上 階 地下 階	地上 階 地下 階
建築面積	6,525.22 m ²	m ²	m ²
延べ面積	6,875.95 m ²	m ²	m ²

(建物毎の各階床面積 m²)

建物名称	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	計
体育館棟	—	5,319.56	1,556.39				
	—						

5. 別途工事

◎外構工事

・
・

(H12. 04. 01 作成)	(H17. 05. 15 改定)	(H25. 05. 15 改定)	(H31. 04. 25 改定)
(H13. 10. 01 改定)	(H17. 10. 01 改定)	(H26. 05. 15 改定)	(R02. 04. 30 改定)
(H14. 05. 30 改定)	(H18. 05. 15 改定)	(H27. 05. 15 改定)	(R03. 04. 30 改定)
(H15. 06. 01 改定)	(H19. 07. 01 改定)	(H28. 04. 25 改定)	(R04. 05. 15 改定)
(H15. 09. 01 改定)	(H23. 06. 01 改定)	(H29. 04. 25 改定)	(R05. 05. 15 改定)
(H16. 05. 15 改定)	(H24. 06. 01 改定)	(H30. 04. 25 改定)	

Ⅱ 建築工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、
◎を付けたものを適用する。
◎公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）（以下、「標準仕様書」という。）
◎建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、番号に□のついたものを適用する。
 - 2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。・印のみの場合は適用しない。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と☒印の付いた場合は、共に適用する。
 - 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図及び当該表を示す。
- (4) 耐震安全性の分類
- | | |
|-----------|-------------|
| ① 構造体 | ・Ⅰ類 ※Ⅱ類 ・Ⅲ類 |
| ② 建築非構造部材 | ※Ａ類 ・Ｂ類 |
| ③ 建築設備 | ・甲類 ※乙類 |

耐震安全性の分類は、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成 25 年 3 月 29 日付け国営計第 126 号、国営整第 198 号、国営設第 135 号）に準ずる。

章	項 目	特 記 事 項
1 各章共通事項	1 適用区分	◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ◎風圧力 風速 ($V_0=30\text{m/s}$) 地表面粗度区分 (・ I ・ II ◎III ・ IV) ◎積雪荷重 平成 12 年 5 月 31 日建設省告示第 1455 号における区域 別表 (20)
	2 環境への配慮	(1.4.1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発生建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発生建築材料 ④ 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

章	項 目	特 記 事 項
	3 材料の品質等	(1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥のすべての事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整剤、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた (6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたリサイクル建設資材については、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。 また、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「令和5年度茨城県グリーン購入推進方針」に定める「特定調達品目」の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。 (7) (1) から (6) を満たすものが県産品で確保できる場合には、その優先使用に努めるものとする。県産品とは、「茨城県内で生産されたもの、又は加工し製品化されたもの」とする。 なお、県産品のうち木材については、県内の森林から合法的に産出された木材を使用することとし、「いばらき優良木材証明制度」に基づく証明書など、県産木材であることが確認できる資料を提出して監督員の承諾を受けることとする。

章	項 目	特 記 事 項																																					
4	室内空気中の 化学物質の濃度測定	(1.5.9) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンに対しても対象とする。）の濃度を測定し、測定結果を監督員に報告すること。 採取方法及び測定方法は、厚生労働省が示した室内空気中化学物質の標準的な方法とし、ホルムアルデヒドの測定方法は、ジニトロフェニルヒドラジン（DNPH）誘導体化固相吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法により、その他の揮発性有機化合物の測定方法は、固相吸着／溶媒抽出法とガスクロマトグラフ／質量分析法の組み合わせにより行い、パッシブ型採取機器により行うこと。 測定対象室は、平成 15 年 4 月 1 日通知「官庁営繕部における平成 15 年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ、下表の数を標準とする。（指針値は、付記事項の 7 を参照）																																					
		<table><tr><td>室の床面積 A (㎡)</td><td>A≤50</td><td>50<A≤200</td><td>200<A≤500</td><td>500<A</td></tr><tr><td>測定箇所数</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	室の床面積 A (㎡)	A≤50	50<A≤200	200<A≤500	500<A	測定箇所数	1	2	3	4																											
		室の床面積 A (㎡)	A≤50	50<A≤200	200<A≤500	500<A																																	
		測定箇所数	1	2	3	4																																	
室内空気中の化学物質の濃度測定対象室箇所数表																																							
<table><tr><td>室名（測定対象室）</td><td>床面積</td><td>測定箇所数</td></tr><tr><td>メインアリーナ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>サブアリーナ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>多目的室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>トレーニング室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>事務室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>大会役員室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>放送室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ミーティング室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>医務室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>選手更衣室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>授乳室</td><td></td><td></td></tr><tr><td>喫茶室 2</td><td></td><td></td></tr></table>	室名（測定対象室）	床面積	測定箇所数	メインアリーナ			サブアリーナ			多目的室			トレーニング室			事務室			大会役員室			放送室			ミーティング室			医務室			選手更衣室			授乳室			喫茶室 2		
室名（測定対象室）	床面積	測定箇所数																																					
メインアリーナ																																							
サブアリーナ																																							
多目的室																																							
トレーニング室																																							
事務室																																							
大会役員室																																							
放送室																																							
ミーティング室																																							
医務室																																							
選手更衣室																																							
授乳室																																							
喫茶室 2																																							
5	リサイクルの 優先順位	(1) 発生抑制の徹底 (2) 現場分別の徹底 (3) 再使用の徹底 (4) 再資源化・再生資材利用の徹底 (5) 適正処理の徹底 (再資源化に係る作成書類は、付記事項の 6 を参照)																																					
6	発生材の処理等	◎発注者に引渡しを要するもの ◎なし ・あり 処理方法 () ◎特別管理産業廃棄物 ◎なし ・あり 処理方法 () ◎現場での再利用を図るもの ・なし ◎あり 品 目 (杭残土)																																					

章	項 目	特 記 事 項																																																																																			
	7 技能士	(1.5.2)																																																																																			
		<table> <tr> <th>工事項目</th><th>技能検定職種</th><th>技能検定作業</th></tr> <tr> <td>仮設工事</td><td>とび</td><td>◎とび作業</td></tr> <tr> <td>土工事</td><td>ウェル・イント施工</td><td>・ウェル・イント工事作業</td></tr> <tr> <td>鉄筋工事</td><td>鉄筋施工</td><td>◎鉄筋組立て作業</td></tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート工事</td><td>型枠施工</td><td>◎型枠工事作業</td></tr> <tr> <td>コンクリート圧送施工</td><td>◎コンクリート圧送工事作業</td></tr> <tr> <td rowspan="2">鉄骨工事</td><td>鉄工</td><td>◎構造物鉄工作業</td></tr> <tr> <td>とび</td><td>◎とび作業</td></tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリートブロック・ALC パネル・押出成形セメント板工事</td><td>ブロック建築</td><td>・コンクリートブロック工事作業</td></tr> <tr> <td>E-ILシール施工</td><td>・E-ILシール工事作業</td></tr> <tr> <td>防水工事</td><td>防水施工</td><td> ・アスファルト防水工事作業 ◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ◎改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 </td></tr> <tr> <td>石工事</td><td>石材施工</td><td>・石張り作業</td></tr> <tr> <td>タイル工事</td><td>タイル張り</td><td>◎タイル張り作業</td></tr> <tr> <td>木工事</td><td>建築大工</td><td>◎大工工事作業</td></tr> <tr> <td rowspan="2">屋根及びとい工事</td><td>建築板金</td><td>◎内外装板金作業</td></tr> <tr> <td>かわらぶき</td><td>・かわらぶき作業</td></tr> <tr> <td rowspan="2">金属工事</td><td>内装仕上施工</td><td>◎鋼製下地工事作業</td></tr> <tr> <td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr> <tr> <td>左官工事</td><td>左官</td><td>◎左官作業</td></tr> <tr> <td rowspan="3">建具工事</td><td>サッシ施工</td><td>◎ビル用サッシ施工作業</td></tr> <tr> <td>ガラス施工</td><td>◎ガラス工事作業</td></tr> <tr> <td>自動ドア施工</td><td>◎自動ドア施工作業</td></tr> <tr> <td rowspan="3">カーテンウォール工事</td><td>カーテンウォール施工</td><td>・金属製カーテンウォール工事作業</td></tr> <tr> <td>サッシ施工</td><td>・ビル用サッシ施工作業</td></tr> <tr> <td>ガラス施工</td><td>・ガラス工事作業</td></tr> <tr> <td>塗装工事</td><td>塗装</td><td>◎建築塗装作業</td></tr> <tr> <td rowspan="2">内装工事</td><td>内装仕上施工</td><td> ◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ◎カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ◎ボード仕上げ工事作業 ◎化粧フィルム工事作業 </td></tr> <tr> <td>表装</td><td>◎壁装作業</td></tr> <tr> <td>排水工事</td><td>配管</td><td>◎建築配管作業</td></tr> <tr> <td>舗装工事</td><td>路面標示施工</td><td>◎溶融ペイントハンドマーカ工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカ工事作業</td></tr> <tr> <td>植栽工事</td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr> </table>	工事項目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	◎とび作業	土工事	ウェル・イント施工	・ウェル・イント工事作業	鉄筋工事	鉄筋施工	◎鉄筋組立て作業	コンクリート工事	型枠施工	◎型枠工事作業	コンクリート圧送施工	◎コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	鉄工	◎構造物鉄工作業	とび	◎とび作業	コンクリートブロック・ALC パネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業	E-ILシール施工	・E-ILシール工事作業	防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ◎改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	タイル工事	タイル張り	◎タイル張り作業	木工事	建築大工	◎大工工事作業	屋根及びとい工事	建築板金	◎内外装板金作業	かわらぶき	・かわらぶき作業	金属工事	内装仕上施工	◎鋼製下地工事作業	建築板金	・内外装板金作業	左官工事	左官	◎左官作業	建具工事	サッシ施工	◎ビル用サッシ施工作業	ガラス施工	◎ガラス工事作業	自動ドア施工	◎自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業	ガラス施工	・ガラス工事作業	塗装工事	塗装	◎建築塗装作業	内装工事	内装仕上施工	◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ◎カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ◎ボード仕上げ工事作業 ◎化粧フィルム工事作業	表装	◎壁装作業	排水工事	配管	◎建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	◎溶融ペイントハンドマーカ工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカ工事作業	植栽工事	造園	・造園工事作業
工事項目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																			
仮設工事	とび	◎とび作業																																																																																			
土工事	ウェル・イント施工	・ウェル・イント工事作業																																																																																			
鉄筋工事	鉄筋施工	◎鉄筋組立て作業																																																																																			
コンクリート工事	型枠施工	◎型枠工事作業																																																																																			
	コンクリート圧送施工	◎コンクリート圧送工事作業																																																																																			
鉄骨工事	鉄工	◎構造物鉄工作業																																																																																			
	とび	◎とび作業																																																																																			
コンクリートブロック・ALC パネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業																																																																																			
	E-ILシール施工	・E-ILシール工事作業																																																																																			
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ◎改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																			
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																			
タイル工事	タイル張り	◎タイル張り作業																																																																																			
木工事	建築大工	◎大工工事作業																																																																																			
屋根及びとい工事	建築板金	◎内外装板金作業																																																																																			
	かわらぶき	・かわらぶき作業																																																																																			
金属工事	内装仕上施工	◎鋼製下地工事作業																																																																																			
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																			
左官工事	左官	◎左官作業																																																																																			
建具工事	サッシ施工	◎ビル用サッシ施工作業																																																																																			
	ガラス施工	◎ガラス工事作業																																																																																			
	自動ドア施工	◎自動ドア施工作業																																																																																			
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業																																																																																			
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業																																																																																			
	ガラス施工	・ガラス工事作業																																																																																			
塗装工事	塗装	◎建築塗装作業																																																																																			
内装工事	内装仕上施工	◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ◎カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ◎ボード仕上げ工事作業 ◎化粧フィルム工事作業																																																																																			
	表装	◎壁装作業																																																																																			
排水工事	配管	◎建築配管作業																																																																																			
舗装工事	路面標示施工	◎溶融ペイントハンドマーカ工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカ工事作業																																																																																			
植栽工事	造園	・造園工事作業																																																																																			
	8 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																																																			
	9 設備工事との取合い	設備機器の位置取り合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。																																																																																			
	10 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。これにより難しい場合は監督員と協議する。																																																																																			

章	項 目	特 記 事 項
	11 契約直後・施工中の提出書類	契約書、標準仕様書、改修標準仕様書及び本項以外で提出を求めている書類の他、契約時又は施工中に以下の書類を監督員に提出する。 契約直後に提出する書類 ◎コリンズへの登録が確認できる書類（付記事項2参照） ※火災保険等（法定外の労災保険を含む）に加入したことを証明できる書類 ・建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し ※その他 監督員が必要と認め、指示した書類及び部数 施工中に提出する書類 ※施工体制台帳の写し ※施工体系図の写し ※規格品証明書（原品証明書、同等品試験証明書、試験成績書等） ◎鉄筋圧接部の外観試験報告書 ◎鉄筋圧接部の超音波探傷試験報告書又は引張試験報告書 ・機械式継手部の試験結果報告書 ・溶接継手部の試験結果報告書 ◎フレッシュコンクリート試験報告書（監督員の承諾を受けたものを除く） ◎コンクリート強度試験報告書（監督員の承諾を受けたものを除く） ◎構造体コンクリートにおける部材の位置及び断面寸法の許容差出来高管理記録 ◎鉄骨工事における建入れ施工管理記録 ◎シーリング試験結果報告書（試験成績書） ・タイル工事における接着力試験報告書 ◎木材の含水率試験報告書 ・防腐、防蟻処理（証明書等） ◎あと施工アンカー引張試験結果報告書（監督員の承諾を受けたものを除く） ・カーテンウォール工事における品質管理記録 ・舗装工事における各種試験結果記録 ◎工事実績情報の登録内容確認書の写し ◎産業廃棄物処理関係書類（産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し、産業廃棄物処理委託契約書及び許可書の写し等） ◎産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し ◎室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書 ※建設副産物実態調査に関する出力調査票 ※その他 監督員が必要と認め、指示した書類及び部数

章	項 目	特 記 事 項																				
	12 完成時の提出書類	(1.7.1～1.7.3) (表 1.7.1) 契約書、標準仕様書、改修標準仕様書及び本項以外で提出を求めている書類の他、完成時に以下の書類を監督員に提出する。 ※完成図 ※作成する 提出書類及び部数 ◎原図 (◎A1 ・ A2 ◎A3) 部数 各 1 部 ※製本 (・ A1 ・ A2 ※A3) 部数 4 部 ※CAD データ (JWW・DWG 形式) 部数 CD-R (1 枚) ・ 作成しない ※写真 <table><tr><th>適用</th><th>内容</th><th>枚数</th><th>提出方式</th><th>部数</th></tr><tr><td>※</td><td>工事写真</td><td>適宜</td><td>電子データ (JPEG 形式)</td><td>CD-R (1 枚)</td></tr><tr><td>※</td><td>完成写真 (支払用：内外観)</td><td>各 2 枚以上</td><td>A4 版</td><td>1 部</td></tr><tr><td>◎</td><td>完成写真</td><td>適宜</td><td>◎カー印画紙キャビネット用 ◎電子データ</td><td>◎1 部 ◎CD-R (1 枚)</td></tr></table> カー印画紙キャビネット用は黒表紙金文字入りでサイズはH320 X W300 程度とする 完成写真 (カー印画紙キャビネット用) の撮影業者 ※建築完成写真の撮影実績のある者で、監督員が承諾する撮影業者 ※保全に関する資料 部数 ※1 部 ◎防水保証書 (9-1. 2. 3. 4 は 10 年) 部数 ※1 部 ◎コリズへの完成登録が確認できる書類 (付記事項 2 参照) ※その他 監督員が必要と認め、指示した書類及び部数	適用	内容	枚数	提出方式	部数	※	工事写真	適宜	電子データ (JPEG 形式)	CD-R (1 枚)	※	完成写真 (支払用：内外観)	各 2 枚以上	A4 版	1 部	◎	完成写真	適宜	◎カー印画紙キャビネット用 ◎電子データ	◎1 部 ◎CD-R (1 枚)
適用	内容	枚数	提出方式	部数																		
※	工事写真	適宜	電子データ (JPEG 形式)	CD-R (1 枚)																		
※	完成写真 (支払用：内外観)	各 2 枚以上	A4 版	1 部																		
◎	完成写真	適宜	◎カー印画紙キャビネット用 ◎電子データ	◎1 部 ◎CD-R (1 枚)																		
	13 引渡物	※鍵は 1 カ所につき、3 個を 1 組とし、プラスチック札に室名を記入して提出する。 ※マスター鍵は、1 組 3 個とし、木製及び金属製建具共通とする。 ※スチール製キーボックス																				
	14 埋蔵文化財	※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内 ※掘削作業に際しては、工事立会、試掘確認調査等を要する。施工にあたっては、あらかじめ、工事日程、掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上、監督員、施設管理担当、教育庁文化課担当と協議を行うこと。 ※掘削作業に際しては、慎重に施工のこと。施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。																				

章	項 目	特 記 事 項
2 仮設工事	1 足場等	(2.2.4) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ◎その他（屋根仕上げ曲面(多角面)に基準墨出し(通り墨)を行うこと） 場所:メインアリーナ・サブアリーナ屋根
	2 監督員事務所	(2.3.1) ◎設ける 規模: 35 m ² 程度 仕上げる程度: フラット程度 備え付ける備品: ◎机 8脚 ◎椅子 20脚 ◎ロッカー5台 ◎書棚 2台 ◎ホワイトボード ・製図板 ◎掛時計 ◎寒暖計 ◎ゴム長靴 ◎雨合羽 ◎保護帽 ◎懐中電灯 ◎安全帯(フルハネス) ・受託者加入電話の子機 ◎暖冷房機 ◎消火器 ・湯沸器 ・掃除具 ◎その他 () ※設けない
	3 工事用水	構内既存の施設 ・なし ◎あり (◎利用できる (有償) ・利用できない)
	4 工事用電力	構内既存の施設 ◎なし ・あり (・利用できる (有償) ・利用できない)
	5 工事看板	(2.3.1) ※設置する 設置の場所 (◎仮囲い内部) 記載事項 (※工事番号 ※工事名称 ※発注者 ※設計者 ※監理者 ※工期 ※施工者) 大きさ (※H900mm×W1800mm程度 ◎900×900程度×20文字程度、枠組足場を組んで設置する) ・設置しない ◎その他: 建物完成パース看板 設置 設置の場所 (※図示) 記載事項 (建物完成パース) 大きさ (※W10000mm x H2000mm程度 枠組足場を組んで設置する)

章	項 目	特 記 事 項											
3 土工	1 埋戻し及び盛土	(3.2.3) 材料及び工法 ※標準仕様書表 3.2.1 による 種別 ・ A種 適用場所 () ◎B種 適用場所 (基礎・土間) ◎C種 適用場所 (基礎・土間) 土質 (良質土) 受渡場所 (現場内) ・ D種 適用場所 () 品質 細粒分(75μm 以下)の含有率(重量百分率)の上限を 50%未満とする。 六価クロム溶出試験 ◎行う ・行わない ・材料 () 工法 ()											
	2 建設発生土の処理	(3.2.5) ※構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所に堆積 ◎構内指示の場所に敷き均し 構外搬出の場合は、原則として 50km 範囲内の他の建設工事へ搬出するものとする。 なお、他の工事との受け入れ時期及び土質等の調整が困難である場合は、別の処分場（ストックヤードを含む）に搬出することを妨げない。 ※建設発生土の再利用 <table><tr><th>処理方法</th><th>搬出先</th></tr><tr><td>◎現場内利用</td><td>仮置き場所住所 (現場内) 借地 ・有り ◎無し</td></tr><tr><td>・ 工事間流用</td><td>相手工事番号及び名称 () 住所 ()</td></tr><tr><td>・ 捨土 (公共用地)</td><td>管理者名 () 住所 ()</td></tr><tr><td>・ スtockヤード</td><td>ストックヤードの名称 () 住所 ()</td></tr><tr><td>・ 未確定</td><td>相手工事番号及び名称 () (予定) 住所 ()</td></tr></table> 土質 ◎ローム ◎シルト ・砂質土 ・レキ質土 ・ 土量 m³ (地山換算土量) 片道運搬距離 km 条件 (昼夜間の別、大型車規制、伝票の使用、法律・条例等) ・ 現場内利用を行う場合、現場外に仮置き場を設けて時期調整を行い、周辺環境に配慮し必要な措置を講じること。 工事間流用を行う場合、相手工事の受注者と綿密に協議を行うこと。 工事間流用、捨土の場合、搬出手続き等は監督員の指示による。 ストックヤードに搬出する場合は、付記事項の 3 を参照。	処理方法	搬出先	◎現場内利用	仮置き場所住所 (現場内) 借地 ・有り ◎無し	・ 工事間流用	相手工事番号及び名称 () 住所 ()	・ 捨土 (公共用地)	管理者名 () 住所 ()	・ スtockヤード	ストックヤードの名称 () 住所 ()	・ 未確定
処理方法	搬出先												
◎現場内利用	仮置き場所住所 (現場内) 借地 ・有り ◎無し												
・ 工事間流用	相手工事番号及び名称 () 住所 ()												
・ 捨土 (公共用地)	管理者名 () 住所 ()												
・ スtockヤード	ストックヤードの名称 () 住所 ()												
・ 未確定	相手工事番号及び名称 () (予定) 住所 ()												

章	項 目	特 記 事 項						
	3 建設汚泥	※工事現場から 50m 範囲内に再資源化施設があるときは、原則として再資源化施設に搬出するものとする。 なお、工事現場から 50km 以内に再資源化施設がない場合においては、焼却施設、脱水施設や乾燥施設に搬出し減量化を行うものとする。 <table><tr><th>処理方法</th><th>搬出先</th></tr><tr><td>・再資源化施設</td><td>施設名称 () 施設住所 ()</td></tr><tr><td>・他工事に搬出 (個別指定制度)</td><td>利用方法() 相手工事番号及び名称 番号、名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()</td></tr></table> 搬出量 m³ (地山換算数量) 片道運搬距離 km 搬出条件 (昼夜間の別、大型車規制、伝票の使用、法令・条例、改良の度合等) 上記の再資源化施設を指定するものでないが、上記以外の再資源化施設へ搬出する場合は、事前に監督員と協議し承諾を得ること。 他工事に搬出する場合、処理施設の設置、個別指定制度の指定を受ける手続きが必要となるため、事前に監督員と十分に協議し、環境部局等に関係法令の手続きを行うこと。 ◎自ら利用 現場内にて、天日干し乾燥したのち、基礎、土間等の埋戻しに利用する (事前に茨城県県北県民センター環境保安課と協議すること)	処理方法	搬出先	・再資源化施設	施設名称 () 施設住所 ()	・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法() 相手工事番号及び名称 番号、名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()
	処理方法	搬出先						
・再資源化施設	施設名称 () 施設住所 ()							
・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法() 相手工事番号及び名称 番号、名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()							
	4 山留の撤去	(3.3.3) 鋼矢板等の抜き後の処理 ・直ちに砂で充填する ・ 山留めの存置 ・行う (存置範囲 ※図示 ・)						
	5 整 地	跡地はブルドーザー等による整地を行う						

章	項 目		特 記 事 項																																																																										
4 地業工事	1	支持地盤	(4. 2. 1) (4. 3. 4) (4. 3. 5) (4. 5. 5) (4. 5. 6)																																																																										
	◎杭基礎 支持地盤の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む） ◎図示による（ ） ・ (4. 2. 1) ◎直接基礎 支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ◎図示による（ ） ・ 試験掘り（根切り底の状態の確認等） ・行わない ・行う 位置等 ・図示による（ ） ・ (4. 2. 4) ・地盤の載荷試験 載荷試験の方法等 ・地盤工学会基準 JGS 1521 による ・ 試験の位置、積載荷重 ・図示による（ ） ・																																																																												
2	既製コンクリート杭地業	(4. 3. 3) 種類 ◎遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC 杭） ◎プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC 杭） ◎外殻鋼管付きコンクリート杭（SC 杭） SC 杭の鋼管材料 ・SKK400 ◎SKK490 ・ (4. 2. 2) (4. 3. 3) 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） <table><tr><td colspan="2"></td><td>種類</td><td>コンクリート強度 (N/mm²)</td><td>鋼管厚 (mm)</td><td>杭径 (mm)</td><td>杭長 (m)</td><td>継手数</td><td>セツト数</td><td>長期設計 支持力 (kN/本)</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭</td><td colspan="8" rowspan="3">◎図示による。</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>中杭</td></tr><tr><td>下杭</td></tr><tr><td rowspan="3">本杭</td><td>上杭</td><td colspan="8"></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td colspan="8"></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td colspan="8"></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4. 3. 3) 杭先端部形状 ◎開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・ (4. 2. 2) (4. 3. 1) (4. 3. 4) ・セメントミルク工法 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（ ） ・ 掘削深さ ・図示による（ ） ・ 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による（ ） ・ 杭の精度 水平方向への位置ずれ ・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・ 杭の傾斜 ・1/100 以内 ・												種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	鋼管厚 (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計 支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭	◎図示による。									中杭	下杭	本杭	上杭										中杭										下杭																				
		種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	鋼管厚 (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計 支持力 (kN/本)	備考																																																																			
試験杭	上杭	◎図示による。																																																																											
	中杭																																																																												
	下杭																																																																												
本杭	上杭																																																																												
	中杭																																																																												
	下杭																																																																												

章	項 目	特 記 事 項
		(4. 2. 2) (4. 3. 1) (4. 3. 5) ◎特定埋込杭工法 ・ H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ◎H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式の内 α、β、γが下記の値を採用できる工法 $\alpha=(300)$、$\beta \overline{Ns}=(30+5.5\overline{Ns})$、$\gamma \overline{qu}=(20+0.5\overline{qu})$ 工法 ◎プレボーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 杭周固定液 ◎使用する ・ 使用しない 試験杭 試験杭の位置 ◎図示による () ・ 杭の支持層への根入れ深さ ◎図示による () ・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による 杭の傾斜 ※評定等の評価内容による (4. 3. 3) (4. 3. 6) (7. 2. 5) 杭の継手の工法 ・ アーク溶接継手 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による ・ ◎機械式継手 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による (4. 3. 8) 杭頭の処理等 ・ 処理しない ◎処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ◎図示による () ・ (4. 3. 8) 杭頭の中詰め材料 ◎基礎のコンクリートと同調合のもの ・

章	項 目	特 記 事 項																																																																												
	3 鋼杭地業	(4. 2. 2) (4. 4. 3) (4. 4. 5) 材料、寸法、継手等 <table><tr><td></td><td></td><td>種類</td><td>厚さ (mm)</td><td>杭径 (mm)</td><td>杭長 (m)</td><td>継手数</td><td>セット数</td><td>長期設計支 持力 (kN/本)</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="3">試 験 杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本 杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4. 2. 2) (4. 3. 5) (4. 4. 4) ・ 特定埋込杭工法 ・ H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で$\alpha=250$ を採用で ける工法 ・ H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式のうち α、β、γが以下の値を採用できる工法 $\alpha=(\quad)$、$\beta=(\quad)$、$\gamma=(\quad)$ 工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 試験杭 試験杭の位置 ・ 図示による () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による 杭の傾斜 ※評定等の評価内容による (4. 4. 3) (4. 4. 5) (7. 2. 5) 杭の継手の工法 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525 による 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5(1) (2) による ・ 機械式継手 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等より定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による (4. 3. 8) (4. 4. 6) 杭頭の処理等 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による () (4. 3. 8) 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの			種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セット数	長期設計支 持力 (kN/本)	備考	試 験 杭	上杭									中杭									下杭									本 杭	上杭									中杭									下杭																		
		種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セット数	長期設計支 持力 (kN/本)	備考																																																																					
試 験 杭	上杭																																																																													
	中杭																																																																													
	下杭																																																																													
本 杭	上杭																																																																													
	中杭																																																																													
	下杭																																																																													

章	項 目	特 記 事 項																																																									
	4 場所打ち コンクリート杭地業	(4. 5. 1) (4. 5. 5) 工法 ・アースドリル工法（安定液 ・使用する ・使用しない） ・リバース工法 ・オールケーシング工法（孔内の水張り ・行う ・行わない） (4. 5. 1) (4. 5. 6) 併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・SKK400 ・SKK490 ・拡底杭工法（安定液 ・使用する ・使用しない） ・ 寸法等 (4. 2. 2) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>鋼管厚 (mm)</th> <th>鋼管径 (mm)</th> <th>軸径 (mm)</th> <th>拡底径 (mm)</th> <th>杭長 (m)</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支 持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (4. 5. 5) 試験杭 試験杭の位置 ・図示による（ ） ・ (4. 5. 5) 孔壁の保持状況（孔壁測定） 測定箇所 ・試験杭（ ）箇所及び本数（ ）箇所 ・ 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による（ ） ・ 杭の精度 水平方向への位置ずれ ・杭径の 1/4 かつ 100 mm以下 ・ 評定等の内容による ・ 杭の傾斜 ・ 1/100 以内 ・ 評定等の内容による ・ (4. 5. 4) 鉄筋の種類 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (4. 5. 4) 帯筋 ・ 図示による ・ (4. 5. 4) 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm ・ (4. 5. 4) 鉄筋かごの補強 ・ 図示による（ ） ・ 杭径 1. 5m 以下の場合は鋼板 6×50 (mm)、1. 5m を超える場合は鋼板 9×50～75 (mm) の補強リングを 3m 以下の間隔で、かつ 1 節につき 3 箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する (4. 5. 4) (5. 3. 4) 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 ※重ね継手 重ね継手の長さ ・ 図示による（ ）		鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セット数	長期設計支 持力 (kN/本)	備考	試験杭									本杭																											種類の記号	呼び径 (mm)	備 考	・ SD295			・ SD345					
	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セット数	長期設計支 持力 (kN/本)	備考																																																			
試験杭																																																											
本杭																																																											
種類の記号	呼び径 (mm)	備 考																																																									
・ SD295																																																											
・ SD345																																																											

章	項 目	特 記 事 項
		(4. 5. 4) (5. 3. 4) 主筋の基礎底盤への定着長さ ・ 図示による () (4. 5. 4) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4. 5. 4) コンクリートの設計基準強度 ・ 図示による () (4. 5. 4) コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種 ・ 認定等の内容による (4. 5. 4) スランプ ・ 18cm ・ 21cm (4. 5. 4) 構造体強度補正值 ※3N/mm² ・ 図示による () ・ 評定等の内容による
5	砂利地業	(4. 6. 2) 材料（茨城県の指定工場であること） ※再生クラッシャーラン ・ 切込砂利又は切込碎石 (4. 6. 3) 砂利厚さ ※60mm (4. 6. 3) 施工範囲 ◎基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ◎図示による ()
6	捨コンクリート地業	(4. 6. 4) 厚さ ※50mm (4. 6. 4) (6. 14. 1) 施工範囲 ◎基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ◎図示による () (4. 6. 4) (6. 14. 1) 設計基準強度 ※18N/mm² (4. 6. 4) (6. 14. 1) スランプ ※15cm 又は 18cm
7	床下防湿層	(4. 6. 2) 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ 0. 15mm (4. 6. 5) 施工範囲 ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
8	地盤改良工法	材料 種類及び施工方法等 六価クロム溶出試験 ・ 図示による () ・ 行う ・ 行わない

5鉄筋工事

章	項 目	特 記 事 項															
5	1鉄筋	(5. 2. 1) 鉄筋の種類等 <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>◎SD295</td><td>※D16 以下</td><td>・</td></tr><tr><td>◎SD345</td><td>※D19 以上 ◎D25 以下</td><td></td></tr><tr><td>◎SD390</td><td>◎D29 以上</td><td></td></tr><tr><td>・ KSS</td><td></td><td></td></tr></table>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	◎SD295	※D16 以下	・	◎SD345	※D19 以上 ◎D25 以下		◎SD390	◎D29 以上		・ KSS		
	種類の記号	呼び径 (mm)	備考														
	◎SD295	※D16 以下	・														
◎SD345	※D19 以上 ◎D25 以下																
◎SD390	◎D29 以上																
・ KSS																	
2溶接金網	(5. 2. 2) 鉄線の形状等 <table><tr><th>種類</th><th>種類の記号</th><th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>◎溶接金網</td><td>JIS G 3551</td><td>6φ-100×100</td><td>SRC 梁貫通補強筋</td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	◎溶接金網	JIS G 3551	6φ-100×100	SRC 梁貫通補強筋	・ 鉄筋格子							
種類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位														
◎溶接金網	JIS G 3551	6φ-100×100	SRC 梁貫通補強筋														
・ 鉄筋格子																	
3鉄筋の継手	(5. 3. 4) (5. 5. 2) (5. 6. 3) 鉄筋の継手の方法等 <table><tr><th>部位</th><th>継手の方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>◎柱及び梁の主筋</td><td>◎ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td><td>※D19 以上</td></tr><tr><td>◎耐力壁の鉄筋</td><td>◎重ね継手</td><td>・</td></tr><tr><td>◎基礎、耐力スラブ、土圧壁</td><td>◎重ね継手 ・ ガス圧接</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 上記以外 ()</td><td>・ 重ね継手</td><td>・</td></tr></table> ガス圧接継手は A 級継手の使用を可とする。 (5. 3. 4) ただし、施工は A 級継手施工会社認定制度 による認定を受けた施工会社によるものと する。 継手位置 ◎図示による 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ◎図示による () 耐力壁の重ね継手の長さ ◎図示による ()	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	◎柱及び梁の主筋	◎ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	※D19 以上	◎耐力壁の鉄筋	◎重ね継手	・	◎基礎、耐力スラブ、土圧壁	◎重ね継手 ・ ガス圧接	・	・ 上記以外 ()	・ 重ね継手	・	
部位	継手の方法	呼び径 (mm)															
◎柱及び梁の主筋	◎ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	※D19 以上															
◎耐力壁の鉄筋	◎重ね継手	・															
◎基礎、耐力スラブ、土圧壁	◎重ね継手 ・ ガス圧接	・															
・ 上記以外 ()	・ 重ね継手	・															
4鉄筋の定着	(5. 3. 4) 鉄筋の定着長さ ※図示による ・ ・ 機械式定着工法 適用場所 ・ 図示による () ・ 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による																

章	項 目	特 記 事 項
	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	(5. 3. 5) 最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） ※図示による ・ 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用 ◎あり 使用箇所（ 図示による ） 主筋のかぶり厚さを径の 1.5 倍以上確保する 耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・適用箇所（ ） ・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ） mm ・
	6 各部配筋	(5. 3. 7) 各部配筋 ※図示による
	7 圧接完了後の試験	(5. 4. 10) (5. 4. 11) 外観試験 ※行う（全ての圧接部） (5. 4. 10) (5. 4. 11) 抜取試験 ※超音波探傷試験 試験ロット：1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数：1 ロットに対して 30 か所とし、ロットから無作為に抜き取る。 ・引張試験 試験ロット：1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とする。なお、200 か所を超え るときは 200 か所ごととする。 試験の箇所数：1 ロットに対して（・3 本 ・5 本）とする。

章	項 目	特 記 事 項
	8 機械式継手	(5. 5. 3) (5. 5. 5) 適用箇所 ・ 図示による () H12 建告第 1463 号に適合する性能 ・ A 級 種類 ・ ねじ式鉄筋継手 ・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 端部ねじ加工継手 ・ モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ※評定等の評価内容による 試験方法 ※評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1 組の作業班が 1 日で行った継手箇所、最大 200 箇所程度とする。 試験の箇所数 1 ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による 不合格となった場合の措置 ・

章	項 目	特 記 事 項
	9 溶接継手	(5. 6. 3) (5. 6. 5) 適用箇所 ・ 図示による () H12 建告第 1463 号に適合する性能 ・ A 級 溶接継手の工法 ・ 図示による () 鉄筋相互のあき ・ 標準仕様書 5. 3. 5(4)による ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による () 施工完了後の溶接部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1 組の作業班が 1 日で行った溶接箇所、最大 200 箇所程度とする。 試験の箇所数 1 ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった継手への措置 ・

章	項 目	特 記 事 項																
6 コンクリート工事	1 コンクリートの種類等	(6.2.1) コンクリートの種別 ※Ⅰ類（茨城県の指定工場であり、JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート） (6.2.1～6.2.4) ※普通コンクリート <table><tr><th>設計基準強度 (N/mm²)</th><th>スランプ (cm)</th><th>気乾単位容積 質量 (t/m³)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>◎30</td><td>◎15 又は 18 ・ 18</td><td>2.3 程度</td><td>基礎・基礎梁・土間スラブ</td></tr><tr><td>◎30</td><td>◎18</td><td>2.3 程度</td><td>上記以外の躯体</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 打増コンクリート(勾配含む)の仕様は躯体と同様とする。 構造体強度補正值 ※標準仕様書 表 6.3.2 による ・	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積 質量 (t/m ³)	適用箇所	◎30	◎15 又は 18 ・ 18	2.3 程度	基礎・基礎梁・土間スラブ	◎30	◎18	2.3 程度	上記以外の躯体				
	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	気乾単位容積 質量 (t/m ³)	適用箇所														
	◎30	◎15 又は 18 ・ 18	2.3 程度	基礎・基礎梁・土間スラブ														
	◎30	◎18	2.3 程度	上記以外の躯体														
2 セメント	(6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメント A 種、シリカセメント A 種又はフライアッシュセメント A 種 適用箇所（※下記以外全て ・ ） 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が 7 日目で 352J/g 以下、かつ 28 日目で 402J/g 以下のものとする ・高炉セメント B 種 適用箇所（・ 1FL より下部（立上がり部含む） ・ ） ・フライアッシュセメント B 種 適用箇所（・ ・ ） ・																	
3 骨材	(6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B（コンクリート中のアルカリ総量が 3.0kg/m³ 以下）																	
4 混和材料	(6.3.1) ◎混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1 (4) (a) による ・ (6.3.1) ◎混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1 (4) (b) による ◎膨張材（図示による） 収縮帯を設けること （コンクリートの種別は JIS 適合とする）																	
5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地	(6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から 1/4 の付近 ・図示による（ ） ・ 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による（ ） ・ (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3) 目地の寸法 ・標準仕様書 9.7.3(1) (7) による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による（ ） ・ (6.8.1) ひび割れ誘発目地の位置 ◎図示による（ ）																	

章	項 目	特 記 事 項																
	6 コンクリートの 仕上り	(6.2.5) (6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ <table><tr><td>種別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>◎A 種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>◎B 種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・C 種</td><td>※図示による ()</td></tr></table> コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5) (6.8.2) <table><tr><td>種別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>◎a 種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・b 種</td><td>※図示による ()</td></tr><tr><td>・c 種</td><td>※図示による ()</td></tr></table>	種別	適用箇所	◎A 種	※図示による ()	◎B 種	※図示による ()	・C 種	※図示による ()	種別	適用箇所	◎a 種	※図示による ()	・b 種	※図示による ()	・c 種	※図示による ()
		種別	適用箇所															
		◎A 種	※図示による ()															
		◎B 種	※図示による ()															
		・C 種	※図示による ()															
		種別	適用箇所															
		◎a 種	※図示による ()															
		・b 種	※図示による ()															
		・c 種	※図示による ()															
		7 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	(6.8.1) 打増し厚さ ◎打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ◎20mm ・ ◎打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ◎10mm ・ 20mm ・ ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm ・ 打増し範囲 ◎図示による () ・															
8 型枠	(6.8.2) せき板の材料及び厚さ ◎合板 (※12mm ・) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・図示による () ・ ・MCR工法用シート (6.8.2) 適用箇所 ・図示による () ・ 打増し厚さ ・ 20mm ・ 打増し範囲 ・図示による () ・ ◎床型枠用鋼製デッキプレート ◎図示による () スリーブの材種・規格等 (6.8.2) ◎図示による () ・																	

章	項 目	特 記 事 項
	9 無筋コンクリート	(6. 2. 1) (6. 14. 1) コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 (6. 3. 1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメント A 種、シリカセメント A 種又はフライ アッシュセメント A 種 ・高炉セメント B 種 ・フライアッシュセメント B 種 (6. 14. 1) 設計基準強度 ※18 (N/mm²) (6. 14. 1) スランブ ※15cm 又は 18cm (6. 14. 1) 適用箇所 ※標準仕様書 6. 14. 1 (4) (ア)～(カ)による ・図示による ()
	10 コンクリートの 単位水量測定	・行わない ◎行う 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m³に 1 回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書 6. 3. 2 (イ) (c) による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 - 測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。 - 測定した単位水量が、設計値±15 を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の 3 台毎に 1 回、単位水量の測定を行う。 - 設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の 3 台毎に 1 回、単位水量の測定を行う。 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

章	項 目	特 記 事 項																		
7 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	(7.1.3) 鉄骨製作工場の加工能力 建築基準法第 68 条の 25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※ (H) グレード以上 ・ グレードの適用はしない 階段は M グレードの適用を可とする。																		
	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者	(7.1.3) (7.1.4) ※配置する																		
	3 鋼材	(7.2.1) 種類等 <table><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所(主要な部分)</th><th>規格</th></tr><tr><td>SS400</td><td>二次部材</td><td>※JIS 規格による ・</td></tr><tr><td>SN400A, B</td><td>二次部材</td><td>※JIS 規格による ・</td></tr><tr><td>SN490B, C</td><td>大梁・ダイアフラム</td><td>※JIS 規格による ・</td></tr><tr><td>STKN490B</td><td>テンションリング・柱・ブレース</td><td>※JIS 規格による ・</td></tr><tr><td>BCR295</td><td>柱</td><td>× JIS 規格による ◎大臣認定品</td></tr></table> 溶融亜鉛めっき工法の適用箇所 ◎ 図示による	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格	SS400	二次部材	※JIS 規格による ・	SN400A, B	二次部材	※JIS 規格による ・	SN490B, C	大梁・ダイアフラム	※JIS 規格による ・	STKN490B	テンションリング・柱・ブレース	※JIS 規格による ・	BCR295	柱	× JIS 規格による ◎大臣認定品
	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																	
SS400	二次部材	※JIS 規格による ・																		
SN400A, B	二次部材	※JIS 規格による ・																		
SN490B, C	大梁・ダイアフラム	※JIS 規格による ・																		
STKN490B	テンションリング・柱・ブレース	※JIS 規格による ・																		
BCR295	柱	× JIS 規格による ◎大臣認定品																		
4 高力ボルト	(7.2.2) 高力ボルトの種類 ◎トルシア形高力ボルト ◎JIS 形高力ボルト 原則トルシア形高力ボルトとし、JIS 形高力ボルトの使用も可とする。 ◎溶融亜鉛メッキ高力ボルト ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ※図示による ・ 摩擦面の処理方法等 (7.4.2) 溶融亜鉛めっき以外 ※標準仕様書 7.4.2(1)による ・ 溶融亜鉛めっき面 (7.12.5) ◎ブラスト処理 (表面粗度 50μmRz 以上) ◎ブラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () ◎りん酸塩処理 試験方法等は認定条件による 原則ブラスト処理とし、ブラスト処理以外の特別な処理方法(りん酸塩処理)の使用も可とする。 ◎すべり試験(溶融亜鉛めっき面の処理にて、りん酸塩処理とした場合の認定条件による。) (7.4.2) ※すべり係数試験 ・ すべり耐力試験 試験方法等 ・ 図示による () ・																			

章	項 目	特 記 事 項
	5 普通ボルト	(7.2.3) ボルト及びナットの材料 ◎標準仕様書 表 7.2.3 (JIS 附属書品) 又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180 とする。 (ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6 又は 4.8 とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は JIS B 1181 とする。ナットの種類は、六角ナット-C とし、材料は鋼とする。) 座金 ※JIS B 1256 による ・ 戻り止め ※二重ナット ・ (7.5.2) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による ・ (7.3.2)
	6 アンカーボルト	(7.2.4) (7.10.3) ◎構造用アンカーボルト 種類 ◎ABR400 ◎ABR490 ・ ◎建方 (及び付属鉄骨) 用アンカーボルト 種類 ◎SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表 7.2.3 による ・ ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による (7.3.2)
	7 溶接材料	(7.2.5) 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1) (2) による ・ 標準仕様書 7.2.5(1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示による () ・
	8 ターンバックル	(7.2.6) 種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ・ 建築用ターンバックル胴 ※割枠式 ・ ねじの呼び ◎図示による () ・ (7.2.6)

章	項 目	特 記 事 項																								
	9 床構造用の デッキプレート	(7.2.7) 材質、形状及び寸法 <table><tr><td></td><td>適用箇所</td><td>材質・形状・寸法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・デッキプレート単独の構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む） ・図示による（ ） 鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8) ・図示による（ ） 耐火認定 ・あり 耐火時間 ・図示による（ ） ・なし		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート単独の構法				・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法															
		適用箇所	材質・形状・寸法	備考																						
	・デッキプレート単独の構法																									
	・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法																									
	10 スタッド	(7.2.8) 種類等 <table><tr><td>呼び名</td><td colspan="4">呼び長さ (mm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>◎16φ</td><td>・ 80</td><td>◎100</td><td colspan="2">・ 120</td><td>柱脚部、梁部</td></tr><tr><td>・ 19φ</td><td>・ 80</td><td>・ 100</td><td>・ 130</td><td>・ 150</td><td></td></tr><tr><td>・ 22φ</td><td>・ 80</td><td>・ 100</td><td>・ 130</td><td>・ 150</td><td></td></tr></table>	呼び名	呼び長さ (mm)				適用箇所	◎16φ	・ 80	◎100	・ 120		柱脚部、梁部	・ 19φ	・ 80	・ 100	・ 130	・ 150		・ 22φ	・ 80	・ 100	・ 130	・ 150	
	呼び名	呼び長さ (mm)				適用箇所																				
	◎16φ	・ 80	◎100	・ 120		柱脚部、梁部																				
	・ 19φ	・ 80	・ 100	・ 130	・ 150																					
・ 22φ	・ 80	・ 100	・ 130	・ 150																						
11 柱底均しモルタル	(7.2.9) 無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕様書 7.2.9(2) (ア) から (イ) による																									
12 製作精度	(7.3.3) 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6[鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12 建告第 1464 号第二号イ (2) による ・ アンダーカットの寸法 ※H12 建告第 1464 号第二号イ (3) による ・ 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ◎「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・精度マニュアル」による ・																									
13 溶接技能者の 技量付加試験	(7.6.3) 試験の要領 ・ 図示による（ ）																									

章	項 目	特 記 事 項										
	14 溶接接合	(7. 6. 4) 開先の形状 ◎図示による ・ (7. 6. 7) ◎エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による () ◎ 全て 切断範囲 ◎エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5 mm以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ◎標準仕様書 7. 6. 7(1) (a) (b) ②による ・ (7. 6. 7) スカラップの形状 ◎図示による ・										
	15 入熱、パス間温度の管理	適用箇所 ・ 図示による () ◎柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部										
	16 溶接部の試験	(7. 6. 12) H12 建告第 1464 号第二号に関する外観試験方法等 ◎「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」 3. 5. 2 受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6[鉄骨精度検査基準]の付表 3「溶接」に関する試験方法等 ◎JASS 6 10. 4[受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書 7. 6. 13 による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ◎工場溶接の場合 AOQL (%) ※4. 0 ・ 2. 5 <table><tr><td>節</td><td>・ 全て</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>検査水準</td><td>※第 6 水準</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ 全数 ◎工事現場溶接の場合 ※全数	節	・ 全て				検査水準	※第 6 水準			
節	・ 全て											
検査水準	※第 6 水準											

章	項 目	特 記 事 項																																				
	17 錆止め塗装	(7.8.2) 塗装の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による () 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示による () ◎建物外周部 (7.8.4) (18.3.2) 塗料の種別 下記以外の鉄鋼面は、18 章[塗装工事]による ◎鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A 種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種別																																				
	18 耐火被覆	(7.9.2～7.9.8) 種類、材料、工法等 <table><tr><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>性能（耐火時間）</th><th>適用箇所（部位・部分）</th></tr><tr><td rowspan="3">◎耐火材吹付け</td><td>・ 乾式吹付け ロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎半乾式吹付け ロックウール</td><td>1 時間 t25</td><td>2 階柱・梁（天井・壁の仕上で隠蔽されている部分）</td></tr><tr><td>・ 湿式ロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・ 耐火板張り</td><td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・ 耐火材巻付け</td><td>・ 高断熱ロックウール</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ラス張りモルタル塗り</td><td>—</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎耐火塗料</td><td></td><td>1 時間</td><td>2 階鉄骨柱・梁（上記隠蔽部以外）→図示</td></tr></table> ◎耐火塗料：エスケー化研：SK タイカコート同等 ◎隠蔽部分：機械室、EV シャフト、PS、EPS、DS 等 ※メインアリーナ側梁：2FL+4m 以下の鉄骨小屋組部分 図示 ※サブアリーナ側梁：2 階東側喫茶コーナー2 上部で 2FL+4m 以下の鉄骨小屋組部分 図示	種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）	◎耐火材吹付け	・ 乾式吹付け ロックウール			◎半乾式吹付け ロックウール	1 時間 t25	2 階柱・梁（天井・壁の仕上で隠蔽されている部分）	・ 湿式ロックウール			・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板			・			・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール			・			・ ラス張りモルタル塗り	—			◎耐火塗料		1 時間	2 階鉄骨柱・梁（上記隠蔽部以外）→図示
	種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）																																		
◎耐火材吹付け	・ 乾式吹付け ロックウール																																					
	◎半乾式吹付け ロックウール	1 時間 t25	2 階柱・梁（天井・壁の仕上で隠蔽されている部分）																																			
	・ 湿式ロックウール																																					
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																					
	・																																					
・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール																																					
	・																																					
・ ラス張りモルタル塗り	—																																					
◎耐火塗料		1 時間	2 階鉄骨柱・梁（上記隠蔽部以外）→図示																																			
19 建方精度		(7.10.2) ※JASS 6 付則 6 [鉄骨精度基準] 付表 5 [工事現場] による																																				
20 アンカーボルトの設置等		(7.10.3) 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ◎図示による () (7.10.3) 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ◎図示による () (7.10.3) 建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの形状及び寸法 ◎図示による () (7.10.3) 建方（及び付属鉄骨）の保持及び埋込み工法 種別 ◎A 種 ・ B 種 (7.10.3) 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 厚さ ◎図示による 種別 ※A 種 ・ B 種																																				

章	項 目	特 記 事 項																							
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリート ブロック造	(8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.7) (8.2.8) ブロックの種類等 <table><tr><th rowspan="2">断面形状及び 圧縮強さ による区分</th><th rowspan="2">正味 厚さ (mm)</th><th colspan="2">モジュール呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">化粧の 有無</th><th rowspan="2">適用箇所</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>長さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>・ 空洞ブロック C(16)</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 無 ・ 有</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 無 ・ 有</td><td></td><td></td></tr></table> モルタルの調合（容積比） ※標準仕様書表 8.2.1 による ・セメント（ ） : 砂（ ） 各部の配筋 ※図示による（ ） ・ 目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ※図示による（ ） ・	断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の 有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	・ 空洞ブロック C(16)				・ 無 ・ 有			・				・ 無 ・ 有		
	断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)			モジュール呼び寸法 (mm)					化粧の 有無	適用箇所	備考													
長さ			高さ																						
・ 空洞ブロック C(16)				・ 無 ・ 有																					
・				・ 無 ・ 有																					
	2 コンクリート ブロック塀壁及び塀	(8.3.2～8.3.4) ブロックの種類等 <table><tr><th rowspan="2">断面形状及び 圧縮強さ による区分</th><th rowspan="2">正味 厚さ (mm)</th><th colspan="2">モジュール呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">化粧の 有無</th><th rowspan="2">(表 8.3.1) 以外の 適用箇所</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>長さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>・ 空洞ブロック C(16)</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 無 ・ 有</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ 無 ・ 有</td><td></td><td></td></tr></table> モルタルの調合（容積比） ※標準仕様書表 8.2.1 による ・セメント（ ） : 砂（ ） 塀に用いるブロックの正味厚さ（mm） 塀の高さが 2m 以下 ※120 ・ 塀の高さが 2m 超え ※150 ・ 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示による（ ） ・ 各部の配筋 ※図示による（ ） ・	断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の 有無	(表 8.3.1) 以外の 適用箇所	備考	長さ	高さ	・ 空洞ブロック C(16)				・ 無 ・ 有							・ 無 ・ 有		
断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)			化粧の 有無	(表 8.3.1) 以外の 適用箇所				備考															
		長さ	高さ																						
・ 空洞ブロック C(16)				・ 無 ・ 有																					
				・ 無 ・ 有																					

章	項 目	特 記 事 項																																														
	3 ALCパネル	(8.4.2～8.4.5) ALCパネルの区分等 <table><tr><th colspan="3" rowspan="2">区分</th><th colspan="2">単位荷重 (N/m²)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">幅及び長さ</th><th rowspan="2">耐火性能 (時間)</th><th rowspan="2">構法の 種別</th></tr><tr><th>正 荷 重</th><th>負 荷 重</th></tr><tr><td>・外壁用</td><td>・一般 ・コーナー</td><td>・平 ・意匠</td><td></td><td></td><td>・100 ・</td><td>図示による</td><td>・なし ・1</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>・間仕切 壁用</td><td>・一般 ・コーナー</td><td>・平 ・意匠</td><td></td><td></td><td>・100 ・</td><td>図示による</td><td>・なし ・1</td><td>・C種 ・D種 ・E種</td></tr><tr><td>・屋根用</td><td>－</td><td>－</td><td></td><td></td><td>・100 ・</td><td>図示による</td><td>・0.5</td><td rowspan="2">◎F種</td></tr><tr><td>◎床用</td><td>－</td><td>－</td><td>235 0</td><td></td><td>◎100 ・</td><td>◎図示によ る</td><td>◎1 ・2</td></tr></table> パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・ 外壁、屋根パネルの構法 1章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の耐風圧性能 外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を 300mm 未満とする場合 ◎図示による ・ (mm) 目地幅 (mm) (パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅、入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部) ※10～20 ・ 外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ◎適用する ・ 適用しない	区分			単位荷重 (N/m ²)		厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能 (時間)	構法の 種別	正 荷 重	負 荷 重	・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠			・100 ・	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種	・間仕切 壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠			・100 ・	図示による	・なし ・1	・C種 ・D種 ・E種	・屋根用	－	－			・100 ・	図示による	・0.5	◎F種	◎床用	－	－	235 0		◎100 ・	◎図示によ る	◎1 ・2
区分						単位荷重 (N/m ²)						厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能 (時間)	構法の 種別																																	
			正 荷 重	負 荷 重																																												
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠			・100 ・	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種																																								
・間仕切 壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠			・100 ・	図示による	・なし ・1	・C種 ・D種 ・E種																																								
・屋根用	－	－			・100 ・	図示による	・0.5	◎F種																																								
◎床用	－	－	235 0		◎100 ・	◎図示によ る	◎1 ・2																																									

章	項 目	特 記 事 項																																												
4	押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2～8.5.5) ECPの種類等 <table><tr><th>パネルの種類</th><th>形状</th><th>厚さ (mm)</th><th>幅 (mm)</th><th>工法の種別</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">◎外壁パネル</td><td>◎ F</td><td>・ 50 ◎60 ・</td><td rowspan="3">※600 ◎900</td><td rowspan="3">◎A 種 ・ B 種</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・ D</td><td>・ 50 ・ 60</td></tr><tr><td>・ T</td><td>60</td></tr><tr><td rowspan="3">・ 間仕切壁パネル</td><td>・ F</td><td>・ 50 ・ 60 ・</td><td rowspan="3">※600 ・</td><td rowspan="3">・ B 種 ・ C 種</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・ D</td><td>・ 50 ・ 60</td></tr><tr><td>・ T</td><td>60</td></tr></table> 注) F：フラットパネル、D：デザインパネル、T：タイルベースパネル 外壁パネルの工法における耐風圧性能 1章 適用区分による風圧力の（・1 ◎1.15 ・1.3）倍の耐風圧性能 外壁パネル工法及び間仕切りパネル工法における耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による パネル幅の最小限度を 300 mm未満とする場合 ◎図示による ・ (mm) パネル相互の目地幅 (mm) ◎長辺 10 ◎短辺 15 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※15 程度 ・ 目地及び隙間の処理（耐火構造を含む） ※パネル製造所の仕様 ・ パネルの欠き込み等は原則不可とする。 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した施工計画書を提出し監理者の承認を得る事。 <table><tr><td></td><td></td><td>孔あけ及び欠き込みの大きさ</td><td>切断後のパネルの残り部分の幅</td></tr><tr><td rowspan="2">パネルに孔あけを設ける場合</td><td>短辺</td><td>パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下</td><td>150mm 以下</td></tr><tr><td>長辺</td><td>パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下</td><td>300mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">パネルに欠き込みを設ける場合</td><td>短辺</td><td>パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下</td><td>300mm 以下</td></tr><tr><td>長辺</td><td>パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下</td><td>300mm 以下</td></tr></table> ◎耐火性能 ◎有り（ 1 時間 ） ・無し ◎二次防水工法 ◎外部に面するパネルの下地取付金物の仕上げは、溶解亜鉛メッキC種以上とする。 ◎取付金物・開口補強部：耐火被覆 ◎パネル相互の目地は、2重シールとする。 ◎柱部などのメンテナンス不可能な部分の、内側目地は環状ガスケットとする。	パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考	◎外壁パネル	◎ F	・ 50 ◎60 ・	※600 ◎900	◎A 種 ・ B 種		・ D	・ 50 ・ 60	・ T	60	・ 間仕切壁パネル	・ F	・ 50 ・ 60 ・	※600 ・	・ B 種 ・ C 種		・ D	・ 50 ・ 60	・ T	60			孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	パネルに孔あけを設ける場合	短辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	150mm 以下	長辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	300mm 以下	パネルに欠き込みを設ける場合	短辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	300mm 以下	長辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	300mm 以下
パネルの種類	形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考																																									
◎外壁パネル	◎ F	・ 50 ◎60 ・	※600 ◎900	◎A 種 ・ B 種																																										
	・ D	・ 50 ・ 60																																												
	・ T	60																																												
・ 間仕切壁パネル	・ F	・ 50 ・ 60 ・	※600 ・	・ B 種 ・ C 種																																										
	・ D	・ 50 ・ 60																																												
	・ T	60																																												
		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																											
パネルに孔あけを設ける場合	短辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	150mm 以下																																											
	長辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	300mm 以下																																											
パネルに欠き込みを設ける場合	短辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	300mm 以下																																											
	長辺	パネル幅の 1/2 以下、かつ、300mm 以下	300mm 以下																																											

9

防水工事

項目

1 アスファルト防水

特記事項

(9.2.2～9.2.5) (表 9.2.3～9.2.9)

屋根保護防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1			※ ^ホ リエチレンフィルム厚さ 0.15mm 以上又はフラットヤンクロス 70g/ ㎡程度
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・AI-1		(種類) ※JIS A 9521 に基づく押 出法 ^ホ リスチンフォーム断熱材 3種 bA (スキン層付き) (厚さ) (mm) ◎50	※フラットヤンクロス 70g/㎡程度
◎AI-2	陸屋根 ^デ ッキ		
・AI-3			
・BI-1			
・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表 9.2.3 から表 9.2.8 による
・ JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ()
材料構成による区分 ※R 種
厚さ () mm 以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表 9.2.5 から 表 9.2.8 による
・ JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ()
材料構成による区分 ※R 種
厚さ () mm 以上

屋根保護防水密着断熱工法及び屋根保護防水絶縁断熱工法に用いる断熱材
種類 JIS A 9521 に基づく押出法^ホ リエチンフォーム断熱材 3 種 bA (スキン層付き)
厚さ (mm) ・ 25 ◎50

平場の保護コンクリートの厚さ
◎こて仕上げ ※水下 80mm 以上 ・
・ 床タイル張り ※水下 60mm 以上 ・

立上り部の保護工法
◎乾式保護材 (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)
窯業系パネルⅠ類 厚さ (15) mm 幅 () mm
・ れんが押え (※JIS R 1250 ・)
・ コンクリート押え
・ モルタル押え (屋内)

章	項 目	特 記 事 項																																						
		屋根露出防水 防水層の種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射 反射率防水</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・D-1</td> <td></td> <td rowspan="3"> 標準仕様書 9.2.2(9) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・ </td> <td rowspan="3"> ・アスファルトルーフィング類 の製造所 の仕様 ・ </td> <td rowspan="3"> ※アスファルトルーフィング類 の製造所 の仕様 ・ </td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・DI-1</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・DI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> </tbody> </table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表 9.2.8 による ・JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ 用途による区分 () 材料による区分 ※R 種 厚さ () mm 以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表 9.2.7 及び表 9.2.8 による ・JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ 用途による区分 () 材料構成による区分 ※R 種 厚さ () mm 以上 絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・ 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 個 屋内防水 防水層の種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・E-1</td> <td></td> <td>・E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 保護層 ・設ける (※図示 ・) ◎設けない E-1 の工程 3 を行う部位 ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ 防水層の下地の立上り ※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書 表 6.2.4 [打放し仕上げ種別] の B 種 ・ 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm 程度 ・ 防水層の下地のモルタル塗り ※適用する (施工範囲 ※図示による ・) ・適用しない 屋上排水溝 ※図示による ・					種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射 反射率防水	種類	使用量	・D-1		標準仕様書 9.2.2(9) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・	・アスファルトルーフィング類 の製造所 の仕様 ・	※アスファルトルーフィング類 の製造所 の仕様 ・	・適用する	・D-2		・適用する	・DI-1		・適用する	・DI-2					・適用する	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2	
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射 反射率防水																																			
			種類	使用量																																				
・D-1		標準仕様書 9.2.2(9) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・	・アスファルトルーフィング類 の製造所 の仕様 ・	※アスファルトルーフィング類 の製造所 の仕様 ・	・適用する																																			
・D-2					・適用する																																			
・DI-1					・適用する																																			
・DI-2					・適用する																																			
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																					
・E-1		・E-2																																						

章	項 目	特 記 事 項																																											
	2 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表 9.3.1～9.3.3)																																											
		屋根露出防水 防水層の種別																																											
		<table><tr><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">断熱材</th><th rowspan="2">防湿用シート</th><th colspan="2">仕上塗料</th><th rowspan="2">高日射 反射率防水</th></tr><tr><th>種類</th><th>使用量</th></tr><tr><td>・AS-T1</td><td></td><td rowspan="5"> 標準仕様書 9.3.2(3) (ウ) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・ </td><td rowspan="5"> ・設ける (改質アスファルトシート の製造所の仕様) ・設けない </td><td rowspan="5">※改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・</td><td rowspan="5">※改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・</td><td>・適用する</td></tr><tr><td>・AS-T2</td><td></td><td>・適用する</td></tr><tr><td>・AS-T3</td><td></td><td>・適用する</td></tr><tr><td>・AS-T4</td><td></td><td>・適用する</td></tr><tr><td>・AS-J1</td><td></td><td>・適用する</td></tr><tr><td>・ASI-T1</td><td></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>・適用する</td></tr><tr><td>・ASI-J1</td><td></td><td>・適用する</td></tr></table>						種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料		高日射 反射率防水	種類	使用量	・AS-T1		標準仕様書 9.3.2(3) (ウ) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・	・設ける (改質アスファルトシート の製造所の仕様) ・設けない	※改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・	・適用する	・AS-T2		・適用する	・AS-T3		・適用する	・AS-T4		・適用する	・AS-J1		・適用する	・ASI-T1						・適用する	・ASI-J1		・適用する
種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料		高日射 反射率防水																																							
				種類	使用量																																								
・AS-T1		標準仕様書 9.3.2(3) (ウ) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・	・設ける (改質アスファルトシート の製造所の仕様) ・設けない	※改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様 ・	・適用する																																							
・AS-T2						・適用する																																							
・AS-T3						・適用する																																							
・AS-T4						・適用する																																							
・AS-J1						・適用する																																							
・ASI-T1						・適用する																																							
・ASI-J1						・適用する																																							
		改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表 9.3.1 から 表 9.3.3 による ・ JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ 用途による区分 () 材料による区分 ※R 種 厚さ () mm以上																																											
		粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表 9.3.1 から 表 9.3.3 による ・ JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ 用途による区分 () 材料による区分 ※R 種 厚さ () mm 以上																																											
		部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表 9.3.1 から 表 9.3.3 による ・ JIS A 6013 に基づく種類及び厚さ 用途による区分 () 材料による区分 ※R 種 厚さ () mm 以上																																											
		立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0 mm程度 ・																																											
		絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 個																																											

章	項 目	特 記 事 項					
3	合成高分子系 ルーフィングシート防水	(9.4.2～9.4.4) (表9.4.1～9.4.3)					
		防水層の種別					
		種別	施工箇所	可塑剤 移行防止 シートの材質	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	高日射 反射率 防水
		・S-F1				※ルーフィングシートの 製造所の仕様 ・	・適用 する
		・S-F2					・適用 する
		・S-M1				※ルーフィングシートの 製造所の仕様 ・	・適用 する
		・S-M2					・適用 する
		・SI-F1			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (b) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・	※ルーフィングシートの 製造所の仕様 ・	・適用 する
		・SI-F2					・適用 する
		・SI-M1			標準仕様書 9.4.2(3) (イ) (a) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・	※ルーフィングシートの 製造所の仕様 ・	・適用 する
		・SI-M2					・適用 する
				※発泡ポリ エチレンシート ・			
		S-F1、S-M1、S-F2、S-M2 の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様 SI-M1、SI-M2 における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない					
		屋内防水					
		種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚			
		・S-C1		・	※7mm 以下 ・		
		平場のモルタル床塗りににおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割り 2 m程度、最大目地間隔 3m 程度 ・ 目地の種類 ・押し目地 ・					
		合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表9.4.1 から表9.4.3 による ・JIS A 6008 に基づく種類及び厚さ 種類 ・ 厚さ ・() mm以上					
		固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ 0.4mm 以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ・					
		接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・() 個					
		接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う (・図示による) ・行わない プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り(種別 S-F1、SI-F1 の場合) ・行う (・図示による) ・行わない					
		機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1 章 適用区分による風圧力の(・1) 倍の風圧力に対応した工法					

章	項 目	特 記 事 項																																						
4	塗膜防水	(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)																																						
		<table><tr><td colspan="6">防水層の種別</td></tr><tr><td>種別</td><td>施工箇所</td><td colspan="2">仕上塗料</td><td rowspan="2">保護層</td><td rowspan="2">高日射 反射率防水 ・適用する</td></tr><tr><td></td><td></td><td>種類</td><td>使用量</td></tr><tr><td>・X-1</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎X-2</td><td>排水溝、パラペットアゴ・設備基礎天端・設備取出し屋根</td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td>※主材料の製造所の仕様 ・</td><td></td><td>・適用する</td></tr><tr><td>・Y-1</td><td>※地下外壁防水 ・</td><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎Y-2</td><td>※屋内防水 ・</td><td colspan="2"></td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr></table> ◎屋内防水 場所：喫茶コーナー1 大関化学工業：パラテックス同等 ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様	防水層の種別						種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射 反射率防水 ・適用する			種類	使用量	・X-1		※主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・			◎X-2	排水溝、パラペットアゴ・設備基礎天端・設備取出し屋根	※主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・		・適用する	・Y-1	※地下外壁防水 ・					◎Y-2	※屋内防水 ・		
防水層の種別																																								
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射 反射率防水 ・適用する																																			
		種類	使用量																																					
・X-1		※主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・																																					
◎X-2	排水溝、パラペットアゴ・設備基礎天端・設備取出し屋根	※主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・		・適用する																																			
・Y-1	※地下外壁防水 ・																																							
◎Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・適用しない																																				
5	ケイ酸質系塗布防水	(9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) (表9.6.1) (表9.6.2)																																						
6	シーリング	(9.7.2、9.7.3、9.7.5) (表9.7.1)																																						
		下表以外は、標準仕様書 表9.7.1 による ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による <table><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr><tr><td>外壁 E C P</td><td>MS-2, PU-2</td></tr><tr><td>サッシ周り</td><td>MS-2</td></tr><tr><td>金属周り</td><td>MS-2</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 仕上げを行わない施工箇所（・図示による ◎MS-2 ） シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書 9.7.3(1) (ア)～(ウ)による ・図示 ・ 接着試験 ◎簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ◎シーリング部位の試験実施時期 シール施工完了時点、ただしダブルシール方式の場合は、1次シールおよび2次シール（内部側）施工完了時点 ◎	施工箇所	シーリング材の種類（記号）	外壁 E C P	MS-2, PU-2	サッシ周り	MS-2	金属周り	MS-2																														
施工箇所	シーリング材の種類（記号）																																							
外壁 E C P	MS-2, PU-2																																							
サッシ周り	MS-2																																							
金属周り	MS-2																																							

章	項 目	特 記 事 項																																																											
10 石 工 事	1 施工	(10. 1. 3) (10. 1. 5) 石材の割付け ※図示による																																																											
	2 石材等	(10. 2. 1) (10. 2. 3) (表 10. 2. 1) (表 10. 2. 2) 天然石 <table><tr><th>施工箇所</th><th>岩石の 種類</th><th>形状及び寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面仕上 げの種類</th><th>備考</th></tr><tr><td>・床石</td><td></td><td>※図示による</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ジェットバーナー仕上げの場合のパフ仕上げの有無 ・あり ・なし テラゾブロック <table><tr><th>施工箇所</th><th>種石の種類</th><th>種石の大 きさ (mm)</th><th>形状に よる区分</th><th>仕上げ面 による区分</th><th>寸法 (mm)</th><th>表面仕 上げの 種類</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>※大理石 ・花こう岩</td><td>※1. 5～12 ・</td><td>・平もの ・役もの</td><td>・片面 ・両面</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> テラゾタイル <table><tr><th>施工箇所</th><th>種石の種類</th><th>種石の 大きさ (mm)</th><th>寸法による区分</th><th>表面仕上 げの種類</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>※大理石 ・花こう岩</td><td>※1. 5～12 ・</td><td>・ 300 型 ・ 400 型</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (10. 2. 3) その他の材料 取付け用モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・ 既調合の目地モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・ 浸透性吸水防水剤 ※専門工事業者の指定する製品 ・ 石裏面処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ・ 裏打ち処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ・ ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ・ 金物の固定に使用する充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品 ・	施工箇所	岩石の 種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上 げの種類	備考	・床石		※図示による										施工箇所	種石の種類	種石の大 きさ (mm)	形状に よる区分	仕上げ面 による区分	寸法 (mm)	表面仕 上げの 種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1. 5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面												施工箇所	種石の種類	種石の 大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上 げの種類	備考		※大理石 ・花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 300 型 ・ 400 型							
施工箇所	岩石の 種類	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上 げの種類	備考																																																								
・床石		※図示による																																																											
施工箇所	種石の種類	種石の大 きさ (mm)	形状に よる区分	仕上げ面 による区分	寸法 (mm)	表面仕 上げの 種類	備考																																																						
	※大理石 ・花こう岩	※1. 5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																																									
施工箇所	種石の種類	種石の 大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上 げの種類	備考																																																								
	※大理石 ・花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 300 型 ・ 400 型																																																										

章	項 目	特 記 事 項
	3 外壁湿式工法	(10. 2. 2) (10. 2. 3) (10. 3. 2) (10. 3. 3)
		受金物 材質 ※SUS304 ・ 形状及び寸法 ・ L-75×75×6 (mm) の加工 長さ 100mm 又は 150mm ・ アンカーの材質及び寸法 材質 ※SS400 寸法 ・ あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・ ドレンパイプ ・ 設ける (設置位置 : 図示による) ・ 設けない 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ 流し筋工法 目地 一般目地 ・ 目地モルタル (目地幅 ・) ・ 既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ※シーリング材 (種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ・ 図示による シーリングの材の種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による ・ 目地寸法 ※幅・深さとも 10mm 以上 ・ 図示による

章	項 目	特 記 事 項
	4 内壁空積工法	(10. 2. 2) (10. 4. 2) (10. 4. 3) 受金物 材質 ※SUS304 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm) の加工 長さ 100mm 又は 150mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法 一般目地 ・ 目地モルタル (目地幅) ・ 既調合の目地モルタル (目地幅) ・ シーリング材 (種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による) (目地幅及び深さ) 伸縮調整目地 位置 ・ 6m 程度 ・ 図示 シーリング材の種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による 目地寸法 ・

章	項 目	特 記 事 項
	5 乾式工法	(10. 2. 2) (10. 5. 2) (10. 5. 3) (表 10. 2. 4) 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ※標準仕様書表 10. 2. 4 による (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・ だぼ用の穴の位置 ※標準仕様書 10. 5. 2 (2) (7) による ・図示による 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 1 章 適用区分による風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法 シーリング材 種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による ・ 目地幅及び深さ ・
	6 床及び階段の石張り	(10. 6. 2) (10. 6. 3) 浸透性吸水防水剤 (床石張り) ・適用する ・適用しない 石裏面処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない (階段張り) ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書 10. 6. 2 (5) (a) による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による ・ 目地寸法 ※幅・深さともに 10mm 以上 ・図示による

章	項 目	特 記 事 項
	8 笠木、甲板等の 石張り	(10. 2. 2) (10. 7. 1) (10. 7. 3) 取付け工法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法 特殊部位用金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 寸法等 引金物 ※標準仕様書表 10. 2. 3 による ・ だぼ ※標準仕様書表 10. 2. 3 による ・ かすがい ※標準仕様書表 10. 2. 3 による ・ 受金物 ※標準仕様書 10. 2. 2 (1) (イ) による ・ 乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー ※標準仕様書表 10. 2. 4 に準ずる (方式： ・ スライド方式 ・ ロッキング方式) ・ 図示 あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・ 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※70 mm程度 ・ 石材の裏面の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない 一般目地 ・ 目地モルタル (目地幅 ・) ・ 既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ・ シーリング材 (種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書 10. 6. 2 (5) (a) による ・ 図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書 表 9. 7. 1 による ・ 目地寸法 ・ 図示による

11

タイル工事

章	項 目	特 記 事 項																																																						
11	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	(11.1.3) (表 11.1.1) 位置 ※標準仕様書 表 11.1.1 による ・図示による 目地寸法 ・図示による ・																																																						
	2 見本焼き・試験施工	(11.1.4) 見本焼き ・行う (施工箇所：) ◎行わない 試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ◎行わない																																																						
	3 セメントモルタルによるタイル張り	(11.2.2) (11.2.6) タイルの形状、寸法等 <table><tr><td>施工箇所</td><td>床 (エントランス・1 風除室 1)</td><td>壁 キッズトイレ・ 屋外トイレ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>種類</td><td>磁器タイル</td><td>磁器タイル</td><td></td><td></td></tr><tr><td>形状/寸法 (mm)</td><td>300×300</td><td>50×50</td><td></td><td></td></tr><tr><td>再生材料 の適用</td><td>・適用する</td><td>・適用する</td><td>・適用する</td><td>・適用する</td></tr><tr><td>吸水率による 区分</td><td>◎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</td><td>◎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</td><td>・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</td><td>・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</td></tr><tr><td>うわぐすり</td><td>◎施ゆう ・無ゆう</td><td>◎施ゆう ・無ゆう</td><td>・施ゆう ・無ゆう</td><td>・施ゆう ・無ゆう</td></tr><tr><td>役物</td><td>◎有 ・無</td><td>◎有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td></tr><tr><td>色</td><td>◎標準 ・特注</td><td>◎標準 ・特注</td><td>・標準 ・特注</td><td>・標準 ・特注</td></tr><tr><td>耐凍害性</td><td>◎有 ・無</td><td>◎有 ・無</td><td>・有 ・無</td><td>・有 ・無</td></tr><tr><td>耐滑り性</td><td>◎有</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>備考</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 既調合モルタル (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による) モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材 (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による) 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※目荒し工法 (高圧水洗処理) ・MCR 工法 ・ 壁タイル張りの工法 内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り	施工箇所	床 (エントランス・1 風除室 1)	壁 キッズトイレ・ 屋外トイレ			種類	磁器タイル	磁器タイル			形状/寸法 (mm)	300×300	50×50			再生材料 の適用	・適用する	・適用する	・適用する	・適用する	吸水率による 区分	◎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	◎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	うわぐすり	◎施ゆう ・無ゆう	◎施ゆう ・無ゆう	・施ゆう ・無ゆう	・施ゆう ・無ゆう	役物	◎有 ・無	◎有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	色	◎標準 ・特注	◎標準 ・特注	・標準 ・特注	・標準 ・特注	耐凍害性	◎有 ・無	◎有 ・無	・有 ・無	・有 ・無	耐滑り性	◎有	・	・	・	備考			
施工箇所	床 (エントランス・1 風除室 1)	壁 キッズトイレ・ 屋外トイレ																																																						
種類	磁器タイル	磁器タイル																																																						
形状/寸法 (mm)	300×300	50×50																																																						
再生材料 の適用	・適用する	・適用する	・適用する	・適用する																																																				
吸水率による 区分	◎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	◎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ																																																				
うわぐすり	◎施ゆう ・無ゆう	◎施ゆう ・無ゆう	・施ゆう ・無ゆう	・施ゆう ・無ゆう																																																				
役物	◎有 ・無	◎有 ・無	・有 ・無	・有 ・無																																																				
色	◎標準 ・特注	◎標準 ・特注	・標準 ・特注	・標準 ・特注																																																				
耐凍害性	◎有 ・無	◎有 ・無	・有 ・無	・有 ・無																																																				
耐滑り性	◎有	・	・	・																																																				
備考																																																								

章	項 目	特 記 事 項			
	4 有機系接着剤による タイル張り	(11.3.2～11.3.5)			
		タイルの形状、寸法等			
		施工箇所			
		種類			
		形状/寸法(mm)			
		再生材料 の適用	・適用する	・適用する	・適用する
		吸水率による 区分	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		うわぐすり	・施ゆう ・無ゆう	・施ゆう ・無ゆう	・施ゆう ・無ゆう
		役物	・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無
		色	・標準 ・特注	・標準 ・特注	・標準 ・特注
		耐凍害性	・有 ・無	・有 ・無	・有 ・無
		耐滑り性	・	・	・
		備考			
		標準的な曲がりの役物は一体成形とする			
		内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆			
		目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材			
		ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材			
		伸縮調整目地及びその他の目地 ※変成シリコン系シーリング材			
		下地調整塗材塗りをを行うコンクリート素地面の下地処理 ※目荒し工法(高圧水洗処理) ・MCR 工法			
		外装タイルの目地詰め ・行う ・行わない			

章	項 目	特 記 事 項																																																																													
12 木 工 事	1 施工一般	(12. 2. 1) 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は標準仕様書 12. 2. 1 (1) (ウ) (b)による																																																																													
	2 製材	(12. 2. 1) (12. 4. 1) (12. 5. 1) (12. 6. 1) (12. 7. 1) ◎JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td>壁下地</td><td>40×45</td><td>※2 級 ・</td><td>※A 種 ・ B 種 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>※2 級 ・</td><td>※A 種 ・ B 種 ・</td><td></td><td></td></tr></table> ◎JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td>見え掛り面</td><td>◎図示</td><td>※上小節 ・</td><td>※A 種 ・ B 種 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>見え掛り面以外</td><td></td><td>※小節以上 ・</td><td>※A 種 ・ B 種 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※A 種 ・ B 種 ・</td><td></td><td></td></tr></table> ・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※1 等 ・</td><td>※10%以下 ・ A 種 ・ B 種 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>※1 等 ・</td><td>※10%以下 ・ A 種 ・ B 種 ・</td><td></td><td></td></tr></table> ・ JAS 1083 (製材) 以外の製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>材面の品質</th><th>防虫処理の適用</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A 種・B 種)</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>※A 種 ・ B 種 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A 種・B 種)</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td>※A 種 ・ B 種 ・</td><td></td></tr></table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用	壁下地	40×45	※2 級 ・	※A 種 ・ B 種 ・					※2 級 ・	※A 種 ・ B 種 ・			施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用	見え掛り面	◎図示	※上小節 ・	※A 種 ・ B 種 ・			見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A 種 ・ B 種 ・						※A 種 ・ B 種 ・			施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用			※1 等 ・	※10%以下 ・ A 種 ・ B 種 ・					※1 等 ・	※10%以下 ・ A 種 ・ B 種 ・			施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等 の適用			() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A 種 ・ B 種 ・				() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A 種 ・ B 種 ・
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用																																																																										
壁下地	40×45	※2 級 ・	※A 種 ・ B 種 ・																																																																												
		※2 級 ・	※A 種 ・ B 種 ・																																																																												
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用																																																																										
見え掛り面	◎図示	※上小節 ・	※A 種 ・ B 種 ・																																																																												
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A 種 ・ B 種 ・																																																																												
			※A 種 ・ B 種 ・																																																																												
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用																																																																										
		※1 等 ・	※10%以下 ・ A 種 ・ B 種 ・																																																																												
		※1 等 ・	※10%以下 ・ A 種 ・ B 種 ・																																																																												
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等 の適用																																																																										
		() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A 種 ・ B 種 ・																																																																											
		() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・ 適用する ・ 適用しない	※A 種 ・ B 種 ・																																																																											

章	項 目	特 記 事 項																																																																																																		
	3 造作用集成材	(12. 2. 1) ◎「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け 材面数</th><th>見付け材 面の品質</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td>カーテンボックス</td><td></td><td>桧・彬</td><td>図示</td><td></td><td>※1 等 ・2 等</td><td></td></tr><tr><td>建具・ 建具枠</td><td></td><td>桧・彬</td><td>図示</td><td></td><td>※1 等 ・2 等</td><td></td></tr><tr><td>屋内階段 手摺</td><td></td><td>タモ</td><td>図示</td><td></td><td>※1 等 ・2 等</td><td></td></tr><tr><td>屋内壁</td><td></td><td>桧・彬</td><td>図示</td><td></td><td>※1 等</td><td></td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄 板の厚 さ (mm)</th><th>見付 け材 面数</th><th>見付け 材面の 品質</th><th>間伐 材等 の適 用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板： 心材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・2 等</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板： 心材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・2 等</td><td></td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td></td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄 板の厚 さ (mm)</th><th>見付け材 面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td>化粧薄板： 心材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>化粧薄板： 心材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td></td></tr></table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け 材面数	見付け材 面の品質	間伐材等 の適用	カーテンボックス		桧・彬	図示		※1 等 ・2 等		建具・ 建具枠		桧・彬	図示		※1 等 ・2 等		屋内階段 手摺		タモ	図示		※1 等 ・2 等		屋内壁		桧・彬	図示		※1 等		施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄 板の厚 さ (mm)	見付 け材 面数	見付け 材面の 品質	間伐 材等 の適 用			化粧薄板： 心材：				※1 等 ・2 等				化粧薄板： 心材：				※1 等 ・2 等		施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等 の適用					※15%以下 ・						※15%以下 ・		施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄 板の厚 さ (mm)	見付け材 面の品質	含水率	間伐材等 の適用		化粧薄板： 心材：				※15%以下 ・			化粧薄板： 心材：				※15%以下 ・	
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け 材面数	見付け材 面の品質	間伐材等 の適用																																																																																														
カーテンボックス		桧・彬	図示		※1 等 ・2 等																																																																																															
建具・ 建具枠		桧・彬	図示		※1 等 ・2 等																																																																																															
屋内階段 手摺		タモ	図示		※1 等 ・2 等																																																																																															
屋内壁		桧・彬	図示		※1 等																																																																																															
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄 板の厚 さ (mm)	見付 け材 面数	見付け 材面の 品質	間伐 材等 の適 用																																																																																													
		化粧薄板： 心材：				※1 等 ・2 等																																																																																														
		化粧薄板： 心材：				※1 等 ・2 等																																																																																														
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等 の適用																																																																																															
				※15%以下 ・																																																																																																
				※15%以下 ・																																																																																																
施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄 板の厚 さ (mm)	見付け材 面の品質	含水率	間伐材等 の適用																																																																																														
	化粧薄板： 心材：				※15%以下 ・																																																																																															
	化粧薄板： 心材：				※15%以下 ・																																																																																															

章	項 目	特 記 事 項								
	4 造作用単板積層材	(12. 2. 1)								
		・ JAS 0701 に基づく造作用単板積層材								
		施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用			
						・ 適用する ・ 適用しない				
						・ 適用する ・ 適用しない				
		・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材								
		施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等 の適用			
					※14%以下 ・	・ 適用する ・ 適用しない				
					※14%以下 ・	・ 適用する ・ 適用しない				
		・ JAS 3079 に基づく直交集成板（CLT）								
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等 の適用			
5	合板等	(12. 2. 1)								
		◎「合板の日本農林規格」による普通合板								
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用		
		壁	※5.5 ・		※1 類 ・ 2 類	広葉樹 ※2 等以上 ・ 1 等 針葉樹 ※C-D 以上 ・	・ 適用する ・ 適用しない			
			・			・				
		◎「合板の日本農林規格」による構造用合板								
		施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の 品質	防虫処 理	強度等級	間伐材 等の適 用
		床	※12 ・	・ 1 級 ※2 級 以上		※1 類 ・ 特類	※C-D 以上 ・	・ 適 用 する ・ 適 用 しない	・ 指定する () ・ 指定しない	
			※12 ・	・ 1 級 ※2 級 以上		※1 類 ・ 特類	※C-D 以上 ・	・ 適 用 する ・ 適 用 しない	・ 指定する () ・ 指定しない	

章	項 目	特 記 事 項																																																																																													
		・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種 名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・ 1 類 ・ 特類</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◎「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>化粧板に使用する 単板の樹種名</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程 度</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>壁</td><td></td><td>6</td><td>◎1 類 ・ 2 類</td><td>・ 適用する ◎適用しない</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◎「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の 程度</th><th>単板の樹 脂名</th><th>化粧加工 の方法</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>壁</td><td>6</td><td>◎1 類 ・ 2 類</td><td></td><td></td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・パーティクルボード <table><tr><th>施工箇所</th><th>表裏面の状態 による区分</th><th>曲げ強さ による区分</th><th>耐水性 による区分</th><th>難燃性に よる区分</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※13 タイプ ・</td><td>※P 又は M ・</td><td></td><td>※15mm ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ JAS 0360 に基づく構造用パネル <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> ・ MDF <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面の状態によ る区分</th><th>曲げ強さに よる区分</th><th>接着剤によ る区分</th><th>難燃性に よる区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種 名	接着の程度	防虫処理	間伐材等 の適用				・ 1 類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない								施工箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程 度	防虫処理	壁		6	◎1 類 ・ 2 類	・ 適用する ◎適用しない						施工箇所	厚さ (mm)	接着の 程度	単板の樹 脂名	化粧加工 の方法	防虫処理	壁	6	◎1 類 ・ 2 類			・ 適用する ・ 適用しない							施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性に よる区分	厚さ (mm)			※13 タイプ ・	※P 又は M ・		※15mm ・							施工箇所	寸法 (mm)					施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態によ る区分	曲げ強さに よる区分	接着剤によ る区分	難燃性に よる区分												
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種 名	接着の程度	防虫処理	間伐材等 の適用																																																																																										
			・ 1 類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																											
施工箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程 度	防虫処理																																																																																											
壁		6	◎1 類 ・ 2 類	・ 適用する ◎適用しない																																																																																											
施工箇所	厚さ (mm)	接着の 程度	単板の樹 脂名	化粧加工 の方法	防虫処理																																																																																										
壁	6	◎1 類 ・ 2 類			・ 適用する ・ 適用しない																																																																																										
施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性に よる区分	厚さ (mm)																																																																																										
		※13 タイプ ・	※P 又は M ・		※15mm ・																																																																																										
施工箇所	寸法 (mm)																																																																																														
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態によ る区分	曲げ強さに よる区分	接着剤によ る区分	難燃性に よる区分																																																																																										
6	接合具等	(12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ 釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表 12. 2. 3～12. 2. 5 に示す程度の指南品 表 14. 2. 2 の F 程度) ・ (形状： 寸法： 材質：)																																																																																													
7	接着剤	(12. 2. 2) (12. 2. 3) 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・																																																																																													

13

屋根及びこの工事

章	項 目	特 記 事 項																																	
13	1 長尺金属板葺	(13. 2. 2) (13. 2. 3)																																	
	<table><tr><th>施工箇所</th><th>板及びコイルの種類</th><th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th><th>厚さ (mm)</th><th>屋根葺形式</th><th>備考</th></tr><tr><td>メインリーナ サブリーナ 屋根</td><td>※JIS G 3322 の屋根用 着色・有 ・無 ◎フェライト系ステン レス</td><td>・ 5 類 (AZ150) ・</td><td>◎0. 4 ・ 0. 5 ・</td><td>・ 心木なし瓦棒葺 ・ 立平葺 ・ 蟻掛葺 ・ 横葺 ◎防水立馳葺シム溶 接</td><td></td></tr></table> 三晃金属工業 R-T 工法(通し拘束吊子)同等 下葺材料 ◎アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・ 一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ) 工法 1 章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ◎設置する (形状及び施工箇所 ※図示による ・) ・設置しない						施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考	メインリーナ サブリーナ 屋根	※JIS G 3322 の屋根用 着色・有 ・無 ◎フェライト系ステン レス	・ 5 類 (AZ150) ・	◎0. 4 ・ 0. 5 ・	・ 心木なし瓦棒葺 ・ 立平葺 ・ 蟻掛葺 ・ 横葺 ◎防水立馳葺シム溶 接																		
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考																														
メインリーナ サブリーナ 屋根	※JIS G 3322 の屋根用 着色・有 ・無 ◎フェライト系ステン レス	・ 5 類 (AZ150) ・	◎0. 4 ・ 0. 5 ・	・ 心木なし瓦棒葺 ・ 立平葺 ・ 蟻掛葺 ・ 横葺 ◎防水立馳葺シム溶 接																															
	2 折板葺	(13. 2. 2) (13. 3. 2) 表 13. 2. 1)																																	
	<table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">形式</th><th colspan="2">山高、山ピッチによる区分</th><th rowspan="2">耐力による区分</th><th rowspan="2">材料による区分</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th rowspan="2">軒先面戸板</th><th rowspan="2">耐火性能</th></tr><tr><th>山高</th><th>山ピッチ</th></tr><tr><td></td><td>・ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形 ・</td><td></td><td></td><td>() 種</td><td>※鋼板製 ・ アルミウム合金板製</td><td></td><td>・ 有り ・ 無し</td><td>・ 30 分 ・ 無し</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 材料 板及びコイルの種類 (JIS G 3322 の屋根用 (着色 ・ 有 ・)) 塗膜の耐久性、めっき付着量 (・ 5 類 (AZ150) ・) 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種別 : 厚さ (mm) : 防火性能 :) ・ 行わない 工法 1 章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 折板のけらば納め ※けらば包みによる工法 ・ 雪止め ・ 設置する (形状及び施工箇所 ※図示による ・) ・ 設置しない						施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能	山高	山ピッチ		・ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形 ・			() 種	※鋼板製 ・ アルミウム合金板製		・ 有り ・ 無し	・ 30 分 ・ 無し									
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)			軒先面戸板	耐火性能																									
		山高	山ピッチ																																
	・ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形 ・			() 種	※鋼板製 ・ アルミウム合金板製		・ 有り ・ 無し	・ 30 分 ・ 無し																											

章	項 目	特 記 事 項																											
	3 粘土瓦葺	(13. 4. 2) (13. 4. 3) <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="3">種類</th><th rowspan="2">大きさ</th><th rowspan="2">産地</th><th rowspan="2">役物瓦の種類</th><th rowspan="2">雪止め瓦</th></tr><tr><th>製法による区分</th><th>形状による区分</th><th>寸法による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td></tr></table> 棧瓦の防災瓦の使用 ・適用する ・適用しない JIS A 5208 に基づく凍害試験等 ※行わない ・行う 瓦棧木 材質 ※杉 ・ひのき ・ 寸法 ※幅 21 × 高さ 15 (mm) 以上 ・ 棟補強用心材 材質 ※杉 ・ひのき ・ 寸法 ※幅 40 × 高さ 30 (mm) 以上 ・ 瓦緊結用釘及びびねじ 種類 () 径 () 長さ () 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製 ・亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法、留付け方法 ※図示による ・ 工法 1 章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ※図示による ・ 瓦棧木の留付け工法 ※図示による ・ 棟の工法 ・ 7 寸丸伏せ棟又は F 形用冠瓦伏せ棟 ・ のし積み棟 ・ 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ・モルタル ・瓦葺き用しっくい	施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦	製法による区分	形状による区分	寸法による区分								・適用する ・適用しない								・適用する ・適用しない
施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類					雪止め瓦																		
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分																										
							・適用する ・適用しない																						
							・適用する ・適用しない																						

章	項 目	特 記 事 項																										
	4 とい	(13. 5. 2) (13. 5. 3) (表 13. 5. 4) といその他の材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ◎ルーフトレン◎表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類： ）◎アルミ製タテトイ（バンドレス） とい受金物材種 ※標準仕様書表 13. 5. 2 による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） ・ 形状 ※市販品（とい径 100 以下） ・ 25×4. 5（mm）以上（とい径 100 を超えるもの） ・ 取付け間隔 ※標準仕様書表 13. 5. 2 による ・ 足金物材種 ※標準仕様書表 13. 5. 2 による（溶融亜鉛めっきを行ったもの） ・ 形状 ※市販品 ・ 取付け間隔 ※標準仕様書表 13. 5. 2 による ・ 多雪地域 ・ 適用する ◎適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 鋼管製といの防露巻き ※標準仕様書表 13. 5. 4 による ・ ルーフトレンの種類及び呼び<table><tr><th colspan="2">種別</th><th>呼び</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>◎ろく屋根用たて形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式</td><td>・ 80 ・ 100 ・ 125 ◎150</td><td>金属屋根、 2 階屋上</td></tr><tr><td>・ ろく屋根用横形Ⅰ型</td><td>※ねじ込み式</td><td>・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・ バルコニー中継用</td><td>・ ねじ込み式</td><td>・ 50・80・100 ◎150</td><td>2 階屋上</td></tr><tr><td>・ 差し込み式</td><td>・ 50 ・ 75 ・ 100</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・ バルコニー用</td><td>・ ねじ込み式</td><td>・ 50 ・ 80 ・ 100</td><td></td></tr><tr><td>・ 差し込み式</td><td>・ 50 ・ 75 ・ 100</td><td></td></tr></table> 散水・通水試験 ◎散水 ◎通水試験（範囲：金属屋根、2 階屋上のルーフトレイン廻り）	種別		呼び	施工箇所	◎ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125 ◎150	金属屋根、 2 階屋上	・ ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150		・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式	・ 50・80・100 ◎150	2 階屋上	・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100		・ バルコニー用	・ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100		・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100	
種別		呼び	施工箇所																									
◎ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125 ◎150	金属屋根、 2 階屋上																									
・ ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150																										
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式	・ 50・80・100 ◎150	2 階屋上																									
	・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100																										
・ バルコニー用	・ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100																										
	・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100																										

章	項 目	特 記 事 項																																				
14 金属工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14. 2. 2) (表 14. 2. 1) <table><tr><th>種別</th><th>色合い等</th><th>施工箇所（成形板、笠木、建具以外）</th></tr><tr><td>・ AB-1 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ AB-2 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ AC-1 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ AC-2 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ BA-1 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎BA-2 種</td><td>ブラック系</td><td>アルミサッシ</td></tr><tr><td>◎BB-1 種</td><td>シルバー</td><td>手すり</td></tr><tr><td>◎BB-2 種</td><td>ブラック系</td><td>目かくしルーバー</td></tr><tr><td>・ BC-1 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ BC-2 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ C 種</td><td></td><td></td></tr></table> 色合い等 （シルバー、アンバー、ブロンズ、ブラック系、ステンカラー、特注色（ ）） 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・ 三次電解着色	種別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）	・ AB-1 種			・ AB-2 種			・ AC-1 種			・ AC-2 種			・ BA-1 種			◎BA-2 種	ブラック系	アルミサッシ	◎BB-1 種	シルバー	手すり	◎BB-2 種	ブラック系	目かくしルーバー	・ BC-1 種			・ BC-2 種			・ C 種		
	種別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）																																			
・ AB-1 種																																						
・ AB-2 種																																						
・ AC-1 種																																						
・ AC-2 種																																						
・ BA-1 種																																						
◎BA-2 種	ブラック系	アルミサッシ																																				
◎BB-1 種	シルバー	手すり																																				
◎BB-2 種	ブラック系	目かくしルーバー																																				
・ BC-1 種																																						
・ BC-2 種																																						
・ C 種																																						
2 鉄鋼の亜鉛めっき	(14. 2. 3) (表 14. 2. 2) <table><tr><th>表面処理方法</th><th>種別</th><th>施工箇所（手すり、タラップ以外）</th></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td><td>◎A 種</td><td>特記なき板厚 6mm 以上の外部鉄部、外部金属下地（設備架台・屋外階段）</td></tr><tr><td>◎B 種</td><td>A 種を除く特記なき板厚 3. 2mm 以上の外部鉄部、外部金属下地</td></tr><tr><td>◎C 種</td><td>A 種及び B 種を除く特記なき板厚 1. 6mm 以上の外部鉄部、外部金属下地</td></tr><tr><td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td><td>◎D 種</td><td>鋼製ボルト類等</td></tr><tr><td>・ E 種</td><td></td></tr><tr><td>・ F 種</td><td></td></tr></table> ◎外部鉄部は溶融亜鉛めっきの上塗装を行う。 ※図示 ◎外部のボルト、ナット ※溶融亜鉛メッキ ◎外部のボルト、ナットにはキャップをかぶせる。 ◎取付のためのあと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験 ※行う	表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）	溶融亜鉛めっき	◎A 種	特記なき板厚 6mm 以上の外部鉄部、外部金属下地（設備架台・屋外階段）	◎B 種	A 種を除く特記なき板厚 3. 2mm 以上の外部鉄部、外部金属下地	◎C 種	A 種及び B 種を除く特記なき板厚 1. 6mm 以上の外部鉄部、外部金属下地	電気亜鉛めっき	◎D 種	鋼製ボルト類等	・ E 種		・ F 種																					
表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）																																				
溶融亜鉛めっき	◎A 種	特記なき板厚 6mm 以上の外部鉄部、外部金属下地（設備架台・屋外階段）																																				
	◎B 種	A 種を除く特記なき板厚 3. 2mm 以上の外部鉄部、外部金属下地																																				
	◎C 種	A 種及び B 種を除く特記なき板厚 1. 6mm 以上の外部鉄部、外部金属下地																																				
電気亜鉛めっき	◎D 種	鋼製ボルト類等																																				
	・ E 種																																					
	・ F 種																																					
3 軽量鉄骨天井下地	(14. 4. 2～14. 4. 4) (表 14. 4. 1) 野縁等の種類 屋外 ※25 形 ・ 19 形 屋内 ※19 形 ・ 25 形 屋外の形式及び寸法 野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による ◎900 以内 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による ◎150 以内 野縁の間隔 ◎図示による ・ ◎500 m² 以上の大空間も天井ふところが 1. 5m 以上の場合と同等の補強を行う。 ◎屋外の軒天井の補強は、各位置の外壁風圧と同等補強とする。（下地：C 型鋼） ◎吊りボルトの間隔が 900mm を超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ） ◎天井のふところが 3. 0m を超える場合 （補強方法 ※図示による ・ ） ・ 天井下地材に耐震性を考慮した補強 （補強箇所 ・ 図示による ・ ） （補強方法 ※図示による ・ ）																																					

章	項 目	特 記 事 項																									
		耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ◎屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 耐震天井と同等とする 1 章 適用区分による風圧力の（・1 ◎1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 ◎事務室は電気亜鉛メッキにウイスカ対策を行う。 事務室の天井内の吊ボルト、天井下地、軽鉄壁下等に電気亜鉛メッキの可能性がある部材は、溶融亜鉛メッキを施す。																									
4	軽量鉄骨壁下地	(14. 5. 3) (14. 5. 4) (表 14. 5. 1) スタッド、ランナの種類 ※標準仕様書表 14. 5. 1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0m を超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書 14. 5. 4 (5) による																									
5	金属成形板張り	(14. 6. 2) (14. 6. 3) (14. 6. 3) <table><tr><th rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">製法</th><th rowspan="2">形状</th><th rowspan="2">板幅 (mm)</th><th rowspan="2">板厚 (mm)</th><th colspan="2">表面処理</th></tr><tr><th>種別</th><th>色合い等</th></tr><tr><td rowspan="2">・アルミ ニウム</td><td>◎押出し</td><td>スバンドレル形</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・ロール ・プレス</td><td>◎パネル形</td></tr><tr><td>◎アルミ樹脂複合版</td><td></td><td></td><td></td><td>3mm</td><td></td><td></td></tr></table> 取付け用下地 ※標準仕様書 14. 4 による ・図示による 伸縮調整継手 ・設ける（施工箇所 図示 ） ・設けない 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 1 章 適用区分による風圧力の（・1 ◎1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 ◎グライト（厚さ ◎3mm・5mm） ◎三菱ケミカルインフラテック：アルポリック/fr ニューブライトシリーズ同等	種類	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	色合い等	・アルミ ニウム	◎押出し	スバンドレル形					・ロール ・プレス	◎パネル形	◎アルミ樹脂複合版				3mm		
種類	製法	形状						板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																	
			種別	色合い等																							
・アルミ ニウム	◎押出し	スバンドレル形																									
	・ロール ・プレス	◎パネル形																									
◎アルミ樹脂複合版				3mm																							
6	アルミニウム製笠木	(14. 7. 2) (14. 7. 3) (表 14. 2. 1) (表 14. 7. 1) 種類 ◎250 形 ・300 形 ・350 形 表面処理 種別（ BB-2）種 色合い等 ◎標準色（◎シルバー・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー） ・特注色 笠木の固定金具の工法等 1 章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法 施工場所：金属屋根軒樋																									

章	項 目	特 記 事 項																																														
15 左官工事	1 モルタル塗り	(15. 3. 2) (15. 3. 5) モルタル ・現場調合材料 ◎既調合材料 () 既製目地材 ◎設ける 施工箇所 () 形状 (※図示による ・) ・設けない 床の目地 ◎設ける 目地割り ※2 m ² 程度 (最大目地間隔 3m 程度) ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ ・設けない 屋外のタイル張り下地及び屋内の吹き抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・適用する ◎適用しない 防水剤 (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)																																														
	2 セッコウボード その他ボードの下地	(15. 2. 5) セッコウボード及びセッコウラスボードの種類及び厚さ 種類 (◎GB-R ・GB-L ・) 厚さ (12. 5mm) 木質系セメント版の種類及び厚さ 種類 (・) 厚さ (mm)																																														
	3 仕上塗材仕上げ	(15. 6. 2) 内部仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状及び工法等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材 Si</td><td>・</td><td rowspan="10">仕上げの形状及び工法 ・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する・適用しない</td></tr> <tr><td>・可とう形外装薄塗材 Si</td><td>・</td></tr> <tr><td>・外装薄塗材 E</td><td>・</td></tr> <tr><td>・可とう形外装薄塗材 E</td><td>・</td></tr> <tr><td>・防水形外装薄塗材 E</td><td>・</td></tr> <tr><td>・外装薄塗材 S</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装薄塗材 C</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装薄塗材 L</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装薄塗材 Si</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装薄塗材 E</td><td>・</td></tr> <tr> <td>・内装薄塗材 W</td><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table> ・厚付け仕上塗材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状及び工法等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材 C</td><td>・</td><td rowspan="8">仕上げの形状及び工法 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する・適用しない 上塗材 ・適用する・適用しない</td></tr> <tr><td>・外装厚塗材 Si</td><td>・</td></tr> <tr><td>・外装厚塗材 E</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装厚塗材 C</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装厚塗材 L</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装厚塗材 G</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装厚塗材 Si</td><td>・</td></tr> <tr><td>・内装厚塗材 E</td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・外装薄塗材 Si	・	仕上げの形状及び工法 ・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する・適用しない	・可とう形外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	・可とう形外装薄塗材 E	・	・防水形外装薄塗材 E	・	・外装薄塗材 S	・	・内装薄塗材 C	・	・内装薄塗材 L	・	・内装薄塗材 Si	・	・内装薄塗材 E	・	・内装薄塗材 W	・		種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・外装厚塗材 C	・	仕上げの形状及び工法 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する・適用しない 上塗材 ・適用する・適用しない	・外装厚塗材 Si	・	・外装厚塗材 E	・	・内装厚塗材 C	・	・内装厚塗材 L	・	・内装厚塗材 G	・	・内装厚塗材 Si	・	・内装厚塗材 E
種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																														
・外装薄塗材 Si	・	仕上げの形状及び工法 ・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する・適用しない																																														
・可とう形外装薄塗材 Si	・																																															
・外装薄塗材 E	・																																															
・可とう形外装薄塗材 E	・																																															
・防水形外装薄塗材 E	・																																															
・外装薄塗材 S	・																																															
・内装薄塗材 C	・																																															
・内装薄塗材 L	・																																															
・内装薄塗材 Si	・																																															
・内装薄塗材 E	・																																															
・内装薄塗材 W	・																																															
種類 (呼び名)	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																														
・外装厚塗材 C	・	仕上げの形状及び工法 ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する・適用しない 上塗材 ・適用する・適用しない																																														
・外装厚塗材 Si	・																																															
・外装厚塗材 E	・																																															
・内装厚塗材 C	・																																															
・内装厚塗材 L	・																																															
・内装厚塗材 G	・																																															
・内装厚塗材 Si	・																																															
・内装厚塗材 E	・																																															

章	項 目	特 記 事 項																											
		◎複層仕上塗材 <table><tr><th>種類（呼び名）</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状及び工法等</th></tr><tr><td>・ 複層塗材 CE</td><td>・</td><td rowspan="3">仕上げの形状及び工法 ◎ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形 3 種 ・</td></tr><tr><td>・ 可とう形複層塗材 CE</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 Si</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 E</td><td>・</td><td rowspan="5">上塗材の種類 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 RE</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防水形複層塗材 CE</td><td>・</td></tr><tr><td>◎防水形複層塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防水形複層塗材 RE</td><td>・</td></tr></table> ◎エスケー化研 レナラック同等 ・ 軽量骨材仕上塗材 <table><tr><th>種類（呼び名）</th><th>防火材料</th></tr><tr><td>・ 吹付用軽量塗材</td><td>・</td></tr><tr><td>・ こて塗用軽量塗材</td><td>・</td></tr></table>	種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・ 複層塗材 CE	・	仕上げの形状及び工法 ◎ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形 3 種 ・	・ 可とう形複層塗材 CE	・	・ 複層塗材 Si	・	・ 複層塗材 E	・	上塗材の種類 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック	・ 複層塗材 RE	・	・ 防水形複層塗材 CE	・	◎防水形複層塗材 E	・	・ 防水形複層塗材 RE	・	種類（呼び名）	防火材料	・ 吹付用軽量塗材	・	・ こて塗用軽量塗材	・
種類（呼び名）	防火材料	仕上げの形状及び工法等																											
・ 複層塗材 CE	・	仕上げの形状及び工法 ◎ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形 3 種 ・																											
・ 可とう形複層塗材 CE	・																												
・ 複層塗材 Si	・																												
・ 複層塗材 E	・	上塗材の種類 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック																											
・ 複層塗材 RE	・																												
・ 防水形複層塗材 CE	・																												
◎防水形複層塗材 E	・																												
・ 防水形複層塗材 RE	・																												
種類（呼び名）	防火材料																												
・ 吹付用軽量塗材	・																												
・ こて塗用軽量塗材	・																												
4	マスチック塗料塗り	(15. 7. 2) 種別 ・ A 種 ・ B 種																											
5	ロックウール吹付け	(15. 12. 2) (15. 12. 3) ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 吹付け厚さ(mm) ・ 図示 ・ 25 ・																											
6	しっくい塗り	(15. 10. 2～15. 10. 4) しっくい ・ 既調合材料 色しっくい ・ 適用する ・ 適用しない ・ 現場調合材料 下地 ・ せっこうボード ・ せっこうラスボード ・ モルタル塗り ・ 木ずり ・ こまい ・ 下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合 ・ 既調合しっくいの調合 ・ せっこうボード下地 ※標準仕様書 表 15. 10. 1 ・ ・ モルタル塗り下地 ※標準仕様書 表 15. 10. 2 ・ ・ せっこうラスボード下地 ※製造所の仕様による ・ 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ・ 木ずり下地 ※標準仕様書 表 15. 10. 3 ・ ・ せっこうプラスター下地、こまい下地 ※標準仕様書 表 15. 10. 4 ・ 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ・ なで切り仕上げ ・ パターン仕上げ																											

章	項 目	特 記 事 項																																			
16 建具工事	1 防火戸	(16. 1. 3) ◎建具表による ・																																			
	2 見本の製作等	(16. 1. 4) 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号 : 図示) ◎行わない 建具見本の程度 ・ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・ 納まり等が分かる程度のもの 建具見本製作の目的等 ・ 特殊な建具の仮組 ◎行う (建具符号 : 図示) AW1-1、SSD-1 ・ 行わない																																			
	3 防犯建物部品	(16. 1. 6) ・ 適用する (・ 建具表による ・ 図示) ・ 適用しない																																			
	4 アルミニウム製建具	(16. 2. 2~16. 2. 5) (表 14. 2. 1) (表 16. 2. 1) (表 16. 2. 2) 性能値等 耐風圧性の等級 (◎S-5) (建具符号 : ・ 建具表による ・) 気密性の等級 (◎A-3, A-4) (建具符号 : ・ 建具表による ・) 水密性の等級 (◎W-4, A-5) (建具符号 : ・ 建具表による ・) 外部に面する建具の種別 <table><tr><th>種別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>S-4</td><td>A-3</td><td>W-4</td><td>・ 70 ・ 100</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>◎B 種</td><td>S-5</td><td>◎A-3 ◎A-4</td><td>◎W-4 ◎A-5</td><td>・ 70 ・ 100</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>S-6</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ D 種</td><td>S-2</td><td>A-3</td><td>W-3</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ E 種</td><td>S-3</td><td>A-3</td><td>W-3</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr></table> 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号 : ◎建具表による ・) 断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具符号 : ◎建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL 又は SUS443JI ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・ BB-1 ◎BB-2 (標準仕様書 表 14. 2. 1) 着色 ◎標準色 ・ 特注色 屋内の建具 種別 ・ BC-1 ◎BC-2 (標準仕様書 表 14. 2. 1) 着色 ◎標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ・ 水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用する ・ 適用しない	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	・ A 種	S-4	A-3	W-4	・ 70 ・ 100	※図示による	◎B 種	S-5	◎A-3 ◎A-4	◎W-4 ◎A-5	・ 70 ・ 100	※図示による	・ C 種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による	・ D 種	S-2	A-3	W-3	・	※図示による	・ E 種	S-3	A-3	W-3	・
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																																
・ A 種	S-4	A-3	W-4	・ 70 ・ 100	※図示による																																
◎B 種	S-5	◎A-3 ◎A-4	◎W-4 ◎A-5	・ 70 ・ 100	※図示による																																
・ C 種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による																																
・ D 種	S-2	A-3	W-3	・	※図示による																																
・ E 種	S-3	A-3	W-3	・	※図示による																																

章	項 目	特 記 事 項																																
	5 網戸等	(16. 2. 3) <table><tr><th>種類</th><th>材種</th><th>線径</th><th>網目</th></tr><tr><td>◎防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ◎ステンレス（SUS316）製</td><td>※0. 25mm 以上 ・</td><td>※16～18 メッシュ ・</td></tr><tr><td>・ 防鳥網</td><td>ステンレス（SUS304）線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法 15mm</td></tr></table> 形式 ◎固定式 ◎折りたたみ式	種類	材種	線径	網目	◎防虫網	※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ◎ステンレス（SUS316）製	※0. 25mm 以上 ・	※16～18 メッシュ ・	・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法 15mm																				
	種類	材種	線径	網目																														
◎防虫網	※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ◎ステンレス（SUS316）製	※0. 25mm 以上 ・	※16～18 メッシュ ・																															
・ 防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法 15mm																															
	6 樹脂製建具	(16. 2. 5) (16. 3. 2～16. 3. 5) (表 16. 3. 1～16. 3. 4) 性能値等 耐通圧性の等級（ ） 気密性の等級（ ） 水密性の等級（ ） 外部に面する建具 <table><tr><th>種別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み み (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>S-4</td><td rowspan="5">A-4</td><td>W-4</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>S-5</td><td>W-5</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>S-6</td><td>W-5</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ D 種</td><td>S-2</td><td>W-3</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr><tr><td>・ E 種</td><td>S-3</td><td>W-3</td><td>・</td><td>※図示による</td></tr></table> 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ・ T-1 種 ・ T-2 種 （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性能の等級 ・ H-4 種 ・ H-5 種 ・ H-6 種 ・ H-7 種 ・ H-8 種 （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・ 建具表による ・ 材料 ガラス ※複層ガラス（組合せは建具表による） ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用する ・ 適用しない	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み み (mm)	施工箇所	・ A 種	S-4	A-4	W-4	・	※図示による	・ B 種	S-5	W-5	・	※図示による	・ C 種	S-6	W-5	・	※図示による	・ D 種	S-2	W-3	・	※図示による	・ E 種	S-3	W-3	・	※図示による
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み み (mm)	施工箇所																													
・ A 種	S-4	A-4	W-4	・	※図示による																													
・ B 種	S-5		W-5	・	※図示による																													
・ C 種	S-6		W-5	・	※図示による																													
・ D 種	S-2		W-3	・	※図示による																													
・ E 種	S-3		W-3	・	※図示による																													

章	項 目	特 記 事 項
	7 鋼製建具	(16. 2. 2) (16. 4. 2～16. 4. 4) (16. 4. 6) (表 16. 4. 2) 性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する（建具符号：建具表による） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（◎ S-5） （建具符号：・建具表による ・ ） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（◎ T-3） （建具符号：・建具表による ・ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（・ ） （建具符号：・建具表による ・ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又は SUS443JI ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※標準仕様書 表 16. 4. 2 による ・ （使用箇所： ） 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※建具表による ・
	8 鋼製軽量建具	(16. 2. 2) (16. 5. 2～16. 5. 4) 性能値 簡易気密型ドアセット ◎適用する（建具符号：建具表による） ・適用しない 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（・ ） （建具符号：・建具表による ・ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級（・ ） （建具符号：・建具表による ・ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 鋼板 ◎亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ◎カラー鋼板 ・ステンレス鋼板（※SUS304、SUS430JIL 又は SUS443JI ・） ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ (mm) ※標準仕様書 表 16. 5. 1 による ・ （使用箇所： ） 標準型鋼製軽量建具の形状及び寸法 ※建具表による ・

章	項 目	特 記 事 項															
	9 ステンレス製建具	(16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2～16. 6. 5) 性能値 簡易気密型ドアセット ◎適用する（建具符号：建具表による） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（◎ S-5） （建具符号：・建具表による ・ ） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（◎ T-3） （建具符号：・建具表による ・ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ 断熱性の等級（・ ） （建具符号：・建具表による ・ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL 又は SUS443JI ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ															
	10 木製建具	(16. 7. 2～16. 7. 4) 建具材の加工、組立時の含水率 ※A 種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書 16. 7. 2 (2) (イ) (a)による ・ 表面材の合板の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th><th>規格等</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td><td> 表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな合板程度 ・ ） 板面の品質（※広葉樹 1 等 ・ ） 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類） </td><td></td></tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板</td><td> 樹種名（ ） 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類） </td><td></td></tr> <tr> <td>◎特殊加工 化粧合板</td><td> 化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ◎メラニン化粧合板 ・ 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類） </td><td></td></tr> <tr> <td>・MDF</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 表面板の厚さ ※標準仕様書 表 16. 7. 6 による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな合板程度 ・ ） 板面の品質（※広葉樹 1 等 ・ ） 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類）		・天然木 化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類）		◎特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ◎メラニン化粧合板 ・ 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類）		・MDF		
合板の種類	規格等	備考															
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな合板程度 ・ ） 板面の品質（※広葉樹 1 等 ・ ） 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類）																
・天然木 化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類）																
◎特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ◎メラニン化粧合板 ・ 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類）																
・MDF																	

章	項 目	特 記 事 項
		・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ ・ふすま 張りの種別 (・ I 型 ・ II 型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・生地縁 (素地) ・塗り縁 ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・ ・戸ふすま 表面板の仕上 ・建具表による ・ 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ - 枠及びくつずりの材料 ・建具表による ・
	11 建具用金物	(16.8.2) (16.8.3) (表 16.8.1~16.8.5) 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※標準仕様書 表 16.8.1 により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書 表 16.8.2 による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書 表 16.8.3 による ・建具表による 木製製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書 表 16.8.4 による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書表 16.8.5 による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による ・ シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠 (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による) クローザ類 (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)
	12 鍵	(16.8.4) マスターキー ◎製作する () ・製作しない その他の鍵 ※各室 3 本 1 組 (室名札付き) ・ 鍵箱 ※有 ・ 無

章	項 目	特 記 事 項			
	13 自動ドア開閉装置	(16. 9. 2) (16. 9. 3)			
		戸の開閉方法 ◎建具表による ・ ◎引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表 16. 9. 1 による (防錆 ◎適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表 16. 9. 2 による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書 表 16. 9. 3 による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸検出装置の種類 ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ◎光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない			
	14 自閉式上吊り引戸装置	(16. 10. 3) (表 16. 10. 1)			
		性能値等 ※標準仕様書 表 16. 10. 1 による ・以下による 手動開き力 (N) () 手動閉じ力 (N) () 閉じ速度の調節 () 制御区間 () 開閉繰返し () 耐衝撃性 ()			

章	項 目	特 記 事 項
	15 重量シャッター	(16. 12. 2) (16. 12. 3) シャッターの種類 ◎管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ◎屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 (1600) pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制御装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・ 建具表による ◎ FSS-1、FSS-2) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による ◎ FSS-1、FSS-2) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 (設置箇所 ・ 建具表による ・) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ◎JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12 又は F12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL 又は SUS443JI ・
	16 軽量シャッター	(16. 12. 2～16. 12. 4) 開閉方式の種類 ※手動式 ◎電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ・ () pa 安全装置 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による ◎ SS-1) スラットの材質の種類 ◎JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06 又は F06 ・) ・ JIS G 3322 (塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90 ・) スラットの形状 ◎インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形

章	項 目	特 記 事 項																																		
	17 オーバーヘッドドア	(16. 13. 2) (16. 13. 3) <table><tr><th>セクション材料 による区分</th><th>風圧力に よる強さ の区分</th><th>開閉方式 による区分</th><th>収納形式 による区分</th><th>ガイドレール の材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラ スタイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バラン式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハーフリフト形 ・バネ付カル形</td><td>※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼</td></tr></table> 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による ・)	セクション材料 による区分	風圧力に よる強さ の区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレール の材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラ スタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バラン式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハーフリフト形 ・バネ付カル形	※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼																								
セクション材料 による区分	風圧力に よる強さ の区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレール の材質																																
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラ スタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バラン式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハーフリフト形 ・バネ付カル形	※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼																																
18	ガラス	(9. 7) (16. 14. 2～16. 14. 4) (図 16. 14. 1) 適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは建具表及び図面による。 ◎フロート板ガラス <table><tr><td>フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類</td><td>※建具表による ・</td></tr></table> ◎型板ガラス <table><tr><td>型板ガラスの厚さによる種類</td><td>※建具表による ・</td></tr></table> ・網入りガラス <table><tr><td>網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類</td><td>※建具表による ・</td></tr></table> ◎合わせガラス <table><tr><td>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ</td><td>※建具表による ・</td></tr><tr><td>形状による種類</td><td>・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス</td></tr><tr><td>落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類</td><td>・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</td></tr></table> ◎強化ガラス <table><tr><td>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称</td><td>※建具表による ・</td></tr><tr><td>破片の状態及びショットバック衝撃耐性による種類</td><td>・Ⅰ類 ◎Ⅲ類</td></tr></table> ◎耐熱強化合わせガラス ・熱線吸収板ガラス <table><tr><td>板ガラスの種類及び厚さによる種類</td><td>※建具表による ・</td></tr><tr><td>性能による種類</td><td>・Ⅰ類 ・Ⅱ類</td></tr></table> ◎複層ガラス <table><tr><td>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</td><td>※建具表による ・</td></tr><tr><td>断熱性による区分</td><td>◎T1 ◎T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6</td></tr><tr><td>日射取得性及び日射遮蔽性による区分</td><td>・G ◎S</td></tr><tr><td>乾燥気体の種類</td><td>◎空気 ・アルゴン</td></tr></table> ・熱線反射ガラス <table><tr><td>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</td><td>※建具表による ・</td></tr><tr><td>日射熱遮へい性による区分</td><td>・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種</td></tr><tr><td>耐久性による区分(日射熱遮蔽性がⅡ種の場合)</td><td>・A種 ・B種</td></tr></table>	フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類	※建具表による ・	型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による ・	網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類	※建具表による ・	材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による ・	形状による種類	・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類	形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による ・	破片の状態及びショットバック衝撃耐性による種類	・Ⅰ類 ◎Ⅲ類	板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・	性能による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ類	材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・	断熱性による区分	◎T1 ◎T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G ◎S	乾燥気体の種類	◎空気 ・アルゴン	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・	日射熱遮へい性による区分	・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種	耐久性による区分(日射熱遮蔽性がⅡ種の場合)	・A種 ・B種
フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類	※建具表による ・																																			
型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による ・																																			
網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類	※建具表による ・																																			
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による ・																																			
形状による種類	・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス																																			
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類																																			
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による ・																																			
破片の状態及びショットバック衝撃耐性による種類	・Ⅰ類 ◎Ⅲ類																																			
板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・																																			
性能による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ類																																			
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・																																			
断熱性による区分	◎T1 ◎T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6																																			
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G ◎S																																			
乾燥気体の種類	◎空気 ・アルゴン																																			
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・																																			
日射熱遮へい性による区分	・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種																																			
耐久性による区分(日射熱遮蔽性がⅡ種の場合)	・A種 ・B種																																			

章	項 目	特 記 事 項																		
		・ 倍強度ガラス <table><tr><td>材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</td><td>※建具表による</td></tr></table> ガラスの留め材及び溝の大きさ <table><tr><td>建具の種類</td><td>ガラス留め材</td><td>ガラス溝の大きさ (mm)</td></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>◎シーリング材 ・ グレイジングチャンネル ・</td><td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td></tr><tr><td>鋼製及び鋼製軽量</td><td>◎シーリング材 ・</td><td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>◎シーリング材 ・</td><td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>・ グレイジングチャンネル ・</td><td>※建具の製造所の仕様による ・ 図示による</td></tr></table> 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	◎シーリング材 ・ グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による	鋼製及び鋼製軽量	◎シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による	ステンレス製	◎シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による	樹脂製	・ グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による	
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による																			
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																		
アルミニウム製	◎シーリング材 ・ グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																		
鋼製及び鋼製軽量	◎シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																		
ステンレス製	◎シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																		
樹脂製	・ グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による																		
19	ガラスブロック積み	(16. 14. 5) <table><tr><td>呼び寸法 (mm)</td><td>厚さ (mm)</td><td>色調</td><td>目地幅 (mm)</td><td>伸縮調整目地 (mm)</td><td>防火性能</td></tr><tr><td>・ 160×160</td><td>・ 95 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 200×200</td><td>・ 95 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径 5. 5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー) シーリング材の種類 (・ SR-1 ・ PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 木下地の場合のアンカー等の取り付け間隔 ・ 図示による 目地部の力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示 工法 1 章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地 (mm)	防火性能	・ 160×160	・ 95 ・					・ 200×200	・ 95 ・				
呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地 (mm)	防火性能															
・ 160×160	・ 95 ・																			
・ 200×200	・ 95 ・																			

章	項 目	特 記 事 項												
17 カーテンウォール工事	1 取付け形態、性能等	(17.1.3)												
		取付け形態による分類												
		・ 層間方式												
		・ 柱、梁方式												
		・ 方立方式												
		・ スパンドレル方式												
		・												
		性能												
		<table><tr><td>水密性</td><td>気密性</td><td>遮音性</td><td>断熱性</td><td>耐火性能</td><td>耐温度差性(℃)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ 30 分 ・ 1 時間</td><td>・ 80 ・ 70 ・ 60</td></tr></table>	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)					・ 30 分 ・ 1 時間	・ 80 ・ 70 ・ 60
		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)							
				・ 30 分 ・ 1 時間	・ 80 ・ 70 ・ 60									
耐風圧性能														
1 章 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法														
主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）														
<table><tr><td>支点間距離(h)</td><td>耐風圧性能</td></tr><tr><td>4m 以下</td><td>・ たわみ量が±(1/150)×h かつ 絶対量 20mm 以下であること ・</td></tr><tr><td>4m を超える</td><td>・</td></tr></table>	支点間距離(h)	耐風圧性能	4m 以下	・ たわみ量が±(1/150)×h かつ 絶対量 20mm 以下であること ・	4m を超える	・								
支点間距離(h)	耐風圧性能													
4m 以下	・ たわみ量が±(1/150)×h かつ 絶対量 20mm 以下であること ・													
4m を超える	・													
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による														
性能の確認方法及び判定方法														
※性能を確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督員の承諾を受ける														

章	項 目	特 記 事 項
	2 メタルカーテンウォール	(17.2.2) (17.2.3) (17.2.5) (17.2.6) 金属系材料の種類 ・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材 シーリング材の種類（目地等） 種類及び寸法等 ※図示による ・ ガラスの取付け材料 ・シーリング 種類（・SR-1 ・SR-2 ） ・構造用ガスケット 形状、寸法等 ※図示による ・ 断熱材 種類及び範囲 ※図示による ・ 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書 表 17.2.1 による ・ 見え掛かり部の仕上げ （アルミニウム材の場合） 規格等 標準仕様書 16.2.3 による 種別 ・ （標準仕様書 表 14.2.1） 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 （鋼材及びステンレス鋼板の場合） ・ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 ・ 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm ・ 水平方向 ※±25mm ・ カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3mm ・ 目地の心の通り ※0～+2 mm ・ 目地両側の段差 ※0～+2mm ・ 各階の基準墨から各部材までの距離 ※±3.0 mm ・ 耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による ・ ガラスの取付け材料 ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4 辺支持 ・

章	項 目	特 記 事 項
	3 PCカーテンウォール	(17.3.2~17.3.6) (表 17.3.1) (表 17.3.2) 材料 コンクリート 種類 (・普通コンクリート ・軽量コンクリート1種 ・) 品質 設計基準強度(Fc) ※30N/mm² スランプ ※12cm 気乾単位容積質量 ・普通コンクリートの場合 2.1t/m³~2.5t/m³ 以下 ・軽量コンクリートの場合 1.8t/m³~2.1t/m³ 以下 ・ 単位水量の最大値 ※185kg/m³ ・ 鉄筋 種別記号 ※SD295 ・ 補強鉄線 径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0 網目寸法 ・ シーリング材の種類 (目地) 種類及び寸法等 ※図示による ・ ガラスの取付け材料 ・構造ガasket 形状、寸法等 ・図示による 耐火処理 適用不意、材料等 ※図示による ・ 断熱材 種類及び範囲 ※図示による ・ 先付けの材料 ・表面仕上材 ・セラミックタイル ・石材 ・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・図示による 形状及び仕上げ 製品の見え掛かり部の寸法許容差 辺長 ※±3mm ・ 対角線長の差 ※0~+5mm ・ 版厚 ※±2mm ・ 開口部内法寸法 ※±2mm ・ ねじれ、そり ※0~+5mm ・ 曲がり ※0~+3mm ・ 面の凹凸 ※0~+3mm ・ 先付け金物の位置 ※0~+5mm ・ PC カーテンウォールの仕上げ ・ 構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ・図示による ・ 製作 PC 版の配筋 ※図示による 取付け 躯体取付金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm ・ 水平方向 ※±25mm ・ カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±5mm ・ 目地の心通り ※0~+3mm ・ 目地両側の段差 ※0~+4mm ・ 各階の基準墨から各部材までの距離 ※±5mm ・ ガラスの取付け方法 ・ガラスの取付け材が構造用ガasketで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

章	項 目	特 記 事 項																																		
18 塗装工事	1 材料	(18. 1. 3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 以下の箇所を除き防火材料とする (箇所：) ・																																		
	2 素地ごしらえ	(18. 2. 2～18. 2. 7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種別</th></tr><tr><td rowspan="2">木部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td colspan="2">鉄鋼面（DP以外）</td><td>※C種 ・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td colspan="2">鉄鋼面（DPのみ）</td><td>※B種 ・ A種 ・ C種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td colspan="2">モルタル面及びプラスター面</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td colspan="2">押出成形セメント板面</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面（DP）</td><td>※A種 ・ B種</td></tr><tr><td rowspan="2">せっこうボード面及びその他ボード面</td><td>目地：継目処理工法</td><td>※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>目地：継目処理工法以外</td><td>※B種 ・ A種</td></tr></table>	下地面等		種別	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種	透明塗りの場合	※B種 ・ A種	鉄鋼面（DP以外）		※C種 ・ A種 ・ B種	鉄鋼面（DPのみ）		※B種 ・ A種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種	モルタル面及びプラスター面		※B種 ・ A種	コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種 ・ A種	押出成形セメント板面		※B種 ・ A種	コンクリート面（DP）		※A種 ・ B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種	目地：継目処理工法以外	※B種 ・ A種
	下地面等		種別																																	
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種																																		
	透明塗りの場合	※B種 ・ A種																																		
鉄鋼面（DP以外）		※C種 ・ A種 ・ B種																																		
鉄鋼面（DPのみ）		※B種 ・ A種 ・ C種																																		
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種																																		
モルタル面及びプラスター面		※B種 ・ A種																																		
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種 ・ A種																																		
押出成形セメント板面		※B種 ・ A種																																		
コンクリート面（DP）		※A種 ・ B種																																		
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種																																		
	目地：継目処理工法以外	※B種 ・ A種																																		
3 錆止め塗料塗り	(18. 3. 2) (18. 3. 3) <table><tr><th>下地面</th><th>塗料の種別</th><th>錆止め塗料の種別</th><th>錆止め塗料塗りの種別</th></tr><tr><td rowspan="3">鉄鋼面</td><td>SOP</td><td>A種</td><td>見え掛り：A種 見え隠れ：B種</td></tr><tr><td>DP</td><td>C種及びD種</td><td>表 18. 3. 4</td></tr><tr><td>EP-G</td><td>・ A種 ※B種</td><td>見え掛り：A種 見え隠れ：B種</td></tr><tr><td rowspan="3">亜鉛めっき鋼面</td><td>SOP</td><td>※A種 ・ B種</td><td>鋼製建具等：A種 上記以外：B種</td></tr><tr><td>DP</td><td>B種</td><td>表 18. 3. 6</td></tr><tr><td>EP-G</td><td>C種</td><td>鋼製建具等：C種 上記以外：B種</td></tr></table>	下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの種別	鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種	DP	C種及びD種	表 18. 3. 4	EP-G	・ A種 ※B種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種	亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・ B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種	DP	B種	表 18. 3. 6	EP-G	C種	鋼製建具等：C種 上記以外：B種											
下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの種別																																	
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種																																	
	DP	C種及びD種	表 18. 3. 4																																	
	EP-G	・ A種 ※B種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種																																	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・ B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種																																	
	DP	B種	表 18. 3. 6																																	
	EP-G	C種	鋼製建具等：C種 上記以外：B種																																	

章	項 目	特 記 事 項			
	4 塗装	(18. 4. 1～18. 13. 2)			
		塗装	種別	塗料の種類	高日射 反射率塗料
		◎合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外 ※A 種 ・B 種	-	-
			木部屋内 ※B 種 ・A 種		-
			鉄鋼面 ※B 種 ・A 種		・適用する
			亜鉛めっき鋼面 -		・適用する
		・クリヤラッカー塗り (OL)	※B 種 ・A 種		-
		・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	※B 種 ・A 種	-	-
		◎耐候性塗料塗り (DP)	◎鉄鋼面 -	上塗り等級 () 級	・適用する
			◎亜鉛めっき鋼面 -	上塗り等級 () 級	-
			コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A 種 ・B 種 ・C 種	-	-
		◎つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等 ※B 種 ・A 種	-	-
			屋内の鉄鋼面 ※B 種 ・A 種	-	-
		◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B 種 ・A 種	-	-
		◎ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※B 種 ・A 種	-	-
		・ステイン塗り	・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り (OS)	-	-
		◎木材保護塗料塗り (WP)	※B 種 ・A 種	-	-
		高日射反射率塗料を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。 クリアラッカー塗り A 種の工法 2 の適用 ・適用しない ・適用する（着色剤：・有機系着色剤 ・油性染料着色剤） ウレタン樹脂ワニス塗りの工法 1 の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等 ※製造所の仕様による			

章	項 目	特 記 事 項																											
19 内装工事	1 接着剤	(19.2.2) ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 ・図示による																											
	2 下地の工法	(19.2.3) 標準仕様書 19.2.3(1)～(3)以外の下地の工法 ・図示による																											
	3 ビニル床シート	(19.2.2) (19.2.3) <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※FS (複層ビニル床シート) ・ ・</td><td>・無地 ◎マーブル柄 ・柄物</td><td>※2.0 ・</td><td>東リ/消臭NS トワレNW 同等 東リ/マチュア MW 同等</td></tr></table> 接合部の処理 ※熱溶接工法	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート) ・ ・	・無地 ◎マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	東リ/消臭NS トワレNW 同等 東リ/マチュア MW 同等																			
	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																									
	※FS (複層ビニル床シート) ・ ・	・無地 ◎マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	東リ/消臭NS トワレNW 同等 東リ/マチュア MW 同等																									
	4 ビニル床タイル	(19.2.2) <table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※KT (コンポジションビニル床タイル) ・TT (単層ビニル床タイル) ・FT (服装ビニル床タイル) ・FOA (置敷きビニル床タイル) ・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td><td>・無地 ・柄物</td><td>・300×300 ・450×450 ・500×500</td><td>※2.0 ・2.5 ・3.0 ・</td><td></td></tr></table>	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コンポジションビニル床タイル) ・TT (単層ビニル床タイル) ・FT (服装ビニル床タイル) ・FOA (置敷きビニル床タイル) ・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・																		
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																									
※KT (コンポジションビニル床タイル) ・TT (単層ビニル床タイル) ・FT (服装ビニル床タイル) ・FOA (置敷きビニル床タイル) ・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・																										
5 特殊機能床材	(19.2.2) <table><tr><th>シート種別</th><th>厚さ、寸法、形状</th><th>性能</th><th>種類</th></tr><tr><td>・帯電防止床シート</td><td>(mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・帯電防止床タイル</td><td>－ (mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎視覚障害者用床タイル</td><td>(mm)</td><td>視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251 による</td><td></td></tr><tr><td>◎スポーツ用長尺床シート</td><td>2.1 (mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎防滑性床シート</td><td>2.5 (mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・防滑性床タイル</td><td>－ (mm)</td><td></td><td></td></tr></table>	シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類	・帯電防止床シート	(mm)			・帯電防止床タイル	－ (mm)			◎視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251 による		◎スポーツ用長尺床シート	2.1 (mm)			◎防滑性床シート	2.5 (mm)			・防滑性床タイル	－ (mm)		
シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類																										
・帯電防止床シート	(mm)																												
・帯電防止床タイル	－ (mm)																												
◎視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251 による																											
◎スポーツ用長尺床シート	2.1 (mm)																												
◎防滑性床シート	2.5 (mm)																												
・防滑性床タイル	－ (mm)																												
6 ビニル幅木	(19.2.2) 材質 高さ (mm) 厚さ (mm)	・軟質 ・硬質 ※60 ※1.5 以上 ・75 ・100 ・																											
7 ゴム床タイル	(19.2.2) 種類 色柄 厚さ (mm) 寸法 (mm)	・単層品 ・積層品 () ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 ()																											

章	項 目	特 記 事 項																																														
	8 カーペット敷き	(19.3.2) (19.3.3) (表 19.3.1) ・織じゅうたん <table><tr><th>織り方</th><th>パイル形状</th></tr><tr><td>・ウェルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット</td><td>・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用</td></tr></table> 色柄 ※模様のない無地 ・ パイル系の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種類（・A種 ・B種 ・C種 ） ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづい縫い 下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・タフテッドカーペット <table><tr><th>パイル形状</th><th>パイル長さ(mm)</th><th>工法</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td>・カットパイル</td><td>・</td><td>・全面接着工法</td><td>・適用する</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>・ループパイル</td><td>・</td><td>・グリッパ-工法</td><td>・適用しない</td></tr><tr><td>・カット、ループ 併用</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 下敷き材（グリッパ-工法の場合） ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ◎タイルカーペット <table><tr><th>パイル形状</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※ループパイル</td><td>※第一種 ・第二種</td><td>事務室 ミーティング室 放送室・放送ブース</td><td>※500×500 ・</td><td>※6.5 ・</td><td></td></tr><tr><td>・カットパイル</td><td>・第一種 ・第二種</td><td></td><td>※500×500 ・</td><td>※6.5 ・</td><td></td></tr><tr><td>・カット、ループ 併用</td><td>・第一種 ・第二種</td><td></td><td>※500×500 ・</td><td>※6.5 ・</td><td></td></tr></table> ◎田島ルーフィング：TS-7000 シリーズ同等 ◎耐電性 ◎人体帯電圧（※0.5kV 以下 ◎1.0kV 以下） タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ タイルカーペットの敷き方 平場 ◎市松敷き ◎模様流し ・	織り方	パイル形状	・ウェルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	・	・全面接着工法	・適用する		・ループパイル	・	・グリッパ-工法	・適用しない	・カット、ループ 併用	・			パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考	※ループパイル	※第一種 ・第二種	事務室 ミーティング室 放送室・放送ブース	※500×500 ・	※6.5 ・		・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・		・カット、ループ 併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
織り方	パイル形状																																															
・ウェルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用																																															
パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																												
・カットパイル	・	・全面接着工法	・適用する																																													
・ループパイル	・	・グリッパ-工法	・適用しない																																													
・カット、ループ 併用	・																																															
パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考																																											
※ループパイル	※第一種 ・第二種	事務室 ミーティング室 放送室・放送ブース	※500×500 ・	※6.5 ・																																												
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																												
・カット、ループ 併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																												

章	項 目	特 記 事 項			
9	合成樹脂塗床	(19. 4. 3) (表 19. 4. 4) (表 19. 4. 5)			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
		◎厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床)	観客席		※平滑仕上げ ◎防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
		・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)		・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
		・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ
		◎アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)	機械室	※製造所の指定 による	工程 塗布量 (kg/m ²) ※0. 25kg/m ² 以上 表面仕上げ ※平滑 ・ 防滑 溶剤 ※水性 ・ 溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色 ・
		塗床料のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・			
		10	フローリング張り	(19. 5. 2～19. 5. 6) (表 19. 5. 1～表 19. 5. 6)	
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※標準仕様書 19. 5. 2(2)による ・					
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・					
単層フローリング ・フローリングボード1等					
工法	・釘止め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法				
樹種	※なら ・				
厚さ、大きさ	※標準仕様書 表 19. 5. 1 による ・				
仕上塗装	※塗装品 ・ 無塗装品				
間伐材等の適用	・適用する ・ 適用しない				
・フローリングブロック1等					
工法	※接着工法				
樹種	※なら ・				
厚さ、大きさ	※標準仕様書 表 19. 5. 1 による ・				
仕上塗装	※塗装品 ・ 無塗装品				
間伐材等の適用	・適用する ・ 適用しない				
複合フローリング ・天然木化粧複合フローリング					
工法	・釘止め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法				
樹種	※なら ・				
種別(標準仕様書 表 19. 5. 2)	・A種 ・ B種 ・ C種				
仕上塗装	・塗装品 ・ 無塗装品				
間伐材等の適用	・適用する ・ 適用しない				

章	項 目	特 記 事 項																								
		接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う（施工箇所） ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り																								
11	畳敷き	(19. 6. 2) (表 19. 6. 1) 種別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種（畳床： ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N） 下地の種類 ・ 標準仕様書 表 12. 6. 1 による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン） ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、 発生が極めて少ない材料を使用するものとする。 衝撃緩和型畳（畳表： ・ C1 ・ C2）																								
12	せっこうボード その他のボード張り	(19. 7. 2) (19. 7. 3) (表 19. 7. 1) MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19. 7. 2 (2) (イ) の (a) ～ (d) のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 木質系セメント板 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ 硬質 (HW)</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td></tr><tr><td>・ 中質 (MW)</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td></tr><tr><td>・ 普通 (NW)</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td></tr></table> 木片セメント板 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ 硬質 (HW)</td><td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・</td></tr><tr><td>・ 普通 (NW)</td><td>・ 30 ・</td></tr></table> 繊維強化セメント板 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>◎けい酸カルシウム板</td><td>普通ボード 0. 8FK タイプ 2（無石綿） ◎6 ・ 8</td></tr><tr><td>◎化粧けい酸カルシウム板</td><td>普通ボード 0. 8FK タイプ 2（無石綿） ◎6 ・ 8 表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系焼付け ・</td></tr></table> 火山性ガラス質複層板 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ 火山性ガラス質複層板</td><td>・ 図示による</td></tr></table>	種類	厚さ (mm)、規格等	・ 硬質 (HW)	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 中質 (MW)	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 普通 (NW)	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	種類	厚さ (mm)、規格等	・ 硬質 (HW)	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・	・ 普通 (NW)	・ 30 ・	種類	厚さ (mm)、規格等	◎けい酸カルシウム板	普通ボード 0. 8FK タイプ 2（無石綿） ◎6 ・ 8	◎化粧けい酸カルシウム板	普通ボード 0. 8FK タイプ 2（無石綿） ◎6 ・ 8 表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系焼付け ・	種類	厚さ (mm)、規格等	・ 火山性ガラス質複層板	・ 図示による
種類	厚さ (mm)、規格等																									
・ 硬質 (HW)	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																									
・ 中質 (MW)	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																									
・ 普通 (NW)	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																									
種類	厚さ (mm)、規格等																									
・ 硬質 (HW)	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・																									
・ 普通 (NW)	・ 30 ・																									
種類	厚さ (mm)、規格等																									
◎けい酸カルシウム板	普通ボード 0. 8FK タイプ 2（無石綿） ◎6 ・ 8																									
◎化粧けい酸カルシウム板	普通ボード 0. 8FK タイプ 2（無石綿） ◎6 ・ 8 表面への化粧張り等の加工 ・ アクリル樹脂系焼付け ・																									
種類	厚さ (mm)、規格等																									
・ 火山性ガラス質複層板	・ 図示による																									

章	項 目	特 記 事 項														
		繊維板														
		<table><tr><th>種類</th><th>厚さ(mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ハードボード（素地） スタンダードボード</td><td>・素地ハードボード（・未研磨板（RN） ・研磨板（RS）） ・内装化粧ハードボード（DI） 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td></tr><tr><td>・テンパードボード（処理）</td><td>・素地ハードボード（・未研磨板（RN） ・研磨板（RS）） ・外装化粧ハードボード（DI） 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td></tr><tr><td>・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）</td><td>・3 ・7 ・9 ・12</td></tr><tr><td>・インシュレーションボード</td><td>A 級（・天然仕上げ ・内装仕上げ ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18</td></tr></table>	種類	厚さ(mm)、規格等	・ハードボード（素地） スタンダードボード	・素地ハードボード（・未研磨板（RN） ・研磨板（RS）） ・内装化粧ハードボード（DI） 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・テンパードボード（処理）	・素地ハードボード（・未研磨板（RN） ・研磨板（RS）） ・外装化粧ハードボード（DI） 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	・3 ・7 ・9 ・12	・インシュレーションボード	A 級（・天然仕上げ ・内装仕上げ ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18				
種類	厚さ(mm)、規格等															
・ハードボード（素地） スタンダードボード	・素地ハードボード（・未研磨板（RN） ・研磨板（RS）） ・内装化粧ハードボード（DI） 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7															
・テンパードボード（処理）	・素地ハードボード（・未研磨板（RN） ・研磨板（RS）） ・外装化粧ハードボード（DI） 厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7															
・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	・3 ・7 ・9 ・12															
・インシュレーションボード	A 級（・天然仕上げ ・内装仕上げ ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18															
		パーティクルボード														
		<table><tr><th>種類</th><th>厚さ(mm)、規格等</th></tr><tr><td>・単板張りパーティクルボード</td><td>・無研磨板（VN） ・研磨板（VS） ・10 ・12 ・15 ・18 ・</td></tr><tr><td>・化粧パーティクルボード</td><td>・単板オーバーレイ（DV） ・プラスチックオーバーレイ（D0） ・塗装（DC） ・10（難燃） ・12（難燃） ・</td></tr></table>	種類	厚さ(mm)、規格等	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板（VN） ・研磨板（VS） ・10 ・12 ・15 ・18 ・	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ（DV） ・プラスチックオーバーレイ（D0） ・塗装（DC） ・10（難燃） ・12（難燃） ・								
種類	厚さ(mm)、規格等															
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板（VN） ・研磨板（VS） ・10 ・12 ・15 ・18 ・															
・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ（DV） ・プラスチックオーバーレイ（D0） ・塗装（DC） ・10（難燃） ・12（難燃） ・															
		吸音材料														
		<table><tr><th>種類</th><th>厚さ(mm)、規格等</th></tr><tr><td>◎ロックウール化粧吸音板（DR）</td><td>◎フラットタイプ （◎9（不燃） ◎12（不燃） ・ ） ◎凹凸タイプ （・12（不燃） ・15（不燃） ・ ）</td></tr><tr><td>・ロックウール吸音ボード1号</td><td>・25 ・</td></tr><tr><td>◎グラスウール吸音ボード 32K</td><td>・25（ガラスクロス包）施工場所： ◎50（ガラスクロス包） 施工場所：メインアリーナ天井・機械室</td></tr></table>	種類	厚さ(mm)、規格等	◎ロックウール化粧吸音板（DR）	◎フラットタイプ （◎9（不燃） ◎12（不燃） ・ ） ◎凹凸タイプ （・12（不燃） ・15（不燃） ・ ）	・ロックウール吸音ボード1号	・25 ・	◎グラスウール吸音ボード 32K	・25（ガラスクロス包）施工場所： ◎50（ガラスクロス包） 施工場所：メインアリーナ天井・機械室						
種類	厚さ(mm)、規格等															
◎ロックウール化粧吸音板（DR）	◎フラットタイプ （◎9（不燃） ◎12（不燃） ・ ） ◎凹凸タイプ （・12（不燃） ・15（不燃） ・ ）															
・ロックウール吸音ボード1号	・25 ・															
◎グラスウール吸音ボード 32K	・25（ガラスクロス包）施工場所： ◎50（ガラスクロス包） 施工場所：メインアリーナ天井・機械室															
		せっこうボード製品														
		<table><tr><th>種類</th><th>厚さ(mm)、規格等</th></tr><tr><td>◎せっこうボード（GB-R）</td><td>◎12.5（不燃） ・15（不燃） ・</td></tr><tr><td>◎不燃積層せっこうボード（GB-NC）</td><td>9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ◎化粧有（トラバーチン模様）</td></tr><tr><td>◎シージングせっこうボード（GB-S）</td><td>12.5（※不燃） ・準不燃</td></tr><tr><td>◎強化せっこうボード（GB-F）</td><td>・12.5（不燃） ・15（不燃） ◎21（不燃）</td></tr><tr><td>・せっこうラスボード（GB-L）</td><td>9.5</td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード（GB-D）</td><td>・木目 12.5（不燃） 幅 440 mm程度 模様（・柱目 ・板目）専用下地材有り ・トラバーチン模様 9.5（準不燃）</td></tr></table>	種類	厚さ(mm)、規格等	◎せっこうボード（GB-R）	◎12.5（不燃） ・15（不燃） ・	◎不燃積層せっこうボード（GB-NC）	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ◎化粧有（トラバーチン模様）	◎シージングせっこうボード（GB-S）	12.5（※不燃） ・準不燃	◎強化せっこうボード（GB-F）	・12.5（不燃） ・15（不燃） ◎21（不燃）	・せっこうラスボード（GB-L）	9.5	・化粧せっこうボード（GB-D）	・木目 12.5（不燃） 幅 440 mm程度 模様（・柱目 ・板目）専用下地材有り ・トラバーチン模様 9.5（準不燃）
種類	厚さ(mm)、規格等															
◎せっこうボード（GB-R）	◎12.5（不燃） ・15（不燃） ・															
◎不燃積層せっこうボード（GB-NC）	9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ◎化粧有（トラバーチン模様）															
◎シージングせっこうボード（GB-S）	12.5（※不燃） ・準不燃															
◎強化せっこうボード（GB-F）	・12.5（不燃） ・15（不燃） ◎21（不燃）															
・せっこうラスボード（GB-L）	9.5															
・化粧せっこうボード（GB-D）	・木目 12.5（不燃） 幅 440 mm程度 模様（・柱目 ・板目）専用下地材有り ・トラバーチン模様 9.5（準不燃）															

章	項 目	特 記 事 項																		
		合板 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ(mm)、規格等</th></tr><tr><td>◎普通合板</td><td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ワッ程度 ・ ） 不透明塗料塗り（※しな合板程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ(mm) ※図示による 接着の程度（◎1 類 ・ 2 類） 防虫処理 ・ 行う ◎行わない</td></tr><tr><td>◎天然木化粧合板</td><td>化粧板の樹種名（ ） 接着の程度（◎1 類 ・ 2 類） 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・ 行う ◎行わない</td></tr><tr><td>・ 特殊加工化粧合板</td><td>化粧加工の方法（・オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類） 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない</td></tr></table> 化粧板 <table><tr><th>種類</th><th>厚さ(mm)、規格等</th></tr><tr><td>◎メラミン樹脂化粧板</td><td>JIS K 6903 による（※1.2 ・ ）</td></tr><tr><td>・ ポリエステル樹脂化粧板</td><td></td></tr></table> 天井ボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合 ※図示による ・ 合板類の張付け ・ A 種 ・ B 種 ・ せっこうボードの目地等 目地工法の種類 ※仕上表による ・ <table><tr><td>◎突付け工法のエッジの種類</td><td>◎ベベルエッジ ・ スクエアエッジ</td></tr><tr><td>◎目透かし工法のエッジの種類</td><td>・ ベベルエッジ ◎スクエアエッジ</td></tr></table> 化粧加工の方法（・オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ ）	種類	厚さ(mm)、規格等	◎普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ワッ程度 ・ ） 不透明塗料塗り（※しな合板程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ(mm) ※図示による 接着の程度（◎1 類 ・ 2 類） 防虫処理 ・ 行う ◎行わない	◎天然木化粧合板	化粧板の樹種名（ ） 接着の程度（◎1 類 ・ 2 類） 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・ 行う ◎行わない	・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法（・オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類） 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない	種類	厚さ(mm)、規格等	◎メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による（※1.2 ・ ）	・ ポリエステル樹脂化粧板		◎突付け工法のエッジの種類	◎ベベルエッジ ・ スクエアエッジ	◎目透かし工法のエッジの種類	・ ベベルエッジ ◎スクエアエッジ
種類	厚さ(mm)、規格等																			
◎普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ワッ程度 ・ ） 不透明塗料塗り（※しな合板程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ(mm) ※図示による 接着の程度（◎1 類 ・ 2 類） 防虫処理 ・ 行う ◎行わない																			
◎天然木化粧合板	化粧板の樹種名（ ） 接着の程度（◎1 類 ・ 2 類） 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・ 行う ◎行わない																			
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法（・オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・ 1 類 ・ 2 類） 厚さ(mm) ※図示による 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない																			
種類	厚さ(mm)、規格等																			
◎メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による（※1.2 ・ ）																			
・ ポリエステル樹脂化粧板																				
◎突付け工法のエッジの種類	◎ベベルエッジ ・ スクエアエッジ																			
◎目透かし工法のエッジの種類	・ ベベルエッジ ◎スクエアエッジ																			

章	項 目	特 記 事 項																
13	壁紙張り	(19. 8. 2) (19. 8. 3)																
		ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆																
		<table><tr><th>施工箇所</th><th>壁紙の種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・紙 ・塩化ビニル ◎無機質</td><td>・繊維 ・プラスチック ・その他</td><td>◎不燃 ・準不燃 ・難燃</td></tr><tr><td></td><td>・紙 ・塩化ビニル ◎無機質</td><td>・繊維 ・プラスチック ・その他</td><td>◎不燃 ・準不燃 ・難燃</td></tr><tr><td></td><td>・紙 ・塩化ビニル ◎無機質</td><td>・繊維 ・プラスチック ・その他</td><td>◎不燃 ・準不燃 ・難燃</td></tr></table>	施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考		・紙 ・塩化ビニル ◎無機質	・繊維 ・プラスチック ・その他	◎不燃 ・準不燃 ・難燃		・紙 ・塩化ビニル ◎無機質	・繊維 ・プラスチック ・その他	◎不燃 ・準不燃 ・難燃		・紙 ・塩化ビニル ◎無機質	・繊維 ・プラスチック ・その他	◎不燃 ・準不燃 ・難燃
		施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考													
			・紙 ・塩化ビニル ◎無機質	・繊維 ・プラスチック ・その他	◎不燃 ・準不燃 ・難燃													
			・紙 ・塩化ビニル ◎無機質	・繊維 ・プラスチック ・その他	◎不燃 ・準不燃 ・難燃													
			・紙 ・塩化ビニル ◎無機質	・繊維 ・プラスチック ・その他	◎不燃 ・準不燃 ・難燃													
		モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種類 ※B 種 ・ A 種																
		コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B 種 ・ A 種																
		せっこうボード面の素地ごしらえの種類 ※B 種 ・ A 種																
14	断熱材	(19. 9. 2～19. 9. 4)																
		フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																
		開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																
		※断熱材打込み工法																
		<table><tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温版 (・)</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>◎押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) (◎2 種 bA ・ 3 種 bA ・ 3 種 bC ・ 3 種 bD)</td><td>◎40</td><td>◎1 階スラブ下部分、外周基礎梁立下り部分 (600mm)</td></tr><tr><td>◎硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td>◎50</td><td>◎金属屋根下部分</td></tr><tr><td>・フェノールフォーム断熱材</td><td>・</td><td>・</td></tr></table>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温版 (・)	・	・	◎押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) (◎2 種 bA ・ 3 種 bA ・ 3 種 bC ・ 3 種 bD)	◎40	◎1 階スラブ下部分、外周基礎梁立下り部分 (600mm)	◎硬質ウレタンフォーム断熱材	◎50	◎金属屋根下部分	・フェノールフォーム断熱材	・	・	
		種類	厚さ (mm)	施工箇所														
		・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温版 (・)	・	・														
		◎押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) (◎2 種 bA ・ 3 種 bA ・ 3 種 bC ・ 3 種 bD)	◎40	◎1 階スラブ下部分、外周基礎梁立下り部分 (600mm)														
		◎硬質ウレタンフォーム断熱材	◎50	◎金属屋根下部分														
		・フェノールフォーム断熱材	・	・														
◎その他：押出法ポリスチレンフォーム保温板 1 種 t50 ケイカル板 t6 複合版打込 施工箇所：2 階スラブ下外部部分																		
◎断熱材現場発泡工法																		
断熱材の種類 ・ A 種 1 ◎A 種 1H																		
吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ◎50																		
施工箇所 ◎図示による ◎一般部：外壁廻りは外壁芯より 1m の範囲 ◎熱境部分：軒天裏・ふさぎパネル裏 (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)																		

20

ユニット及びその他の工事

章	項 目	特 記 事 項																
20	1	フリーアクセス フロア (20. 2. 2) <table><tr><th>施工箇所</th><th>構法</th><th>寸法(mm)</th><th>高さ(mm)</th></tr><tr><td>・ 図示による ・</td><td>・ 置敷式 ◎支柱調整式</td><td>◎500×500 ・</td><td>100、300</td></tr></table> <table><tr><th>耐震性能</th><th>所定荷重(N)</th><th>表面仕上材</th><th>備考</th></tr><tr><td>◎1. 0G ・ 0. 6G</td><td>・ 3000 ◎5000</td><td>◎帯電防止床タイル ・ タイルカーペット ・</td><td></td></tr></table> ナカ工業 品名：IB フロア、AZ 型番：AZ5000-DP 同等 寸法精度 ※標準仕様書 20. 2. 2 (2) (オ) (a)～(c)による ・ 以下による パネルの長さ () パネルの平面形状 (角度) () フリーアクセスフロアの高さ () 帯電防止性能 ・ 評価値 (U) ≥0. 6 以上 ・ 評価値 (U) ≥1. 2 以上 感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶ 以上 (性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	・ 図示による ・	・ 置敷式 ◎支柱調整式	◎500×500 ・	100、300	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考	◎1. 0G ・ 0. 6G	・ 3000 ◎5000	◎帯電防止床タイル ・ タイルカーペット ・	
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)														
・ 図示による ・	・ 置敷式 ◎支柱調整式	◎500×500 ・	100、300															
耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考															
◎1. 0G ・ 0. 6G	・ 3000 ◎5000	◎帯電防止床タイル ・ タイルカーペット ・																
2	可動間仕切	(20. 2. 3) <table><tr><th rowspan="2">構造形式</th><th colspan="2">構成基材の種類</th></tr><tr><th>スタッド</th><th>パ 柵</th></tr><tr><td>・ スタッド 式(内蔵) ・ スタッド 式(露出) ・ スタッドパ 柵式 ・ パ 柵式</td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><th>表面仕上材</th><th rowspan="2">遮音性(dB/500HZ)</th><th rowspan="2">防火性能</th></tr><tr><th>パネル表面仕上げ</th></tr><tr><td>・ マシン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・ 壁紙張り ・</td><td>・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36</td><td>・ 不燃</td></tr></table> パネル内に取付ける建具 ・ あり (※図示 ・) ・ なし パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書 16 章 8 節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書 19 章による パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	構造形式	構成基材の種類		スタッド	パ 柵	・ スタッド 式(内蔵) ・ スタッド 式(露出) ・ スタッドパ 柵式 ・ パ 柵式			表面仕上材	遮音性(dB/500HZ)	防火性能	パネル表面仕上げ	・ マシン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・ 壁紙張り ・	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36	・ 不燃	
構造形式	構成基材の種類																	
	スタッド	パ 柵																
・ スタッド 式(内蔵) ・ スタッド 式(露出) ・ スタッドパ 柵式 ・ パ 柵式																		
表面仕上材	遮音性(dB/500HZ)	防火性能																
パネル表面仕上げ																		
・ マシン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・ 壁紙張り ・	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36	・ 不燃																

章	項 目	特 記 事 項																
3	移動間仕切	(20. 2. 4) <table><tr><th rowspan="2">走行方向</th><th rowspan="2">操作方法による種別</th><th rowspan="2">圧接装置の操作方法</th><th rowspan="2">総厚さ (mm)</th><th colspan="2">パネル表面材</th><th rowspan="2">遮音性 (dB/500HZ)</th></tr><tr><th>材質</th><th>仕上げ</th></tr><tr><td>・ 平行方向移動式 ◎二方向移動式</td><td>◎手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式</td><td>・ プッシュ式 ◎ハンドル式 ・</td><td>80</td><td>◎鋼板 ・</td><td>◎焼付塗装 ・ 壁紙張り ・</td><td>・ 36 未満 ◎36 以上</td></tr></table> パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書 19 章による ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の 5 倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・ 図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ※ライナーに加わる重量の 5 倍以上の荷重に耐えられるもの ・ ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の 5 倍以上の荷重を、パネル 1 枚に使用するライナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする ・ (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)	走行方向	操作方法による種別	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性 (dB/500HZ)	材質	仕上げ	・ 平行方向移動式 ◎二方向移動式	◎手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ プッシュ式 ◎ハンドル式 ・	80	◎鋼板 ・	◎焼付塗装 ・ 壁紙張り ・	・ 36 未満 ◎36 以上
		走行方向					操作方法による種別	圧接装置の操作方法		総厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性 (dB/500HZ)					
材質	仕上げ																	
・ 平行方向移動式 ◎二方向移動式	◎手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ プッシュ式 ◎ハンドル式 ・	80	◎鋼板 ・	◎焼付塗装 ・ 壁紙張り ・	・ 36 未満 ◎36 以上												
4	トイレブース	(20. 2. 5) <table><tr><th rowspan="2">表面材の材料</th><th>脚部</th><th colspan="2">ドアエッジ</th></tr><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>形状</th></tr><tr><td>◎メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td><td>※幅木タイプ ・</td><td>※製造所の仕様による ◎アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td><td>・ 標準 ◎R タイプ</td></tr></table> ◎非常時外開き機能付き (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)	表面材の材料	脚部	ドアエッジ		種類	材質	形状	◎メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ◎アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	・ 標準 ◎R タイプ					
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																
	種類	材質	形状															
◎メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ◎アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	・ 標準 ◎R タイプ															
5	手すり	(20. 2. 6) 材料の種類及び仕上げ ・ SUS304 表面処理 ※HL 程度 ◎鋼板 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書 表 14. 2. 2 による種別 (種)) ◎アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書 表 14. 2. 1 による種別 (種)) 色合い等 ◎標準色 () ・ 特注色 () 手すりの握り部分 <table><tr><th>材種</th><th>表面仕上げ</th><th>直径 (mm)</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>◎集成材 (材種：タモ)</td><td>・ クリアラッカー ◎ UC</td><td>・ 30 程度 ・ 35 程度 ◎45 程度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>◎ビニル製 ハンドレール</td><td>・</td><td>・ 30 程度 ◎35 程度 ・ 45 程度</td><td></td><td></td></tr></table>	材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	◎集成材 (材種：タモ)	・ クリアラッカー ◎ UC	・ 30 程度 ・ 35 程度 ◎45 程度			◎ビニル製 ハンドレール	・	・ 30 程度 ◎35 程度 ・ 45 程度			
材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考														
◎集成材 (材種：タモ)	・ クリアラッカー ◎ UC	・ 30 程度 ・ 35 程度 ◎45 程度																
◎ビニル製 ハンドレール	・	・ 30 程度 ◎35 程度 ・ 45 程度																

章	項 目	特 記 事 項
	6 階段滑り止め	(20. 2. 7) 材種 ・ ステンレス製 ・ 黄銅製押出型材 形状 ・ アルミニウム製押出型材 ・ ◎タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂等） ・ タイヤレス型 端部の形状 ◎フラットエンドあり ・ フラットエンドなし 寸法（幅） ◎35 mm程度 ・ 40 mm程度 ・ 50 mm程度 取付け工法 ※接着工法 ・ 埋め込み工法 ◎床目地棒：床仕上材が異なる部分にはステンレス製目地棒（SUS FB-6×12）を設ける。
	7 黒板及び ホワイトボード	(20. 2. 9) ・ 黒板 区分 ※焼き付け ・ 種類 ・ ほうろう黒板 ・ 鋼製黒板 ・ 色 ※緑 ・ ・ ホワイトボード
	8 鏡	(20. 2. 10) 取付箇所（ 多目的室 ） 寸法(mm) ◎図示による ・ 厚さ(mm) ※5 ・
	9 表示	(20. 2. 11) 衝突防止表示 ◎設置する 設置場所 ※図示による 形状、寸法 ・ 30φ ◎図示 材質 ・ ステンレス ・ 塩ビシート ◎カッティングシート（図示） ・ 設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・ 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等（案内用図記号は JIS Z 8210 による） ※図示による
	10 タラップ	(20. 2. 12) 材質及び仕上げ ◎SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・ なし） ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき （※標準仕様書 表 14. 2. 2 による種別（※C 種 ・ 種））
	11 煙突ライニング	(20. 2. 13) 適用安全使用温度 ・ ℃ 工法 ※鋼製ユニット煙突（煙突用成形ライニング材） ・

章	項 目	特 記 事 項						
12	ブラインド	(20. 2. 14)						
		形式	操作 方法	操作方法の 種類	スラットの 種類	スラット幅 (mm)	ボックス・レール の材種	幅・高さ 取付箇所
		◎横型	◎手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	◎図示による ・
			・電動	—				
		・縦型	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	※アルミニウム合金製 ・	・図示による ・
			・電動	—				
		縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断基準（特定調達品目「公共工事」において表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものとする。						
13	ロールスクリーン	(20. 2. 13)						
		操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付位置	品質等		
		・スプリング式 ◎コード式 ◎電動式	◎ガラス繊維製 ・合成 ・天然繊維製	※製造所の仕様	◎図示による ・	・		
		電動式： 施工場所：屋内階段1 ニチベイ：ソフィーテクノタイプ同等 スクリーンの仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断基準（特定調達品目「公共工事」において表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものとする。						

章	項 目	特 記 事 項						
14	カーテン	(20. 2. 14)						
		形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
		◎シングル ・ダブル	◎片引き ・引分け	◎手引き ・ひも引き ・電動	・つまみ ひだ ・箱ひだ ◎プレーンひだ		・図示 ・	
		◎シングル ・ダブル	◎片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ◎電動	・つまみ ひだ ・箱ひだ ◎プレーンひだ		・図示 ・	
生地の仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和 4 年 2 月 25 日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断基準（特定調達品目「公共工事」において表 1 中の品目ごとの判断の基準）を満たすものとする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm 以上 ・								
15	カーテンレール	(20. 2. 14)						
		材料による区分	※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製					
		強さによる区分	※10-90 ・					
		仕上げ	※アルマイト ・					
形状		※角形 ・						
16	ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝型×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ◎120×150 ・150×80 ・図示						
		材質 ◎集成材（仕上げ： ）						
		◎アルミニウム製 押出し型材（市販品） 種別（標準仕様書 表 14. 2. 1） ・BC-1 種 ・BC-2 種 色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）						
		◎鋼製（仕上げ： SOP 塗り ）						
17	天井点検口							
		材種	寸法	形式		外枠	内枠	
		※アルミ製 ・	◎450×450 ◎600×600 ・	◎一般形	・屋内外用 ◎屋内用	・額縁タイプ ◎目地タイプ	・額縁タイプ ◎目地タイプ	
				・気密形				
(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)								
18	床点検口							
		材種	寸法	形式		備考		
		・アルミ製 ◎ステン製 ・鋼製	・450×450 ◎600×600 ・	・一般形 ◎密閉形	◎屋内外用 ・屋内用	◎鍵付き		
				密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする				
(品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による)								

章	項 目	特 記 事 項																																
	19 耐震スリット	<table><tr><th>方向</th><th>幅 (mm)</th><th>タイプ</th><th>耐火性能</th><th>防水性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 垂直方向</td><td>・ 25 ・</td><td rowspan="2">※完全 (全貫通型) ・</td><td rowspan="2">・ 耐火型 ・ 非耐火型</td><td rowspan="2">・ 有り ・ 無し</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・ 水平方向</td><td>・ 25 ・</td></tr></table> 目地 <table><tr><th>目地</th><th>内壁</th><th>外壁</th></tr><tr><td>目地材</td><td>・ シリング材 (見え掛かりのみ) ・</td><td>・ シリング材 (見え掛かりのみ) ・ シリング材 (内外とも)</td></tr><tr><td>目地寸法 (mm)</td><td colspan="2">・ スリット幅 20×深さ 10 ・</td></tr></table> 目地材の材質は標準仕様書 表 9. 7. 1 による						方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・ 垂直方向	・ 25 ・	※完全 (全貫通型) ・	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し		・ 水平方向	・ 25 ・	目地	内壁	外壁	目地材	・ シリング材 (見え掛かりのみ) ・	・ シリング材 (見え掛かりのみ) ・ シリング材 (内外とも)	目地寸法 (mm)	・ スリット幅 20×深さ 10 ・					
	方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																												
	・ 垂直方向	・ 25 ・	※完全 (全貫通型) ・	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し																													
	・ 水平方向	・ 25 ・																																
	目地	内壁	外壁																															
	目地材	・ シリング材 (見え掛かりのみ) ・	・ シリング材 (見え掛かりのみ) ・ シリング材 (内外とも)																															
	目地寸法 (mm)	・ スリット幅 20×深さ 10 ・																																
	20 止水板	<table><tr><td>形 式</td><td>・ 差込式</td><td>・ 据置式</td><td>・ 壁張り式</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td colspan="3">・ 図示による ・</td></tr></table>						形 式	・ 差込式	・ 据置式	・ 壁張り式	施工箇所	・ 図示による ・																					
	形 式	・ 差込式	・ 据置式	・ 壁張り式																														
	施工箇所	・ 図示による ・																																
21 エキспанション ジョイント金物	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による																																	
22 くつふきマット	<table><tr><th>材種</th><th>受け枠</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ◎ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・</td><td>◎ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金 ・</td><td></td></tr></table>						材種	受け枠	備考	・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ◎ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・	◎ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金 ・																							
材種	受け枠	備考																																
・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ◎ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・	◎ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金 ・																																	
23 流し台ユニット	<table><tr><th rowspan="2">材種</th><th colspan="3">寸法 (mm)</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>W</th><th>D</th><th>H</th></tr><tr><td>◎流し台</td><td>・ 1200 ・ 1500 ・ 1800</td><td>◎550 ・ 600 ・ 650</td><td>◎800 ・ 850</td><td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td></tr><tr><td>・ コンロ台</td><td>・ 600</td><td>・ 550 ・ 600 ・ 650</td><td>・ 620 ・ 670</td><td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td></tr><tr><td>◎つり戸棚</td><td>・ 1200 ・ 900</td><td>◎450</td><td>◎500 ・ 700</td><td>市販品</td></tr><tr><td>◎水切り</td><td>・ 1200 ・ 900 ・ 600</td><td>—</td><td>—</td><td>市販品 ステンレス製 ・ 1 段式 ・</td></tr></table> 品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の 4. 1 による。 構成材は、JIS A 4420 の 8 により試験を行ったとき、表 1 の規定による。 形状 ※図示による ・						材種	寸法 (mm)			備考	W	D	H	◎流し台	・ 1200 ・ 1500 ・ 1800	◎550 ・ 600 ・ 650	◎800 ・ 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・ コンロ台	・ 600	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 620 ・ 670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	◎つり戸棚	・ 1200 ・ 900	◎450	◎500 ・ 700	市販品	◎水切り	・ 1200 ・ 900 ・ 600	—	—	市販品 ステンレス製 ・ 1 段式 ・
材種	寸法 (mm)			備考																														
	W	D	H																															
◎流し台	・ 1200 ・ 1500 ・ 1800	◎550 ・ 600 ・ 650	◎800 ・ 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																														
・ コンロ台	・ 600	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 620 ・ 670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																														
◎つり戸棚	・ 1200 ・ 900	◎450	◎500 ・ 700	市販品																														
◎水切り	・ 1200 ・ 900 ・ 600	—	—	市販品 ステンレス製 ・ 1 段式 ・																														

章	項 目	特 記 事 項																						
	24 旗竿	<table><tr><td>材種</td><td>形式</td><td>高さ (mm)</td><td>操作方法</td><td>固定方法</td><td>備考</td></tr><tr><td>・アルミニウム合金製 ・</td><td>・テーパー式 ・同一断面式</td><td></td><td>・ハンドル式 ・ロープ式</td><td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td><td></td></tr></table>						材種	形式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式						
	材種	形式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考																		
	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																			
	25 旗竿受金物	材種 ・ ステンレス製 (SUS304) ・																						
26 車止めさく	<table><tr><td colspan="2">形式</td><td>材種</td><td>柱径、肉厚 (mm)</td><td>高さ (mm)</td></tr><tr><td>・ 上下式鎖内蔵式</td><td>・ 標準品 ・ スプリング式</td><td>・ ステンレス製 ・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						形式		材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)	・ 上下式鎖内蔵式	・ 標準品 ・ スプリング式	・ ステンレス製 ・	・	・	・							
形式		材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)																				
・ 上下式鎖内蔵式	・ 標準品 ・ スプリング式	・ ステンレス製 ・	・	・																				
・																								
27	フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ◎アルミフェンス ・ 高さ ◎図示による ・																						
28	プレキャスト コンクリート	(20. 3. 3) (20. 3. 4) コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比 55%以下、単位セメント量の最小値 300kg/m ³ を満足する調合強度 ・ 図示による 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。 ・ 図示による 取付方法 ※図示による ・																						
29	間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(20. 4. 2) (20. 4. 3) <table><tr><td colspan="2">材種</td><td>種類</td><td>質量区分</td><td>備考</td></tr><tr><td>・ 間知石</td><td>・ 花こう岩 ・ 凝灰岩</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>・ コンクリート 間知ブロック</td><td>—</td><td></td><td>・ A ・ B</td><td></td></tr></table> 積み方 ※谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示による ・ 伸縮調整目地 材種 ・ 図示による ・ 厚さ ・ 図示による ・						材種		種類	質量区分	備考	・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	—	—		・ コンクリート 間知ブロック	—		・ A ・ B			
材種		種類	質量区分	備考																				
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	—	—																					
・ コンクリート 間知ブロック	—		・ A ・ B																					
30	鋼製書架及び物品棚	<table><tr><td>種類</td><td>規格等</td><td colspan="4">JIS による種類</td></tr><tr><td>・ 鋼製書架</td><td rowspan="2">JIS S 1039 の規格による</td><td>・ 1 種</td><td>・ 2 種</td><td>・ 3 種</td><td></td></tr><tr><td>・ 鋼製物品棚</td><td>・ 4 種</td><td>・ 5 種</td><td>・ 6 種</td><td>・</td></tr></table>						種類	規格等	JIS による種類				・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1 種	・ 2 種	・ 3 種		・ 鋼製物品棚	・ 4 種	・ 5 種	・ 6 種	・
種類	規格等	JIS による種類																						
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1 種	・ 2 種	・ 3 種																				
・ 鋼製物品棚		・ 4 種	・ 5 種	・ 6 種	・																			

章	項 目	特 記 事 項																				
	31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り																				
	32 洗面カウンター	材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ◎人工大理石 奥行き(mm) ・約 450 ◎約 600																				
	33 防煙垂れ壁	◎固定式 <table><tr><th>材質</th><th>厚さ (mm)</th><th>高さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス</td><td>※6.8 ・</td><td>※500 ・</td><td>アルミ製枠付き</td></tr></table> ◎可動式 <table><tr><th>種類</th><th>材質</th><th>高さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>◎垂直降下式 （巻取り型）</td><td>※不燃布 （不燃認定品）</td><td>※500 ・ 800 ・</td><td>ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ◎可動式（天井収納型）</td></tr><tr><td>・回転降下式</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※500 ・ 800 ・</td><td>表面仕上げ ※天井材張り ・</td></tr></table> ◎降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	◎垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ◎可動式（天井収納型）	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・
	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																		
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き																			
種類	材質	高さ (mm)	備考																			
◎垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ◎可動式（天井収納型）																			
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・																			
34 屋外掲示板	照明器具 ※有り ・無し 施 錠 ※有り ・無し 製造所 ・																					
	35 収納家具	材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による																				

章

項目

特記事項

21

排水工事

(21.2.1) (21.2.2) (表 21.2.1) (表 21.2.2)

材料

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（１種）	・Ｂ形管 ・	※図示による ・	
・◎硬質ポリ塩化ビニル管	◎VP		※図示による ・	
	◎WJ		※図示による ・	
	・RF-VP		※図示による ・	
	・RS-WU		※図示による ・	

基床の厚さ及び種類 ・図示による ・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ゴム輪

側塊の形状及び寸法 ・図示による ・
排水柵、ふたの種類 ◎図示による ・
砂地業に用いる材料
　　・シルト ・山砂 ◎川砂 ・砕砂
砂利事業に用いる材料
　◎再生クラッシャーラン ・切込砂利又は切込碎石

・現場打ちの場合のコンクリート材料
　種類 ※普通コンクリート ・
　設計基準強度 ※18N/mm² ・
　スランプ ※15cm 又は 18cm ・
◎現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・
・排水柵が現場打ちの場合の足掛け金物
　材料 ※標準仕様書 21.2.2(6)(オ)による
　　　　　　　　　　　（材質・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの）
　　・

凍上抑制層の厚さ ・図示による ・
凍上抑制層に用いる材料 ・
（砂を用いる場合の砂の粒度試験 ・行う ・行わない）

2 鋳鉄製ふた

(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易気密形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・RS-VU	・T-2 用 ・T-6 用 ・T-20 用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による

章	項 目	特 記 事 項																
3	グレーチング	(21. 2. 1)																
		・ 鋼製																
		<table><tr><th>形式</th><th>用途</th><th>適用荷重</th><th>メインバー ピッチ</th><th>亜鉛めっき (付着量)</th><th>上面 形状</th></tr><tr><td rowspan="2">◎受枠付 き、ボルト 固定 ・</td><td rowspan="2">・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ◎柵ふた用 ・ U 字溝用</td><td>◎歩行用</td><td>◎細目 ・</td><td>・ ()</td><td>・ 凹凸形 ・</td></tr><tr><td>◎T-2 用 ・ T-6 用 ◎T-14 用 ・ T-20 用</td><td>◎普通目 ・ 細目</td><td>・ ()</td><td>・ 平形 ・</td></tr></table>	形式	用途	適用荷重	メインバー ピッチ	亜鉛めっき (付着量)	上面 形状	◎受枠付 き、ボルト 固定 ・	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ◎柵ふた用 ・ U 字溝用	◎歩行用	◎細目 ・	・ ()	・ 凹凸形 ・	◎T-2 用 ・ T-6 用 ◎T-14 用 ・ T-20 用	◎普通目 ・ 細目	・ ()	・ 平形 ・
		形式	用途	適用荷重	メインバー ピッチ	亜鉛めっき (付着量)	上面 形状											
		◎受枠付 き、ボルト 固定 ・	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ◎柵ふた用 ・ U 字溝用	◎歩行用	◎細目 ・	・ ()	・ 凹凸形 ・											
				◎T-2 用 ・ T-6 用 ◎T-14 用 ・ T-20 用	◎普通目 ・ 細目	・ ()	・ 平形 ・											
		・ ステンレス製																
		<table><tr><th>形式</th><th>用途</th><th>適用荷重</th><th>メインバー ピッチ</th><th>亜鉛めっき (付着量)</th><th>上面 形状</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 受枠付 き、ボルト 固定 ・</td><td rowspan="2">・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U 字溝用</td><td>・ 歩行用</td><td>—</td><td>—</td><td>・ 凹凸形 ・</td></tr><tr><td>・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用</td><td>—</td><td>—</td><td>・ 平形 ・</td></tr></table>	形式	用途	適用荷重	メインバー ピッチ	亜鉛めっき (付着量)	上面 形状	・ 受枠付 き、ボルト 固定 ・	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U 字溝用	・ 歩行用	—	—	・ 凹凸形 ・	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	—	—	・ 平形 ・
		形式	用途	適用荷重	メインバー ピッチ	亜鉛めっき (付着量)	上面 形状											
		・ 受枠付 き、ボルト 固定 ・	・ 溝ふた (横断用) ・ 溝ふた (側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U 字溝用	・ 歩行用	—	—	・ 凹凸形 ・											
・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	—			—	・ 平形 ・													
(品質・性能及び荷重試験方法は建築材料等品質性能表による)																		
4	街きよ、縁石、側溝	(21. 3. 1) (21. 3. 2) (表 21. 3. 1)																
		街きよ、縁石、側溝																
		<table><tr><th>種類</th><th>形状、寸法</th></tr><tr><td>・ 縁石</td><td rowspan="5">※図示 ・</td></tr><tr><td>・ L 形側溝</td></tr><tr><td>・ U 形側溝</td></tr><tr><td>・ U 形側溝ふた</td></tr><tr><td>・</td></tr></table>	種類	形状、寸法	・ 縁石	※図示 ・	・ L 形側溝	・ U 形側溝	・ U 形側溝ふた	・								
		種類	形状、寸法															
		・ 縁石	※図示 ・															
		・ L 形側溝																
		・ U 形側溝																
		・ U 形側溝ふた																
		・																
		砂地業の材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込碎石 砂利地業の厚さ (mm) ※100 ・図示による																
・ 現場打ちの場合のコンサート 種類 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※18N/mm ² ・ スランプ ※15cm 又は 18cm ・																		
・ 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・																		
凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の砂の粒度試験 ・行う ・行わない)																		
5	埋戻し土	(21. 2. 1) (表 3. 2. 1)																
		※B 種 ・																

章	項 目	特 記 事 項																																																											
22 舗装工事	1 路床	(22. 2. 2) (22. 2. 3) (22. 2. 5) (表 22. 2. 1)																																																											
		路床の材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ (mm)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎盛土</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td><td>・ 図示による ・</td></tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td><td>・ 再生クツシャラン ・ クツシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂(標準仕様書 表 21. 2. 2 による) ・</td><td>・ 図示による ・</td></tr> <tr> <td>・ フィルター層</td><td>・ 砂(標準仕様書 表 21. 2. 3 (3) による) ・</td><td>・ 図示による ・</td></tr> </tbody> </table> 凍結抑制層に用いる材料に砂を使用する場合の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない ・ 路床安定処理 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 <table border="0"> <tr> <td>種類</td><td>・ 普通ポルトランドセメント</td><td>・ 高炉セメント B 種</td></tr> <tr> <td></td><td>・ フライアッシュセメント B 種</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1 号)</td><td>・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1 号)</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 固化剤 (・ セメント系</td><td>・ 石灰系)</td></tr> <tr> <td>添加量</td><td>・</td><td>kg/ m³ (目標 CBR ※3 以上 ・)</td></tr> </table> ・ 路床置換処理 <table border="0"> <tr> <td>置換厚さ</td><td>※図示による</td><td>・</td></tr> <tr> <td>置換材料の種類、品質</td><td>※図示による</td><td>・</td></tr> </table> ・ ジオテキスタイル <table border="0"> <tr> <td>単位面積質量</td><td>・ 60g/m²以上</td><td>・</td></tr> <tr> <td>厚さ (mm)</td><td>・ 0. 5～1. 0</td><td>・</td></tr> <tr> <td>引張強さ</td><td>・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</td><td>・</td></tr> <tr> <td>透水係数</td><td>・ 1. 5 × 10⁻¹cm/sec 以上</td><td>・</td></tr> </table> 試験 <table border="0"> <tr> <td>路床土の支持力比 (CBR) 試験</td><td>・ 行う (箇所)</td><td>・ 行わない</td></tr> <tr> <td>現場 CBR 試験</td><td>・ 行う (箇所)</td><td>・ 行わない</td></tr> <tr> <td>安定処理土の CBR 試験</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr> <tr> <td>路床締固め度の試験</td><td>・ 行う (箇所)</td><td>・ 行わない</td></tr> <tr> <td>六価クロム溶出試験</td><td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr> </table>	種別	材料	厚さ (mm)	◎盛土	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による ・	・ 凍上抑制層	・ 再生クツシャラン ・ クツシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂(標準仕様書 表 21. 2. 2 による) ・	・ 図示による ・	・ フィルター層	・ 砂(標準仕様書 表 21. 2. 3 (3) による) ・	・ 図示による ・	種類	・ 普通ポルトランドセメント	・ 高炉セメント B 種		・ フライアッシュセメント B 種			・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1 号)	・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1 号)		・ 固化剤 (・ セメント系	・ 石灰系)	添加量	・	kg/ m ³ (目標 CBR ※3 以上 ・)	置換厚さ	※図示による	・	置換材料の種類、品質	※図示による	・	単位面積質量	・ 60g/m ² 以上	・	厚さ (mm)	・ 0. 5～1. 0	・	引張強さ	・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上	・	透水係数	・ 1. 5 × 10 ⁻¹ cm/sec 以上	・	路床土の支持力比 (CBR) 試験	・ 行う (箇所)	・ 行わない	現場 CBR 試験	・ 行う (箇所)	・ 行わない	安定処理土の CBR 試験	・ 行う	・ 行わない	路床締固め度の試験	・ 行う (箇所)	・ 行わない	六価クロム溶出試験	・ 行う
種別	材料	厚さ (mm)																																																											
◎盛土	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による ・																																																											
・ 凍上抑制層	・ 再生クツシャラン ・ クツシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂(標準仕様書 表 21. 2. 2 による) ・	・ 図示による ・																																																											
・ フィルター層	・ 砂(標準仕様書 表 21. 2. 3 (3) による) ・	・ 図示による ・																																																											
種類	・ 普通ポルトランドセメント	・ 高炉セメント B 種																																																											
	・ フライアッシュセメント B 種																																																												
	・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1 号)	・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1 号)																																																											
	・ 固化剤 (・ セメント系	・ 石灰系)																																																											
添加量	・	kg/ m ³ (目標 CBR ※3 以上 ・)																																																											
置換厚さ	※図示による	・																																																											
置換材料の種類、品質	※図示による	・																																																											
単位面積質量	・ 60g/m ² 以上	・																																																											
厚さ (mm)	・ 0. 5～1. 0	・																																																											
引張強さ	・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上	・																																																											
透水係数	・ 1. 5 × 10 ⁻¹ cm/sec 以上	・																																																											
路床土の支持力比 (CBR) 試験	・ 行う (箇所)	・ 行わない																																																											
現場 CBR 試験	・ 行う (箇所)	・ 行わない																																																											
安定処理土の CBR 試験	・ 行う	・ 行わない																																																											
路床締固め度の試験	・ 行う (箇所)	・ 行わない																																																											
六価クロム溶出試験	・ 行う	・ 行わない																																																											

章	項 目	特 記 事 項												
	2 路盤	(22. 3. 2) (22. 3. 3) (表 22. 3. 1) 路盤の構成及び厚さ ※図示による ・ 路盤材料（標準仕様書表 22. 3. 1 による種別） <table><tr><th colspan="2">種別</th></tr><tr><td rowspan="2">砕石</td><td>・ クラッシャラン</td></tr><tr><td>・ 粒度調整砕石</td></tr><tr><td rowspan="2">再生材</td><td>◎再生クラッシャラン</td></tr><tr><td>・ 再生粒度調整砕石</td></tr><tr><td rowspan="3">鉄鋼スラグ</td><td>・ クラッシャラン鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ 粒度調整鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td></tr></table>	種別		砕石	・ クラッシャラン	・ 粒度調整砕石	再生材	◎再生クラッシャラン	・ 再生粒度調整砕石	鉄鋼スラグ	・ クラッシャラン鉄鋼スラグ	・ 粒度調整鉄鋼スラグ	・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
	種別													
砕石	・ クラッシャラン													
	・ 粒度調整砕石													
再生材	◎再生クラッシャラン													
	・ 再生粒度調整砕石													
鉄鋼スラグ	・ クラッシャラン鉄鋼スラグ													
	・ 粒度調整鉄鋼スラグ													
	・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ													
3 アスファルト舗装	(22. 4. 2～22. 4. 6) (表 22. 4. 4) アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による ・ 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 材料 アスファルト ◎再生アスファルト (標準仕様書表 22. 4. 1 による種類： ・ 60～80 ・ 80～100) ・ ストレートアスファルト 骨材 ・ 道路用砕石 ◎アスファルトコンクリート再生骨材 シーコート用の乳剤 ・ PK-1 ・ PK-2 加熱アスファルト混合物等の種類（配合は標準仕様書 表 22. 4. 4 による） ◎密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13F） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 加熱混合物製造施設 ※茨城県指定のアスファルトコンクリート合材混合所													

章	項 目	特 記 事 項											
4	コンクリート舗装	(22. 5. 2～22. 5. 4) (22. 5. 6) (表 22. 5. 1) (表 22. 5. 3)											
		コンクリート舗装の構成及び厚さ											
		<table><tr><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート舗装</td><td>・ 車路、駐車場</td><td>※図示による</td><td>・ 図示による</td></tr><tr><td>◎歩行者用通路</td><td>※図示による</td><td>※ 70</td></tr></table>	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	・ 車路、駐車場	※図示による	・ 図示による	◎歩行者用通路	※図示による	※ 70
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)										
コンクリート舗装	・ 車路、駐車場	※図示による	・ 図示による										
	◎歩行者用通路	※図示による	※ 70										
		材料											
		コンクリート											
		※普通コンクリート、標準仕様書 表 22. 5. 1 による											
		・ 以下による											
		コンクリートの種類 ()											
		設計基準強度 (N/mm ²) ()											
		所定のスランプ (cm) ※8											
		粗骨材の最大寸法 (mm) ()											
		早強ポルトランドセメント ・ 使用する ・ 使用しない											
		注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ											
		目地											
		※標準仕様書 表 22. 5. 3 及び図 22. 5. 1 による											
		・ 以下による											
		種類 ()											
		間隔 (m程度ごと)											
		構造 ・ 図示による											
		舗装の平たん性											
		※通行の支障となる水たまりを生じない程度											
		・											
5	カラー舗装	(22. 6. 2～22. 6. 4)											
		・ 加熱系カラー舗装											
		構成及び厚さ ・ 図示による											
		加熱系混合物の結合材											
		・ アスファルト混合物											
		・ 石油樹脂系混合物 (顔料の添加量 : %)											
		添加材											
		着色骨材 ()											
		自然石 ()											
		・ 常温系カラー舗装											
		工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法											
		着色部の下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装											
		舗装の平たん性											
		※通行の支障となる水たまりを生じない程度											
		・											

章	項 目	特 記 事 項
6	透水性アスファルト舗装	(22. 7. 2) (22. 7. 3) (22. 7. 6)
		舗装の構成 ※図示
		材料 骨材 ・ 道路用碎石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材 (標準仕様書表 22. 4. 1 による種類： ・ 60～80 ・ 80～100)
7	半たわみ性舗装	舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・ 試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない

章	項 目	特 記 事 項																				
		半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値 <table><tr><th>項目</th><th>基準値</th></tr><tr><td>密度 (g/cm3)</td><td>1.90 以上</td></tr><tr><td>安定度 (kN)</td><td>2.94 以上</td></tr><tr><td>フロー値 (1/100cm)</td><td>20～40</td></tr><tr><td>空隙率 (%)</td><td>20～28</td></tr><tr><td>突固め回数 (回)</td><td>50</td></tr></table> 施工 アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書 22.4.5 による。 浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による。 (1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。 (2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラ等により行う。 (3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、珪砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。 (4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。 <table><tr><th>セメントミルクの種類</th><th>養生期間</th></tr><tr><td>普通タイプ</td><td>約3日</td></tr><tr><td>早強タイプ</td><td>約1日</td></tr><tr><td>超速硬タイプ</td><td>約3時間</td></tr></table> (5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。 締固め度 標準仕様書 22.4.2(2)による 舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22.4.2(3)による 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度	項目	基準値	密度 (g/cm3)	1.90 以上	安定度 (kN)	2.94 以上	フロー値 (1/100cm)	20～40	空隙率 (%)	20～28	突固め回数 (回)	50	セメントミルクの種類	養生期間	普通タイプ	約3日	早強タイプ	約1日	超速硬タイプ	約3時間
項目	基準値																					
密度 (g/cm3)	1.90 以上																					
安定度 (kN)	2.94 以上																					
フロー値 (1/100cm)	20～40																					
空隙率 (%)	20～28																					
突固め回数 (回)	50																					
セメントミルクの種類	養生期間																					
普通タイプ	約3日																					
早強タイプ	約1日																					
超速硬タイプ	約3時間																					
8	弾性舗装	(22.4.2～22.4.6) (表 22.4.2～22.4.6) 弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ ※図示による <table><tr><th>区分</th><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>表層</td><td>弾性舗装材</td><td>15～20</td></tr><tr><td>基層</td><td>再生密粒度アスファルト混合物(13)</td><td>30</td></tr></table> 加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による	区分	種類	厚さ(mm)	表層	弾性舗装材	15～20	基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30											
区分	種類	厚さ(mm)																				
表層	弾性舗装材	15～20																				
基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30																				
9	ブロック系舗装	(22.8.2) (22.8.3) ・コンクリート平板舗装 <table><tr><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr><tr><td>・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)</td><td>・300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>※砂 ・モルタル</td><td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td></tr></table> クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 普通平板は再生材料を用いた舗装用ブロック、透水平板は透水性コンクリートとする。 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し										
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																		
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																		

章	項 目	特 記 事 項																																																	
		◎インターロッキングブロック舗装 <table><tr><th>種類</th><th>部位</th><th>厚さ (mm)</th><th>形状 寸法</th><th>横断面 勾配(%)</th><th>曲げ強度 (N/mm²)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>車路 ・駐車場</td><td>80</td><td>・図示による ・</td><td>2</td><td>5.0 以上</td><td>表面 加工</td></tr><tr><td>※普通ブロック(N) ◎透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)</td><td>歩行者用 通路</td><td>60</td><td>・図示による ・</td><td>1.5～2</td><td>3.0 以上</td><td></td></tr></table> クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 普通ブロックは再生材料を用いた舗装用ブロック、透水性ブロックは透水性コンクリートとする。 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm 以内とする。 ・ <table><tr><th>区分</th><th>部位</th><th>厚さ (mm)</th><th>種類</th></tr><tr><td rowspan="2">敷砂層</td><td>・ 車路、駐車場</td><td>20</td><td rowspan="2">砂</td></tr><tr><td>◎歩行者用通路</td><td>30</td></tr><tr><td>フィルター層</td><td></td><td>100</td><td>川砂、海砂又は良質な山砂 (75μm ふるい通過量 6%以下)</td></tr></table> ・不織布（ジオテキスタイル） 敷設位置 ※図示による ・敷砂層と路盤の間に敷設 ・フィルター層と路床の間に敷設 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ (mm) ・0.5～1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻¹cm/sec 以上 舗装の割付（車路、駐車場） ・ヘリンボンボンド（45°） ・ヘリンボンボンド（90°） 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm 以内とする。 ・ ・舗石舗装（歩行者用通路） <table><tr><th>種類</th><th>形状・寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>張り方</th><th>基層</th><th>基層の 厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">・花こう岩 ・</td><td rowspan="2">・割石 ・図示による ・</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">・うろこ張り ・</td><td>・コンクリート版</td><td>※70</td></tr><tr><td>・アスファルト混合物</td><td>※50</td></tr></table> クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm 以内とする。 ・	種類	部位	厚さ (mm)	形状 寸法	横断面 勾配(%)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路 ・駐車場	80	・図示による ・	2	5.0 以上	表面 加工	※普通ブロック(N) ◎透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用 通路	60	・図示による ・	1.5～2	3.0 以上		区分	部位	厚さ (mm)	種類	敷砂層	・ 車路、駐車場	20	砂	◎歩行者用通路	30	フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂 (75μm ふるい通過量 6%以下)	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の 厚さ (mm)	・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・		・うろこ張り ・	・コンクリート版	※70	・アスファルト混合物	※50
種類	部位	厚さ (mm)	形状 寸法	横断面 勾配(%)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																													
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路 ・駐車場	80	・図示による ・	2	5.0 以上	表面 加工																																													
※普通ブロック(N) ◎透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用 通路	60	・図示による ・	1.5～2	3.0 以上																																														
区分	部位	厚さ (mm)	種類																																																
敷砂層	・ 車路、駐車場	20	砂																																																
	◎歩行者用通路	30																																																	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂 (75μm ふるい通過量 6%以下)																																																
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の 厚さ (mm)																																														
・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・		・うろこ張り ・	・コンクリート版	※70																																														
				・アスファルト混合物	※50																																														
10	砂利敷き	(22.9.2) 種別 ・A種（施工範囲：・図示による ・通路 ・） ・B種（施工範囲：・図示による ・建物周囲他 ・）																																																	
11	路面標示用塗料	路面標示用塗料は JIS K 5665 による <table><tr><th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅 (mm)</th><th>塗布厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 1 種</td><td>常温</td><td rowspan="2">液状</td><td>・ 白</td><td>・ 150</td><td>・ 1.0</td></tr><tr><td>・ 2 種</td><td>加熱</td><td>・</td><td>・ 100</td><td>・</td></tr><tr><td>※3種1号</td><td>溶融</td><td>粉体状</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・ 1 種	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0	・ 2 種	加熱	・	・ 100	・	※3種1号	溶融	粉体状																													
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																														
・ 1 種	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0																																														
・ 2 種	加熱		・	・ 100	・																																														
※3種1号	溶融	粉体状																																																	

章	項 目	特 記 事 項				
23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	(23. 1. 3) 土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う ・ 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ・ 行わない				
	2 植栽基盤の整備	(23. 2. 2) (23. 2. 4) 樹木の植栽基盤の整備 ・ 適用する ・ 適用しない				
		植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材
		・ 樹木	※A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種	樹高 12m 以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m 以上～12m 未満 (※80 ・ 100) 樹高 3m 以上～7m 未満 (※60 ・ 80) 樹高 3m 未満 (※50 ・ 60)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示による ・	・ 適用する ・ 適用しない
		※芝、地被類	※B 種 ・	※20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない
	植栽基盤の排水整備 ・ 設ける (※図示による ・) ・ 設けない					
	3 植込み用土	(23. 2. 3) ・ 現場発生土の良質土 ・ 客土				
	4 土壌改良材	(23. 2. 3) 種別及び指定量等 ・ バーク堆肥 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積 1 m ² あたり (・ 50L ・) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積 1 m ² あたり (・ 10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第 1 の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする				
	5 樹木	(23. 3. 2) 樹種、寸法、株立数等 ※図示による ・				
	6 支柱	(23. 3. 2) (23. 3. 3) 支柱材 ※丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・ 図示による ・				
7 幹巻き用材料	(23. 3. 2) 材料 ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも					
8 芝	(23. 4. 2) (23. 4. 3) 種類 ※コウライシバ ・ ノシバ ・ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・ ベタ張り 法面 ※ベタ張り ・ 目地張り					

章	項 目	特 記 事 項												
	9 吹付けは種	(23. 4. 2) <table><tr><th>種子の種類</th><th>発芽率</th><th>種子の量 (g/m²)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※洋芝類（採取後 2 年以内）</td><td>※発芽率 80%以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	※洋芝類（採取後 2 年以内）	※発芽率 80%以上			・			
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考											
※洋芝類（採取後 2 年以内）	※発芽率 80%以上													
・														
	10 地被類	(23. 4. 2) <table><tr><th>樹種</th><th>コンテナ径</th><th>単位面積当たりのコンテナ数</th><th>芽立数</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・				・			
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数											
・														
・														
	11 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置	(23. 3. 4) (23. 3. 6) (23. 4. 7) (23. 5. 5) 新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間 ※引渡しの日から 1 年 ・無し ・ 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から 1 年 ・無し ・												
	12 屋上緑化	(23. 5. 2～23. 5. 4) 植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 ・ 排水層 ・軽量骨材（層の厚さ： ） ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人口軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※図示による ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による ・ (品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表による) 支柱 ・設置する ・設置しない 形式 ・図示による ・ かん水装置 ・設置する ・設置しない 種類 ・図示による ・ 工法 「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成 12 年 5 月 31 日 建設省告示第 1458 号）に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による ・												
24 その他	1 軽微な変更の対応（あらかじめ検討）	施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、あらかじめの検討を行っている部分 （本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない。） ◎杭の芯ずれを考慮した検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ・杭の長さの変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ◎梁貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示												

メーカーリスト

コンクリートブロック 及びALCパネル・ 押出成形セメント 板工事	◎ALC 板 ◎押出成形セメント板	クリオン、住友金属鉱山シボレックス、旭化成建材 ノザワ、アイカテック建材
防水工事	◎アスファルト防水 ◎改質アスファルトシ ート防水 ◎シーリング	田島ルーフィング、日新工業、ダイフレックス 三晃金属工業、元旦ビューティ工業 サンスター技研、横浜ゴム、信越化学、セメダイン
タイル工事	◎タイル	LIXIL、名古屋モザイク、DANTO
木工事	◎木材	帝国器材同等
屋根工事	◎金属屋根	三晃金属工業、元旦ビューティ工業
金属工事	◎ルーフトレイン ◎製作金物 ◎軽量鉄骨下地 ◎アルミルーバー ◎ウッドデッキ ◎移動間仕切り	第一機材、福西鋳物、カネソウ 角藤、株式会社雅 桐井製作所、オクジュ LIXIL、理研軽金属、ABC 商会、ツヅキ ハンディテクノ、YKK AP、LIXIL、三協アルミ コマニー、小松ウオール
建具工事	◎鋼製建具 ◎アルミ製建具 ◎木製建具 ◎シャッター ◎軽量鋼製建具 ◎錠前 ◎クローザー ◎自動扉開閉装置 ◎ガラス ◎トイレブース	三和シャッター、文化シャッター LIXIL、三協アルミ、YKK-AP 帝国器材同等 三和タジマ、文化シャッター、ナブコシステム、ヤマキ工業 三和シャッター、文化シャッター、LIXIL 鈴木シャッター 小松ウオール、コマニー 美和ロック、シブタニ、ゴール、日本カバ 日本ドアチェック、リョービ ナブコシステム、寺岡オートドア、日本自動ドア AGC グラスプロダクツ、日本板硝子、セントラル硝子 コマニー、小松ウオール、三和シャッター
塗装工事	◎塗装 ◎防水形複層塗材 E	日本ペイント、関西ペイント エスケー化研同等
内装工事	◎アリーナ床材 ◎ビジュアルサイン ◎消火器ボックス ◎鋼製ユニット床組 ◎OA フロア ◎ロールスクリーン ◎家具・備品 ◎体育器具 ◎吸音パネル ◎観覧席 ◎昇降ボタン ◎厨房 ◎エントランスホール 天井吊り布材	クリヤマ同等 東京黒板、青井黒板、日本サイン、コトブキ ユニオン、杉田エース、ナカ工業 染野製作所、桐井製作所、三洋工業、フクビ化学 共同カイトック同等 ニチペイ、タチカワブラインド イトーキ、コクヨ、内田洋行、愛知 セノー同等 旭ビルト工業、コンフォートテック、マグイゾベール コトブキシーティング同等 サンセイ、白川舞台 日本調理機同等 サカセアドテック同等
エレベータ工事	◎エレベータ	日立エレベータ、三菱エレベーター、フジテック
その他	◎メールボックス ・防水板	田島メタルワークス、ナスタ、リントツ 三和シャッター、文化シャッター、LIXIL

特 記 仕 様 書（電気設備工事）

I 工 事 概 要

1. 工事名 06 国補都構 常陸太田市新総合体育館新築工事
2. 工事場所 茨城県常陸太田市新宿町1番地
3. 敷地面積 97,418.50 m²
4. 工事範囲 図示のとおり
5. 建物概要

建物名称	新総合体育館		
構 造	SRC造 一部 S造	造	造
階 数	地上 2階	地上 階	地上 階
建築面積	6,525.22m ²	m ²	m ²
延べ面積	6,875.95m ²	m ²	m ²

6. 別途工事
 - ・ LAN 設備
 - ・ 機械警備設備（入退室管理設備含む）

II 電 気 設 備 工 事 仕 様

1. 共通事項

図面及び本特記仕様書のほか、以下を適用する。

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)

「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)

「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事)(令和4年版)」(以下「建築改修標準仕様書」という。)

及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下「標準図」という。)

2. 特記事項

(1) 項目は、番号に□の付いたものを適用する。

(2) 特記仕様で※印、・印の適用は、次による。

※印の付いたものを適用する。

・印の付いたものは適用しない。

(3) 特記仕様に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該表及び当該図を示す。

(4) 建築工事、機械設備工事は、別記各工事の特記仕様書による。

Ⅲ 特 記 仕 様

第 1 章 一 般 共 通 事 項

1. 技術者等

建設工事請負契約書及び茨城県建設工事施工適正化指針に基づき、適切な施工体制が行える現場代理人及び技術者(主任技術者・監理技術者・専門技術者)を配置する。

2. 施工従事者

施工にあたっては、必要な資格保有者を従事させる。

3. 工事実績情報(CORINS)の登録 ※ 適用する (付記事項参照)

4. 設計図書の優先順位 (1)現場説明に対する質問回答書 (2)現場説明書 (3)特記仕様書

(4)図面 (5)標準仕様書、改修標準仕様書及び標準図

5. 機材等

(1)使用する機材等は、標準仕様書、設備機材等評価名簿(最新版)((一社)公共建築協会)によるもの又はこれらと同等以上のものとし、監督員の承諾を受ける。

(2)使用する機材等は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ、石綿を含有しないものとする。

(3)「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたリサイクル建設資材は、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。

(4)「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成 12 年法律第 100 号)」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成 29 年 2 月 7 日閣議決定)」及び茨城県環境保全率先実行計画(県庁エコ・オフィスプラン)に基づき、県が定める「特定調達品目」の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。

(5)次に指定する機材は、設計図書に定めがない場合に適用する。

①厚鋼電線管は、付着量内外面 300g/m²以上の溶融亜鉛めっきを施したものを標準とする。

②ケーブルラックの仕上げは、付着量片面 350g/m²以上の溶融亜鉛めっきを施したものの又は同等以上の耐食性能を有する溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製を標準とする。

(6)上記の条件を満たすものが県産品で確保できる場合においては、優先使用に努めるものとする。
なお、県産品とは、「茨城県内で生産されたもの、又は加工し製品化されたもの」とする。

6. 機材等の試験

機材等の試験は、標準仕様書、JIS、JEC 及び JEM 等に基づいて行い、試験成績書を提示する。また、設計図書で定めた条件の証明ができない場合、監督員が必要と指示した場合などは試験を行い、監督員が試験に立ち会う。

7. 機材等の検査

機材等は種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、設計図書に適合し、一定以上の品質が確認できたものは、監督員の承諾を受けて検査を省略することができる。

8. 建設発生土の処理等

※ 構内適正処理 (※構内の指示する場所に敷き均し ・ 構内の指示する場所にたい積)

・ 構外搬出適正処理 (付記事項参照)

・ ストックヤードに搬出する場合は、付記事項参照。

9. 発生材の処理等

(1.3.9)

・ 発注者に引き渡しを要するもの()

※ 構外搬出とし、関係法令に準拠し適切に処理し、監督員に報告する。

- ・ 特別管理産業廃棄物(・PCB 機器)
- ※ 産業廃棄物を運搬する際は、車両の両側面に運搬車である旨の表示をし、関係書類を携帯すること。
- ※ 撤去した電気機器や照明器具の安定器は、PCB の含有量が基準値未満であるか、含まないことを確認のうえ、処理すること。なお、含有量が基準値以上である場合は、場内保管とする。
- ※ 再資源化等するもの ※電線、ケーブル ※配電盤類 ・その他()
- ・ 特定家庭用機器再商品化法(平成 10 年法律第 97 号)の対象となるもの()
- は、同法の定めに従って処理すること。

10. 監督員事務所 ※ 設けない ・ 設ける(種別: ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号)

11. 官公署その他への届出手続等 (1.1.3)

工事の着手、施工及び完成に当たり、関係官公署その他の関係機関及び電気主任技術者への協議や必要な届出手続等を遅滞なく行う。関係法令等に基づく官公署その他の関係機関の検査においては、その検査に必要な資機材、労務等を提供する。なお、本項に関して生じる経費等は、受注者の負担とする。

12. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建築物又は工事物件に限る使用权は発注者に委譲するものとする。

13. 提出書類

建設業法(昭和 24 年法律第 100 号)等で規定された関係書類のほか、次の書類を提出する。

適用	書類	備考
※	工事实績情報(CORINS)の登録内容確認書の写し(付記事項参照)	請負代金の額が 500 万円以上となる工事
※	火災保険等に加入したことを証明できる書類	
※	法定外労災保険証券等の写し	
※	建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書(原本)	請負代金の額が 500 万円以上となる工事
※	施工体系図、施工体制台帳、再下請負通知書、建設業許可証の写し、作業員名簿、施工従事者資格証(施工に必要なものに限る)・主任(監理)技術者の雇用契約を証する書面及び注文書・請書の写し	作業員名簿の様式は、茨城県建設工事施工適正化指針様式 2 又はそれに準拠するもの(個人情報 は黒塗りすること。)
※	施工計画書	請負代金の額が 500 万円未満の場合は監督員の指示による。
※	産業廃棄物処理関係書類(14 項参照)	
※	使用機材メーカー一覧表及び機器・材料納入仕様書承諾願	
※	機器の設計及び施工に対する計算書	耐震、風圧、電圧降下等
※	施工図承諾願	
※	石綿事前調査結果報告	請負代金の額が 100 万円以上となる工事
※	実施工程表(全体工程、月間工程及び 3 週工程)	監督員の指示により省略できる。
※	工事完成通知書及び支払用完成写真(A4 版カラー)	完成写真は黒板を写さない。
※	完成図書(14 項参照)	
・	管理機器一覧表(指定様式: エクセル形式のデータで提出)	様式は営繕課より提供する。
※	工事物件引渡書	
※	創意工夫・社会性等に関する実施状況(別紙-6)(付記事項参照)	様式は営繕課より提供する。

適用	書類	備考
※	完成書類等引継書(提出書類及び完成図書類を施設に提出する際に、施設の署名を得たもの)	
※	その他 監督員が必要と認め、指示した書類	

14. 完成図書類

※ CD-R 又は DVD-R 2 枚 (付記事項参照)

完成図面(JWW 形式 CAD データ、PDF 形式)、完成写真及び工事写真(JPEG 形式)を収録したものを 1 枚は施設担当者へ、もう 1 枚は監督員へ提出する。工事写真の撮影方法は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(平成 31 年版)による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成 30 年版」を参考とする。

※ 完成図

・ 白焼製本(A1) ・ 1 部 ・ 2 部

※ 白焼製本縮小版(A3)

(施設担当者へ提出) ※ 1 部 ・ 2 部 ・ 3 部 ・ 4 部

(監督員へ提出) ・ 1 部 ・ 2 部 ・ 3 部 ・ 4 部

※ 産業廃棄物処理関係書類

処理フロー図(種類、数量)、委託契約書の写し、許可証の写し、運搬車両一覧表及び車検証(使用車両のみ)、写真(積込、場外搬出時、処分場搬入時、荷下状況)、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写し、PCB 含有試験成績書等、古物商許可証の写し及び計量書(有価処分の場合)、再生資源利用(促進)計画書・実施書(付記事項参照。建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成・提出)

※ 完成図書 A4 ファイルに次の書類を綴じ、目次を付けること。

- (1) 官公署等届出書の写し
- (2) 機器完成図(品目は監督員の指示による)、検査合格証、取扱説明書
- (3) 機器の社内検査成績表
- (4) 現地試験成績表 (付表参照)
- (5) 測定機器の校正証明書の写し
- (6) 電気設備工事チェックリスト (一社)茨城県電設業協会
- (7) 瑕疵 2 年保証書(保証期間は工事目的物の引渡しの日から 2 年間とする。)

※ 保守点検に必要な工具、予備品および付属品

付表 現地試験成績表

電灯・動力設備工事	・ 電圧測定表(分電盤等)
	・ 絶縁抵抗測定表(②)
	・ 接地抵抗測定表
	・ 照度測定表(③)
	・ コンセント極性試験表 接地極又は端子付きのものは、接地の導通
	・ 相回転測定表
	・ シーケンス試験
	・ 機器締付けチェック表(①)
受変電設備工事	・ 耐電圧試験表
	・ 絶縁抵抗測定表(②)

受変電設備工事	・ 接地抵抗測定表
	・ 継電器特性試験表
	・ シーケンス試験
	・ 機器締付けチェック表(①)
発電設備工事	・ 発電設備試験表
	・ 騒音試験表
	・ 振動試験表
構内情報通信網設備工事	・ 構内情報通信網設備試験表
構内交換設備工事	・ 構内交換設備試験表
放送設備工事	・ 拡声設備試験表
テレビ共同受信設備工事	・ テレビ・ラジオ電界強度測定表
	・ 画質評価写真
自動火災報知設備工事	・ 消防設備試験表
自動閉鎖設備工事	・ 防火戸自動閉鎖試験表
その他	※ 監督員の指示

①：電気設備工事監理指針 第2編第2章第1節共通事項2.1.2及び資料5

②：試験電圧を記載すること。

③：平面図に測定場所・測定高さ・測定日時を記載すること。

15. 工事用電力・水・その他

工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は受注者の負担とする。

16. 他工事との取り扱い

- | | | |
|---|-------|------|
| (1) 鉄筋コンクリートの梁、床、壁貫通のスリーブ補強 | ○ 本工事 | ・ 別途 |
| (2) 埋込照明器具天井切り込み及び補強 | ・ 本工事 | ○ 別途 |
| (3) 開口部補強(分電盤、端子盤等) | ・ 本工事 | ○ 別途 |
| (4) 点検口 | ・ 本工事 | ○ 別途 |
| (5) 自動火災報知設備の総合盤箱体
(ただし、消火栓箱組み込みの場合) | ・ 本工事 | ○ 別途 |
| (6) 換気扇 | ・ 本工事 | ※ 別途 |
| (7) 防火シャッター自動閉鎖装置 | ○ 本工事 | ・ 別途 |
| (8) 防火扉自動閉鎖装置(レリーズ) | ○ 本工事 | ・ 別途 |
| (9) 電気室、発電機室等のピット | ・ 本工事 | ・ 別途 |
| (10) 足場 | ・ 本工事 | ○ 別途 |

17. 埋蔵文化財の調査

本工事場所は、文化財保護法(昭和25年法律第214号)に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内に位置する。

(1)掘削作業に際しては、工事立会、試掘確認調査等を要する。施工にあたっては、あらかじめ、工事日程、掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上、監督員、施設管理担当、県教育庁文化課担当と協議を行うこと。

(2)掘削作業に際しては、慎重に施工のこと。施工にあたり、文化財その他埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。

18. 石綿含有建材の調査

※ 石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令及び建築改修標準仕様書 1.5.1 に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

貸与資料（ ）

- ・ 分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、
トレモライト

分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	(JIS A 1481-3) (JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル

採取箇所

- ・ 図示による

※ 表示及び掲示

建築改修標準仕様書 9.1.2(6) により、必要な表示及び掲示を行うこと。

※ 官公庁への手続き

大気汚染防止法・労働安全衛生法等(昭和 47 年法律第 57 号)に基づき、必要な届出手続等を行うこと。その際、届出等内容について、あらかじめ監督員に報告すること。

※ 作業完了報告

特定粉じん排出等作業が完了した際は、大気汚染防止法に基づき、その結果を監督員に提出すること。

第2章 施 工 共 通 事 項

1. 配管の支持 (2. 2. 3) (2. 3. 3) (2. 4. 3)
配管の支持材は鋼製とし、スラブ等の構造体に取り付ける。配管の支持間隔は、金属管では 2m 以下、1 種金属線びのベースでは 1m 以下、合成樹脂管では 1.5m 以下とする。ただし、合成樹脂管をコンクリート埋設とする場合は 1m 以下とする。また、露出金属管配線で人が容易に触れるおそれのある場所は、支持金物に保護キャップを取り付ける。
2. 管の接続 (2. 2. 5)
管相互の接続は、カップリング又はねじなしカップリングを使用し、ねじ込み、突合せ及び締付けを行う。また、管とボックス、分電盤等との接続がねじ込みによらないものには内外面にロックナットを使用して接続部分を締付け、管端にはブッシングを設ける。
3. 金属管の接地 (2. 2. 5)
配管とボックス、配分電盤の間にボンディングを施し、電氣的に接続する。ただし、ねじ込み接続となる箇所及びねじなし丸形露出ボックス、ねじなし露出スイッチボックス等に接続される箇所は省略することができる。ボンディング線の太さは、配線用遮断器定格電流 100A 以下は 2.0 mm 以上、225A 以下は 5.5mm² 以上、600A 以下は 14mm² 以上とする。
4. 他配管との離隔
金属管、ダクト、ケーブルは水管、ガス管と接触しないように施設する。
5. 空配管
分電盤及び端子盤から天井裏まで空配管 25mm 相当を 2 本立ち上げる。
6. 呼び線（導入線）
長さ 1m 以上の入線しない電線管には電線太さ 1.2mm 以上の被覆鉄線を挿入する。
7. 配管の養生及び清掃 (2. 2. 6)
管に水気、じんあい等が侵入しがたいようにし、コンクリート埋込となる場合は、管端にパイプキャップ、キャップ付きブッシング等を用いて養生する。
管及びボックスは、据付後速やかに清掃する。また、コンクリートに埋設した場合は、型枠取外し後、速やかに管路の清掃、導通確認を行う。
8. プレート
※新金属 ・ステンレス製 ・樹脂製
9. コンセント
コンセントは盤名、回路番号を表示する。専用コンセントの場合は電圧も表示する。
10. 配管の塗装
金属管露出配管は素地ごしらえ後に指定色塗装とする。（塗装工程を撮影すること。）
合成樹脂調合ペイント (JIS K 5516 合成樹脂調合ペイント) 2 回 (上塗り)
※屋内の施工に使用する塗料は、ホルムアルデヒド等放散量区分 F☆☆☆☆品とする。
※鉛等の環境汚染物質を含まないものとする。
11. ケーブルのふ設 (2. 10. 4)
(1) ケーブルラック配線
水平部では 3m 以下、垂直部では 1.5m 以下の間隔ごとに固定する。ただし、トレー形ケーブルラック水平部の配線及び二重天井内におけるケーブルラック水平部の配線はこの限りでない。
電力ケーブルは積み重ねを行ってはならない。ただし、単心ケーブルの俵積み、分電盤 2 次側のケーブル及び積み重ねるケーブルの許容電流について必要な補正を行い、配線の太さに影響がない場合はこの限りでない。

(2) 保護管(金属線ぴを含む)へのふ設

垂直にふ設する管路内のケーブルは、支持間隔を 6m 以下として固定する。

(3) 金属トラフへのふ設

ケーブルは、整然と並べ、垂直部では 1.5m 以下の間隔ごとにケーブル支持物に固定する。

電力ケーブルは、積み重ねを行ってはならない。ただし、単心ケーブルの俵積み、分電盤 2 次側のケーブル及び積み重ねるケーブルの許容電流について必要な補正を行い、配線の太さに影響がない場合はこの限りでない。

(4) ちょう架配線

径間は、15m 以下とする。

ちょう架は、ケーブルに適合するハンガ、バインド線、金属テープ等によりちょう架し、支持間隔は 0.5m 以下とする。

(5) 二重天井内配線

ケーブルを支持してふ設する場合は、支持間隔を 2m 以下とする。

ケーブルを集合して束ねる場合は、許容電流について必要な補正を行い、配線の太さに影響を与えない範囲で束ねる。

ケーブルを支持せずにくろがし配線とする場合は、天井下地材及び天井材に過度の荷重をかけないものとし、ケーブルの被覆を天井下地材、天井材等で損傷しないように、整然とふ設する。

また、弱電流電線並びに水管、ガス管及びダクト等と接触しないようにふ設する。

(6) 二重床内配線

くろがし配線とする。

ケーブルの接続場所は、上部の二重床が開閉可能な場所とし、床上から接続場所が確認できるようマーキングを施す。

弱電流電線と接触しないようセパレータ等で処置を施す。

(7) 垂直ケーブル配線

つり方式は、プーリングアイ方式又はワイヤグリップ方式とする。

ケーブル及びその支持部分の安全率は、4 以上とする。

各階ごとに振止め支持を施す。

ワイヤグリップ方式の支持間隔は、6m 以下とする。

(8) 造営材沿い配線

ケーブルを造営材に沿わせてふ設する場合の支持間隔は、下表のとおりとし、ケーブル支持材は、ケーブル及びそのふ設場所に適合するサドル、ステーブル等を使用する。

ふ設区分	支持間隔(m)
造営材の側面又は下面において水平方向にふ設するもの	1 以下
人が触れるおそれがあるもの	1 以下
その他の場所	2 以下
ケーブル相互並びにケーブルとボックス及び器具との接続箇所	接続箇所から 0.3 以下

12. 電線・ケーブルの余長 (2. 12. 5)

高圧・低圧及び弱電配線は、要所、引込口及び引出口近くのマンホール、ハンドホール内で 1 ターン程度の余裕をもたせる。

13. ケーブルラックのふ設 (2. 10. 1)

ケーブルラックの水平支持間隔は、鋼製では 2m 以下、その他については 1.5m 以下とする。

天井又はスラブより支持をとる場合は、耐震用振止めも併用する。使用電圧が 300V 以下の場合は D 種、300V を超える場合は C 種接地を施す。ケーブルラックの接合部はボンディングを行うこと。

ノンボンド工法を採用する場合は、証明シールを貼り付ける。全ネジボルト、ダクター等の支持材を切断して使用する場合は、保護キャップ又は錆止め塗装(ローバル等)を塗布する。

14. 標識シート(埋設シート) (2. 12. 4)

地中配線(高圧・低圧・弱電)には折り込み式の標識シートを地表面下 0. 3m~0. 5m に種別毎に 2 条並行して埋設する。また、おおむね 2m の間隔で用途を表示する。(材質：高密度ポリエチレン平織、文字付)

15. 回路種別の表示 (2. 2. 10) (2. 7. 5)

キュービクル式配電盤内、開放型電気室内、ハンドホール内及び設計図書により指定した箇所の表示札はプレートに彫刻し、墨入れ表示とする。また、盤内の外部配線、プルボックス、ハンドホール内、EPS、点検口、ダクト内分岐箇所付近、その他要所の配線には、合成樹脂製、ファイバ製等の表示札(施工者名、回路の種別、電線種類、サイズ、行先、施工年月)を取り付ける。

・表示札の標記例

回路種別	電灯
配線	EM-CET○○sq
発着	キュービクル 電灯盤 No. 1
施工者	1L-1
施工年月	○○(株)
	令和○年○月

回路種別の例

電灯、動力、電話、火報、放送等

施工年月は完成年月とする。

16. ハンドホール (2. 12. 3) (2. 12. 4)

建物、配電盤及びボックス類側の通線部にはネオシールを充填し、湿気の浸入を防ぐ。また、保守点検に必要な工具類としてハンドホールキーを 1 組納品する。

17. 貫通部の通線等

配管、配線、ケーブルラック及びダクト類が壁、床等を貫通する箇所は、開口部にネオシールを隙間なく充填する。なお、防火区画を貫通する場合は 27 項を適用する。

18. 電線の色別 (2. 1. 3)

ビニル電線は、原則として下表により色別する。ただし、これにより難しい場合は端部を色別する。なお、接地線は緑又は緑／色帯、漏電遮断器用接地線は緑／黄とし、盤内の接地線はキャップ、テープ等を取付けること。

電気方式	赤	白	黒	青
三相 3 線式	第 1 相	接地側 第 2 相	非接地 第 2 相	第 3 相
三相 4 線式	第 1 相	中性相	第 2 相	第 3 相
単相 2 線式	第 1 相	接地側 第 2 相	非接地 第 2 相	—
単相 3 線式	第 1 相	中性相	第 2 相	—
直流 2 線式	正極	—		負極

19. 絶縁抵抗 (2. 18. 2)

低圧配線の絶縁抵抗は、下表により測定し、開閉器等で区切ることのできる回路ごとに 5MΩ 以上、機器が接続された状態で 1MΩ 以上とする。ただし、EM-UTP ケーブル、電子機器等の損傷が予想される場合は除く。

電路の使用電圧	定格測定電圧	
	一般の場合	制御機器等が接続されている場合
25V / 50V 級	25V / 50V	
100V 級	500V	125V
200V 級		250V
400V 級		500V

※推奨値がある場合は、それを優先とする。

20. 接地工事 (2. 13. 10) (2. 13. 11)

接地極の上端は、地表面下 0.75m 以上の深さに埋設する。接地線は、地表面下 0.75m から地表上 2.5m までの部分を硬質ビニル管で保護する。(C 種・D 種接地線は金属管を用いることができる。) なお、銅板及び銅棒は地面に対し垂直方向に埋設すること。

21. 接地抵抗測定用補助極

接地抵抗測定用補助極を 10m の間隔を空け直線上に設置し、接地端子盤又は端子台に測定用端子を設ける。補助極の埋設部には、コンクリート製又は鉄製埋設標を設置する。

22. 各接地と雷保護設備、避雷器の接地との離隔 (2. 13. 13)

接地極及びその裸導線の地中部分は、雷保護設備、避雷器の接地極及びその裸導線の地中部分から 2m 以上離す。

23. 接地極埋設標 (2. 13. 14)

接地極の埋設部には、コンクリート製又は鉄製埋設標を設置する。A 種、B 種及び C 種接地極の埋設位置の近くには、接地極埋設標(黄銅板製厚さ 1.0mm 以上、140mm×90mm 以上、文字はエッチング又は打刻)を設け埋設位置、深さ、埋設年月、接地種別、接地抵抗値を刻記する。

24. 接地抵抗値

A 種、B 種及び C 種は電気設備技術基準の解釈第 17 条に従う。D 種接地抵抗値は 50Ω 以下とする。

25. 接地極

A 種、B 種及び C 種は銅板(900mm×900mm×1.5mm 厚)及び補助棒は 14φ×1,500mm を 2 本以上とし、それぞれ規定値以下とする。D 種は 14φ×1,500mm で 2 連結以上とする。

26. 盤類 (1. 7. 3) (1. 1. 3)

(1) 分電盤、制御盤、端子盤、キュービクル式配電盤等の標準厚さは、下表に示す値以上とする。
また、各部は必要に応じて補強を施す。

盤の種類	設置場所	標準厚さ (mm)	
		鋼板製	ステンレス製
分電盤、制御盤、端子盤等	屋内、屋外	1.6	1.2
キュービクル式配電盤等	屋内	1.6	1.5
	屋外	2.3	2.0

(2) 塗装について、下地処理(りん酸塩処理)を行ったのち、下塗りは電着塗装(SUS 製の場合は不要)、仕上げは指定色(参考 屋内: 2.5Y9/1、屋外: 5Y7/1、半艶)焼付塗装とする。

(3) 製造者、製造年月、受注者名、受注者電話番号を表示した銘板を取り付ける。

(4) 盤内でケーブルの固定等に利用する結束バンド等は、耐候性のあるものを使用する。

(5) 盤の扉の鍵はタキゲン製造(株)製 No. 200 で開錠可能なものとする。

27. 防火区画等の貫通 (2. 1. 10)

ケーブル、ケーブルラック及びダクトが防火区画を貫通する場合は、関係法令に適合したもので、

貫通部に適合する材料及び工法とする。防火区画貫通の耐火処理工法については、耐火性能を証明するものを監督員に提出する。なお、施工場所の近傍には、必要事項を記載した表示を設けること。

28. プルボックス

(1.2.6)

屋外は、防水型ステンレス又はステンレス指定色メラミン焼付塗装を原則とする。また、隠ぺい部のふたの止めねじは、ちょうねじとする。屋外取付の際は、設置面周辺に防水コーキングを施すこと。

29. 機器取付高さ

機器の取付高さは、図面に記載のない場合は次の表による。

	名 称	レベル	取付高さ (mm)
電 灯	分電盤	床上～中心	1,500
	スイッチ(一般)	床上～中心	1,300
	スイッチ(多機能トイレ)	床上～中心	1,100
	コンセント(一般)	床上～中心	300
	コンセント(和室)	床上～中心	150
	コンセント(台上)	台上～中心	150
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100
	ブラケット(踊場)	床上～中心	2,500
	ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心	150
	避難口誘導灯(壁付・壁掛)	床上～下端	1,500以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動 力	制御盤	床上～中心	1,500
	手元開閉器	床上～中心	1,500
	操作釦	床上～中心	1,300
電 話	端子盤	床上～下端	500
	保安器箱	床上～下端	500
	ボックス(一般)	床上～中心	300
	ボックス(和室)	床上～中心	150
	MDF	床上～上端	500
火 災 報 知	火報受信機(複合盤)、副受信機	床上～操作部	800～1,500
	機器収納盤	床上～操作部	800～1,500
	発信機	床上～操作部	800～1,500
	警報ベル	天井～操作部	(天井高×0.9)
	表示灯	天井～操作部	(天井高×0.8)
そ の 他	呼出ボタン(多機能トイレ)	床上～中心	900, (400)
	復帰ボタン(多機能トイレ)	床上～中心	1,300
	廊下表示灯(多機能トイレ)	床上～中心	2,000

注1)ユニバーサルデザインを適用する場合は「茨城県ひとにやさしいまちづくり条例施設整備マニュアル」を参考とする。

注2)(天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて、機器の使用に支障が生じる場合は監督員と協議すること。

注3)呼出ボタン(多機能トイレ)の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

30. 配管等の耐震施工 (2.1.13)

横引き配管等は、地震力に耐えるよう下表により標準図(電力30)のS_A種、A種又はB種耐震支持を行う。鉛直震度は水平震度の1/2とし同時に働くものとする。ただし、建築の構造体が免震構造、制震構造等である場合は、構造体の特性を考慮し下表の内容を準用する。

なお、呼び径が82mm以下の単独配管、周長800mm以下の金属ダクト、幅400mm未満のケーブルラック、幅400mm以下の集合配管、定格電流600A以下のバスダクト及びつり材の長さが平均0.2m以下の配管等の場合は、耐震支持を省略できる。

設置場所	耐震安全性の分類					
	※特定の施設			・一般の施設		
	水 平 震 度	適用		水 平 震 度	適用	
		電気配線(金属管・金属ダクト・バスダクトなど)	ケーブルラック		電気配線(金属管・金属ダクト・バスダクトなど)	ケーブルラック
上層階 屋上及び塔屋	2.0	12m以内ごとにS _A 種耐震支持	6m以内ごとにS _A 種耐震支持	1.5	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種又はB種耐震支持
中間階	1.5	12m以内ごとにA種耐震支持	8m以内ごとにA種耐震支持	1.0	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持	12m以内ごとにA種又はB種耐震支持
1階及び地下階	1.0			0.6		

注)(1)設置場所の区分は配管等を支持する床部分により適用し、天井面より支持する配管等は直上階を適用する。

(2)上層階は、2から6階建の場合は最上階、7から9階建の場合は上層2階、10から12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

(3)中間階は、1階及び地下階を除く各階で上層階に該当しない階とする。

31. 機器等の耐震施工

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説(平成8年版)」(建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

(1) 設計用水平地震力

機器の重量【kN】に、設計用水平震度を乗じたものとする。なお、設計用水平震度は下表による。

設置場所	耐 震 安 全 性 の 分 類			
	※特定の施設		・ 一般の施設	
	※重要機器	※一般機器	・ 重要機器	・ 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
地下階、1 階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注) () 内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。

重要機器 ○ 配電盤等 ○ 発電装置 ・ 交流無停電電源装置 ○ 直流電源装置
 ○ 自動火災報知受信機 ○ 構内交換装置 ・ 中央監視制御装置

水槽類の設計用水平震度

設置場所	耐 震 安 全 性 の 分 類			
	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
	・ 重要水槽	・ 一般水槽	・ 重要水槽	・ 一般水槽
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
地下階、1 階	1.5	1.0	1.0	0.6

注) 重要水槽とは重要機器として扱う水槽類、一般水槽とは一般機器として扱う水槽類を示す。

また、水槽類にはオイルタンク等を含む。

(2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の 1/2 とし、設備機器の重心に水平地震力と同時に働くものとする。

32. 施工調査

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、全箇所を事前に走査式埋設物調査又はレントゲン撮影を行い、監督員に報告を行うこと。

33. 既存躯体への穿孔

穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。

34. 埋込アンカー、あと施工アンカー

- (1) 基礎を新設し、かつ機器単体で 100kg を超える場合は、埋込アンカーを使用して固定すること。現場条件により埋込アンカーを使用できない場合は監督員と協議し、機器固定方法を決定する。
- (2) 配管、ダクト、機器等の天井吊り下げ用アンカーには、接着系アンカーを使用しないこと。
- (3) あと施工アンカーの施工に際しては、品質管理上、施工についての指導を行う施工技術管理者の配置や、十分な経験と技能を有する技能者により施工を行うこと。

第3章 電 気 方 式

1. 高圧

※ 三相3線式 6,600V 50Hz

2. 低圧

※ 单相3線式 100/200V 50Hz
・ 单相2線式 ※ 100V ※ 200V 50Hz
※ 三相3線式 ※ 200V ・ 415V 50Hz
・ 三相4線式 240/415V 50Hz
・ 直流2線式 ・ 100V

第4章 電 灯 設 備

1. 照明器具

※ LED照明器具 ・ 蛍光灯器具

2. 連結器具

照明器具2連結以上の電線接続はEM-EEFケーブル3心を使用し、1線は接地線とする。

3. 照明器具取付

(2.14.3)

原則として照明器具（器具質量3kg以下のダウンライト形器具を除く）は、スラブその他構造体に呼び径9mm以上のつりボルト2本以上で堅固に支持する。ただし、天井下地材より支持する照明器具は脱落防止の措置を施す。また、耐震上必要な場合は、ねじ、ワイヤ等により振れ止めを施す。

4. 照明器具の接地

(2.13.7)

照明器具の金属製部分及びLED制御装置を別置とする場合の金属製外箱には、D種接地工事を施す。ただし、次の場合は、接地工事を省略することができる。

- (1) 器具が二重絶縁構造の場合、直流300V以下又は対地電圧が交流150V以下の器具を乾燥した場所に施設する場合、又は器具外郭が合成樹脂等耐水性のある絶縁物製のものである場合。
- (2) LED制御装置を別置とする場合において、器具と制御装置の間の回路の対地電圧が150V以下のものを乾燥した場所に施設する場合、又は簡易接触防護措置を施し、かつ器具と制御装置の外箱の金属製部分が、金属製の造営材と電気的に接続しないように施設する場合。

第5章 動 力 設 備

1. 漏電遮断器

電動機の定格電流が50A以下は定格感度電流30mA以下、動作時間は0.1秒以内とする。50Aを超えるものは定格感度電流100mA～200mA、動作時間は0.1秒以内とする。（動力について、15kW以上は定格感度電流100mA～200mAとする。）

2. 電流計

電動機用は、延長目盛電流計とし、赤指針付きとする。

第6章 受 変 電 設 備

1. 形 式
- ・ 開放形
 - ・ 屋内キュービクル式
 - ※ 屋外キュービクル式
- キュービクル式の場合
- ※ 高圧部が露出する部分は、透明保護カバーを設ける。
 - ※ 盤内には、内部照明(LED)を盤ごとに設け、点灯・消灯はドアの開閉による。
 - ※ 点検用のコンセントは、同一列盤で1箇所以上設ける。
2. 交流遮断器
- ※ 真空遮断器(12.5kA)
 - ・ ガス遮断器
3. 断路器
- ※ 三極単投断路器(避雷器用は除く。)
 - ・ 単極断路器
4. 高圧負荷開閉器
- ※ 手動操作式
 - ・ 遠方手動操作式
 - ・ 電動操作式
- 相間及び側面に絶縁バリアを設ける。
5. 高圧引込開閉器
- ※ 過電流蓄勢トリップ付地絡トリップ形で制御電源用変圧器を内蔵とする。
 - ※ 柱上用気中開閉器(VT、LA内蔵)
 - ・ 地中線用気中開閉器(VT内蔵)
 - ※ SOG制御箱の材質はSUS製とし、容易に点検ができる高さに、開閉ひもはGL+2,500mmの位置に取り付ける。
6. 変圧器
- ※ 連続定格自冷式 (※ 油入式
 - ・ モールド式
 - ・ H種乾式)
- 付属機器(※ ダイアル式温度計
- ※ 防振ゴム)
 - ・ 振止め
- ※見やすい位置にタップ値を明示する(設定値、年月日)。
- ※変圧器ごとに漏洩電流を容易に測定できるように接地線を配置すること。
7. 高圧進相コンデンサ
- ※ 油入式
 - ・ モールド式
8. 直列リアクトル
- ※ 油入式
 - ・ モールド式
 - ※ 6%
 - ・ 13%
9. 避雷器
- ※ 酸化亜鉛型
 - ・ 弁抵抗型
10. 計器類
- 高圧盤
- ※ 電圧計
 - ※ 電流計
 - ※ 力率計
 - ・ 電力計
- 低圧盤
- ※ 最大需要電流計(※2分デマンド・5分デマンド・10分デマンド)
 - ※ 電流計は多機能型デジタル(階級1.5級以上)とし、警報接点付、需要指示値、最大需要指示値の機能を有する。
 - ※ 計器類高さは中心でFL+1,600mm程度とする。
11. デマンド警報装置
- ※ 無線通信方式
 - ・ 有線通信方式
12. 標識・表示
- ※ 立入り禁止
 - ※ 高圧危険
 - ※ 主要機器銘板
13. 接地
- ※ 接地線は、漏洩電流を容易に測定できる位置に設置し、接地種別をプレートに彫刻し、墨入れ表示すること。
 - ※ 施工前に接地抵抗値を測定し、基準値未満であることを確認すること。

第7章 電 力 貯 蔵 設 備

第1節 直流電源装置

防災電源(消防法(昭和23年法律第186号)による非常電源、建築基準法(昭和25年法律第201号)による予備電源)となる直流電源装置は、消防法及び建築基準法に適合したもの又は、蓄電池設備認定委員会((一社)日本電気協会)の認定証票が貼付されたものとする。

1. 設置方式 ※ キャビネット式 ・ キャビネット式以外
2. 換気方式 ※ 自然換気 ・ 機械換気
3. 蓄電池

据置鉛蓄電池

(2.1.6)

	構 造	極板構造	シールの種類	適 用 規 格	
・	ベント形	クラッド式	—	JIS C 8704-1 据置鉛蓄電池	
・		ペースト式			
・	シール形	クラッド式	触媒栓式	JIS C 8704-2 制御弁式据置鉛蓄電池	
・		ペースト式			
・		ペースト式	制御弁式	JIS C 8704-2 制御弁式据置鉛蓄電池	MSE
○					長寿命MSE

注) 長寿命 MSE は JIS C 8704-2 によるほか、JIS C 8702-1 附属書 1(参考)「高温加速寿命試験」を行い、期待寿命を 13 年以上有するものとする。

また、蓄電池には更新推奨時期・期間を表示すること。

アルカリ蓄電池

	構 造	極板構造	シールの種類	適 用 規 格	
・	シール形	ポケット式	触媒栓式	JIS C 8706 据置ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池	
・		焼 結 式			
・		焼 結 式	陰極吸収式	JIS C 8709 シール形ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池	

注) 蓄電池には更新推奨時期・期間を表示すること。

第 2 節 交流無停電電源装置(UPS)

1. 設置方式 ※ キャビネット式 ・ キャビネット式以外
2. 換気方法 ・ 自然換気 ※ 機械換気
3. 蓄電池

「第 1 節 直流電源装置 3. 蓄電池」による他 簡易形は下表による。

呼称	適 用 規 格
蓄電池	JIS C 8702-1 小形制御弁式鉛蓄電池-第 1 部
	JIS C 8702-2 小形制御弁式鉛蓄電池-第 2 部
	JIS C 8702-3 小形制御弁式鉛蓄電池-第 3 部

注) 蓄電池には更新推奨時期・期間を表示すること。

4. 逆変換装置(インバータ) ・ トランジスタ式 ※ サイリスタ式
5. 回路方式 ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式
・ 常時商用給電方式

第8章 発 電 設 備

第1節 燃料系発電装置

- 1. 形 式 ※ キュービクル式 ・ 簡易形 ・ オープン式
- 2. 時間定格 ・ 連続 ※ 1時間 ・ 10時間 ○72時間
- 3. 原動機 ※ ディーゼル ・ ガスエンジン ・ ガスタービン
- 4. 始動方式 ・ 10秒以内電圧確立 ※ 40秒以内電圧確立
- 5. 冷却方式 ※ ラジエータ式 ・ 循環放流式 ・ 貯水槽循環方式
- 6. 始動方式 ※ 電気始動 ・ 空気始動
- 7. 直流電源装置 ※ 鉛蓄電池 ・ アルカリ蓄電池
- 8. 燃 料 ・ 灯油 ※ 軽油 ・ A重油
- 9. 認 定 ※ 消防法及び建築基準法に適合したもの又は、(社)日本内燃力発電設備協会認定票が貼付されたものとする。
- 10. 電 圧 ・ 高圧 ※ 低圧
- 11. 騒 音 ・ 超低騒音形 ※ 低騒音形 ・ 一般形
- 12. 保護形式 ※ 保護形とする。
- 13. 絶 縁 ・ 耐熱クラスは低圧においてはE以上、高圧においてはB以上とする。
- 14. 燃料小出槽 ※ 鋼板製、外面はさび止めペイント2回塗りのうえ調合ペイント2回塗りとする。
・ ステンレス製
- 15. 標識・表示 ※ 立入り禁止 ※ 発電設備 ・ 高圧危険 ※ 機器銘板
※ 内蔵蓄電池推奨更新時期・期間

第2節 太陽光発電装置

(1.7.2) (1.7.3)

太陽電池アレイ及び接続箱の据付けは、建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第87条又はJIS C8955「太陽電池アレイ用支持物の設計用果計算出方法」に定めるところによる風圧力に耐えるものとし、自重、積雪及び地震その他の振動及び衝撃に対して、耐える構造とする。

- 1. 太陽電池モジュール ・ シリコン系(○ 結晶型 ・ 薄膜型) ・ 化合物系
- 2. パワーコンディショナ 太陽電池出力の監視制御等により、全自動運転可能なものとする。
・ 逆潮流あり ○ 逆潮流なし
○ 単独運転検出機能あり ・ 単独運転検出機能なし
- 3. 系統連系保護装置 製造者標準とする。

第9章 通 信 ・ 情 報 設 備

第1節 構内情報通信網設備

- 1. 機材 電気通信回線設備に接続する端末機器は、電気通信事業法(昭和59年法律第86号)及び電波法(昭和25年法律第131号)に適合したものとする。
- 2. 配線等 盤内等において、通信・信号配線と交流電源配線は、セパレータ等を用いて直接接触しないようにする。

第2節 構内交換設備

1. 機材 電気通信回線設備に接続する端末機器は、電気通信事業法に適合したものとする。
2. 配線等 盤内等において、通信・信号配線と交流電源配線は、セパレータ等を用いて直接接
触しないようにする。
3. 局線応答方式
 - ※ ダイヤルイン方式 ・ ダイレクトインダイヤル方式
 - ・ ダイレクトインライン方式 ・ 中継台方式
4. 電話機等
 - ※一般電話機 ※多機能電話機 ・ IP電話機 ・ PHS
5. 蓄電池
 - ※更新推奨時期・期間を表示すること。

第3節 拡声設備

1. スピーカ 壁面付型は2点で強固に取付ける。
非常放送設備兼用スピーカは日本消防検定協会の認定に合格したものとする。
2. 配線等 非常放送設備用の配線は消防法等に適合したものとする。
盤内等において、通信・信号配線と交流電源配線は、セパレータ等を用いて直接接
触しないようにする。
3. 蓄電池
 - ※更新推奨時期・期間を表示すること。

第4節 テレビ共同受信設備

1. 機材 UHF・BS110°CCS アンテナ等は各地域の状況に合わせた機材を使用する。
2. 配線等 原則として、途中接続は行わないこと。
盤内等において、通信・信号配線と交流電源配線は、セパレータ等を用いて直接接
触しないようにする。

第5節 自動火災報知設備

1. 機材 受信機、中継器、発信機、感知器については日本消防検定協会又は登録検定機関の行う
検定に合格したものとする。
2. 配線等 消防法等に適合したものとする。
盤内等において、通信・信号配線と交流電源配線は、セパレータ等を用いて直接接
触しないようにする。
3. 蓄電池
 - ※更新推奨時期・期間を表示すること。

特 記 仕 様 書 （機械設備工事）

1. 工 事 名 06 国補都構 常陸太田市新総合体育館新築工事
2. 工事場所 茨城県常陸太田市新宿町1番地
3. 敷地面積 97,418.50 m²
4. 建設工事その他概要（建物名称、構造、階数、建築面積、延べ面積、各階床面積、等）
 - (1) 工事範囲 ・「(2) 建物概要」すべて ・「(2) 建物概要」のうち一部
 - (2) 建物概要

(全体)

建物名称	新総合体育館		
構 造	SRC造 一部 S造	造 一部 造	造 一部 造
階 数	地上2階 地下0階	地上 階 地下 階	地上 階 地下 階
建築面積	6,525.22 m ²	m ²	m ²
延べ面積	6,875.95 m ²	m ²	m ²

(建物毎の各階床面積 m²)

建物名称	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	計
新総合体育館	—	5,263.40	1,539.31				
屋外トイレ1	—						

5. 別途工事

◎外構工事

(H15. 6. 1 改定)	(H20. 6. 20 改定)	(H28. 4. 25 改定)	(H15. 9. 1 改定)
(H21. 6. 1 改定)	(H29. 4. 25 改定)	(H16. 6. 1 改定)	(H23. 6. 1 改定)
(H30. 4. 25 改定)	(H17. 5. 15 改定)	(H24. 6. 1 改定)	(H31. 4. 25 改定)
(H17. 10. 1 改定)	(H25. 5. 15 改定)	(R02. 4. 30 改定)	(H18. 5. 15 改定)
(H26. 5. 15 改定)	(R03. 4. 30 改定)	(H19. 7. 1 改定)	(H27. 5. 15 改定)
(R04. 5. 15 改定)	(R05. 5. 15 改定)		

Ⅱ 機械設備工事仕様

1 共通事項

(1) 図面及び本特記様書に記載されていない事項は、次による。

(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という。）

「公共建築改修工事標準仕様書」（機械設備工事編）（令和４年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）

「公共建築設備工事標準図」（機械設備工事編）（令和４年版）（以下、「標準図」という。）

「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編）（令和４年版）（以下、「建築改修標準仕様書」という。）

(2) 電気工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

2 特記事項

(1) 項目は、番号に□のついたものを適用する。

(2) 特記事項で※印、・印のある場合の適用は、下記による。

※印を適用する。

・印のついたものは適用しない。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該表及び当該図を示す。

3 耐震安全性の分類

(1) 建築設備： ・甲類 ※乙類

耐震安全性の分類は、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成 25 年 3 月 29 日付け国営計第 126 号、国営整第 198 号、国営設第 135 号）に準ずる。

Ⅲ 特記仕様

第 1 章 一般共通事項

1 技術者等

建設工事請負契約書及び茨城県建設工事施工適正化指針に基づき、現場代理人及び技術者（主任技術者・監理技術者・専門技術者）を配置する。

2 技能士の適用

(1.5.2)

本工事に次の当該技能士を適用する。（資格証の写しを提出する）

- ・ 配管（配管工事） ・ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け）
- ・ 冷凍空調和機器施工（チリングユニット、パッケージ型空調和機等の据付及び整備）

3 電気保安技術者

- ・ 配置する ・ 配置しない

(1.3.2)

4 工事実績情報の登録（付記事項参照）

5 設計図書の優先順序

- (1) 質問回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面
- (5) 標準仕様書、改修標準仕様書及び標準図

6 監督員事務所

- ※ 設けない ・ 設ける（種別 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号）

7 機器及び材料

- (1) 本工事に使用する機器及び材料（以下、「機材」という。）は、設計図書に規定するもの、標準仕様書、設備機材等評価名簿（最新版（一社）公共建築協会）によるもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。
- (2) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたリサイクル建設資材については、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。
- (3) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「令和3年度茨城県グリーン購入推進方針」に定める「特定調達品目」の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたリサイクル建設資材については、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。
- (4) (1)～(3)の条件を満たすものが、県産品で確保できる場合には、その優先使用に努めるものとする。
なお、県産材とは、「茨城県内で生産されたもの、又は加工し製品化されたもの」とする。

8 機材の検査等

検査及び試験を必要とする機材等は、標準仕様書によるほか次による。

- (1) 機材は種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、JISマーク等が表示された機材で所要の品質があることが確認でき設計図書に適合するものは、監督員の承諾を受けて検査を省略することができる。
- (2) 設計図書に定められた場合、又は試験によらなければ設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合には、試験を実施する。試験方法は、JIS、SHASE-S等に定めがある場合は、それらによる。試験完了後、試験成績表を監督員に提出する。監督員が必要と認める場合には、試験に立ち会う。

9 建設発生土の処理等

- ・ 構内適正処理（※ 構内の指示する場所に敷き均し ・ 構内の指示する場所にたい積）
- ・ 構外搬出適正処理（付記事項参照）
ストックヤードの名称：
住所：

10 発生材の処理等

(1.3.9)

- (1) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分、監督員に報告すること。
- (2) 発注者に引渡しを要するもの ※なし ・ あり（ ）
- (3) 特別管理産業廃棄物 ※なし ・ あり（ ）

11 冷媒の回収方法等

冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編第2章第4節により、次の書類を監督員に提出すること。

※ フロン回収行程管理票写し

※ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し

12 揮発性有機化合物を使用した材料の対応

- (1) 揮発性有機化合物（以下、「VOC」という。）対策については、極力含有量の少ない材料を使用することとする。
- (2) 屋内清掃を行うときは、VOCを含む材料を使用しないこと。やむを得ず使用するときは、監督員の承諾を得ること。
- (3) VOCを含む材料を使用して施工した場合は十分に換気すること。

13 石綿含有建材の調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令及び建築改修標準仕様書 1.5.1 に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

貸与資料（ ）

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	(JIS A 1481-3) (JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所 ・図示による

※ 表示及び掲示

建築改修標準仕様書 9.1.2(6)により、必要な表示及び掲示を行うこと。

※ 官公庁への手続き

大気汚染防止法・労働安全衛生法等(昭和47年法律第57号)に基づき、必要な届出手続等を行うこと。その際、届出等内容について、あらかじめ監督員に報告すること。

※ 作業完了報告

特定粉じん排出等作業が完了した際は、大気汚染防止法に基づき、その結果を監督員に提出すること。

14 埋蔵文化財の調査

本工事場所は、文化財保護法に基づく「周知の埋蔵文化財包蔵地内」に位置する。

- (1) 掘削作業に際しては、工事立会、試掘確認調査等を要する。施工にあたっては、あらかじめ、工事日程、掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上、監督員、施設管理担当、県教育庁文化課担当と協議を行うこと。
- (2) 掘削作業に際しては、慎重に施工のこと。施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。

15 工事用電力・用水・その他

本工事に必要な工事用電力、用水、その他の費用は全て受注者の負担とする。

16 官公署その他への届出手続等

(1.1.3)

- (1) 工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行うこと。
- (2) (1)に規定する届出手続等を行うに当たり、届出内容について、あらかじめ監督職員に報告すること。
- (3) 関係法令等に基づく官公署その他の関係機関の検査に必要な資機材、労務等を提供すること。

17 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

18 提出書類

提出書類は、次による。（※ 透明書類ケースに入れて提出する）

※ 写 真

適用	内 容	枚数	部数	備考
※	工事写真	適宜	1	電子納品
※	完成写真（支払用：外観及び内観）	各2枚以上	1	A4版

出来高検査、中間検査等に要する写真は、監督員の指示により提出する。

- ※ 工事実績情報の登録内容確認書（請負代金額 500 万円以上となる工事）
- ※ 火災保険等に参加したことを証明できる書類
- ※ 建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書（請負代金額が 500 万円以上となる工事）
- ※ 施工計画書（請負代金額が 500 万円以上となる工事）
- ※ 実施工程表（全体工程、月間工程、3 週工程）
- ※ 使用資機材メーカー一覧表
- ※ 機器・材料納入仕様書
- ※ 施工図
- ※ 施工体系図の写し（提出したものを工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲示すること）
- ※ 施工体制台帳の写し（提出したものを現場に備え置くこと）
- ※ 作業員名簿の写し
- ※ 試験成績表
- ※ 機器類保証書
- ※ 各種届出書類
- ※ 産業廃棄物処理関係書類
（処理フロー図（種類、数量）、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し、委託契約書の写し、許可証の写し、
運搬車両一覧表、写真（積込、場外搬出時、処分場搬入時、荷下状況）、古物商許可証の写し及び計量書（有価
処分の場合））
- ※ 再生資源利用（促進）計画書・実施書（建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成・提出）
- ※ 石綿事前調査結果報告書
- ※ 保守点検に必要な工具
- ※ 完成図
 - ※ A3 判白焼製本 2 部
 - ※ 完成図等データ（CD-R 又は DVD-R） 2 枚
完成図面（JWW 形式）、工事写真（JPEG 形式）を収録したもの
- ※ 維持保全に関する資料（完成図書） 1 部
 1. 使用資機材メーカー一覧表
 2. 官公署届出書類
 3. 機器完成図、検査合格証、取扱説明書
 4. 試験成績書
 5. 機器類保証書、工事保証書
 6. その他監督員が指示するもの
- ※ その他 監督員が必要と認め、指示した書類及び部数

第 2 章 共通工事

1 機器の規格

機器類の仕様は、図面による。

2 各種配管工事の試験

配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。試験方法及び試験圧力等は、標準仕様書によるものとし試験記録表を監督員に提出する。

③ 総合試運転調整等

- (1) 総合試運転調整に先立ち、調整方法、調整時期、日程、人員及び安全対策を含む総合試運転調整計画書を監督員に提出し、承諾を受ける。
- (2) 総合試運転調整に先立ち、各機器の個別運転調整を行う。
- (3) 各設備における装置全体が設計図書の意図した機能を満足させることを目的とし、各設備における装置全体の施工完了時に、設計図書に示された目標値等と照合しながら、各機器相互間の総合試運転調整を行う。総合試運転調整の項目は、標準仕様書等による。
- (4) 総合試運転調整完了後、機器等の運転状態の記録表及び系統ごとに各測定結果をまとめた測定報告書を監督員に提出する。測定報告書には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。

④ 容量の表示

- (1) 電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。ただし、防災機器は除く。
- (2) 冷・温熱源機器等及び防災機器の能力、容量は、その数値以上のものとする。

5 土工事

(4. 2. 1)

根切りは、周辺の土質などに適した工法とし、土砂が崩壊しないように関係法令に準拠し適切な法面をつけるか、山留めを設ける。(山留め箇所は、図示による。)

⑥ 管端防食継手

(2. 1. 2)

塩ビライニング鋼管、耐熱性ライニング鋼管及びポリ粉体鋼管でねじ接合する場合の継手は、管端防食管継手とする。

⑦ 管の切断

(2. 5. 1)

塩ビライニング鋼管、耐熱性ライニング鋼管、ポリ粉体鋼管及び外面被覆鋼管は、帯のこ盤、ねじ切機搭載形自動丸のこ機等で切断し、パイプカッターによる切断は禁止する。また、切断後、適正な内面の面取りを施す。

8 異種管の接合

(2. 5. 16)

標準仕様書第2編第2章第5節による。なお、接合要領は標準図施工3によるものとする。

⑨ 吊り及び支持

(2. 6. 3)

標準仕様書第2編第2章第6節によるほか、次による。

- (1) 屋外支持材は、溶融亜鉛めっき又はステンレス製とする。(ボルト、ナット等は、ステンレス鋼製とする。)
- (2) 50A以下の鋼管は、形鋼振れ止め支持間隔を8m以下とする。
- (3) 梁貫通により振れ止めがされている場合は、その部分を形鋼振れ止め支持されているものとみなす。
- (4) ステンレス鋼管及び銅管の支持及び固定に鋼製又は鋳鉄製の金物を使用する場合は、合成樹脂を被覆した支持及び固定金具を用いるか、ゴムシートまたは合成樹脂の絶縁テープ等を介して取付ける。なお、合成樹脂が破損しないように、締付ける。
- (5) 冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレート、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。

10 地中埋設標及び埋設表示用テープ

(標準図、機材2)

- (1) 地中埋設標及び埋設表示用テープは、次により屋外埋設部分に設置及び埋設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲り部に設置する。

(ア) 給水管	・ 地中埋設標	・ 埋設表示用テープ
(イ) ガス管	・ 地中埋設標	・ 埋設表示用テープ
(ロ) 油管	・ 地中埋設標	・ 埋設表示用テープ
(ハ) 消火管	・ 地中埋設標	・ 埋設表示用テープ

(2) 地中埋設標の頭部には、図示の矢印及び「水」、「ガス」、「油」、「消火」等の用途を表示する。

(3) 埋設表示テープは、土被り 150mm 程度の深さとする。

11 地中埋設の深さ

- ・ 管の上端まで 60cm
- ・ 管の上端まで cm

(ただし、建物に引き込む場合等は、監督員の承諾を得て埋設深さを変更することができる。)

12 伸縮管継手を備えた配管 (2.4.1.(5))

標準仕様書第2編第2章第4節による。

13 管のフランジ接合 (2.4.5、2.4.6、2.4.7、2.5.2、2.5.3、2.5.4、2.5.7)

標準仕様書第2編第2章第4、5節によるほか、機器周りの配管はフランジ接合とする。ただし、鋼管及びライニング鋼管の梁貫通の場合は、片側をネジ接合としてもよい。

14 塗装工事 (3.2.1)

標準仕様書第2編第3章第2節による。

15 防食処置 (2.7.3)

標準仕様書第2編第2章第7節による。

(1) 土中埋設の鋼管類（排水配管の鋼管類、合成樹脂などで外面を被覆された部分の配管は除く。）には、標準仕様書により防食処理を行う。

(2) コンクリートに埋設される鋼管、鉛管、銅管は、プラスチックテープを 1/2 重ね 1 回巻きとする。

16 識別色

標準仕様書によるほか、埋設表示テープ及び地中埋設標の識別色は、給水は青、排水はシルバー、消火は赤、ガスは黄とする。

17 保温工事

標準仕様書第2編第3章第1節によるほか、次による。

(1) 機器類付属弁類、槽類、煙道及び管寄せの保温外装は、アルミニウム板及びカラー亜鉛鉄板をステンレス板に

- ・ 読み替える ※ 読み替えない

(2) ロックウール、グラスウールを使用した保温材のホルムアルデヒドの放散量 ・ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆

18 表示札等

鍵及び弁等に取り付ける表示札は、プラスチック製（白色）とし、系統名及び常時開又は閉の文字を記入する。

19 貫通部の処理 (2.8.1)

標準仕様書第2編第2章第8節による。

本工事に使用するスリーブは、次による。 (2.2.27)

- ・ つば付き鋼管製スリーブ（・ 防水壁 ・ 防水床）（つば付き鋼管製は第2編表2.2.11による。）
- ・ 紙製スリーブ（・ 壁 ・ 床）
- ・ 管とスリーブとの隙間のシーリング材は、ホルムアルデヒド、トルエン、エチルベンゼン等を放散しないか、放散が少ないものとする。

※ 配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法に適合する工法又は、国土交通大臣認定を受けた工法とし、貫通部に適用するものとする。（認定書を提出し、標識を適当な位置に貼り付けること。）

20 はつり

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを用いる。

21 他工事との取り合い

- | | | |
|-----------------------------------|-------|--------|
| (1) 鉄筋コンクリート部の梁、床、壁貫通のスリーブ及び箱入れ補強 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (2) 天井、壁のボード類（軽量鉄骨も含む）の補強及び切込み | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (3) 点検口 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (4) 外壁に取り付けるガラリ、換気扇枠 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |

- | | | | |
|-------------------------------|---------|-------|----------|
| (5) 機器のコンクリート基礎 | 屋内設置のもの | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| | 屋外設置のもの | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (6) 全熱交換器及び換気扇と操作スイッチ間の渡り配管配線 | | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (7) 仮設（足場、養生等、仮囲い） | | ・ 本工事 | ・ 別途工事 0 |

22 機器等の耐震施工

設備機器設備の固定は標準仕様書によるほか、建設大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」及び一般財団法人日本建築センター発行「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。

23 機器の据付け及び取付け

- (1) 基礎は、標準基礎又は防振基礎とする。
 - (7) 標準基礎は、コンクリート基礎とし、コンクリート打設後 10 日間以内に荷重をかけてはならない。また、表面は、金ごて押さえ又はモルタル塗りとし、据付け面を水平に仕上げたものとする。
 - (4) 防振基礎は、コンクリート基礎と防振架台を組合せたものとし、構造体への振動の伝達を防止できるものとする。
- (2) 鋼製架台は、建築基準法施行令第 90 条及び第 92 条並びに第 129 条の 2 の 4 に定められたものとし、材料は、「鋼構造設計規準」（日本建築学会）に規定されたもの又はこれと同等以上のものとする。
- (3) 給湯設備の転倒防止措置は、建築基準法施行令第 129 条の 2 の 4 第 2 号及び同令に基づく告示（平成 24 年国土交通省告示第 1447 号）の定めによること。
- (4) 機器廻り配管は、機器へ荷重が掛からないように、標準仕様書第 2 編 2.6.1「一般事項」の固定及び支持を行うこと。

24 あと施工アンカー

- (1) 配管、ダクト、機器等の天井吊り下げ用アンカーには、接着系アンカーを使用しないこと。
- (2) アンカーの埋込深さ及び許容引抜荷重については、標準図（形鋼振れ止め支持部材選定表（二））によるほか、監督員に資料を提出し、承諾を得ること。
- (3) あと施工アンカー作業における技能者は、施工に関する十分な経験と技能を有するもので、施工するアンカー径に適合したあと施工アンカー施工士の資格を有すること。
- (4) 穿孔後、切粉が残らないようブロー、ブラシ等で孔内を清掃し、所定の深さがあることを確認すること。
- (5) 施工後の品質管理試験は、接触・打音検査を全数、引張・非破壊試験は、アンカー径ごとに全数の 0.5%または、アンカー径ごとに 3 本以上とし、試験荷重は計算で得られたアンカー強度の 2/3 とする。

25 既存インサート及びアンカーボルト

- (1) 既存のインサート及びアンカーボルトは、原則として、使用しないこと。
- (2) やむを得ず既存のインサート及びアンカーボルトを再使用する場合は、監督員と協議の上、状態及び強度を確認し、十分に清掃を行ってから使用すること。

第 3 章 衛生器具設備工事

1 衛生器具の接続

衛生器具と排水配管との接続には、鉛管に代えて排水用フレキシブル継手を使用してもよい。

2 衛生陶器の隙間調整

衛生陶器を据え付ける際の隙間調整は、ゴムシートなどの耐久性に優れた材料を使用すること。

第 4 章 給水設備工事

1 水道加入金

・ 別途 ・ 本工事

2 保温

※ 標準仕様書による。

- ・ 屋外露出管（弁、フランジ類を含む）の保温材の厚さは、呼び径 25 mm 以下は 30 mm、呼び径 32 mm 以上のものは、40 mm 以上とする。

第 5 章 排水設備工事

- 1 流し接続管 床上露出部分は、硬質ポリ塩化ビニル管（VP）でもよい。
- 2 鋳鉄製ふたの文字
 - ・ 汚 水 ・ 雑排水 ・ 雨水 ・ 実験排水 ・ その他
- 3 鋳鉄製ふたの破壊荷重
 - ・ 中荷重 60 kN 以上（丸枠） ・ 重荷重 200 kN 以上（丸枠）
- 4 屋外排水管理設要領
根切り底から 100 mm 碎石敷き込みを行い、管を布設して管頂から 100 mm までを山砂にて埋め戻す。
残りの部分は ・ 根切り土 ・ 山砂 で埋め戻す
- 5 小口径桙 下水道管理者等と協議・承諾のうえ使用する。
- 6 エア抜き用排水 自動エア抜きの排水は、専用配管で排水処理をする。

第 6 章 給湯設備工事

- 1 ガス湯沸器排気筒
 - ※ 本工事（厚さ 0.5 mm 以上のステンレス鋼板製） ・ 別途工事
- 2 排気筒の保温
 - ・ 行う ・ 行わない

第 7 章 消火設備工事

- 1 保温
※消火配管（・屋内露出・屋外露出）は保温し、標準仕様書第 2 編第 3 章第 1 節 3.1.5 表 2.3.5 区分、給水管を適用する。
・ 屋外露出管の保温材の厚さは、呼び径 25 mm 以下は 30 mm、呼び径 32 mm 以上のものは、40 mm 以上とする。

第 8 章 ガス設備工事

- 1 ガスメーター ※ 本工事 ・ 別途工事
- 2 ガスの種類 (1) 種 類 (2) 発熱量
- 3 ガス栓 ※ヒューズコック
- 4 ガス漏れ警報機 外部出力端子を ※設ける ・ 設けない
- 5 ガス漏れ警報設備 ※設置する ・ 設置しない

第 9 章 浄化槽設備工事

- 1 装置強度
装置（槽、ふた）の強度は、次の条件による。
 - ・ 製造者標準形 ・ 中荷重形（乗用車の走行駐車可） ・ 重荷重形

- 2 山留め ・オープンカット ・鋼矢板 ・H 鋼+鋼矢板
- 3 埋め戻し土 ・山砂 ・発生土
- 4 マンホールふた等 ※錠又は安全ロック等付き
- 5 消毒剤 ※30 日分納入

第 10 章 空気調和設備工事

1 天井吊り設備機器の振れ止め

機器重量が 100kg 未満、且つ吊り長さが 1.0m を超え 1.5m 以内の場合は、ブレース、ターンバックル処置を行う。
機器重量が 100kg 以上、又は吊り長さが 1.5m を超える場合は、原則として鋼材（形鋼等）にて処置を行う。

2 ダクト 鋼板厚 ・ 3.2mm ・ 4.5mm ・ 図示による 排気測定口 ・ 取り付ける

3 風量測定口 取付箇所は図示による。

4 吹出口及び吸込口 ・ アルミ製（ヘアライン加工） ・ 鋼板製

5 防煙ダンパー

標準仕様書第 3 編 1. 15. 8 によるほか次による。

- (1) 復帰方式 ・ 遠隔復帰式（電気式） ・ 手動式
- (2) 操作式 ・ 電気式 ・ 空気式

自動閉鎖機構は、定格入力 DC-24V、0.6A 以下、自動復帰機構が電動式の場合は、入力 DC-24V、25A 以下とする。

- (3) 日本防排煙工業会の自主適合マーク貼付品とする。

6 防火ダンパー

- (1) 5 防煙ダンパーに準じたものとする。
- (2) 日本防排煙工業会の自主適合マーク貼付品とする。

7 ピストンダンパー 復帰方式 ・ 自動式 ・ 手動式

8 チャンバー等

- (1) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーには、排水を設ける。
- (2) シーリングディフューザー（アネモ型）、線状吹出口（ブリーズライン）のチャンバーは、図示による。

9 温度計

標準仕様書及び標準図によるほか、主要な機器類の出入口の配管に設ける。

10 圧力計及び連成計

ポンプ等の吸込み管に取り付ける場合は、連成計とする。

11 瞬間流量計及び流量測定口

標準仕様書及び標準図によるほか次による。

- (1) 冷温水管寄せの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング （・ 設ける ・ 設けない）
- (2) ボイラ又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング （・ 設ける ・ 設けない）

12 オイルサービスタンク

- (1) 油面制御装置 ・ 国土交通省型 ・ 市販品（防爆型）
- (2) 防油堤 ・ 本工事 ・ 別途工事

13 オイルタンク

槽形式、容量等は主要機器表によるほか、次による。

- (1) 油タンクふた ・ 本工事（・ 国土交通省型 ・ 市販品） ・ 別途工事

- (2) 遠隔油量指示計 ・抵抗変化式 ・磁歪式
形式 ・国土交通省型 ・製造者規格品（・電気式 ・空気式）
- (3) 計量尺 ・本工事（計量口は施錠付き） ・別途
計量尺は、青銅製又は黄銅製及びアルミ製とし、100L 実測目盛り刻印とする
- (4) 地下オイルタンク外面の保護方法は「危険物の規制に関する政令」及び「危険物の規制に関する規則」による方法とする。また、事前に関係機関と打ち合わせを行うこと。
- (5) 危険物標識板 鋼板製メラミン焼付け仕上げとし、槽最寄の適切な位置に自立型のものを取り付ける。

14 消音内貼り

消音板厚さ

- (1) ダクト保温厚さ 50mm とする箇所は、消音板 50mm とし、25mm とする箇所は 25mm とする。
- (2) 内貼りチャンバー類の寸法表示は、外法寸法とする。

15 保温及び塗装

- (1) 保温
 - ・標準仕様書による。
 - ・屋外露出管（温水管、給水管）の保温材の厚さは、呼び径 25 mm 以下は 30 mm、呼び径 32 mm 以上のものは、40 mm 以上とする。
- (2) 外気取り入れダクトの保温 ・行う ・行わない
- (3) 油配管の土中埋設部は、消防署の指示によるか又は標準仕様書による。

第 11 章 排煙設備工事

- 1 排煙ダクト ・亜鉛鉄板製 ・鋼板製(1.6mm)
- 2 排煙口の開放装置 ・手動開放装置 ・煙感知器と連動する自動開放装置 ・遠隔操作方式による開放装置
- 3 排煙風量の測定方法
排煙風量を測定する場合は、JIS-A-4303「排煙設備の検査標準」4.2.1(2)(C)による。

第 12 章 換気設備工事

- 1 準用事項 第 10 章空気調和設備工事の当該事項に準じる。
- 2 一般湯沸器の天蓋 ・別途 ・本工事
- 3 厨房用天蓋
 - (1) 材種 ※ステンレス製(SUS304、厚さ 1.0 mm 以上とする。)
 - (2) 帯板（フードから天井まで） ・別途 ・本工事
 - (3) グリスフィルターは予備品として納入する。
- 4 保温
 - (1) 多湿箇所（・浴室 ・厨房）の外気取り入れ風道は保温する。ただし、送風、排風機は除く。
施工範囲は、図示による。
 - (2) 全熱交換ユニット用のダクト（・外気取り入れ ・排気）は保温する。
施工範囲は、図示による。

第 13 章 自動制御設備工事

- 1 システム構成及び機能 図示による

- ② 制御方式 ・電気式 ・電子式 ・デジタル式
- ③ 中央監視装置 ・中央処理装置 ・補助記憶装置 ・表示装置 ・グラフィックパネル ・操作器
 ・伝送制御装置 ・電源装置
- ④ 周辺装置 ・印字装置 ・アナンシエータ ・インターホン ・ハードコピー装置
- ⑤ 端末装置 ・リモートステーション（RS） ・ダイレクトデジタルコントローラ（DDC）
 ・ユーザーターミナル（UT）
- ⑥ 表示及び警報
 室内外の温湿度表示、冷温水の温度表示、運転・故障・警報の表示のほか、細目は図示による。
- ⑦ 自動制御装置
 (1) 図示されていない配線配管等の本数及び寸法は、製造者の仕様としてよい。
 (2) 自動制御回路には、サージ防止装置を ・取り付ける ・取り付けない
- ⑧ 電気計装用配線
 (1) 電線及びEM ケーブルは、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
 (2) 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
 (3) 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。
- ⑨ その他
 (1) 室内形の温度検出器、湿度検出器はケース付きとし、取付け位置は標準仕様書による。
 (2) 地震感知器の取付位置は標準仕様書による。
 (3) 地震感知器の作動により、バーナー及び給油用電磁弁等を作動させ、速やかに燃焼を停止、消火させる。

保温外装

屋内露出配管（一般居室）：グラスウール保温筒+アルミガラスクロス（指定色仕上げ）

屋内露出配管（機械室、書庫、倉庫）：グラスウール保温筒+アルミガラスクロス

屋内隠ぺい配管（天井内、シャフト内）：グラスウール保温筒+アルミガラスクロス

床下、暗渠内内観（ピット内含む）：ポリエチレンフォーム保温筒+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス

屋外露出配管：ポリエチレンフォーム保温筒+ポリエチレンフィルム+ガルバリウム鋼板

機器（タンク、熱交換器）：保温板+ガルバリウム鋼板

一般ダクト屋内露出（一般居室）：グラスウール保温筒+アルミガラスクロス（指定色仕上げ）

一般ダクト屋内露出（機械室、書庫、倉庫）：グラスウール保温筒+アルミガラスクロス

一般ダクト屋内隠ぺい：グラスウール保温筒+アルミガラスクロス

一般ダクト屋外露出：グラスウール保温筒+ポリエチレンフィルム+ガルバリウム鋼板

※防火区画貫通部はロックウールとすること。

※一般居室内の露出配管、露出ダクトで保温を行わない部分は指定色仕上げとすること。

※冷媒管は被覆銅管としてよいが、一般居室露出部は指定色仕上げとすること。

特 記 仕 様 書（昇降機設備工事）

I 工 事 概 要

- 1 工 事 名 06 国補都構 常陸太田市新総合体育館新築工事
2. 工事場所 茨城県常陸太田市新宿町1番地
3. 敷地面積 97,418.50 m²
4. 建設工事その他概要（建物名称、構造、階数、建築面積、延べ面積、各階床面積、等）
 - (1) 工事範囲 ・「(2) 建物概要」すべて ・「(2) 建物概要」のうち一部
 - (2) 建物概要

（全体）

建物名称	新総合体育館				
構 造	SRC造	一部	S造	造	一部 造
階 数	地上2階	地下0階	地上 階	地下 階	地上 階 地下 階
建築面積	6,525.22 m ²			m ²	m ²
延べ面積	6,875.95 m ²			m ²	m ²

（建物毎の各階床面積 m²）

建物名称	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	計
新総合体育館	—	5,263.40	1,539.31				
屋外トイレ1	—						

6. 別途工事

・

II 昇 降 機 設 備 工 事 仕 様

1. 共通事項

図面及び本特記仕様書のほか、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）を適用する。

2. 特記事項

- (1) 項目は、番号に□の付いたものを適用する。
- (2) 特記仕様で※印、・印の適用は、次による。
 - ※印の付いたものを適用する。
 - ・印の付いたものは適用しない。
- (3) 特記仕様に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該表及び当該図を示す。
- (4) 建築工事、電気設備工事、機械設備工事は、別記各工事の特記仕様書による。

Ⅲ 特記仕様

第1章 一般共通事項

1. 技術者等

建設工事請負契約書及び茨城県建設工事施工適正化指針に基づき、適切な施工体制が行える現場代理人及び技術者(主任技術者・監理技術者・専門技術者)を配置する。

2. 施工従事者

施工にあたっては、必要な資格保有者を従事させる。

3. 工事实績情報(CORINS)の登録 ※ 適用する (付記事項参照)

4. 設計図書の優先順位 (1)現場説明に対する質問回答書 (2)現場説明書 (3)特記仕様書
(4)図面 (5)標準仕様書

5. 機材等

本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとする。

6. 機材等の試験

JIS A 4302(昇降機の検査標準)に準じて行い、(一社)日本エレベータ協会標準の定める試験成績表に記載して、監督員に提示する。監督員が必要と認める場合には、試験に立ち会う。

7. 機材等の検査

機材等は種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、JIS マーク等が表示された機材で所要の品質があることが確認でき設計図書に適合するものは、監督員の承諾を受けて検査を省略することができる。

8. 建設発生土の処理等

- ※ 構内適正処理 (※構内の指示する場所に敷き均し ・ 構内の指示する場所にたい積)
- ・ 構外搬出適正処理 (付記事項参照)
- ・ スtockヤードに搬出する場合は、付記事項参照。

9. 発生材の処理等 (1.3.9)

- ・ 受注者に引き渡しを要するもの()
- ※ 構外搬出とし、関係法令に準拠し適切に処理し、監督員に報告する。
- ・ 撤去した照明器具の安定器は、PCB を含まないことを確認のうえ、処理すること。
- ※ 産業廃棄物を運搬する際は、車両の両側面に運搬車である旨の表示をし、関係書類を携帯すること。
- ・ 再資源化等するもの ・ 電線、ケーブル ・ 盤類 ・ その他()

10. 監督員事務所 ※ 設けない ・ 設ける(種別: ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号)

11. 官公署その他への届出手続等 (1.1.3)

- ※ 工事の着手、施工及び完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。関係法令等に基づく官公署その他の関係機関の検査においては、その検査に必要な資機材、労務等を提供する。なお、本項に関して生じる経費等は、受注者の負担とする。
- ※ 建築基準法(昭和25年法律第201号)第18条に基づく計画通知及び完了検査にかかる手数料は受注者が負担する。

12. 施工図等の取り扱い

施工図等の著作権に係わる当該建築物工事物件に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

13. 提出書類

建設業法(昭和 24 年法律第 100 号)等で規定された関係書類のほか、次の書類を提出する。

適用	書類	備考
※	工事实績情報(CORINS)の登録内容確認書の写し (付記事項参照)	請負代金の額が 500 万円以上となる工事
・	火災保険等に参加したことを証明できる書類	
・	法定外労災保険証券等の写し	
※	建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書(原本)	請負代金の額が 500 万円以上となる工事
・	施工体系図、施工体制台帳、再下請負通知書、建設業許可証の写し、作業員名簿、施工従事者資格証(施工に必要なものに限る)の写し、主任(監理)技術者の雇用契約を証する書面及び注文書・請書の写し	作業員名簿の様式は、茨城県建設工事施工適正化指針様式 2 又はそれに準拠するもの (個人情報 は 黒塗りすること。)
※	施工計画書	請負代金の額が 500 万円未満の場合は監督員の指示による。
※	産業廃棄物処理関係書類(14 項参照)	
※	使用機材メーカー一覧表及び機器・材料納入仕様書承諾願	
※	機器の設計及び施工に対する計算書	耐震強度計算書を含む
※	施工図承諾願	
・	石綿事前調査結果報告	請負代金の額が 100 万円以上となる工事
※	実施工程表(全体工程、月間工程及び 3 週工程)	監督員の指示により省略できる。
・	工事完成通知書及び支払用完成写真(A4 版カラー)	完成写真は黒板を写さない
※	完成図書(14 項参照)	
・	維持保全に関する資料 部	
・	管理機器一覧表(指定様式: エクセル形式のデータで提出)	様式は営繕課より提供する。
・	工事物件引渡書	
・	創意工夫・社会性等に関する実施状況(別紙-6) (付記事項参照)	様式は営繕課より提供する。
※	完成書類等引継書(提出書類及び完成図書類を施設に提出する際に、施設の署名を得たもの)	
※	その他 監督員が必要と認め、指示した書類	

14. 完成図書類

※ CD-R 又は DVD-R 2 枚 (付記事項参照)

完成図面(JWW 形式 CAD データ、PDF 形式)、完成写真及び工事写真(JPEG 形式)を収録したものを 1 枚は施設担当者へ、もう 1 枚は監督員へ提出する。工事写真の撮影方法は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(平成 31 年版)による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成 30 年版」を参考とする。

※ 完成図

- ・ 白焼製本 (A1) ・ 1 部 ・ 2 部

※ 白焼製本縮小版 (A3)

- (施設担当者へ提出) ※ 1 部 ・ 2 部 ・ 3 部 ・ 4 部
- (監督員へ提出) ・ 1 部 ◎ 2 部 ・ 3 部 ・ 4 部

※ 産業廃棄物処理関係書類

処理フロー図(種類、数量)、委託契約書の写し、許可証の写し、運搬車両一覧表及び車検証(使用車両のみ)、写真(積込、場外搬出時、処分場搬入時、荷下状況)、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写し、PCB 含有試験成績書等、古物商許可証の写し及び計量書(有価処分の場合)、再生資源利用(促進)計画書・実施書(付記事項参照。建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成・提出)

※ 完成図書 A4 ファイルに次の書類を綴じ、目次を付けること。 (2.2.1)

- (1) 官公署等届出書の写し
- (2) 機器完成図(品目は監督員の指示による)、検査合格証、取扱説明書、機器の出荷証明書
- (3) 機器の社内検査成績表
- (4) 材料試験成績表、検査証明書(電動機、鋼材、ロープ等)
- (5) ケーブル、ダクトの防火区画貫通部の施工方法説明書
- (6) 重量機器の据え付け要領説明書
- (7) 工事完了検査試験成績表
- (8) 測定機器の校正証明書
- (9) 保守指導案内書
- (10) 瑕疵2年保証書(保証期間は工事目的物の引渡しの日から2年間とする。)

※ 保守点検に必要な工具、予備品および付属品(鍵は1か所につき、3個を1組とする。)

15. 工事用電力・水・その他

本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は受注者の負担とする。

16. 他工事との取り合いは設計図内工事区分表による。

17. 石綿含有建材の調査

※ 石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令及び建築改修標準仕様書 1.5.1 に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

貸与資料 ()

- ・ 分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	(JIS A 1481-3) (JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル

採取箇所

- ・ 図示による

※ 表示及び掲示

建築改修標準仕様書 9.1.2(6)により、必要な表示及び掲示を行うこと。

※ 官公庁への手続き

大気汚染防止法・労働安全衛生法等(昭和 47 年法律第 57 号)に基づき、必要な届出手続等を行うこと。その際、届出等内容について、あらかじめ監督員に報告すること。

※ 作業完了報告

特定粉じん排出等作業が完了した際は、大気汚染防止法に基づき、その結果を監督員に提出すること。

第2章 施 工 共 通 事 項

1. 条例への適合
「茨城県ひとにやさしいまちづくり条例」(平成8年3月28日茨城県条例第10号)に適合するものとする。
2. 耐震措置
エレベータ設備機器の固定等は、すべて(一財)日本建築設備・昇降機センター編集の「昇降機耐震設計・施工指針(最新版)」により行う。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
3. 低圧屋内配線と油圧配管との離隔
低圧屋内配線と油圧配管は接触しないように施設する。
4. 絶縁抵抗
低圧配線の絶縁抵抗は、測定電圧500V(好ましくない場合を除く)で測定し、開閉器等で区切ることのできる電路ごとに5MΩ以上とする。
5. 制御盤、端子盤
製造者、製造年月、受注者、受注者電話番号を表示した銘板を取り付けること。
6. 油圧配管試験
油圧配管施工後、耐圧試験を行う。
7. 溶接
配管の場合は、標準仕様書第2編2.5.15による。
配管以外の場合は、標準仕様書第2編4.6.3による。
8. 施工調査
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、全箇所を事前に走査式埋設物調査又はレントゲン撮影を行い、監督員に報告を行うこと。
9. 安全表示 (1.1.1)
かご内には、エレベーター安全装置設置済マーク(一社)建築性能基準推進協会)を表示すること。

付記事項

1 適 用

- (1) 本付記事項は、標準仕様書及び特記仕様書を補足するものである。
- (2) 本付記事項、標準仕様書及び特記仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合除き、受注者の責任において履行すべきものとする。
- (3) 本工事における工事数量は、別紙「本工事費内訳書」のとおりとする。

2 工事カルテの作成登録 (CORINS)

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に完成時は、工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提示しなければならない。

なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できるものとする。

また、受注者が公益法人の場合はこの限りではない。

※ 登録等の各種手続きに関する問い合わせ先
〒107-8416 東京都港区赤坂7丁目10番20号
アカサカセブンスアベニュービル4階
(財) 日本建設情報総合センターCORINS センター
TEL 03-3505-0463 FAX 03-3505-2030

3 本工事の発生土をストックヤードに搬出する場合

(1) 搬入建設発生土の種類

- ① 第1・2・3・4種建設発生土（建設発生土利用技術マニュアルの土質区分基準）を搬入すること。
- ② 有害異物が含まれていないこと。
- ③ 廃棄物が混入していないこと。
- ④ 品質管理については、必要に応じてコーン指数試験（ポータブルコーンペネトロメータ測定）、粒土試験、含水比試験を行い監督職員の確認を受けること。

(2) 利用時間

- ① 利用日 月曜日～土曜日 8:00～17:00（但し、12:00～13:00は除く。）
- ② 休日 日曜日、祝日（振替休日を含む。）、年始年末、盆休み

(3) 利用料金

（財）茨城県建設技術管理センターが指定する料金とする。

(4) 利用規程について

詳細については、「ストックヤード利用規則」を参照し、利用手続きに従って所定の手続きを行う。

(5) その他

質疑が生じた場合には、監督職員と別途協議する。

(6) 問い合わせ先

(財) 茨城県建設技術管理センター内 建設副産物リサイクルセンター

TEL 029-227-5634 FAX 029-227-8558

(7) 土質区分基準

発生土の土質区分は、原則として、コーン指数と日本統一土質分類を指標とし、表3-1に示す土質基準によるものとする。なお、土質改良を行った場合には、改良後の性状で判定するものとする。

表3-1 土質区分基準

区分 (建設省令)	土質区分	コーン 指 数 qc※3	日本統一土質区分		備 考※2	
			中分類	土 質	含水率(地山) wn (%)	掘削方法
第1種建設発生土 (砂、礫及びこれら に準ずるもの)	第1種発生土	—	{G} {S}	礫 砂	—	・排水に考慮するが、降水、浸出地下水等により含水比が増加すると予想される場合は、建設省令の1ランク下の区分とする。 ・水中掘削等による場合は、建設省令の2ランク下の区分とする。
	第1種改良土		(改良土)※6		—	
第2種建設発生土 (砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの)	第2a種発生土	8以上	{GF}	礫質土	—	
	第2b種発生土		{SF}	砂質土 (Fc=25~50%)	—	
	第2c種発生土			砂質土 (Fc=25~50%)	30%程度以下	
	第2d種発生土		(改良土)		—	
第3種建設発生土 (通常の施工性が確保される粘性土及びこれに準ずるもの)	第3a種発生土	4以上	{SF}	砂質土 (Fc=25~50%)	30~50%程度	
	第3b種発生土		{M} {C}	シルト、粘性土	40%程度以下	
	第3c種発生土		{V}	火山灰質粘性土	—	
	第3d種発生土		(改良土)		—	
第4種建設発生土 (粘性土及びこれに準ずるもの(第3種発生土を除く))	第4a種発生土	2以上	{SF}	砂質土 (Fc=25~50%)	—	
	第4b種発生土		{M}, {C}	シルト、粘性土	40~80%程度	
	第4c種発生土		{V}	火山灰質粘性土	—	
	第4d種発生土		{O}	有機質土	40~80%程度	
(泥土)※1 (通常の施工性が確保出来ないもの)	泥土a	2未満	S F	砂質土 (Fc=25~50%)	—	
	泥土b		{M} {C}	シルト、粘性土	80%程度以上	
	泥土c		{V}	火山灰質粘性土	—	
	泥土d		{O}	有機質土	80%程度以上	
			P t	高有機質土	—	

※1 泥土のうち建設汚泥は、廃棄物処理法に定められた手続きが必要である。

※2 計画段階(掘削前)において土質区分を行う必要があり、コーン指数を求めるために必要な資料を得られない場合には、日本統一土質分類と備考欄の含水比(地山)、掘削方法から概略の土質区分を選定し、掘削後、所定の方法でコーン指数を測定して、土質区分を決定する。

※3 所定の方法でモールドに締め固めた試料に対し、ポータブルコーンペネトロメータで測定したコーン指数。(表 3-3参照)

※4 表中の第1種~第4種改良土は、土(泥土を含む)に固化材を混合し、化学的に性状を改良したものである。例えば、第3種改良土は、第4種発生土又は泥土を安定処理し、コーン指数4以上の性状に改良したものである。

※5 含水比低下、粒度調整など物理的な処理を行った場合には、処理後の性状で再度判定し、改良土としてでなく、発生土として土質区分を判定する。

※6 第1種改良土は、礫、砂状を呈する。

4 排出ガス対策型建設機械使用の原則化

下記の建設機械は排出ガス対策型を使用することとする。

- ① ブルドーザ、バックホウ、トラクタショベル
- ② ホイルクレーン、マカダムローラ、タイヤローラ、振動ローラ搭載されているエンジンから排出されるガス成分及び黒煙の量は下表の値以下のものであること。

対象物質 出力区分	H C (g/kW・h)	N O x (g/kW・h)	C O (g/kW・h)	黒煙 (%)
7.5~15kW未満	2.4	12.4	5.7	50
15~30kW未満	1.9	10.5	5.7	50
30~272kW以下	1.3	9.2	5.0	50

なお、地域条件などにより調達が困難である場合は、監督職員と協議を行うこととする。

5 リサイクル関係書類

(1) 再生資源利用計画書

下記の工事については、着工に先立ち作成し施工計画書に添付する。

- ① 建設リサイクル法の対象工事
- ② 土砂を100m³以上搬入する工事
- ③ 碎石（再生碎石を含む）を50t以上搬入する工事
- ④ 加熱アスファルト20t以上搬入する工事

(2) 再生資源利用促進計画書

下記の工事については、着工に先立ち作成し施工計画書に添付する。

- ① 建設リサイクル法の対象工事
- ② 建設発生土を100m³以上搬出する工事
- ③ 廃棄物全体で20t以上搬出する工事

(3) 廃棄物処理計画書

下記の工事については、着工に先立ち作成し施工計画書に添付する。

- ① 建設リサイクル法の対象工事

(4) 再生資源利用実施書

下記の工事については、完成書類に添えて発注者に提出する。

作成部数等は、発注者へ一部提出、実態調査用にFDを提出、受注者一部保管（工事竣工後1年間）

- ① 土砂、碎石、アスファルト混合物を使用する全ての工事

(5) 再生資源利用促進実施書

下記の工事については、完成書類に添えて発注者に提出する。

作成部数等は、発注者へ一部提出、実態調査用にFDを提出、受注者一部保管（工事竣工後1年間）

- ① 建設発生土、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合物を搬出する全ての工事

(6) 廃棄物処理実施書

下記の工事については、完成書類に添えて発注者に提出する。

発注者へ一部提出、受注者一部保管（工事竣工後5年間）

- ① 建設リサイクル法の対象工事

(7) 再生資源利用（促進）計画書の掲示等

(1) 及び (2) に基づき作成した再生資源利用（促進）計画書（以下、計画書）は、工事現場の見やすい場所に掲げ、又は計画書の内容を記録した電磁的記録を当該工事現場の見やすい場所に備え置く出力装置の映像面に表示する方法により公衆の閲覧に供するものとするとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

〔6〕 VOC（揮発性有機化合物）の室内濃度の測定

設計図書等に、室内濃度の測定を明記した室のVOC（揮発性有機化合物）の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認すること。

ただし、指針値を超えた場合は、監督員と協議し所要の対策を講じること。

揮発性有機化合物	室内濃度指針値
ホルムアルデヒド	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08 ppm)
トルエン	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07 ppm)
キシレン	870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.20 ppm)
エチルベンゼン	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88 ppm)
スチレン	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05 ppm)

（参考）

パラジクロロベンゼン	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04 ppm)
------------	---

注）ppm：100 万分の 1

7 セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する措置

普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材を使用した改良土から条件によっては、六価クロムが土壤環境基準を超える濃度で溶出する恐れがあるため、施工にあたっては下記のとおり取り扱う。

- ① セメント及びセメント系固化材を地盤改良に使用する場合、監督職員の承諾した方法により、現地土壌と使用予定の固化材による六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じる。
- ② セメント及びセメント系固化材を使用した改良土を再利用する場合、監督職員の承諾した方法により、六価クロム溶出試験を実施し、六価クロム溶出量が土壤環境基準以下であること確認する。

〔8〕 不正軽油使用禁止

- ① 現場で不正軽油を使用しないこと。
- ② 現場で不正軽油を使用させないこと。
- ③ 不正軽油を購入しないこと。
- ④ 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- ⑤ 下請契約の相手方又は燃料購入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- ⑥ 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- ⑦ 当該工事に関して、法令（地方税法）に違反していることが判明した場合は直ちに監督員に報告すること。

※ 不正軽油とは、地方税法第 700 条の 22 の 2 の規定による知事の承認を得ないで行われた次のものをいう。

- 1 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの
- 2 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造された軽油
- 3 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素油（重油、灯油等）

〔9〕 常陸太田市建設工事検査成績採点基準（1 件の契約金額が 130 万円以上の請負工事を対象とする。）における創意工夫、「技術力等」

受注者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目として評価できる項目に関する事項について、工事完成時まで任意の様式により提出することができる。

〔10〕 低入札価格調査制度の対象工事

- （1）本工事は、低入札価格調査制度の適用対象工事である。

- (2) 低入札価格調査制度の調査対象者となった場合には、入札した価格で契約内容が履行可能であることを、発注者に対して合理的に説明しなければならない。なお、合理的な説明がない場合には、履行不能と判断し、失格とする。
- (3) 低入札価格調査制度の調査対象者は、発注者の求めに応じ、低入札価格調査に係る資料を作成し、提出しなければならない。
- (4) 低入札価格調査制度の調査対象者は、発注者から低入札価格調査に係るヒアリングを求められた場合には、これに応じなければならない。
- (5) 低入札価格調査を経て契約した受注者は、施工体制台帳、下請負人通知書、施工計画書の提出に際し、発注者から、その内容の詳細についてヒアリングを求められた場合には、これに応じなければならない。
- (6) 低入札価格調査を経て契約した受注者は、監督員が監督業務を行う際、主任技術者または監理技術者を立ち会わせなければならない。なお、低入札価格調査を経て契約となった工事については、発注者による重点的な監督業務や厳格な検査が実施されることから、同種同規模程度の工事に比べ、監督や検査の頻度が増える等の措置が行われることとなる。
- (7) 低入札価格調査を経て契約した受注者が(5)に基づく確認作業に協力しない場合や、確認の際に虚偽の説明をした場合、または低入札価格調査時の説明内容と実施状況が大きく乖離している場合等には、契約違反等として指名停止等の措置を行うことがある。

11 公共事業労務費調査に対する協力

受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。又、工期経過後においても同様とする。

- ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
- ② 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行われなければならない。
- ② 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下受注者を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

12 過積載による違法運行の防止対策について

工事施工にあつたての注意事項

- ① 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- ② 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- ③ 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④ さし柢装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- ⑤ 過積載車輛、さし柢装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- ⑥ 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柢装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。
- ⑦ 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- ⑧ 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあつたては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

13 暴力団関係者の排除について

契約の履行にあたっての注意事項

- ① 暴力団又は暴力団関係者等が経営又は運営に実質的に関与していると認められる会社等（以下、「暴力団等」という。）と下請契約をしてはならない。
- ③ 暴力団等から資材、原材料等を購入したり、暴力団等が関与する廃棄物処理施設を使用したりしてはならない。
- ④ 暴力団等から不当要求を受けた場合は毅然として拒否するとともに、その旨直ちに監督職員等に報告し、併せて所轄の警察署に届けでること。

14 総合評価方式について

本工事は、施工実績等に関する技術資料を受け付け、価格以外の要素と価格とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式（簡易型）試行対象の工事である。

15 現場代理人の兼務

- (1) 本工事の受注者は、本工事の現場代理人が他の一つの工事の現場代理人を兼務するときは、あらかじめ書面（様式第1号）により届け出なければならない。この場合において、受注者は、連絡員を指名のうえ届け出るものとする。
- (2) 兼務に当たっては、現場代理人は、一方の現場に偏ることなく適切に現場を管理しなければならない。
- (3) 作業期間中に現場代理人が他の工事の兼務のため不在となるときは、連絡員が当該現場に常駐しなければならない。
- (4) 兼務に係る工事について、安全管理の不徹底に起因する事故の発生、その他現場体制の不備が生じた場合は、その後の、当該受注者に係る工事においては原則として兼務を認めない。